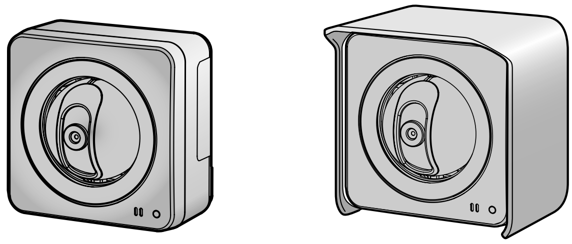
Panasonic®

取扱説明書

ネットワークカメラ (PoE給電対応)

品番 BB-HCM715 屋内設置タイプ
BB-HCM735 屋外設置タイプ



BB-HCM715 BB-HCM735

本製品をご使用になる前に、この説明書をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
パナソニックのネットワークカメラウェブサイト
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/

本書の表記について

商標・登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Windows Media、Hotmail、ActiveX、DirectShow、DirectDrawは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- SDHCロゴは商標です。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

表記について

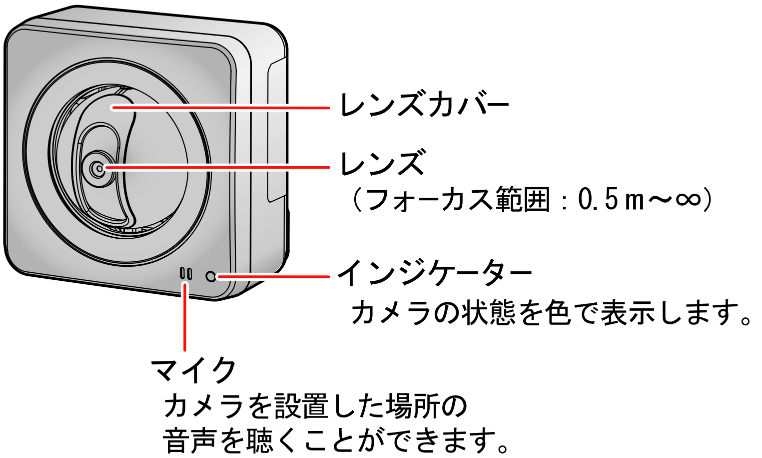
- 本書では、Windows® XPとInternet Explorer® 6を例に説明しています。
- 本書の画面やイラストは、一部実際と異なる場合があります。
- 本書では、「ネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「SDメモリーカード」と「SDHCメモリーカード」を総称して、「SDメモリーカード」と表記しています。
- 本書では、「セットアップCD-ROM」を「CD-ROM」と表記しています。
- UPnP™はUniversal Plug and Playの略称です。

その他

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品には、RSA Data Security Inc.のMD5 Message-Digest Algorithmから得られたソフトウェアを含んでいます。

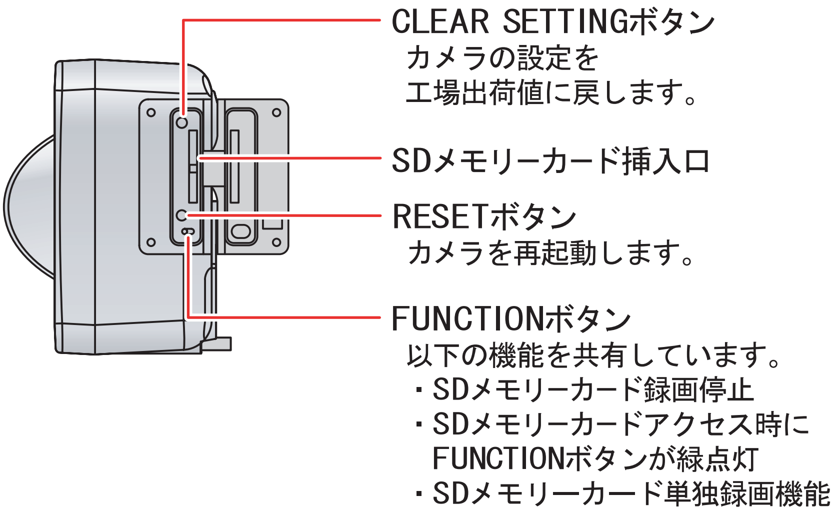
各部のなまえとはたらき

前面

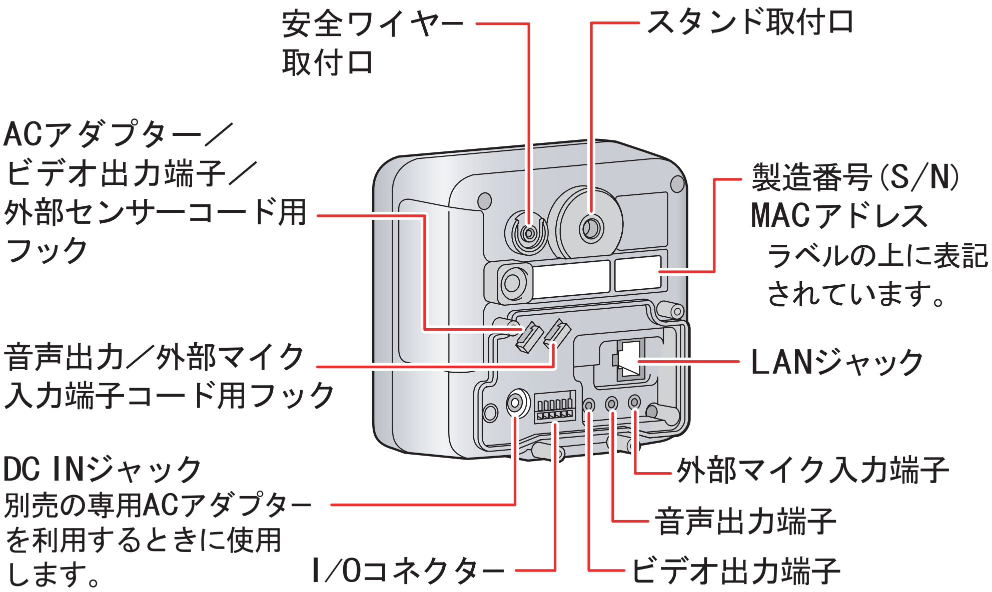


インジケーターの表示については、「インジケーターの表示について」(→ 5 ページ)参照してください。

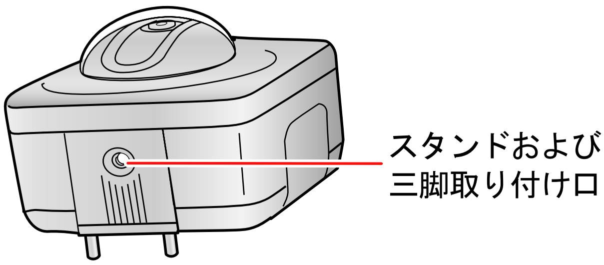
側面



背面

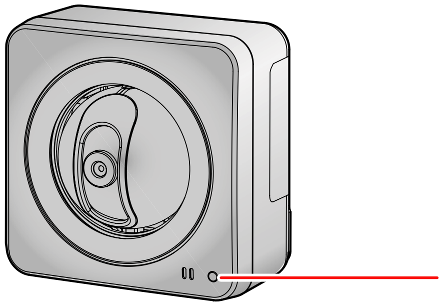

安全ワイヤー
取付口
スタンド取付口
ACアダプター／
ビデオ出力端子／
外部センサーコード用
フック
製造番号（S/N）
MACアドレス
ラベルの上に表記
されています。
音声出力／外部マイク
入力端子コード用フック
LANジャック
DC INジャック
別売の専用ACアダプター
を利用するときに使用
します。
外部マイク入力端子
音声出力端子
I/Oコネクター
ビデオ出力端子

底面


スタンドおよび
三脚取り付け口

インジケーターの表示について

カメラのインジケーター表示は、カメラの状態によって以下のようになります。インジケーターがいつどのように表示されるかを知ることで、カメラについての問題を解決しやすくなります。



カメラの状態		インジケーター表示
電源投入時	ネットワーク未接続時	オレンジ点滅
	ネットワーク接続時	オレンジ点滅→緑点滅→緑点灯
待機時および通信中[*1]		緑点灯
自動設定		緑点滅→緑点灯
DHCP利用時	IPアドレス未取得[*2]	緑点滅
	IPアドレス取得完了	緑点灯
バージョンアップ中（ファイル名入力画面表示中）		オレンジ点滅
CLEAR SETTING ボタンを押したとき		オレンジ点滅→消灯（約1分後に再起動します。）
UPnP™ によるポートフォワーディングエラー		オレンジ点滅（約2秒間隔）
SDメモリーカードに書き込みできない（SDメモリーカードのスイッチが書き込み禁止になっている、カメラでなくパソコンなどの機器でフォーマットした、または、異常なSDメモリーカードを挿入）		赤点灯
本製品に異常発生		赤点滅

*1　イーサネットケーブルを抜くなど、ネットワークに接続していないときは、オレンジに点灯します。
*2　ネットワークに接続していないときは、オレンジに点滅します。

もくじ

1 カメラでモニタリングする

1.1 パソコンからカメラにアクセスする

カメラにアクセスするには以下の情報が必要です。

- カメラの IP アドレス (例 **192.168.0.253**) またはURL (例 *****.miemasu.net**)
- カメラのポート番号が80（工場出荷値）でない場合は、ポート番号
- カメラのセットアップ時に設定したアクセスするためのユーザー名とパスワード

お知らせ

- カメラの接続方法、設定方法については『かんたんガイド』を参照してください。

1 パソコンでウェブブラウザを起動する（Internet Explorer 6.0以降対応）

2 **■HTTPでカメラにアクセスする場合**
アドレスバーに「**http://**IPv4アドレス：ポート番号/」を入力して、[Enter]を押す

- 例）http://192.168.0.253:50000/
- ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号の入力は必要ありません。

カメラを自宅の外や携帯電話からみる場合は、ダイナミックDNSサービスに登録してください。
（例：「みえますねっと」サービス（有料）→ 128 ページ）
その場合は、IPアドレスの変わりにURLを入力します。

- 例）http://***.miemasu.net:50000/
- ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号の入力は必要ありません。

■IPv6でカメラにアクセスする場合
アドレスバーに「http://IPv6で登録したURL:ポート番号/」を入力して、[Enter]を押す
（→ 222 ページ）

- Internet Explorer 7またはInternet Explorer 8の場合には、「**http://**[IPv6アドレス]:ポート番号/」と直接入力することもできます。

■HTTPSでカメラにアクセスする場合
アドレスバーに「**https://**アドレスまたはURL：ポート番号/」を入力して、[Enter]を押す
（→ 142 ページ）

- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、ポート番号が80に設定されている場合も、ポート番号を入力する必要があります。
- セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールしてください。
（→ 145 ページ）

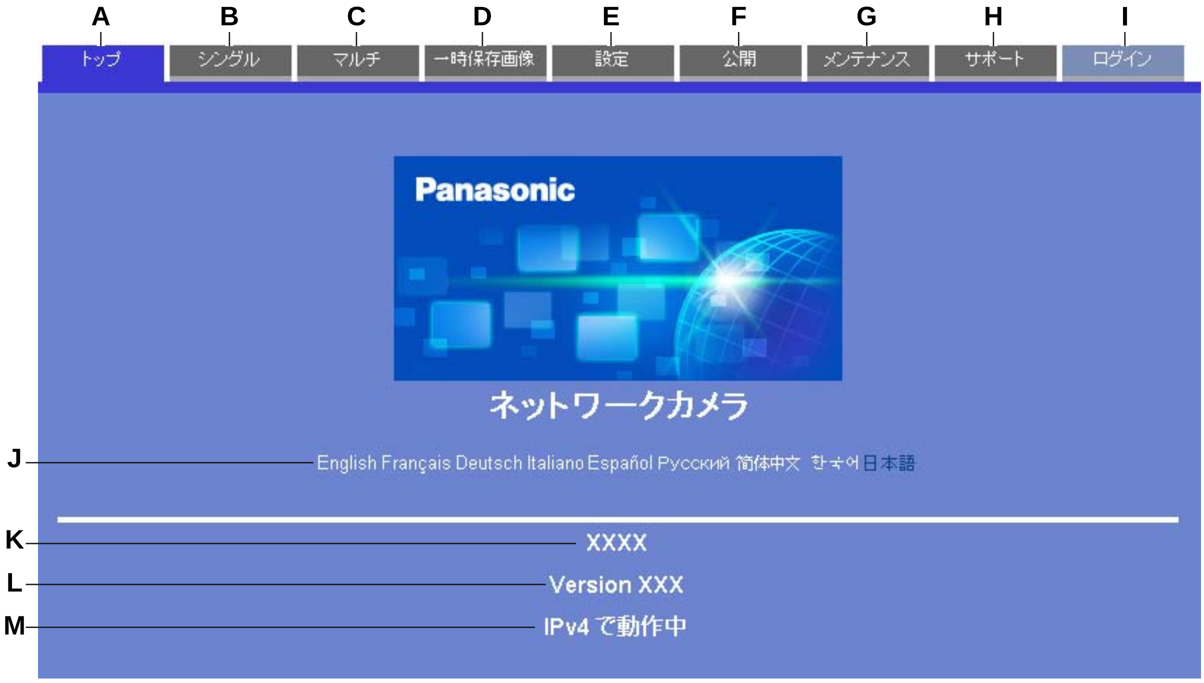
3 認証画面で、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力して、 [OK]をクリックする

- トップ画面が表示されます。

お知らせ

- 管理者の設定画面で［未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)］にしている場合は、トップ画面に[ログイン] タブが表示されます。
管理者／一般ユーザーでログインするには、[ログイン] タブをクリックして表示されるログイン画面から管理者／一般ユーザーでログインしなおしてください。(→ 178 ページ)

4 トップ画面が表示されたら、見たいページのタブをクリックする (カメラの設定により、表示されないタブがあります)



A. トップ画面を表示します。

B. アドレスバーに入力したIPアドレス／URLのカメラ画像（1台）を表示します。(→ 12 ページ)

C. 複数のカメラが登録されている場合に、各カメラの画像を一覧表示します。(→ 63 ページ)

D. カメラの内部メモリーまたはSDメモリーカード（別売品）に、一時的に保存したカメラ画像を表示します。(→ 95 ページ)

E. ネットワーク接続、ユーザー管理、カメラの動作などについて設定します。

F. カメラ画像をインターネットに公開して、外部からアクセスできるようにします。(→ 120 ページ)

G. カメラの動作状況や設定内容、ファームウェアなどを管理します。(→ 199 ページ)

H. シングル／マルチ画面などの操作説明、製品情報やサポート情報を確認します。(→ 214 ページ)

I. 管理者の設定画面で［未登録ユーザーを許可］にしている場合に表示され、管理者または一般ユーザーとしてログインします*1。(→ 178 ページ)

J. 画面に表示される表示言語を切り替えます。

K. カメラの品番を表示します。

L. ファームウェアのバージョンを表示します。

M. [IPv4] または [IPv6] のいずれかで動作していることを表示します。

---

*1 管理者の設定画面で［未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)］に設定している場合に表示されます。

1.2 カメラ画像を見る

お願い

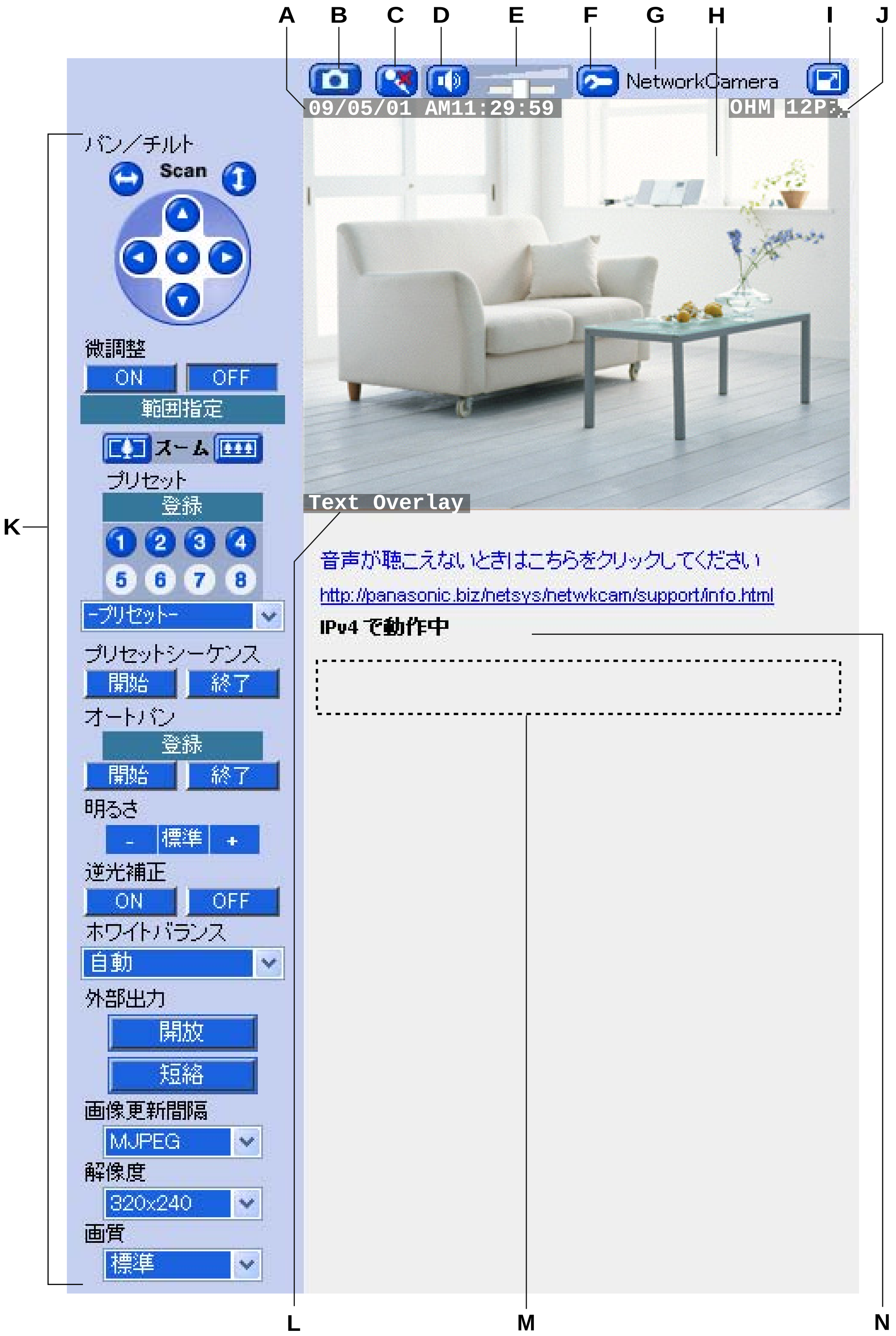
- カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーも含む)、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
  ※ 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

1 パソコンからカメラにアクセスする (→ 10 ページ)

2 トップ画面の［シングル］タブをクリックする

- 動画表示および音声機能を使うには、H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveX®コントロール）をインストールする必要があります。 18 ページ 、 19 ページ 、 20 ページの手順に従ってH.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールしてください。
- セキュリティ警告画面が表示されたときは、18 ページ 、 19 ページ 、 20 ページを参照してください。
- カメラ画像が表示されない場合やActiveXのメッセージが画面の上に表示された場合は、25 ページを参照してください。

シングル画面表示 (MJPEG／JPEG)



A. 日付・時刻表示 （→ 179 ページ）

B. スナップショットボタン （→ 50 ページ）

C. 送話ボタン（パソコンのマイク音声をカメラの外部接続スピーカーから聞くことができます。（→ 51 ページ））

D. 受話ボタン（カメラのマイク音声をパソコンのスピーカーから聞くことができます。（→ 51 ページ））

E. 受話音量調整バー （→ 51 ページ）

F. ActiveX設定ボタン
検知音（→ 57 ページ）、画像表示方法（→ 59 ページ）、ソフトウェアカラーナイトビューモード（→ 54 ページ）の設定をします。

G. カメラ名（→ 179 ページ）

H. カメラ画像（画像を表示しているときに、マウスクリックした位置を画面の中央に移動させるクリック＆センタリング機能（→ 30 ページ）、 またはマウスを使ってカメラ画像を拡大するズーム機能（ → 49 ページ）が使えます。）

I. カメラ画像最大化ボタン（カメラ画像を最大表示します。最大表示画面で、最小化ボタン（）をクリックすると、元の表示サイズに戻ります。）

J. 状態表示[*1]（→ 179 ページ）

K. 操作バー （→ 27 ページ）

L. テキスト表示（→ 179 ページ）

M. バナー表示領域（→ 179 ページ）

N. [IPv4]または[IPv6]のいずれかで動作していることを表示します。

[*1] 解像度が192 × 144ドットの場合は表示されません。

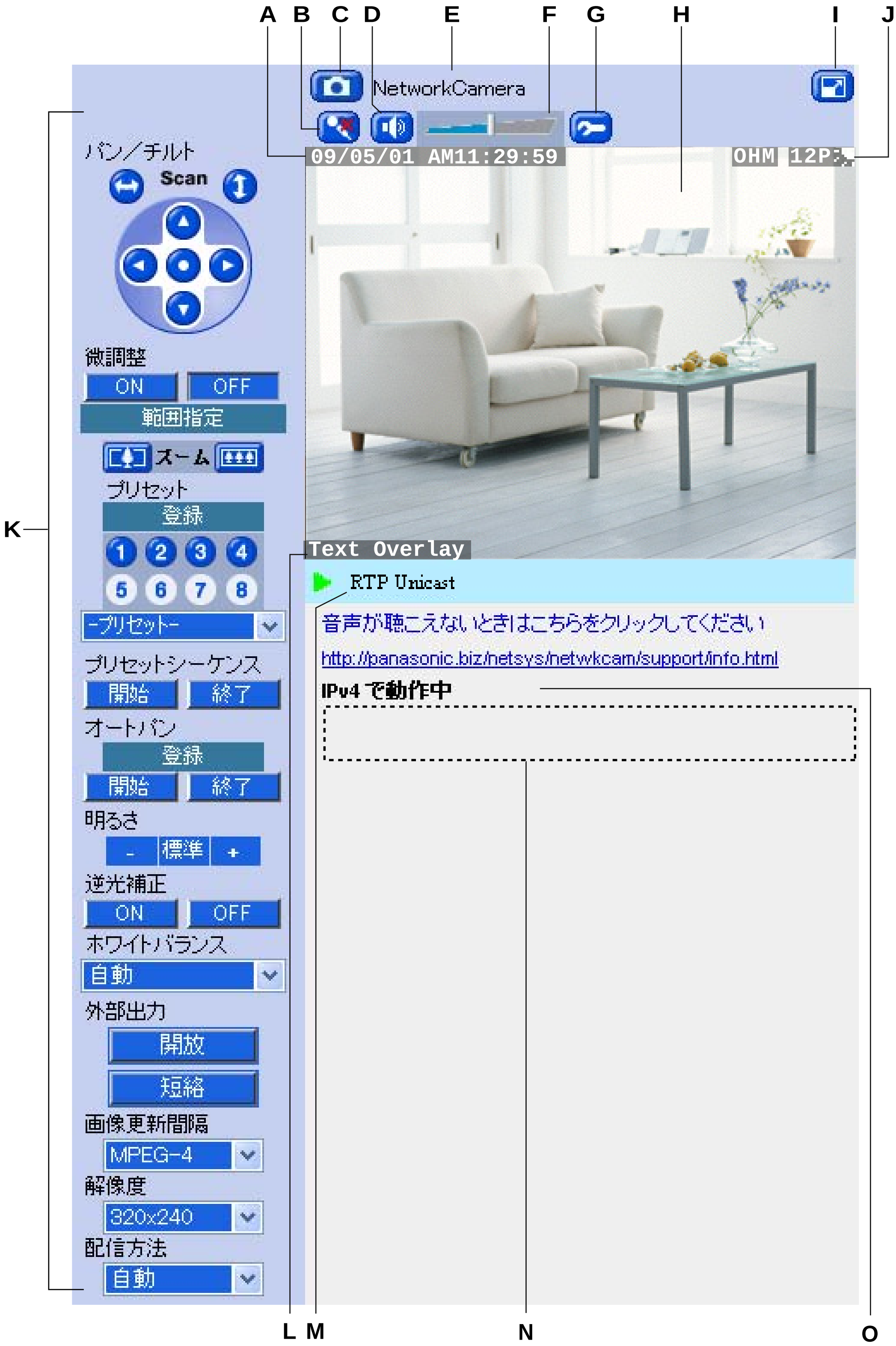
シングル画面表示 (H.264／MPEG-4)

H.264画像またはMPEG-4画像は、シングル画面操作バーの［画像更新間隔］で［H.264］または［MPEG-4］を選択すると表示されます。

お知らせ

- 最初は［画像更新間隔］にH.264は表示されません。設定の映像配信画面（→ 163 ページ）の［配信フォーマット設定］でH.264を設定してください。
- 初めて［画像更新間隔］で [H.264] または [MPEG-4] を選択した場合、［ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書］画面が表示されます。内容をよくご確認のうえ［同意する］を選択して、

［OK］をクリックしてください。そして H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールします。(→ 18 ページ、19 ページ、20 ページ)



A. 日付・時刻表示 (→ 179 ページ)

B. 送話ボタン（パソコンのマイク音声をカメラの外部接続スピーカーから聞くことができます。(→ 51 ページ)）

C. スナップショットボタン[*1](→ 50 ページ)

D. 受話ボタン（カメラのマイク音声をパソコンのスピーカーから聞くことができます。(→ 51 ページ)）

E. カメラ名(→ 179 ページ)

F. 受話音量調整バー (→ 51 ページ)

G. ActiveX設定ボタン
画像表示方法（→ 59 ページ)、ソフトウェアカラーナイトビューモード（→ 54 ページ）の設定をします。

H. カメラ画像を表示しているときに、マウスクリックした位置を画面の中央に移動させるクリック＆センタリング機能(→ 30 ページ)、 またはマウスを使ってカメラ画像を拡大するズーム機能 （ → 49 ページ）が使えます。

I. カメラ画像最大化ボタン（カメラ画像を最大表示します。最大表示画面で、最小化ボタン（ ）をクリックすると、元の表示サイズに戻ります。）

J. 状態表示[*2] (→ 179 ページ)

K. 操作バー (→ 27 ページ)

L. テキスト表示(→ 179 ページ)

M. H.264／MPEG-4配信方法(→ 45 ページ)

N. バナー表示領域(→ 179 ページ)

O. [IPv4]または[IPv6]のいずれかで動作していることを表示します。

[*1] 解像度が1280 × 960ドットの場合は表示されません。
[*2] 解像度が192 × 144ドットの場合は表示されません。

お知らせ

- 最大画像サイズや配信フォーマットの設定値によりカメラ画像に表示されるボタンは異なります。
- ［画像更新間隔］、［解像度］に表示される項目は、映像配信画面（→ 163 ページ）の［最大画像サイズ設定］と［配信フォーマット設定］の設定値により異なります。(→ 246 ページ)
- ウェブブラウザのお気に入りに、シングル画面を追加すると、直接シングル画面を表示できます。
- ソフトウェアカラーナイトビューモード（→ 54 ページ)、4画素加算（→ 163 ページ)、カラーナイトビューモード(→ 159 ページ)を有効にすると、撮影環境が暗くてもカメラ画像を明るく表示できます。
- ウェブブラウザのポップアップブロッカーを有効にしている場合は、H.264／MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールできません。ポップアップブロッカーを一時的に無効に設定してください。
- パソコンと同じネットワーク内のカメラにアクセスする場合は、プロキシサーバーを経由しないようにウェブブラウザを設定してください。(→ 224 ページ)
- 「カメラに同時に接続（録画も含める）できる最大接続数は最大画像サイズ設定と配信フォーマット設定により異なります。(→ 67 ページ)
  なお、最大接続数は映像配信画面で変更できます。(→ 163 ページ)
- H.264とMPEG-4を同時に配信することはできません。
- 一般ユーザーを登録している場合は、一般ユーザー設定画面の［動画表示時間］で、短い時間を選択するか［表示しない］を選択すると、ネットワーク上のデータ通信量を減らすことができます。(→ 171 ページ)

- プロバイダーによっては、インターネットへ送信する通信のデータ転送量（上り）を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 古いカメラ画像が表示されるなどの現象が起こる場合は、ウェブブラウザの[インターネット一時ファイル] 設定を変更してください。(→ 228 ページ)
- CPUの負荷が高い場合や、極端にフレームレートが落ちる場合には、画像表示方法の設定を変更すると改善する場合があります。(→ 59 ページ)

Internet Explorer 6でセキュリティ警告画面が表示された場合

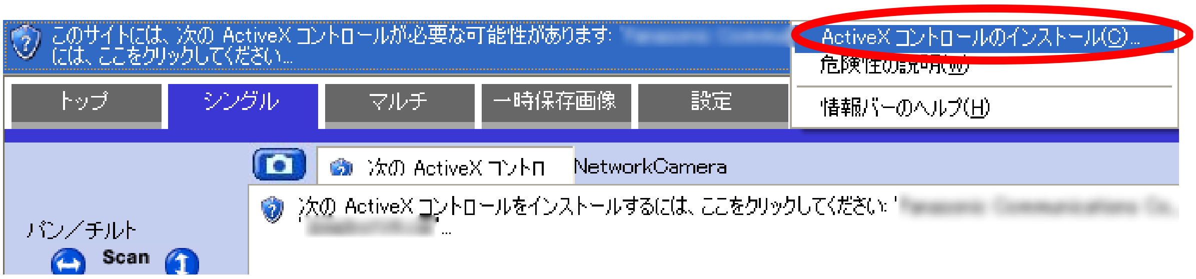
動画表示および音声機能を使うには、H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールする必要があります。以下の手順に従ってH.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールしてください。

お知らせ

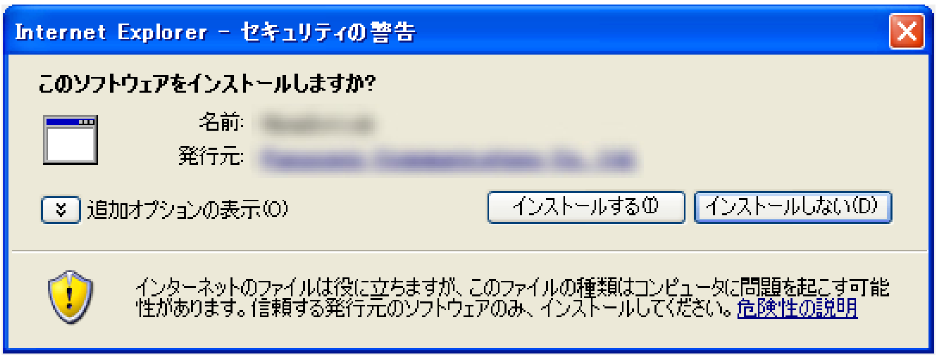
- ActiveX コントロールがインストールできない場合は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)からダウンロードしてください。

MJPEGの場合

1. タブ上の警告部分をクリックして、[ActiveX コントロールのインストール...]をクリックする



2. [インストールする]をクリックする



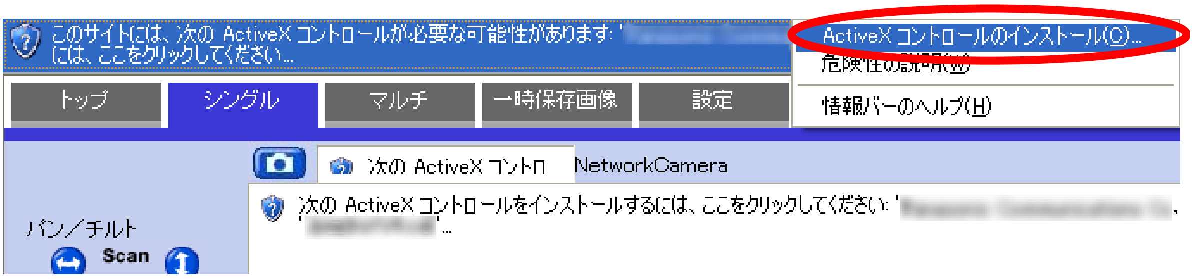
H.264／MPEG-4の場合

1 タブ上の警告部分をクリックして、[ポップアップを一時的に許可]をクリックする

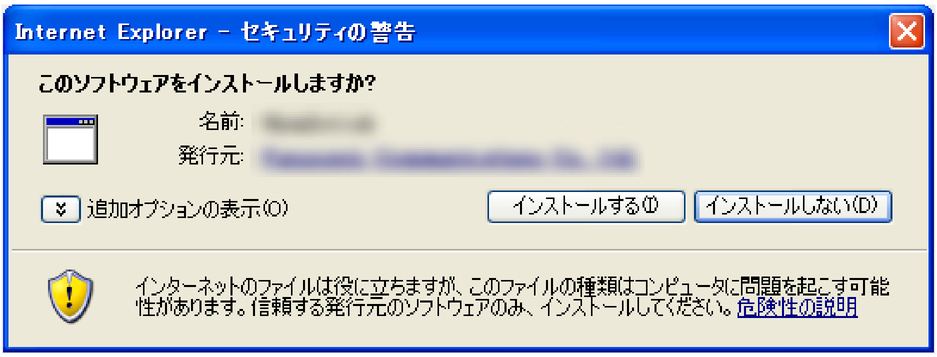


2 [ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書］画面が表示されたら、内容をよくご確認のうえ、[同意する]を選択して [OK]をクリックする

3 タブ上の警告部分をクリックして、[ActiveX コントロールのインストール...]をクリックする



4 [インストールする]をクリックする



Internet Explorer 7でセキュリティ警告画面が表示された場合

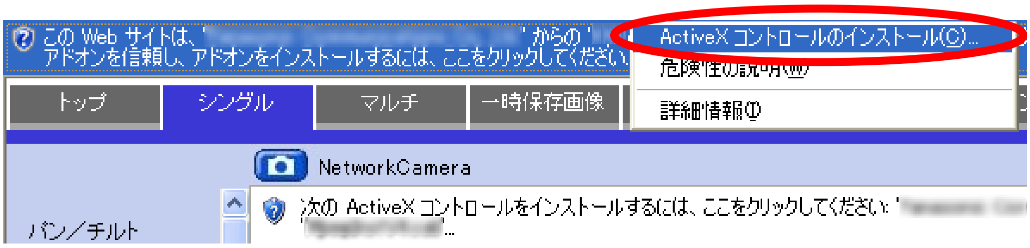
動画を表示するには、H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールする必要があります。以下の手順に従ってH.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールしてください。

お知らせ

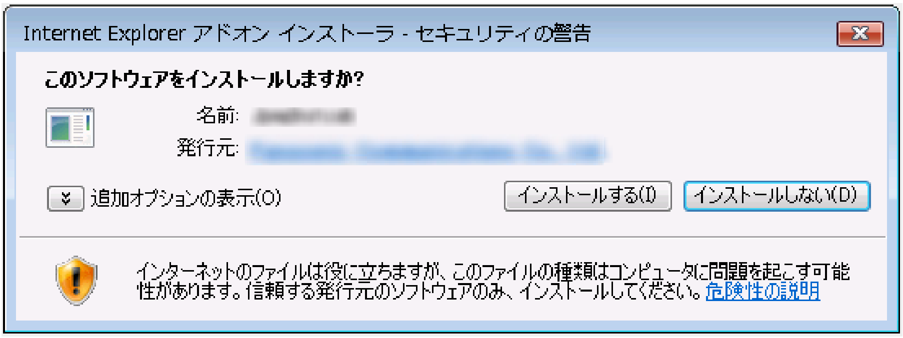
- ActiveX コントロールがインストール出来ない場合は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)からダウンロードしてください。

MJPEGの場合

1. タブ上の警告部分をクリックして、[ActiveX コントロールのインストール...]をクリックする



2. [インストールする]をクリックする



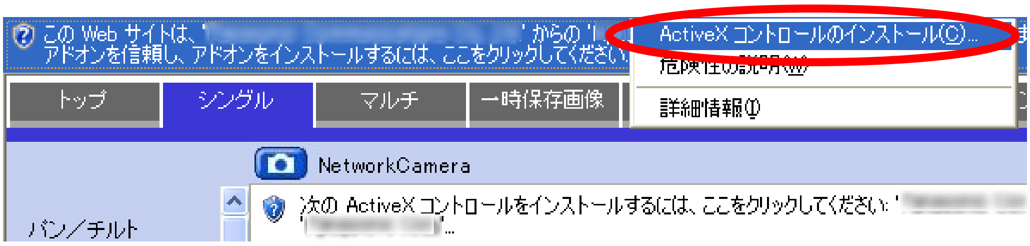
H.264／MPEG-4の場合

1. タブ上の警告部分をクリックして、[ポップアップを一時的に許可]をクリックする

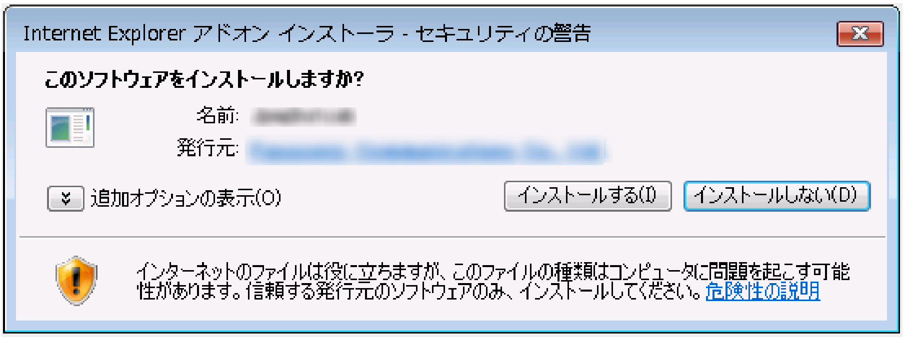


2. [ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書］画面が表示されたら、内容をよくご確認のうえ、[同意する]を選択して [OK]をクリックする

3. タブ上の警告部分をクリックして、[ActiveX コントロールのインストール...]をクリックする



4. [インストールする]をクリックする



Internet Explorer 8でセキュリティ警告画面が表示された場合

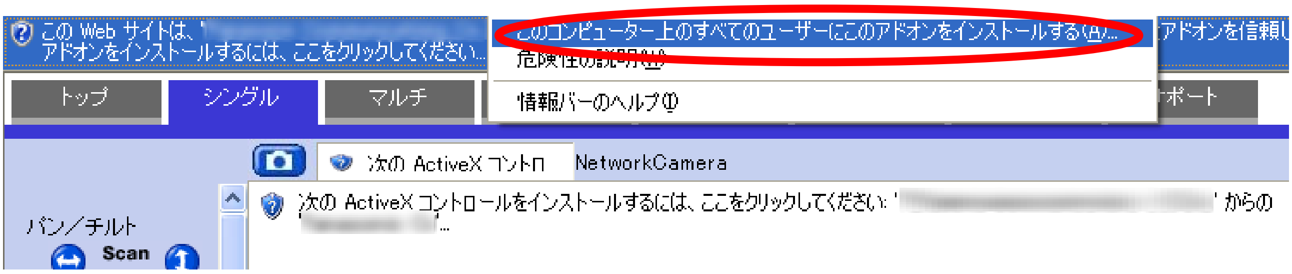
動画を表示するには、H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールする必要があります。以下の手順に従ってH.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールしてください。

お知らせ

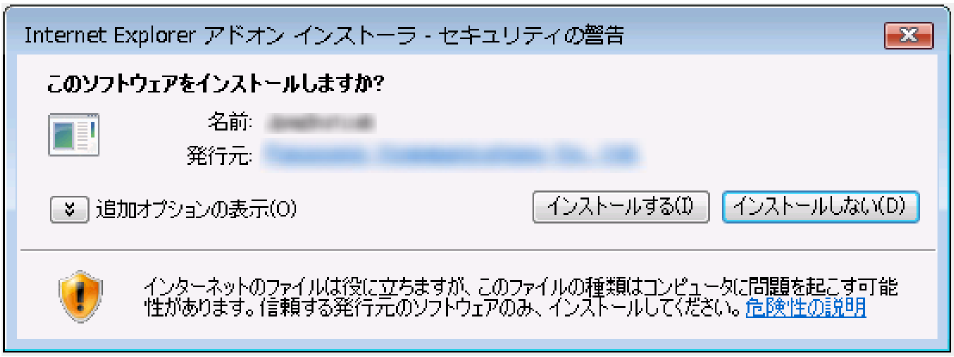
- ActiveX コントロールがインストール出来ない場合は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)からダウンロードしてください。

MJPEGの場合

1. タブ上の警告部分をクリックして、[このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする...]をクリックする



2. [インストールする]をクリックする

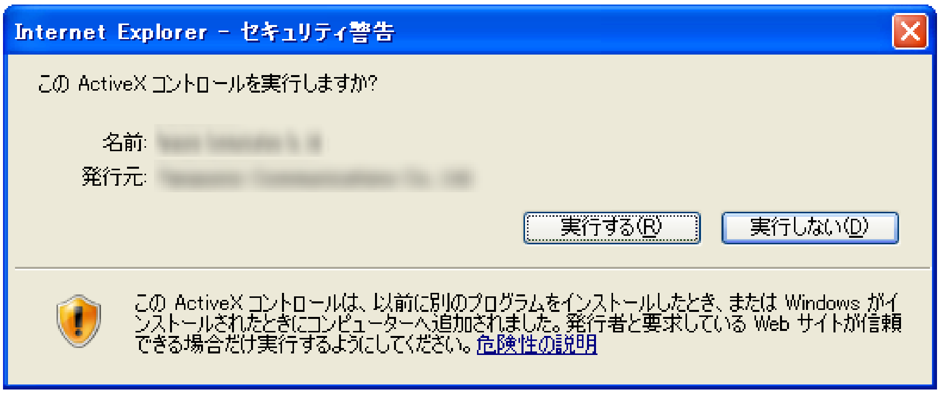


お知らせ

- MJPEGビューアープログラム(ActiveXコントロール）の音声（pmjpegaudioV4.ocx)の実行の許可確認メッセージが表示された場合には、以下の手順で許可してください。
  1. タブ上の警告部分をクリックして、[すべてのWebサイトでアドオンを実行する]をクリックする



2. [実行する]をクリックする

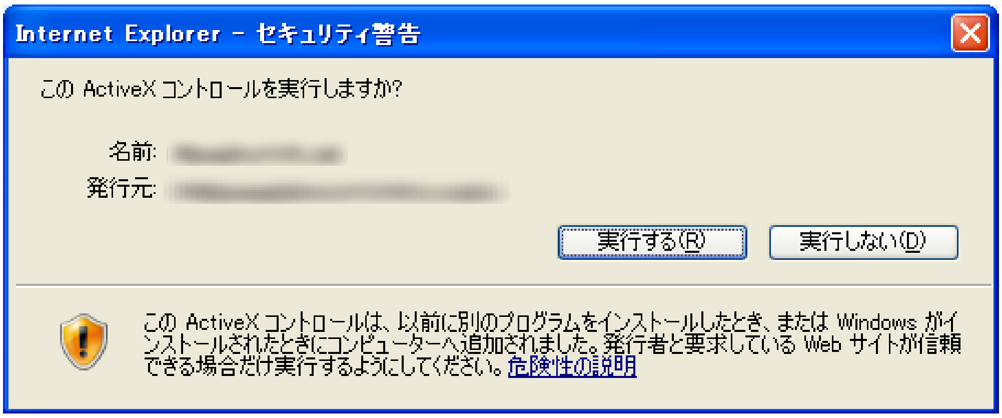


- MJPEGビューアープログラム(ActiveXコントロール）の画像（pmjpegcamV4.ocx)の実行の許可確認メッセージが表示された場合には、以下の手順で許可してください。

1. タブ上の警告部分をクリックして、[すべてのWebサイトでアドオンを実行する]をクリックする

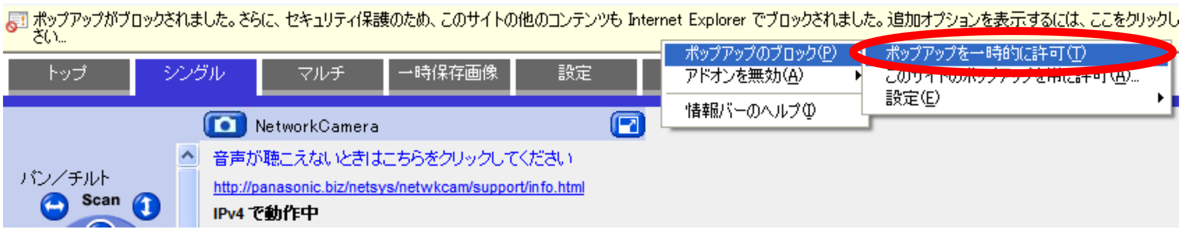


2. [実行する]をクリックする



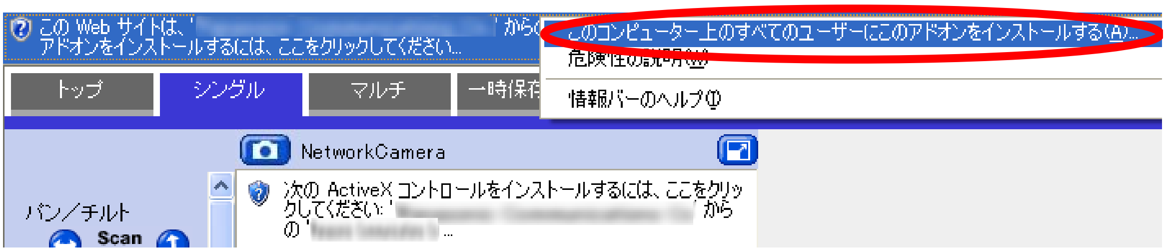
H.264／MPEG-4の場合

1. タブ上の警告部分をクリックして、[ポップアップブロック]の[ポップアップを一時的に許可]をクリックする

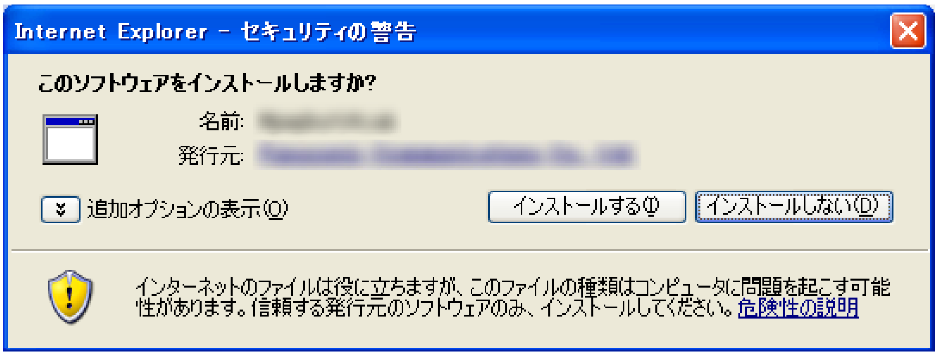


2. ［ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書］画面が表示されたら、内容をよくご確認のうえ、[同意する]を選択して [OK]をクリックする

3. タブ上の警告部分をクリックして、[このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする...]をクリックする



4. [インストールする]をクリックする

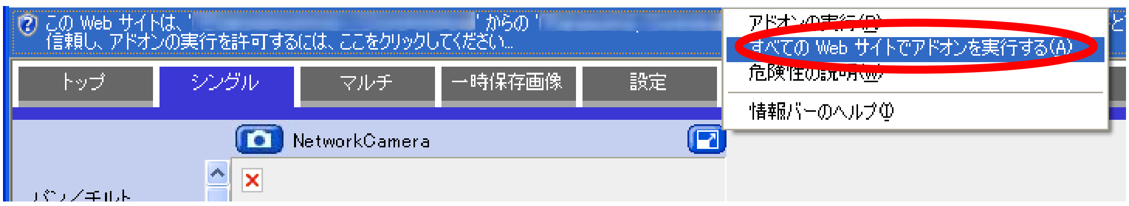


お知らせ

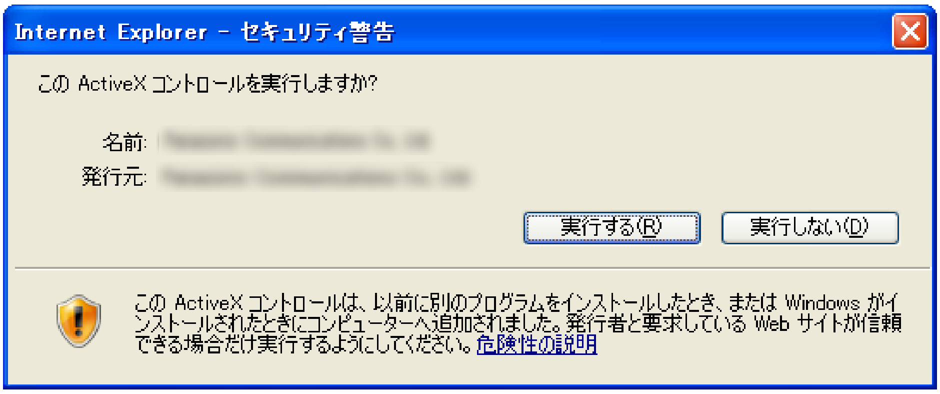
- MPEG-4ビューアープログラム(ActiveXコントロール)のMPEG-4 Player Module for V4の実行の許可確認メッセージが表示された場合には、以下の手順で許可してください。
  1. タブ上の警告部分をクリックして、[ポップアップブロック]の[ポップアップを一時的に許可]をクリックする



  2. タブ上の警告部分をクリックして、[すべてのWebサイトでアドオンを実行する]をクリックする

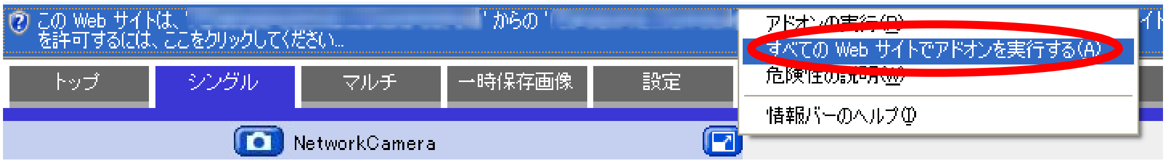


3. [実行する]をクリックする

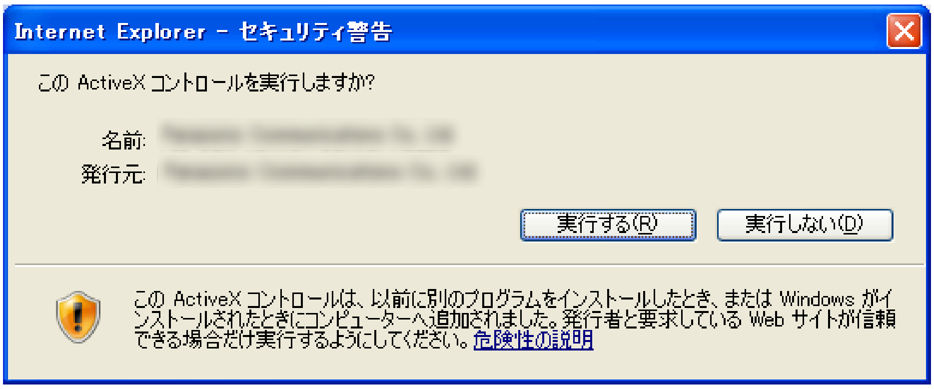


- H.264ビューアープログラム(ActiveXコントロール）のPcc Cam ActiveX Control Moduleの許可確認メッセージが表示された場合には、以下の手順で許可してください。

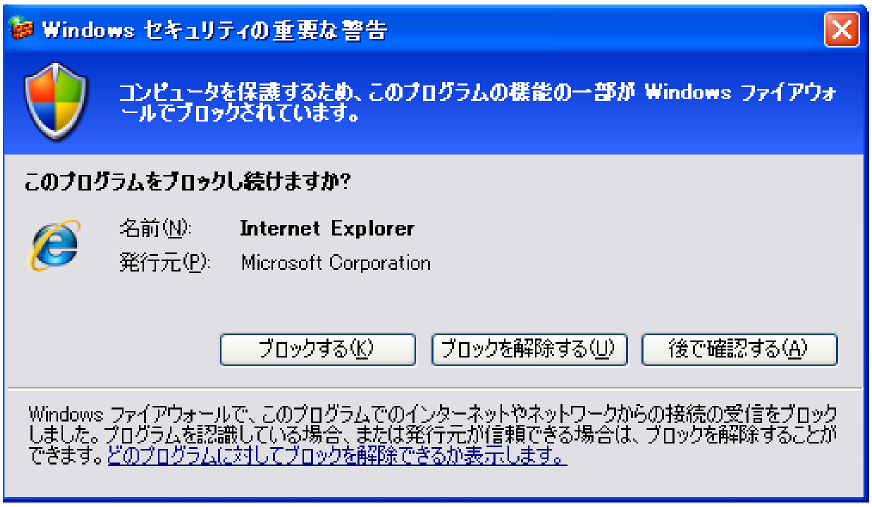
1. タブ上の警告部分をクリックして、[すべてのWebサイトでアドオンを実行する]をクリックする



2. [実行する]をクリックする



- このプログラムをブロックする確認のセキュリティ警告が表示された場合には、[ブロックを解除する]をクリックする。



ActiveXコントロールがインストールできない場合、または Internet Explorerで動画(H.264／MPEG-4／MJPEG)が見れない場合

Internet Explorerを次のように設定してください。

1 [ツール]→[インターネットオプション...]→[セキュリティ] タブをクリックして、ブラウザの[レベルのカスタマイズ...] をクリックする

2 [署名済みActiveXコントロールのダウンロード]を[ダイアログを表示する]に変更する

3 [ActiveX コントロールとプラグインの実行]を[有効にする]に変更する

ActiveXコントロールをインストールする場合は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) から最新のActiveXコントロールをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。または、CD-ROM（添付品）を使用してインストールしてください。

パナソニックのサポートウェブサイトから最新のActiveXコントロールをダウンロードしてインストールする場合

1 パナソニックのサポートウェブサイト からActiveXコントロールをダウンロードする

2 Internet Explorerが終了していることを確認する

3 パナソニックのサポートウェブサイト の手順に従ってActiveXコントロールをインストールする

CD-ROM（添付品）からActiveXコントロールをインストールする場合

1 Internet Explorerが終了していることを確認する

2 CD-ROM（添付品）をパソコンのCD-ROMドライブに入れる

3 **Windows 7(32 ビット)/Windows Vista®の場合**
CD-ROM内の[ocx]－ [H.264] 、[MPEG-4] または [MJPEG] フォルダの順にダブルクリックして開き、[install.bat]ファイルをダブルクリックして、ActiveXコントロールをインストールする
Windows 7(64 ビット)の場合

CD-ROM内の[ocx]－ [H.264] 、[MPEG-4] または [MJPEG] フォルダの順にダブルクリックして開き、[install64.bat]ファイルをダブルクリックして、ActiveXコントロールをインストールする

お知らせ

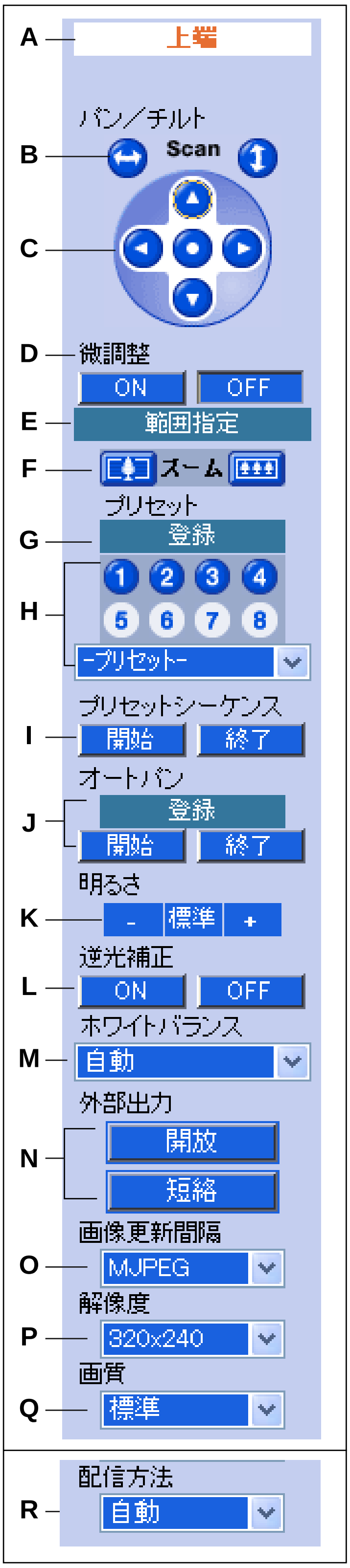
- Windows 7、Windows Vistaの場合は、Administrator（管理者権限を持つユーザー）でパソコンにログオンしていなければなりません。詳しくは、CD-ROMの[ocx] -[H.264] 、 [MPEG-4] または [MJPEG]フォルダにある[ReadmeJp.txt]を参照してください。
- CD-ROM（添付品）からActiveXコントロールをインストールしても、画像が表示されない場合は、パナソニックのサポートウェブサイトから最新のActiveXコントロールをダウンロードしてインストールしてください。
- ネットワーク環境によっては、カメラ画像がすぐに表示されない、または音声がすぐには聴こえない場合があります。しばらくお待ちください。
- パソコンと同じネットワーク内のカメラにアクセスする場合は、プロキシサーバーを経由しないようにウェブブラウザを設定してください。（→ 224 ページ）
- ウェブブラウザのポップアップブロッカーを有効にしている場合は、H.264／MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールできません。ポップアップブロッカーを一時的に無効に設定してください。

1.2.1 操作バーについて

操作バーは、シングルカメラ画面の左側に表示されます。

お知らせ

- 最大画像サイズや配信フォーマットの設定値により表示されるボタンは異なります。
- 一般ユーザーや未登録ユーザー用の操作バーでは、機能が制限されている操作ボタンは表示されません。(→ 171 ページ、174 ページ)



A. **カメラ動作の終端／プリセット名表示:** パン（左右）／チルト（上下）範囲の終端位置へカメラの向きを変えたときに、それぞれの終端であることを表示します ([左端]、[右端]、[上端]、[下端])。また、プリセット操作をしたときに、プリセット名を表示します(→ 36 ページ) 。 ([ホームポジション]は除く。)
ユーザーの機能許可設定で機能が制限されているときは、[禁止]と表示されます。

B. **パンスキャン／チルトスキャンボタン:** 水平方向（左右）または垂直方向（上下）全域移動後、現在の表示位置に戻ります。(→ 31 ページ)

C. **パン／チルト／ホームポジションボタン:** カメラの向きを上下左右に変えることができます。中央のボタンでカメラの向きをホームポジションに戻します。(→ 32 ページ)

D. **微調整ボタン:** パンチルトの微調整が可能になります。(→ 32 ページ)

E. **範囲指定ボタン（管理者のみ）:** カメラの向きを変えられる動作範囲を設定します。(→ 34 ページ)

F. **ズームボタン:** カメラのズーム機能(2倍Exズームと3倍デジタルズーム)を使用します。(→ 47 ページ)
操作バーの上部に[終端]と表示されたときは、それ以上ズーム操作はできません。

G. **プリセット登録ボタン（管理者のみ）:** カメラの向きをプリセットに登録したり、登録したプリセットを変更・削除したりします。20個までのプリセットを登録できます。(→ 36 ページ)

H. **プリセット選択ボタンとメニュー:** プリセットされたカメラポジションにカメラの向きを変えます。(→ 36 ページ)
アラーム検知、動作検知、音検知、ショック検知したときも、ここで登録したカメラの向き（プリセット）でカメラ画像を表示できます。①から⑧までのプリセットボタンをクリックするか、プルダウンメニューからプリセットを選んで、プリセットされたカメラの向きでカメラ画像を表示します。

I. **プリセットシーケンスボタン:** プリセットに登録されている場所を定期的に巡回します。(→ 39 ページ、191 ページ)

J. **オートパンボタン:** 登録している開始位置から終了位置までパンスキャンを繰り返します。(→ 40 ページ)

K. **明るさボタン:** カメラ画像の明るさを9段階（標準を含む）で調整します。[-]ボタン を押すと暗く、[+] ボタンを押すと明るくなります。[標準] ボタンをクリックすると、標準の明るさに戻ります。
(→ 43 ページ)

L. **逆光補正ボタン:** 逆光時における画面の暗部を補正し、適切な明るさで表示します。(→ 53 ページ)

M. **ホワイトバランス選択:** 撮影環境や照明などの光源に合わせて、ホワイトバランスを変更します。ホワイトバランスを変更すると、自然な色合いでカメラ画像を表示できます。(→ 43 ページ)

N. **外部出力ボタン:** カメラに接続した外部機器を遠隔で制御します。(例：ライトの点灯／消灯など）また、ボタンの名称やカメラ起動時の初期状態を設定できます。(→ 188 ページ)

O. **画像更新間隔選択:** 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）と静止画（JPEG）を切り替えます。静止画（JPEG）の場合は、カメラ画像の更新間隔（3秒／5秒／10秒／30秒／60秒）を選択します。
(→ 44 ページ)

P. **解像度選択:** カメラ画像の解像度を変更します。ドット表示されている画像のサイズで選択します。

Q. **画質選択（MJPEGまたはJPEG選択時）:** カメラ画像の画質を変更します。([画像更新間隔]で[H.264] または[MPEG-4] を選択しているときは表示されません。）カメラ画像の画質を優先する場合は、[画質優先]を、カメラ画像の動きを優先する場合は、[動き優先]を選択してください。[標準] は標準の画質です。

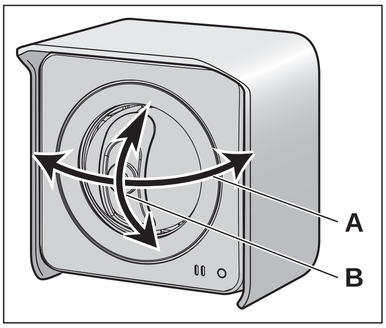
R. **配信方法選択（H.264またはMPEG-4選択時）:** 動画（H.264またはMPEG-4）の配信方法を変更します。([画像更新間隔]で[H.264] または[MPEG-4] を選択しているときのみ表示されます。）
(→ 44 ページ)
［Multicast］は、映像配信設定画面で［マルチキャスト］を［使用する］に設定しないと使用できません。(→ 163 ページ)

<u>お知らせ</u>

- カメラの向きは電源を入れたときにホームポジションに戻ります。ホームポジションは変更することができます。 (→ 36 ページ)

1.2.2 カメラの向きを変える

カメラの向きは、中心から -52° ～ +52 ° の範囲で水平方向（パン）に、中心から-45 ° ～+8 ° の範囲で垂直方向（チルト）に変えることができます。 [範囲指定] で、カメラのパン／チルト動作範囲の角度を設定すると、設定された角度の範囲のみでカメラの向きが変わります。 (→ 34 ページ)



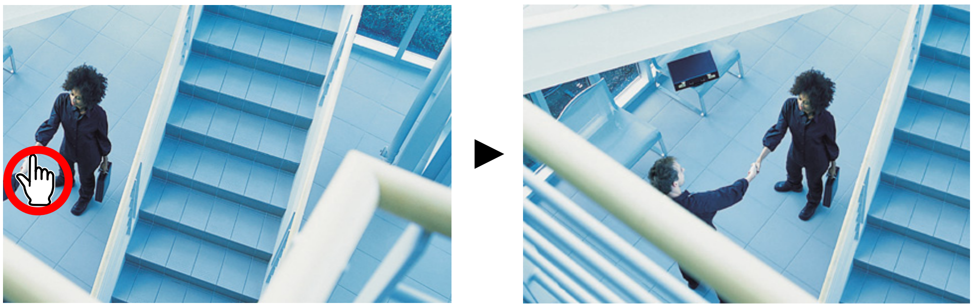
A. パン: -52 ° ～+52 °

B. チルト: -45 ° ～+8 °

カメラの向きを変える方法は以下のように何通りかあります。

マウスクリックした位置を画面の中央に移動させる（クリック＆センタリング）

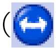
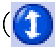
中央に表示したい被写体をカメラ画像上でクリックするだけで、その被写体をカメラ画像の中央に表示できます。この機能は、シングル画面／マルチ画面のどちらでも使えます。見たいところにカーソルを移動してクリックするだけで、カメラの向きが変わり、カーソルを移動してクリックした位置が画面の中央に表示されます。

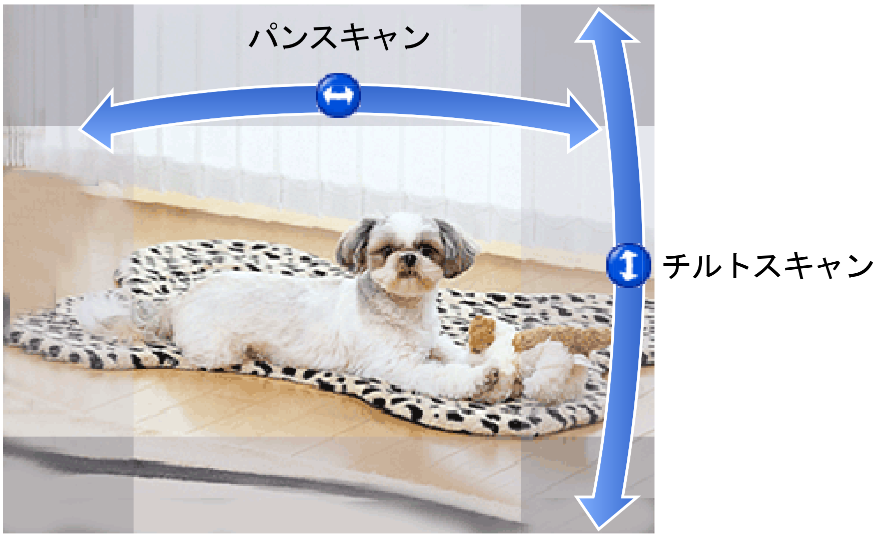


お知らせ

- 操作バーの上側に終端表示が表示された場合は、それ以上カメラの向きを変えることはできません。
- クリックの位置によっては、クリックした位置が画面の中心から多少ずれる場合があります。
- クリック＆センタリングが許可されていない一般ユーザー(→ 171 ページ)と未登録ユーザー(→ 174 ページ)は、この機能を使えません。
- 機能の制限によりクリック＆センタリングを禁止している場合でも、ActiveXデジタルズーム時はクリック＆センタリング機能が動作します。

カメラの撮影範囲をスキャンする（パンスキャン／チルトスキャン）

シングル画面の操作バーのパンスキャンボタン（）または、チルトスキャンボタン（）で、パン（水平方向）／チルト（垂直方向）のすべての表示領域を移動表示できます。パンスキャン／チルトスキャン中に停止したい場合は、画像をマウスでクリックすると停止することができます。

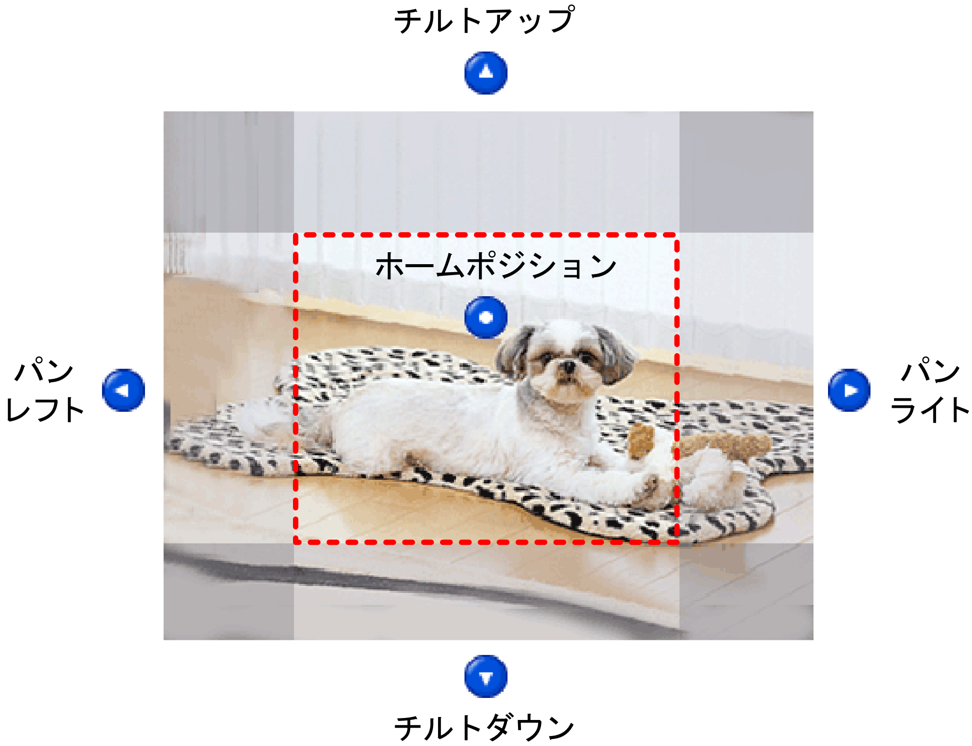


- パンまたはチルトの全域を移動表示したあと、現在の位置に戻ります。

パン／チルト操作が許可されていない一般ユーザー(→ 171 ページ)と未登録ユーザー(→ 174 ページ)は、この機能を使えません。

カメラの向きを上下左右に変える（パン／チルト／ホームポジション）

シングル画面の操作バーのパン：水平方向ボタン（／）または、チルト：垂直方向ボタン（／）で水平／垂直方向にカメラの向きを変えられます。また、ホームポジションボタン（）をクリックすると、電源を入れたときの向き（ホームポジション）にカメラの向きが変わります。



- ボタンをクリックすると、一定の角度でカメラの向きが変わります。
- カメラは、電源を入れたとき、ホームポジションに向きが変わります。 ホームポジションは、登録することで変更できます。 (→ 36 ページ)

パン／チルト操作が許可されていない一般ユーザー(→ 171 ページ)と未登録ユーザー(→ 174 ページ)は、この機能を使えません。

カメラの向きを微調整する

微調整のONボタン（ON）を押すと、以降は／／／で最小幅のパンチルトを行い微調整が可能となります。微調整のOFFボタン（OFF）で通常のパンチルト動作に戻ります。



お知らせ

- 微調整のON／OFFは接続ごとに状態を保持します。
  切り替えても他の人の操作に影響することはありません。

プリセットを選択してカメラの向きを変える

あらかじめ登録されているプリセット（カメラの向き）を選択して、カメラの向きを変更できます。プリセットは、最大20個まで登録できます。(→ 36 ページ)

- プリセットボタン①～⑧をクリックするか、プルダウンメニューからプリセットを選んでカメラの向きを変えます。
- ホームポジションボタン（　）をクリックすると、ホームポジションにカメラの向きが変わります。

プリセット操作が許可されていない一般ユーザー(→ 171 ページ)と未登録ユーザー(→ 174 ページ)は、この機能を使えません。

1.2.3 カメラのパン／チルト動作範囲を設定する

カメラのパン／チルト動作範囲を設定します。動作範囲を設定することで、見られたくない場所へのパン／チルト操作を制限できます。

お知らせ

- 範囲指定の操作ボタンは、管理者でログインしたときのみ表示されます。
- 動作範囲を変更すると、登録されているプリセットのパン／チルト動作も、動作範囲内に制限されます。

1 操作バーの [範囲指定] ボタンをクリックする

- 動作範囲の操作画面と、現在の動作範囲の角度が表示されます。



2 終端にしたいポジションにカメラの向きを変えて、それぞれの終端指定ボタンをクリックする

a. 左端にしたいカメラポジションに変えて、左端指定ボタン（　）をクリックします。

b. 右端にしたいカメラポジションに変えて、右端指定ボタン（　）をクリックします。

c. 上端にしたいカメラポジションに変えて、上端指定ボタン（　）をクリックします。

d. 下端にしたいカメラポジションに変えて、下端指定ボタン（）をクリックします。



3 [保存]をクリックする

お知らせ

- 範囲が変更されている場合でも、この画面では全範囲にカメラの向きを動かすことができます。
- [範囲指定] ボタンをクリックすると、カメラ画像の画像更新間隔はMJPEGになります。また、シングル画面に戻っても、MJPEGに画像更新間隔は変更されます。
- カメラの向きを変えるには、パン／チルト／ホームポジションボタンをクリックする（→ 32 ページ）か、クリック＆センタリング機能（→ 30 ページ）が使えます。
- [範囲指定] は、拡大表示（ズーム）していない画面上で行ってください。
  拡大表示（ズーム）している画面上で[範囲指定] を設定しても、表示サイズを戻すと（× 1表示）範囲指定外の場所が表示されます。

お願い

- 設定を誤ると、意図しないカメラ画像まで見られるおそれがあります。設定したあとは必ずパン／チルト動作範囲を行って画像を確認してください。

1.2.4 見たいカメラポジションを登録する（プリセット）

カメラの向きを登録（プリセット）すると、表示することの多いカメラポジションを操作バーのプリセットボタンをクリックするだけで表示できます。登録したカメラポジションは、プリセットボタンのほかプリセットリストからも選択できます。
検知 (アラーム検知／動作検知／音検知／ショック検知)したときも、ここで登録したカメラの向きでカメラ画像が表示されます。工場出荷値では、ホームポジション（電源を入れたときの向き）のほか、アラームポジション、左上／左下／右上／右下がプリセットされています。
プリセットに登録した場所を定期的に巡回して見ることもできます（→ 191 ページ)。

お知らせ

- プリセットの登録／削除は、管理者でログインしなければできません。
- プリセットには、カメラポジションのほかに、明るさ、ホワイトバランス、逆光補正、カメラのズーム倍率も登録されます。
- ズームした位置にプリセット移動した場合、プリセットした位置からずれることがあります。

プリセットされたカメラポジションの画像を見る

あらかじめ登録されているプリセット（カメラの向き）を選択して、カメラの向きを変更できます。検知(アラーム検知／動作検知／音検知／ショック検知)したときも、指定したプリセットに移動することができます。
以下の操作のいずれかで、プリセットされたカメラポジションの画像を見ることができます。

- ホームポジションボタン（ ）をクリックします。ホームポジションにカメラの向きが変わります。
- [-プリセット-] をクリックしてプルダウンメニューからプリセットを選択します。
- 青のプリセットボタン①～⑧をクリックします。（登録されていないプリセットのボタンは白になっています。）

お知らせ

- 工場出荷値で登録されているプリセットやホームポジション、アラームポジションは、任意のカメラポジションに変更できます。

プリセットを登録／変更する

お知らせ

- この機能は、管理者でカメラにログインしなければ使えません。

1 カメラに管理者でログインしていることを確認する

2 [登録]をクリックする



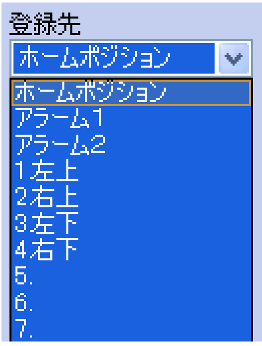
3 カメラのポジションを決める

4 必要な場合は、明るさ、逆光補正、ホワイトバランスを登録／変更したい状態に調整する

- カメラのズーム機能(Exズームとデジタルズーム)を使用している場合は、ズームの倍率も登録されます。

5 [登録先]のプルダウンメニューから、登録／変更するポジションやプリセット番号を選択する

- 工場出荷値として登録されているポジションやプリセット番号も選択できます。その場合は、登録内容が上書きされます。
- 20個までプリセットを登録できます。



- 登録名を編集できるようになります。

6 プリセット名（登録名）を入力する

- 全角は7文字以内で、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号で入力します。
- 半角は15文字以内で、英数字と記号で入力します。入力できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
- ホームポジション、アラーム1～2は、登録名を変更できません。



7 [保存] をクリックしてプリセットを登録するか、[戻る] をクリックしてキャンセルする

- [保存が完了しました。] と表示されたら、[戻る] をクリックしてください。プリセット登録画面に戻ります。
- 未登録のプリセット番号（①～⑧）に登録した場合は、操作バーのプリセットボタンの色が、白から青に変わります。

プリセットを削除する

お知らせ

- この機能は、管理者でカメラにログインしなければ使えません。

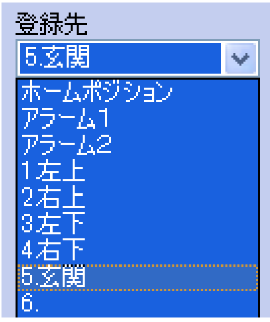
1 カメラに管理者でログインしていることを確認する

2 [登録]をクリックする

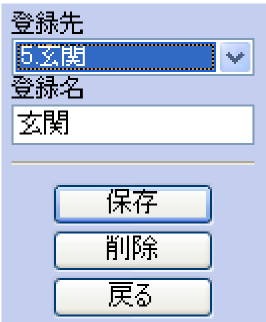


3 [登録先]のプルダウンメニューから、削除するプリセット番号を選択する

- ホームポジションとアラーム1〜2は削除できません。



4 [削除] をクリックしてプリセットを削除するか、[戻る] をクリックしてキャンセルする



- [削除が完了しました。] と表示されたら、[戻る] をクリックしてください。プリセット登録画面に戻ります。
- プリセット番号（①〜⑧）の登録を削除した場合は、操作バーのプリセットボタンの色が、青から白に変わります。

1.2.5 プリセットシーケンス

プリセットに登録されている場所（→ 36 ページ）を定期的に巡回して見ることができます。

お知らせ

- プリセットシーケンスの登録は[設定]画面で行ってください。(→ 191 ページ)
- ズームした位置にプリセット移動した場合、プリセットした位置からずれることがあります。

プリセットシーケンスを開始する

プリセットシーケンスの開始と終了はシングル画面で行います。

1 [操作バー]のプリセットシーケンス[開始]ボタン（開始）をクリックする

- 登録した場所を繰り返し表示します。
  終了するときはプリセットシーケンス[終了]ボタン（終了）をクリックしてください。



お知らせ

- 巡回中に別のパン・チルト操作、プリセット操作、クリック&センタリング操作を行うと、プリセットシーケンスは終了します。
- この機能は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には[プリセット操作]を禁止することで制限することができます。
- 一時保存/転送設定の検知時ポジションで移動先を指定すると検知時に移動し、プリセットシーケンスは終了します。

1.2.6 オートパン

設定した開始位置と終了位置までの範囲をパンスキャンで繰り返し表示します。

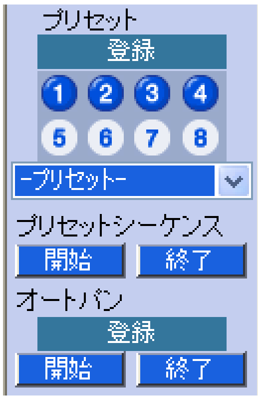
お知らせ

- オートパンの登録を行うには、管理者権限でログインしてください。

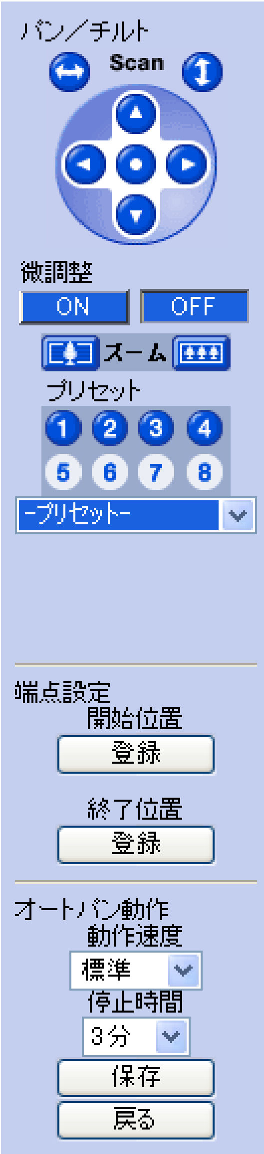
開始位置と終了位置を登録する

オートパンの登録はシングル画面で行います。

1 操作バーのオートパン[登録]ボタンをクリックする



- 登録画面に切り替わります。



2 カメラのパン・チルト・ズーム操作で開始位置を表示する

3 端点設定の開始位置[登録]ボタンをクリックして開始位置を登録する

4 カメラのパン操作で終了位置を表示する

5 端点設定の終了位置[登録]ボタンをクリックして終了位置を登録する

6 各項目を設定する

- [動作速度]：開始位置から終了位置、終了位置から開始位置に移動するときのパン速度（超低速、低速、標準、高速、超高速）を設定する
- [停止時間]：開始位置、終了位置で次のパン操作を行うまでの停止時間（3分、4分、5分、10分、15分、20分、30分、40分、50分、60分）を設定する

7 [保存]をクリックする

オートパンを開始する

1 [操作バー]のオートパン[開始]ボタン（開始）をクリックする

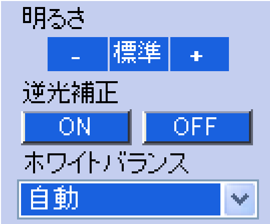
- 登録した開始位置から終了位置までを繰り返し表示します。
  終了するときはオートパン[終了]ボタン（終了）を押してください。

お知らせ

- オートパン動作中に別のパン・チルト操作、プリセット操作、クリック&センタリング操作を行うと、オートパンは終了します。
- オートパンでは開始位置はパン、チルト、ズーム位置が登録され、終了位置はパンのみ登録されます。
- この機能は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には[パン/チルト操作]を禁止することで制限することができます。
- 一時保存/転送設定の検知時ポジションで移動先を指定すると検知時に移動し、オートパンは終了します。

1.2.7 明るさ／ホワイトバランスを調整する

シングル画面の操作バーで、カメラ画像の明るさ／ホワイトバランスを調整します。
操作バーの［明るさ］または［ホワイトバランス］で項目を選択します。



明るさ	カメラ画像の明るさを、+（明るく）／-（暗く）ボタンをクリックして調整します。標準（標準）ボタンをクリックすると、標準の明るさになります。
ホワイトバランス	撮影環境や照明などの光源に合わせて、ホワイトバランスを選択します。 – [自動]: （工場出荷値）表示された画像によってホワイトバランスは自動で調整されます。 – [屋内]: 電球の場合(2800 K) – [蛍光灯（白色)]: 白色の蛍光灯の場合 (4000 K) – [蛍光灯（昼白色)]: 昼白色の蛍光灯の場合 (4800 K) – [屋外]: 日中の太陽光の場合 (6000 K) – [ホールド]: 現在のホワイトバランスを維持します。

お知らせ

- K（ケルビン）は、色温度（熱力学温度）の単位です。
- 明るさとホワイトバランスの設定は、カメラを再起動するとホームポジションの明るさとホワイトバランスに変わります。明るさとホワイトバランスの設定を固定したい場合は、ホームポジションで設定してください。(→ 36 ページ)
- 明るさとホワイトバランスの設定は、プリセット（ホームポジション、アラーム1～2含む）の設定値として登録できます。(→ 36 ページ)

1.2.8 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）と静止画（JPEG）を切り替える

シングル画面やマルチ画面の操作バーの[画像更新間隔]で、カメラ画像を動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）や静止画(JPEG)に切り替えます。[画像更新間隔]の設定は、シングル画面やマルチ画面に切り替えるたびに初期値に戻ります。アクセスしたときの初期設定を変更するには、179 ページを参照してください。

シングル画面で、H.264またはMPEG-4の動画表示にした場合は、必要に応じて配信方法を設定してください。（→ 45 ページ）

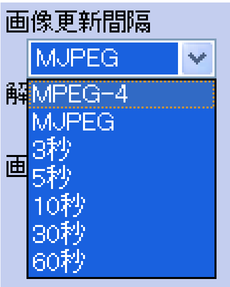
配信フォーマット（H.264／MPEG-4／MJPEG)を切り替えるには、163 ページを参照してください。

お知らせ

- マルチ画面での動画の配信方法は、HTTPのみです。
- 最大画像サイズならびに配信フォーマットの設定値により操作バーの[画像更新間隔]に表示される選択項目は異なります。（→ 246 ページ）

動画と静止画を切り替える

操作バーの[画像更新間隔]で項目を選択します。

配信フォーマットで[MPEG-4]を選択しているとき	配信フォーマットで[H.264]を選択しているとき
	

– [H.264]: H.264は、同一の伝送時間でより高画質、高音質なデータを伝送でき、同じ通信帯域でも、よりきれいな映像を見ることできます。解像度192 × 144は表示できません。
– [MPEG-4]: MPEG-4は、せまい通信帯域（インターネットなど）でも動きの良い映像を見ることできます。
– [MJPEG]: MJPEG（Motion JPEG）は、せまい通信帯域（インターネットなど）では、フレームレートが低下しますが、高画質の画像が得られます。
– [3秒／5秒／10秒／30秒／60秒]（JPEG）: 3秒／5秒／10秒／30秒／60秒間隔で、JPEG形式（静止画）のカメラ画像を表示します。

お知らせ

- この機能は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には制限することができます。
- [H.264]または[MPEG-4]を選択した場合で、以下の場合はフレームレートの低下や画質の劣化が起こる可能性があります。
  – 配信先に通信速度の遅い環境がある場合は、すべての配信先でフレームレートの低下と画質の劣化が起こる可能性があります。

- 一時保存をMPEG-4で設定している場合は、シングル画面やマルチ画面のフレームレートが低下します。
- [H.264]または[MPEG-4]を選択した場合に、コマ落ちなどで正しくカメラ画像が表示されないときは、以下の操作をしてください。
  - 映像配信設定画面の［最大フレームレート］または［ビットレート］の値を下げてください。(→163 ページ)
  - [MJPEG]や［3秒／5秒／10秒／30秒／60秒］（JPEG）に切り替えてください。
  - 「困ったときには」の1.5 カメラ画像の表示についてを参照してください。

動画（H.264／MPEG-4）の配信方法を切り替える（シングル画面）

動画（H.264／MPEG-4）のネットワークでの配信方法を選択します。 操作バーの[画像更新間隔]で[H.264]または[MPEG-4]を選択したときに、［配信方法］が表示されます。配信方法を選択します。



お知らせ

- ［配信方法］の［Multicast］は、映像配信設定画面で［マルチキャスト］を［使用する］に設定しないと使用できません。(→ 163 ページ)
- 実際の配信方法は、動画（H.264／MPEG-4）の下に表示されます。
- ［配信方法］の設定は、シングル画面やマルチ画面に切り替えるたびに初期値に戻ります。アクセスしたときの初期設定を変更するには、179 ページを参照してください。
- Multicastの配信を開始後に、配信方法を変更したりカメラ画像の参照をやめても、最大1分間はMulticastによる配信が停止されません。
- [HTTPS]を[HTTPSを使用する]にした場合は、UnicastとMulticastは使用できません。
- H.264またはMPEG-4画像を正常に表示されない場合は、「困ったときには」の1.5 カメラ画像の表示についてを参照してください。

- [自動]: H.264またはMPEG-4の配信方法を自動的に決定します。優先順位は、Multicast、Unicast、HTTPの順になります。
- ［Multicast］: Multicast（Multicast RTP）は、複数の配信先に同じH.264またはMPEG-4データを一斉に配信します。配信先が増えても高画質で動きの良い映像を見ることができます。
  - インターネットでは、利用できません。
  - ローカルネットワーク内でMulticast配信が利用できない場合があります。必ず、ネットワーク管理者に確認してください。
  - 配信先に通信速度の遅い環境がある場合は、H.264またはMPEG-4表示が乱れる可能性がありますが故障ではありません。（UnicastまたはHTTPでの配信をお試しください。）
  - 配信先で映像を見られない場合や画像が乱れる場合は、UnicastまたはHTTPでの配信をお試しください。
- [Unicast] : Unicast（Unicast RTP）は、配信先の通信状態に合わせてH.264またはMPEG-4データを配信します。Multicastで発生するH.264またはMPEG-4表示の乱れを少なくし、安定した映像を見ることができます。

    - インターネットでは、利用できません。
    - ローカルネットワーク内でUnicast配信が利用できない場合があります。必ず、ネットワーク管理者に確認してください。
    - 配信先に通信速度の遅い環境がある、または配信先が増えると、すべての配信先のフレームレートの低下と画質の劣化が起こる可能性があります。
    - 配信先で映像を見られない場合や画像が乱れる場合は、HTTPでの配信をお試しください。
- [HTTP]: HTTPは、配信先での受信を確認しながらH.264(HTTP)またはMPEG-4データ（RTP over HTTP）を配信します。Multicast、Unicastで配信できない環境でも映像を配信することができます。
    - 配信先に通信速度の遅い環境がある、または配信先が増えると、すべての配信先のフレームレートの低下と画質の劣化が起こる可能性があります。
    - 配信先で映像を見られない場合は、[画像更新間隔]の設定を[MJPEG]にしてお試しください。

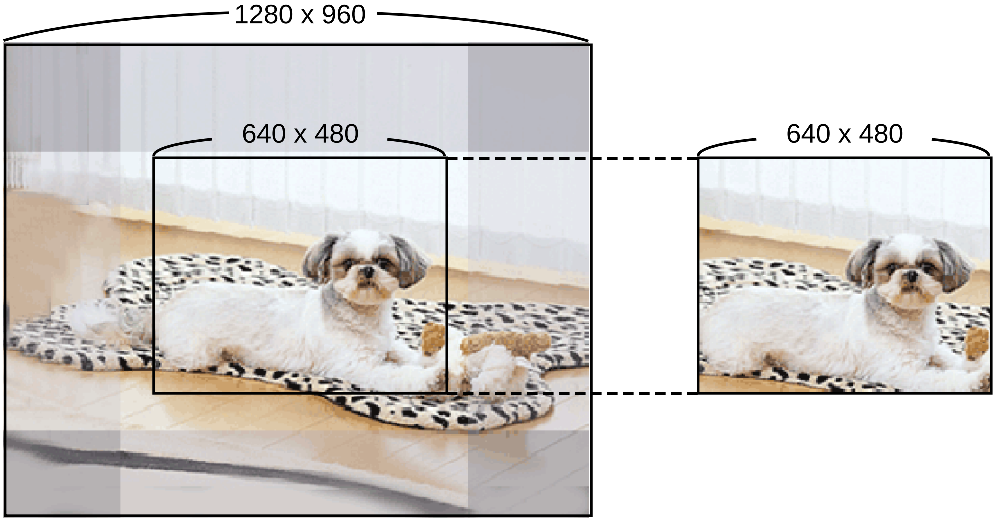
1.2.9 カメラ画像を拡大する（Exズーム／デジタルズーム）

ズームを使うと、カメラから離れた被写体の様子を確認しやすくなります。
ズーム機能には、カメラのExズーム(最大倍率2倍)、カメラのデジタルズーム(最大倍率3倍）とH.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）によるデジタルズーム(最大倍率3倍)の3種類があります。
表示しているカメラ画面や動画／静止画の表示によって、使えるズーム機能は以下のように異なります。

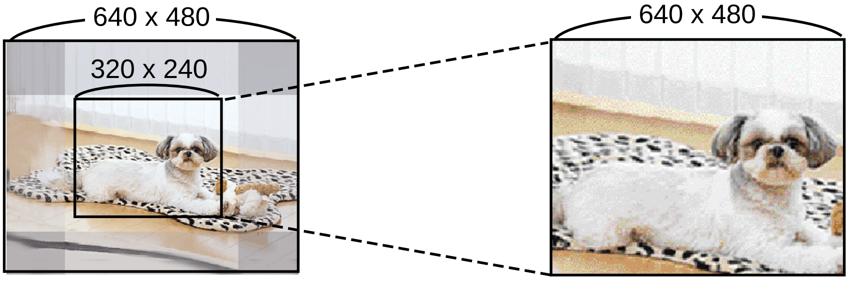
カメラのズーム機能(2倍Exズームと3倍デジタルズーム)

- シングル画面で使用できます。
  Exズーム機能を使うには、映像配信画面（→ 163 ページ）の[Exズーム]で[使用する]を設定してください。
  Exズームを使用しているときは、最初にExズーム（最大倍率2倍）を行い、その後カメラのデジタルズーム（最大倍率3倍）を行います。(合計最大倍率6倍)
  Exズームを使用していないときは、カメラのデジタルズーム（最大倍率3倍）のみ行います。
- ズーム機能は、操作バーのズームボタン、マウスの右ボタン、ホイール部（動画中のみ）で操作します。
- Exズームは1280 × 960の画像を切り取って表示するため、デジタルズームに比べて画質が落ちません。

Exズーム × 2倍



デジタルズーム × 2倍



お知らせ

- カメラのズーム機能(シングル画面のExズームとデジタルズーム)を使用すると、見ている全員の画像がズームされます。

- 最大画像サイズを1280 × 960に設定しているときは、カメラのズーム機能(Exズームとデジタルズーム)は使用できません。(→ 249 ページ)
- Exズームと4画素加算を同時に使用することはできません。
- 操作バーの上部に「終端」と表示されたときは、それ以上ズーム操作できません。
- カメラのズーム機能(Exズームとデジタルズーム)は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には制限することができます。
- 画像を拡大表示してクリック＆センタリングしたときは、クリックした位置が画面の中心から大きくずれる場合があります。
- 動画表示中のみ、マウスによるズーム操作ができます。

H.264／MPEG-4／MJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）によるデジタルズーム機能

- マルチ画面で使用できます。
- 一時保存画像（JPEG）での連続再生中に使用できます。
- ズーム機能は、マウスの右ボタン、ホイール部（動画中のみ）で操作します。

お知らせ

- デジタルズームで拡大表示した画像は、画質が低下します。
- ActiveXコントロールによるデジタルズーム(マルチ画面のデジタルズーム)は、ユーザーごとに動画のズーム倍率を変えることができます。
- ActiveXコントロールによるデジタルズーム機能は、シングル画面では使用できません。
- 画像を拡大表示してクリック＆センタリングしたときは、クリックした位置が画面の中心から大きくずれる場合があります。
- 動画表示中のみ、マウスによるズーム操作ができます。
- カメラ画像を一時保存または転送する場合は、ズーム使用前のカメラ画像を一時保存／転送します。

操作バーでズーム機能を使う

カメラのズーム機能(Exズームとデジタルズーム)を操作します。

1 操作バーの(テレ) または(ワイド) ボタンをクリックする

- (テレ) ボタンでテレ（拡大）表示（最大6倍)、(ワイド) ボタンでワイド表示します。一定の段階でテレ／ワイドにそれぞれズームします。



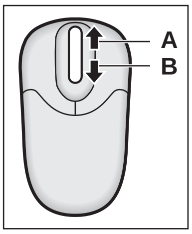
- (テレ)
- (ワイド)

マウス操作でズーム機能を使う（動画のみ）

1 ［シングル］または［マルチ］タブをクリックする

2 マウスの右ボタンまたはホイール部で、ズーム操作する

- **ホイール部による操作**
  画像上にマウスのカーソルを移動して、ホイールを前後に回転させます。前方向に回転させると、被写体をテレ（拡大）表示し、後方向に回転させると被写体をワイド表示します。



A. テレ
B. ワイド

お知らせ

- ズーム機能は、ホイールのスクロール操作の量に従って動作します。ホイールのスクロール操作については、お使いのパソコンでマウスのホイール動作を設定してください。

- **右ボタンによる操作**
  画像上部でマウスの右ボタンをクリックすると、被写体をテレ（拡大）表示します。
  画像下部でマウスの右ボタンをクリックすると、被写体をワイド表示します。



A. テレ
B. ワイド

1.2.10 カメラの静止画を撮る（スナップショット）

保存したい画像を静止画（スナップショット）としてパソコンに保存できます。

お願い

- パソコンに保存したカメラ画像には個人情報が含まれています。取り扱いには十分ご配慮ください。

お知らせ

- スナップショットの画像を印刷する場合は、いったん保存した画像を開いて印刷してください。スナップショットの画面上で右クリックして表示されるサブメニュー（手順2）で［画像を印刷する...］をクリックしても、表示されている画像ではなく、再取得された最新の画像が印刷されます。

1 スナップショットボタン（ ）をクリックする

- 画像が新しいウインドウで表示されます。
  マルチ画面でデジタルズーム(ActiveXコントロールによるデジタルズーム)にしていた場合は、拡大表示する前の画像が表示されます。

2 カメラ画像の上で右クリックして、[名前をつけて画像を保存...]を選択する

- [画像の保存] 画面が表示されます。

3 ファイル名を入力する

4 保存する場所を指定して、[保存]をクリックする

5 [閉じる]をクリックする

お知らせ

- H.264またはMPEG-4画像で、解像度が[1280 × 960]の場合、スナップショットは使用できません。(→ 248 ページ)
- スナップショットは、[画質優先]のJPEG画像で保存されます。
- この機能は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には制限することができます。
- ソフトウェアカラーナイトビューが動作している場合は、明るくなる前の画像が表示されます。

1.2.11 音声機能を使う

カメラは以下の音声機能に対応しています。

– **送話機能**
  パソコンにマイク（市販品）を接続し、カメラに外部スピーカー（市販品）を取り付けることによって、カメラ画像を見ながらカメラ付近の人に話しかけることができます。
– **受話機能**
  パソコンにイヤホンまたはスピーカー（いずれも市販品）が接続されていると、カメラ画像を見ながらカメラ付近の音声をパソコンで聴くことができます。

カメラ付近の人に話しかける（送話機能）

カメラ画像を表示しているときに、パソコンに接続したマイク（市販品）を使って、カメラ付近の人に話しかけることができます。カメラ付近の人は、カメラに取り付けた外部スピーカー（市販品）を通してその声を聞きます。

- 送話機能を使うには、マイクをパソコンに、外部スピーカーをカメラに接続する必要があります。別途、マイク（市販品）と外部スピーカー（市販品）を用意してください。 マイクの取り付け方は、パソコンの取扱説明書を参照してください。外部スピーカー（市販品）の取り付け方は、 253 ページを参照してください。

1 送話ボタン ( ) が表示されていることを確認する

- 送話OFFボタン( ) が表示されている場合は、クリックしてください。ボタンは送話ボタン ( ) になります。

2 パソコンのマイクに話しかける

お知らせ

- マイクをOFFにするには、送話ボタン ( ) または受話OFFボタン ( )をクリックしてください。送話ボタン ( ) が送話OFFボタン( ) になります。

カメラ付近の音声を聴く（受話機能）

カメラ画像を表示しているときに、カメラの内蔵マイクまたは外部マイク（市販品）を通して、カメラ付近の音声をパソコンのスピーカーで聴くことができます。

- 受話機能を使うには、パソコンにイヤホンまたはスピーカーが必要になります。別途、イヤホンまたはスピーカー（いずれも市販品）を用意してください。

1 受話ボタン( ) が表示されていることを確認する

- 受話ボタン( ) をクリックして、音声をミュートにできます。その場合、ボタンは受話OFFボタン ( )になります。
- 受話OFFボタン ( )をクリックして、音声を再度聴くことができます。

2 受話音量調整バー ( )を使って、音量を調整できます。

- H.264／MPEG-4 画像を表示しているとき、受話音量調整バーは ( )の表示になります。

お知らせ

音声機能について

- 音声機能は、一般ユーザー (→ 171 ページ) と未登録ユーザー (→ 174 ページ)には制限することができます。
- 受話と送話は同時に行えません。送話中は、受話を停止します。音声の送話は同時に1人だけ話せます。同時に受話できる最大数は配信フォーマットによって異なります。(→ 67 ページ)
  音声が途切れる場合は、通信帯域制限を小さくすると改善します。このとき同時に受話できる人数は少なくなります。
- パソコンでほかのアプリケーションを同時に動作させたり、複数のウィンドウを開いたりすると、音声が途切れたり、遅延が大きくなる場合があります。また、ご使用のパソコンの性能およびネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。そのときは、ネットワークの設定画面で通信帯域制限をより小さい値に設定してください。(→ 136 ページ または 218 ページ)
- 音声機能について問題がある場合は、『困ったときには』の1.7 カメラの音声について を参照してください。

送話機能について

- 送話機能は一度に1人だけが使えます。
- パソコンから送話中は、カメラ付近の音声を聴くことはできません。
- 連続で話すことができる時間は、音声設定の連続受信時間（カメラの外部スピーカーに出力する連続時間）で制限されています。連続受信時間を経過すると 送話ボタン () が 送話OFFボタン() になります。連続受信時間の設定を変更するには、161 ページを参照してください。
- プロキシサーバーを経由してカメラにアクセスすると、パソコンからの送話機能は使用できません。
- カメラのパン／チルト動作中の音声を一時停止したいときは、音声設定画面でパン／チルト中のミュート（消音）設定を［する］にしてください。(→ 161 ページ)
- ウェブサイトなどが発する音声がカメラへ送話される場合があります。ご注意ください。
- 長さが7 m以内のマイクのケーブルを使用してください。ケーブルの長さや、マイクの特性によって音質が低下する場合があります。
- 送話ボタンを利用するには、カメラに外部スピーカーを接続する必要があります。カメラの音声出力端子はライン出力です。アンプ内蔵の外部スピーカーを使用してください。(出力はモノラルです。)

受話機能について

- カメラの内蔵マイクは、カメラに外部マイクを接続すると、使えなくなります。
- 音声設定画面では、マイクの感度、パン／チルト中のミュート（消音）などを設定できます。
  (→ 161 ページ)
- プリセットポジション登録などの操作や、ウェブブラウザの更新ボタンをクリックすることで、画像が更新された場合、音量は初期値（中レベル）に戻ります。また、音声の一時停止は解除されます。

1.2.12 逆光を補正する

逆光が入る場所などにおいて画面の暗くなった部分の明るさを補正し、適切な明るさで見やすい画像が得られます。

1 ［シングル］タブをクリックする

2 操作バーの［逆光補正］でONを選択する

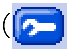


お知らせ

- 画像表示の設定で状態表示をする設定にすると、逆光補正時に、画面右上に、太陽マーク（）を表示することができます。(→ 179 ページ)
- 被写体、撮影条件によって逆光補正の効果には差があり、ノイズが発生したり不自然な画像になることがあります。
- 逆光補正ONの状態では、順光などの逆光ではない被写体の場合には、明るすぎる画像になる場合があります。
- 逆光補正の設定は、カメラを再起動するとOFFに変わります。逆光補正の設定を固定したい場合は、ホームポジションで設定してください。（→ 36 ページ）
- 逆光補正の設定は、プリセット（ホームポジション、アラーム1～2含む）の設定値として登録できます。（→ 36 ページ）

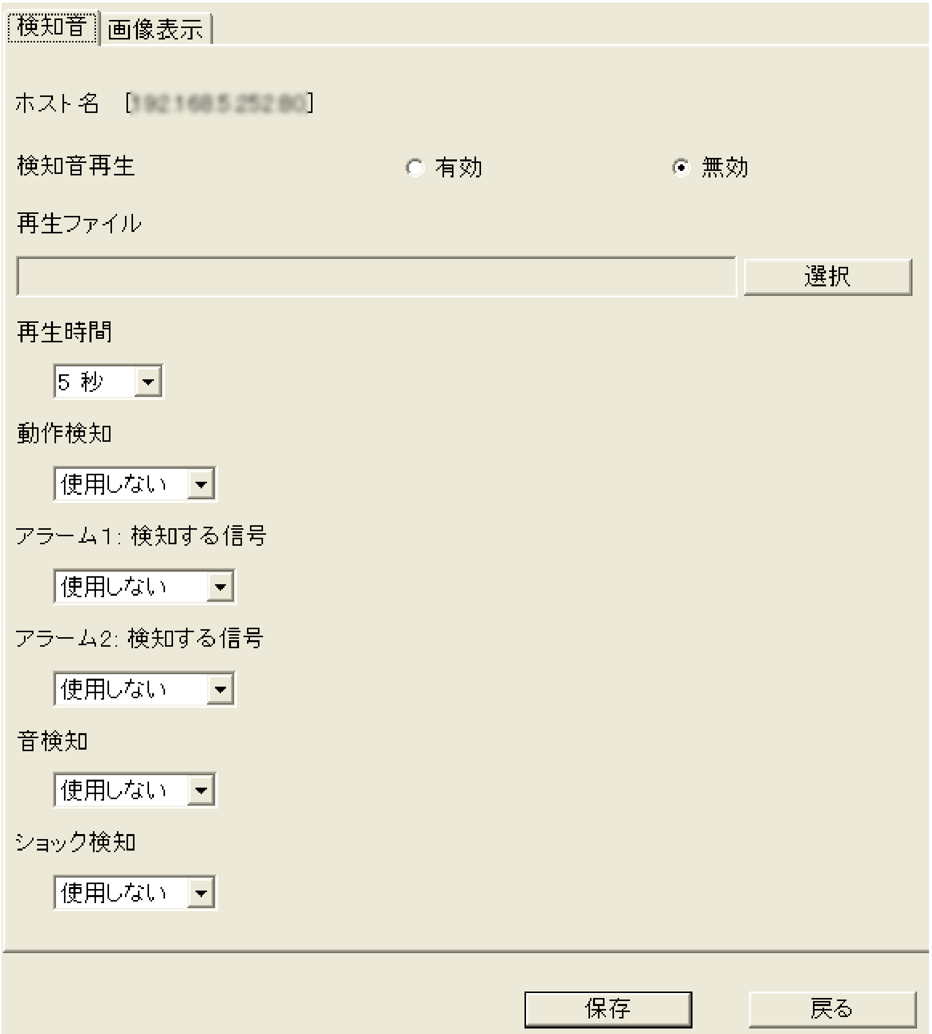
1.2.13 ソフトウェアカラーナイトビューを使う

画像を参照するパソコンにインストールしたActiveXで暗い画像を明るくするナイトビュー機能[*1]を使用できます。各パソコンでソフトウェアカラーナイトビューを[使用する]、[使用しない]を設定できます。「ソフトウェアカラーナイトビュー」、「カラーナイトビュー」、「4画素加算」の違いについては251 ページを参照してください。

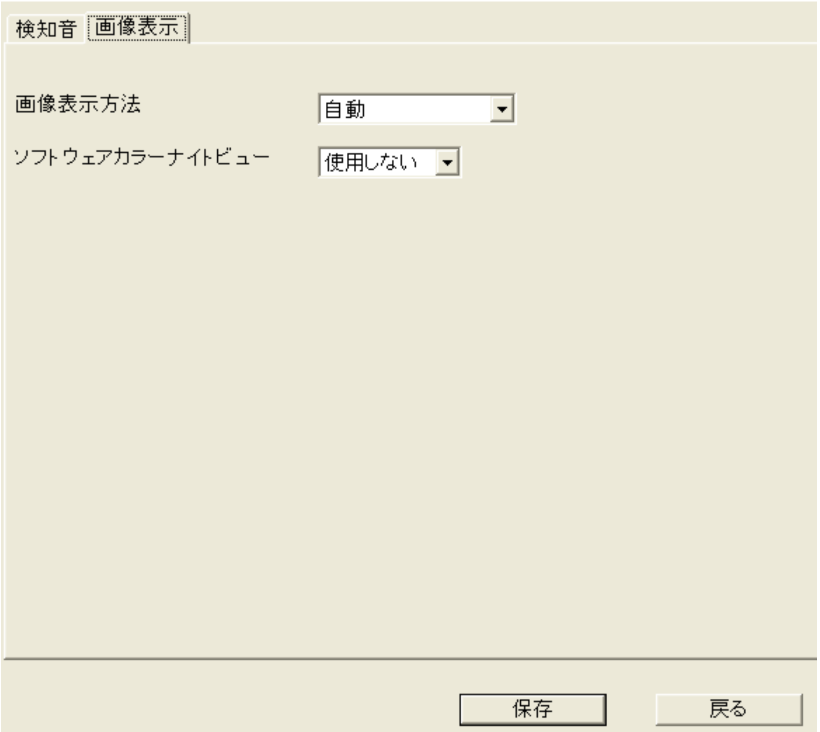
1 シングル画面、マルチ画面でActiveX設定ボタン（）をクリックする

- 動画（H.264、 MPEG-4、MJPEG）により表示される画面は異なります。

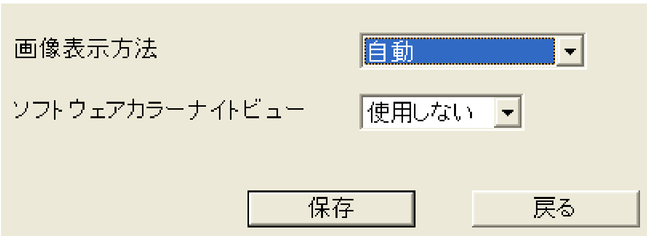
MJPEGのとき：



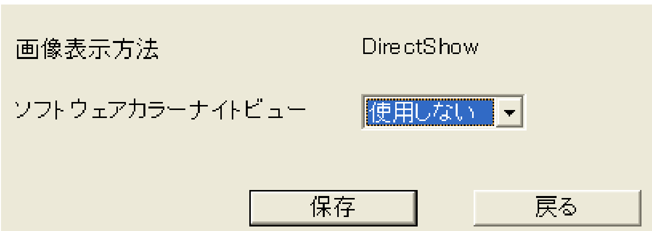
- [画像表示]をクリックする



MPEG-4のとき



H.264のとき



2 [ソフトウェアカラーナイトビュー]で[使用する]を選択する

3 [保存]をクリックする

4 [OK]をクリックする



5 設定を反映させるために、ウェブブラウザの更新ボタンをクリックする

お知らせ

- ソフトウェアカラーナイトビューを使用して、MPEG-4またはH.264画像が崩れる場合には、パソコンの能力が不足してる可能性があります。カメラのカラーナイトビューまたは4画素加算を使用してください。
- スナップショットの画像は、明るくする前に取得されるため、表示画像より暗くなります。
- カメラ設定画面のカラーナイトビューモードが設定され、フレームレートが遅くなると、ソフトウェアカラーナイトビューは効かなくなります。(→ 159 ページ)
- フレームレートが低い場合には（画像の更新速度が遅い）、ソフトウェアカラーナイトビューが効かなくなります。
- ソフトウェアカラーナイトビューは、パソコンに負荷がかかるので、フレームレートが遅くなったり、CPUの使用率が高くなることがあります。
- マルチ画面の場合、カメラごとには設定できません。
- MJPEGのときはソフトウェアカラーナイトビューが効き始めるまでに数秒かかります。

---

*1 カメラ設定のカラーナイトビューモードや4画素加算とは別のActiveX内部の独立した機能です。

1.2.14 検知を音で知らせる

動作検知、アラーム１検知、アラーム２検知、音検知、ショック検知時にMJPEGビューアープログラム（ActiveXコントロール）によりパソコンの音を鳴らしてお知らせします。ただし、MJPEGのシングル画面、マルチ画面のみ機能します。
検知音設定は、一時保存／転送設定の動作条件の有効／無効に関係なく動作します。

1. ［シングル］画面または[マルチ]画面で、ActiveX設定ボタン（ ）をクリックする



2. 各項目を設定する

a. [検知音再生]：検知音の有効／無効を選択します。

b. [再生ファイル]：[選択]をクリックし、検知時に再生する音声ファイルを選択します。

- 音声ファイルは10秒以下のPCM形式のみ対応しています。

c. [再生時間]：検知音の再生時間を設定します。10秒まで音声ファイルを再生できます。

d. [動作検知]：動作検知を使用するかどうかを選択します。

e. [アラーム1：検知する信号]／[アラーム2：検知する信号]：使用しない／立上り（開放）／立下り（短絡）を選択します。

f. [音検知]：音検知を使用するかどうかを選択します。

g. [ショック検知]：ショック検知を使用するかどうかを選択します。

3. [保存]をクリックする
4. 設定を反映させるために、ウェブブラウザの更新ボタンをクリックする

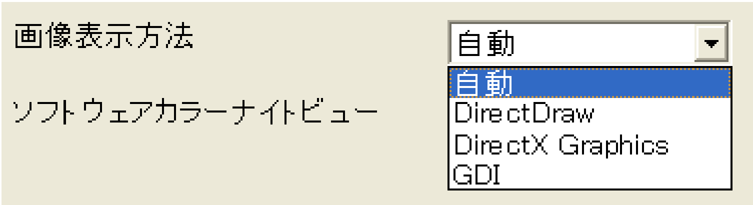
<u>お知らせ</u>

- マルチ画面での検知音は、カメラごとに設定できます。ただし、マルチ画面を16分割で表示した場合には、検知音機能は使用できません。また、対応機種または対応しているソフトバージョンのカメラのみ有効です。
- 検知音設定は、各パソコンごとに設定し、設定値はパソコンに保存されます。また、カメラを工場出荷設定しても検知音設定は初期化されません。
- 検知音の再生ファイルのサンプルについては、CD-ROM（添付品）の[AudioSample]フォルダにあります。フォルダ内のサンプル再生ファイルを、お使いのパソコンの任意の場所にコピーしてご使用ください。

1.2.15 動画(MPEG-4／MJPEG)の画像表示方法を変える

動画を表示して、パソコンのCPUの負荷（使用率）が高い場合や、極端にフレームレートが落ちる場合には、パソコンでの画像表示方法の設定を変更すると改善する場合があります。
設定画面はシングル画面、マルチ画面でActiveX設定ボタン（ ）をクリックすると表示されます。

画像表示方法は、H.264ではDirectShow®のみです。



配信フォーマット	選択項目	備考
MJPEG／MPEG-4	自動	DirectDraw®、DirectX Graphics、GDIの中で表示方法を自動で使用します。 **Windows 7／Windows Vista以降の場合** GDI **Windows XPの場合** DirectDraw
	DirectDraw	常に使用することができます。
	DirectX Graphics	DirectX9.0以降をインストールの場合のみ表示します。
	GDI	常に使用することができます。

お知らせ

- この設定値はパソコンに保存されるため、カメラの設定を工場出荷値に戻しても初期化されません。
- マルチ画面の場合、カメラごとには設定できません。
- 設定を反映させるには、ウェブブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

1.2.16 Strada（カーナビ）からカメラ画像を見る

別売のカーナビStradaで、車内から自宅の様子（静止画のみ）を確認できます。
対応Strada機種： CN-HX1000D, CN-HX900D, CN-HW1000D, CN-HW880D, CN-HW830D（2009年6月現在）
最新の対応機種については、パナソニックのサポートウェブサイト
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)を参照してください。

お知らせ

- Stradaでカメラを見るためには、Bluetooth®対応の携帯電話が必要です。携帯電話をStradaに登録し、プロバイダーを設定し、カメラのURLとポート番号をStradaに設定する必要があります。詳細はStradaの取扱説明書を参照してください。
- 認証画面が表示されたときは、管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。管理者以外の場合には、適切な画面が表示されないことがあります。
- 下記の手順は、CN-HX1000D、CN-HW1000Dで行った場合を記載しています。他の機種で手順が異なる場合は、Stradaの取扱説明書を参照してください。

1 ［MENU］ボタンを押す



2 ツートップメニューから[LINK]を選ぶ



3 リンク画面から［ホームネットワークカメラ］を選ぶ



4 ［接続する］を選ぶ

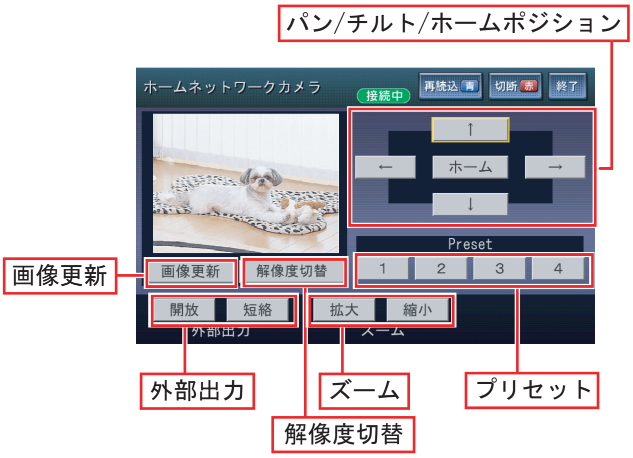
- カメラ画像が表示されます。（ただし、動画は表示できません。）

Stradaによるカメラ操作について

Stradaから、以下の方法でカメラを操作できます。

お知らせ

- ユーザーの機能許可設定により操作が異なる場合があります。



- **パン／チルト／ホームポジション:** ［←］、［→］、［↑］、［↓］を押すことで、それぞれの方向にパン／チルトします。また、［ホーム］を押すことで、カメラの向きがホームポジションに移動します。
- **画像更新:** 画像を更新します。
- **外部出力:** 外部出力を切り替えます。［開放］（工場出荷値）を選択すると、内部トランジスタがオフになり、外部出力端子は、ハイインピーダンスになります（オープンコレクタ）。［短絡］を選択すると、内部トランジスタがオンになります。電気的にGNDにショートされた状態になり外部出力端子はローインピーダンス（0 V）になります。
- **解像度切替:** カメラ画像の解像度を変更します。（320 × 240ドット／192 × 144ドット）
- **プリセット:** カメラのプリセット①～④のみ表示されます。プリセット登録された方向にパン／チルトします。

- **ズーム:** カメラ画像の拡大／縮小表示をします。拡大・縮小操作で動く量は、パソコンでの操作より大きく動きます。

1.3 複数のカメラ画像を同時に見る

マルチ画面では最大16台のカメラ画像を一覧表示できます。複数のカメラ画像を同時に見るには、あらかじめ見たいカメラを登録してください。(→ 183 ページ)

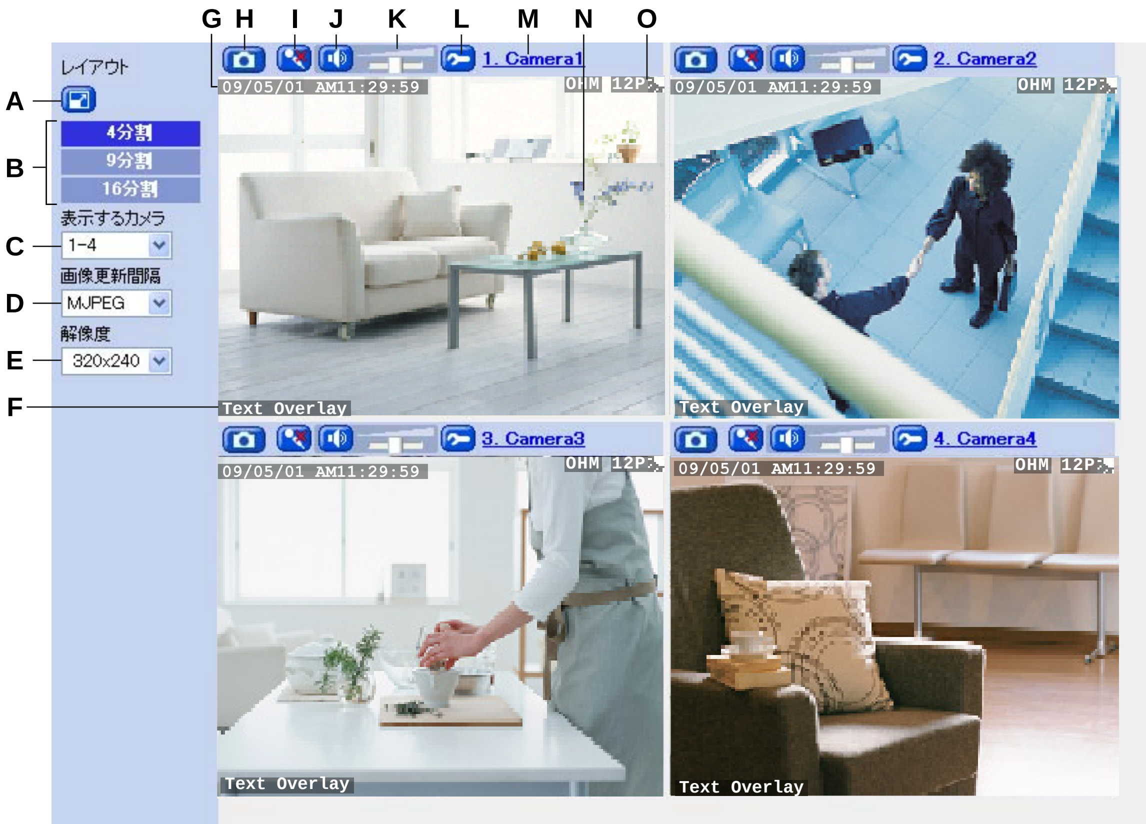
1 カメラにアクセスする(→ 10 ページ)

2 [マルチ] タブをクリックする

- マルチ画面でカメラ画像を表示するときは、マルチ画面に登録したカメラの台数分の認証画面が表示されることがあります。それぞれのカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。

マルチ画面

■MJPEG／JPEG表示の場合



A. カメラ画像最大化ボタン（カメラ画像を最大表示します。最大表示画面で、最小化ボタン（ ）をクリックすると、元の表示サイズに戻ります。）

B. ウェブブラウザに表示するカメラの台数を選択します。[16分割]を選択した場合は、静止画（JPEG）で表示されます。

C. ［4分割］または［9分割］を選択した場合に、マルチ画面に登録したカメラNo.を選択します。カメラNo.を選択すると、選択したNo.のカメラ画像を表示します。自カメラはNo.1に登録されています。（工場出荷値）

D. 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）と静止画（JPEG）を切り替えます。静止画（JPEG）の場合は、カメラ画像の更新間隔（3秒／5秒／10秒／30秒／60秒）を選択します。(→ 44 ページ)

E. ［4分割］または［9分割］を選択した場合に、カメラ画像の解像度を変更します。（320 × 240ドット／192 × 144ドット）
[16分割]を選択した場合は、192 × 144ドットで表示されます。

F. テキスト表示(→ 179 ページ)

G. 日付・時刻表示(→ 179 ページ)

H. スナップショットボタン (→ 50 ページ)

I. 送話ボタン*1（パソコンのマイク音声をカメラの外部接続スピーカーから聞くことができます。(→ 51 ページ)）

J. 受話ボタン*1（カメラのマイク音声をパソコンのスピーカーから聞くことができます。(→ 51 ページ)）

K. 受話音量調整バー *1 (→ 51 ページ)

L. ActiveX設定ボタン*2（動画のみ表示)
検知音（→ 57 ページ)、画像表示方法（→ 59 ページ)、ソフトウェアカラーナイトビューモード（→ 54 ページ）の設定をします。

M. カメラ名(→ 183 ページ)
- カメラ名をクリックすると、各カメラのシングル画面を別ウィンドウで表示します。

N. カメラ画像
- 画面中央に表示したい位置をマウスでクリックすると、カメラの向きを変えられます。 (→ 30 ページ)
- マウス操作でActiveXによるデジタルズームで動画をテレ（拡大）／ワイド表示できます。(→ 49 ページ)

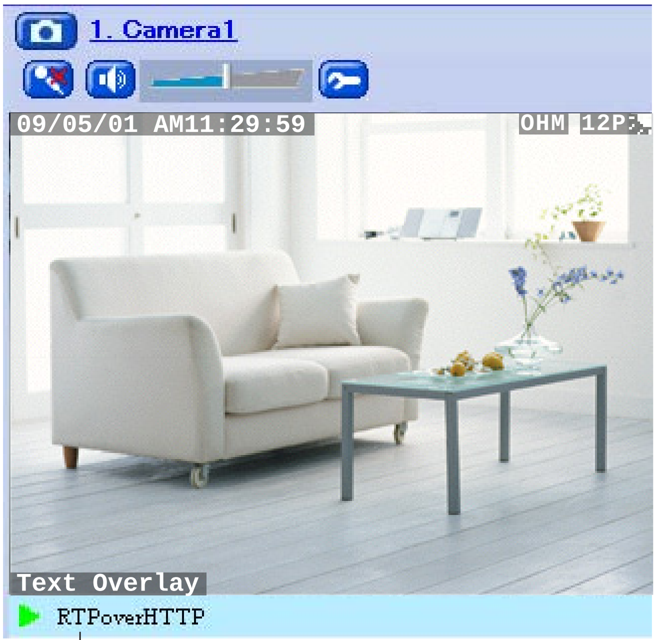
O. 状態表示*3 (→ 179 ページ)

---

*1 他のカメラの音声機能の表示は、音声機能に対応しているカメラかどうかによります。
*2 カメラが検知を音で知らせる機能に対応していない場合は、この機能は使えません。
*3 解像度が192 × 144ドットの場合は表示されません。

■H.264／MPEG-4表示の場合

H.264またはMPEG-4表示の場合は、ボタン の表示位置が変わります。



動画（H264またはMPEG-4）の配信方法

お知らせ

- マルチ画面では、320 × 240ドットより大きい解像度では表示できません。
  最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、H.264、MPEG-4の画像は表示できません。
  MJPEGで表示されます。
- [画像更新間隔]を[H.264]に設定している場合、解像度 192 × 144は選択できません。
- [レイアウト] で ［16分割］ を選択すると、カメラ画像の解像度はすべて192 × 144ドットの静止画になり、音声操作バー、ActiveX設定ボタンは表示されません。
- マルチ画面では、動画（MPEG-4）はHTTP（RTP over HTTP）で、動画（H.264）はHTTPのみの表示となります。
- マルチ画面では、動画表示中のみ3倍のActiveXによるデジタルズームができます。（→ 47 ページ）
- ネットワーク環境やユーザーのアクセス数によっては、フレームレートが低下する場合があります。
- マルチ画面で動画を見るときは、画像更新間隔の低下を防ぐためにも、イーサネットハブには、イーサネットスイッチングハブの使用をおすすめします。
- 音声（受話、送話）機能を使用しないに設定（→ 161 ページ）、または、一般ユーザー・未登録ユーザーに機能を制限した場合、 受話ボタンや送話ボタンが表示されることがありますが、音声機能を使用することはできません。
- H.264非対応カメラを登録した場合、[画像更新間隔]を[MPEG-4]に設定してもMJPEGで表示されます。
- H.264非対応カメラにH.264対応カメラを登録した場合、[画像更新間隔]を[MPEG-4]に設定してもMJPEGで表示されます。
- その他画像の表示について問題がある場合は、『困ったときには』の1.5 カメラ画像の表示についてを参照してください。

カメラ画像が表示されないときは

- マルチ画面の設定を確認してください。(→ 183 ページ)
- パソコンと同じネットワーク内のカメラをマルチ画面に設定する場合は、ローカルIPアドレスで設定してください。インターネット側のカメラをマルチ画面に設定する場合は、カメラのグローバルIPアドレス、またはドメイン名で設定してください。また、インターネット側のパソコンからカメラを見る場合には、カメラのグローバルIPアドレスまたはドメイン名で設定してください。

1.4 最大接続数

カメラに同時に接続（録画プログラムからの接続も含む）できる最大接続数、ならびに同時に音を受話できる最大数は最大画像サイズ、配信フォーマット、HTTP／HTTPS接続により異なります。
同時接続が最大数を超えるとMJPEGは青色画像、H.264は黒画像、MPEG-4は灰色画像が表示されます。

お知らせ

- カメラへの同時接続数が増えると、画像更新速度が遅くなったり、音途切れが発生したり、画面表示に時間がかかる場合があります。また、SDメモリーカードや内部メモリーへの保存や転送が間隔設定より遅くなることがあります。

最大画像サイズ設定が640 × 480のとき

お知らせ

- 最大接続数は映像配信画面の[最大接続数]で変更できます。（→163 ページ）

■ HTTP接続の場合

配信フォーマット	最大接続数	工場出荷値	合計最大接続数
MJPEG	30	10	30
H.264／MPEG-4	10	3	

■ HTTPS接続の場合

配信フォーマット	最大接続数	工場出荷値	合計最大接続数
MJPEG	8	3	8
H.264／MPEG-4	3	2	

最大画像サイズ設定が1280 × 960のとき

お知らせ

- 最大接続数は固定となり、設定はできません。

■ HTTP接続の場合
配信フォーマット設定がMJPEGのとき

配信フォーマット	最大接続数	合計最大接続数
1280 × 960	2	8
640 × 480	2	
320 × 240	3	
192 × 144	2	

配信フォーマット設定がH.264／MPEG-4のとき

配信フォーマット	最大接続数	合計最大接続数
1280 × 960 (H.264／MPEG-4)	2	6
320 × 240 (MJPEG)	3	
192 × 144 (MJPEG)	2	

■ HTTPS接続の場合
配信フォーマット設定がMJPEGのとき

配信フォーマット	最大接続数	合計最大接続数
1280 × 960	2	3
640 × 480	2	
320 × 240	3	
192 × 144	2	

パナソニックネットワークディスクレコーダーからの接続について

パナソニックネットワークディスクレコーダーで、カメラ画像の参照または録画は同時に２接続しかできません。

2　一時保存／転送機能を使う

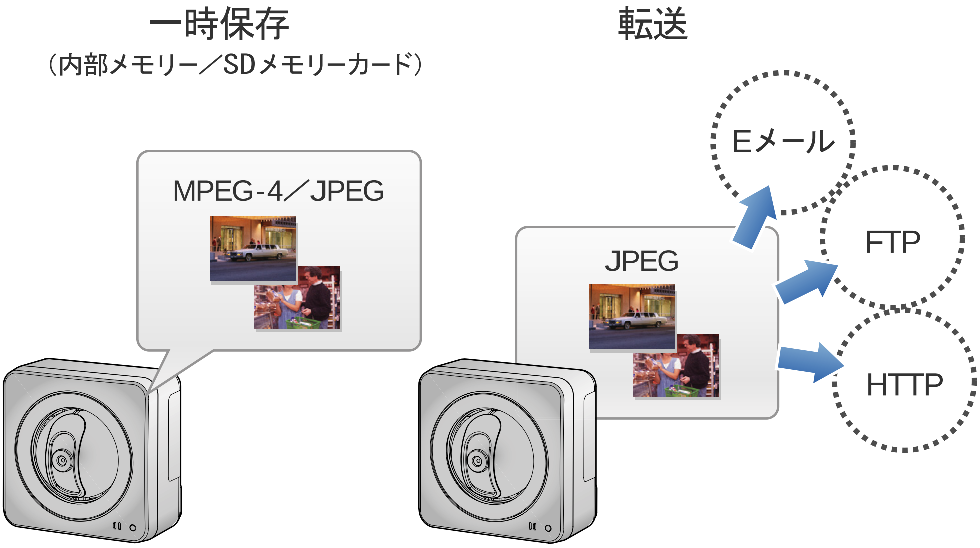
タイマーで設定した日時やアラーム、動作検知、音検知、ショック検知時に、カメラ画像をカメラの内部メモリーまたはSDメモリーカードに一時保存できます。また、カメラ画像をEメールに添付して送信したり、FTP／HTTPサーバーに転送したりすることもできます。

お知らせ

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、内部メモリー（一時保存）やSDメモリーカードに保存できません。
  H.264画像は内部メモリー（一時保存）やSDメモリーカードに保存も転送もできません。
  （→ 248 ページ）

お願い

- Eメールによる転送／通知、FTPでの転送、HTTPでの転送／通知、プロキシサーバーの設定を行う際は、以下についてご注意ください。
  – ユーザーIDやパスワードは、各サーバーと暗号化なしで送信されます。認証情報の漏えいには、十分にご注意ください。
  – セキュリティ確保のため、パスワードは定期的に変更してください。



設定の手順については、以下の図を参考にしてください。

タイマー	アラーム ／ 動作検知／音検知／ショック検知

動作日時設定
動作する日時や時刻を設定します。
☑ 月 火 水 …
☑ 午前10:00〜午後2:00

↓

画像設定
フォーマットや解像度、画質を設定します。
MPEG-4 320 ×240
JPEG 640 ×480

↓

検知時ポジション設定（アラーム／動作検知／音検知／ショック検知）
検知したときに向けるカメラポジションを選択します。

↓

外部出力設定（アラーム／動作検知／音検知／ショック検知）
検知時に、外部出力を短絡／開放する時間を設定します。

↓

間隔設定
一時保存／転送する間隔や合計枚数を設定します。
4 枚
10 分

↓

無検知時間設定（アラーム／動作検知／音検知／ショック検知）
不要な連続検知を防ぐため、次回検知まで動作しない時間を設定します。

↓

一時保存／転送設定
カメラ画像を一時保存するか転送するかを選択します。
一時保存　転送

↓

検知時の通知（アラーム／動作検知／音検知／ショック検知）
検知時にEメールまたはHTTPで通知する場合に設定します。

↓

設定を保存して完了

この章の手順に従ってカメラの一時保存／転送機能を設定してください。

2.1 タイマーで指定した時間に一時保存／転送する

指定した曜日や時間に、カメラの内部メモリーまたはSDメモリーカードにカメラ画像を一時的に保存できます。保存したカメラ画像は一時保存画像画面で閲覧したり、パソコンに保存することができます。
また、カメラ画像（JPEG）をタイマーで指定した曜日や時間にEメールアドレス／FTPサーバー／HTTPサーバーなどへ転送したい場合は、一時保存／転送の設定でEメール転送／FTP転送／HTTP転送のいずれかを選択して、転送することができます。

お知らせ

- H.264のカメラ画像は一時保存・転送ができません。また、MPEG-4の画像は転送できません。最大画像サイズ設定が1280 × 960の場合は一時保存・転送ができません。（→ 248 ページ）
- 動作条件の設定を変更すると、その動作条件によって内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。また、他の動作条件で一時保存されている画像も消去されることがあります。詳しくは、101 ページ を参照してください。
- カメラ本体の内部メモリーに一時保存、またはSDメモリーカードに保存したカメラ画像への容量の割り当てや削除の条件については、101 ページを参照してください。
- あらかじめ、カメラの日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。(→ 157 ページ)

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする

動作条件

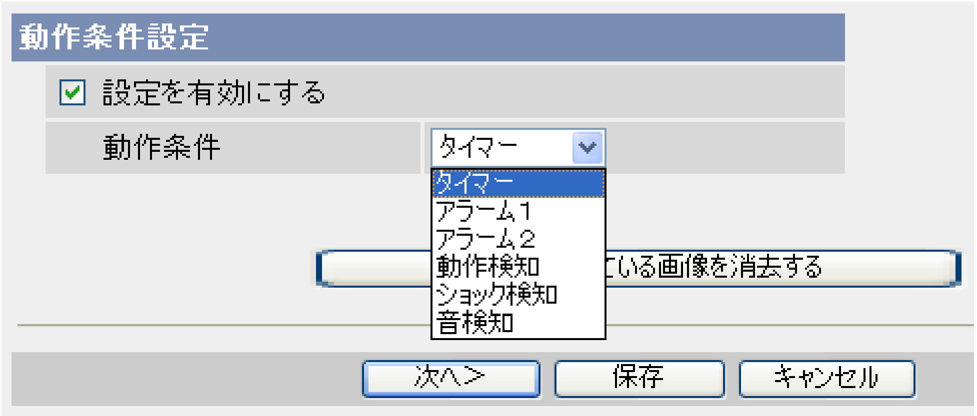
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	フォーマット	転送条件	通知	無検知
1	無効	動作検知	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きあり）	なし	なし
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–

3 設定したい動作条件のNo.をクリックする

- 動作条件のNo.1は、あらかじめ動作検知が選択されています。（工場出荷値）

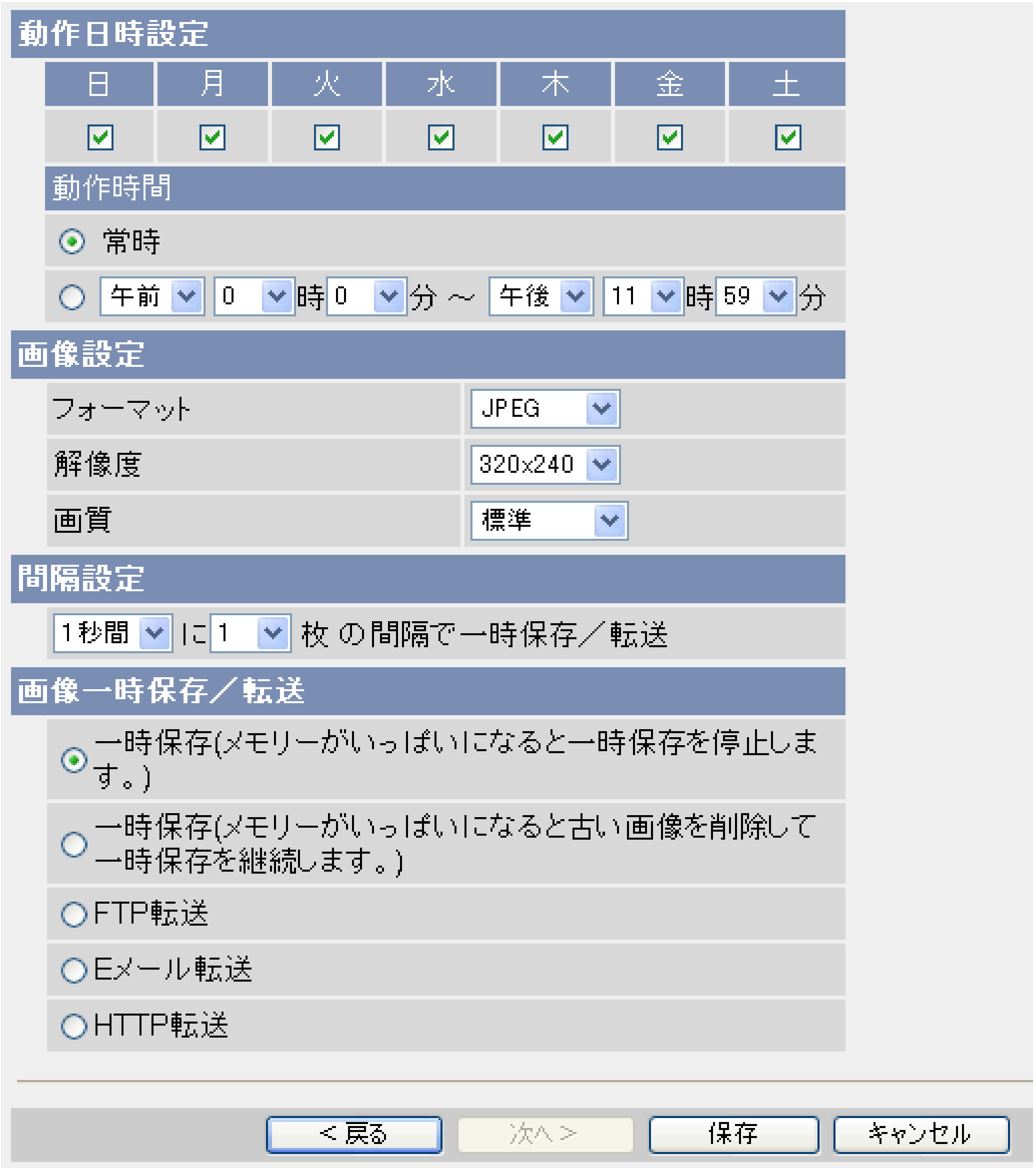
4 [設定を有効にする] にチェックを付けて一時保存／転送を有効にする

5 プルダウンメニューから[タイマー] を選択し、[次へ]をクリックしてさらに設定をする（次の手順）か、 [保存] をクリックして終了する



- 一時保存画像を消去したいときは、［一時保存されている画像を消去する］をクリックします。設定している動作条件のカメラ画像が消去されます。

6 各項目を設定する



a. [動作日時設定]: カメラ画像を一時保存する曜日にチェックを付けます。

b. カメラ画像を一時保存する時間帯を設定します。一時保存の開始時刻と終了時刻を設定してください。24時間、カメラ画像を保存し続けたい場合は、 [常時] を選択します。

お知らせ

- MPEG-4の録画を同じ時間帯に設定することはできません。すでに設定しているMPEG-4のタイマー録画の動作日時と重複する場合は、エラー画面が表示されます。

c. [画像設定]: 画像のフォーマット、解像度、画質を選択します。

- 動作条件がタイマー以外の検知録画では、設定できるフォーマットはJPEGのみです。
- [フォーマット]で[MPEG-4]を選択した場合は、マイクが有効であれば一時保存のMPEG-4 ファイルは音声を含みます。
- [フォーマット]で[MPEG-4]を選択した場合は、画質設定、間隔設定はできません。

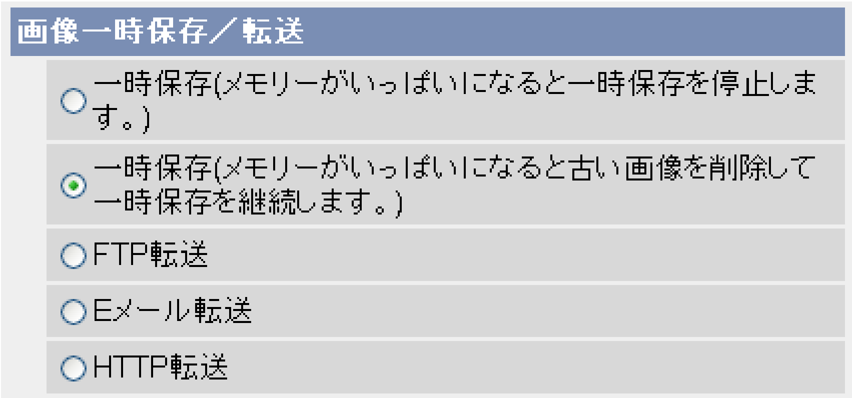
- 携帯電話にカメラ画像（JPEG）をEメール転送する場合は、解像度が320 × 240ドット／192 × 144ドットの[動き優先]を選択してください。640 × 480ドットの［画質優先］または［標準］では画像サイズが大きくなり、携帯電話で表示できないことがあります。

d. [間隔設定]: [フォーマット]で[JPEG]を選択した場合は、カメラ画像の保存間隔を設定します。1秒間／1分間／1時間で何枚一時保存するかを設定してください。

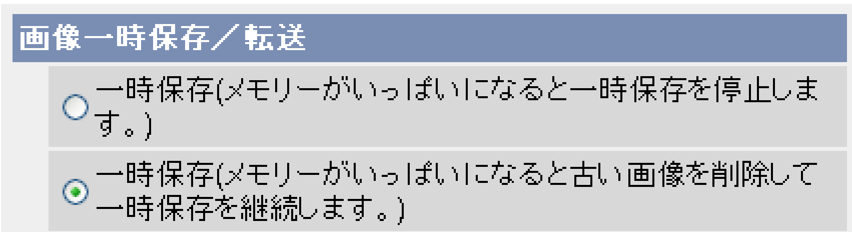
- [フォーマット]で[MPEG-4]を選択した場合は、この設定はありません。
- SDメモリーカードへ保存するときは、設定した間隔で保存されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。（1秒間に1枚の間隔を目安に設定してください。）

e. [画像一時保存／転送]: カメラ画像の一時保存／転送方法を選択します。

■［フォーマット］が［JPEG］の場合



■［フォーマット］が［MPEG-4］の場合



– [一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。)]: 画像は転送されません。画像はメモリーがいっぱいになるまで一時保存されます。
– [一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。)]: 画像は転送されません。メモリーがいっぱいになると、古い画像は削除され新しい画像が一時保存されます。
– [FTP転送]: 画像は指定のFTP サーバーに転送されます。
– [Eメール転送]: 画像は指定のEメールアドレスあてに転送されます。
– [HTTP転送]: 画像は指定のHTTPサーバーに転送されます。

7 [画像一時保存／転送]での設定に応じて、以下の手順にしたがう

a. 転送しない（一時保存のみ行う）設定にした場合は、[保存] をクリックして終了します。

- [保存]をクリックすると、設定した動作条件で内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

b. 画像をFTP、Eメール、HTTPで転送する設定にした場合は、[次へ]をクリックします。

- 該当の転送設定画面が表示されます。

– FTP サーバーに転送する場合→ 83 ページ
– Eメールで転送する場合→ 85 ページ
– HTTPサーバーに転送する場合→ 88 ページ

お知らせ

- JPEGやMPEG-4の画像をSDメモリーカードに保存する場合は、20 MB単位でファイルが作成されます。その場合は、MPEG-4 では以下の条件があります。
  - ファイルの作成中は、一時保存画像の参照はできません。
  - ファイルの作成が終了し、次のファイルを作成する間に約1秒間保存されない部分が発生します。
- ネットワーク環境、被写体、カメラへのアクセス数、SDメモリーカードへの一時保存機能などの影響で、指定した枚数／フレームレートやビットレートで保存されない場合があります。（MPEG-4のフレームレートやビットレートは、映像配信設定画面で設定された内容になります。）
- 一時保存をMPEG-4で設定している場合は、シングル画面やマルチ画面のフレームレートが低下する可能性があります。

2.2 アラーム検知時、動作検知時、音検知時、ショック検知時に一時保存／転送する

カメラに接続したアラーム（市販品）検知時や動作検知時、音検知時、ショック検知時に、カメラの内部メモリーまたはSDメモリーカードにカメラ画像を一時保存できます。保存したカメラ画像は、一時保存画像画面で閲覧したり、パソコンに保存することができます。
また、カメラ画像（JPEG）をEメールアドレス／FTPサーバー／HTTPサーバーなどへ転送したい場合は、一時保存／転送の設定でEメール転送／FTP転送／HTTP転送のいずれかを選択して、転送することができます。

お願い

- 検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、検知機能を使用しないでください。検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

お知らせ

- H.264のカメラ画像は一時保存・転送ができません。また、MPEG-4も検知による一時保存・転送はできません。MJPEGも最大画像サイズ設定が1280 × 960の場合は一時保存・転送ができません。（→ 248 ページ）
- 動作条件の設定を変更すると、その動作条件によって内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。また、他の動作条件で一時保存されている画像も消去されることがあります。詳しくは、101 ページ を参照してください。
- カメラ本体の内部メモリーに一時保存、またはSDメモリーカードに保存したカメラ画像への容量の割り当てや削除の条件については、 101 ページを参照してください。
- あらかじめ、カメラの日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。(→ 157 ページ)
- アラーム検知には、アラーム（市販品）が必要になります。別途用意したアラームを、カメラのI／Oコネクターに接続してください。（→ 256 ページ）
- 動作検知について
  - 光や風などの影響により画面に変化が生じた場合は、誤って検知することがあります。
  - 暗いときは動作検知できない場合があります。
  - 動きが速い物体は動作検知できない場合があります。より確実に画像の一部分の小さな動作を検知するためには、検知したい対象物からカメラをなるべく離して設置してください。対象物を画面内に十分収めるとともに、しきい値はより低めに、感度はより高めに設定してください。（→ 102 ページ）
  - パン／チルト／ズーム操作中、クリック&センタリング中、オートパンやプリセットシーケンスのレンズ動作中は動作検知しません。
- 音検知について
  - 小さな音も検知したいときは、しきい値を低く設定します。大きな音だけ検知したいときは、しきい値を高く設定します。（→ 105 ページ）
  - パン／チルト操作中、クリック&センタリング中、オートパンやプリセットシーケンスのレンズ動作中は音検知しません。
- ショック検知について
  - カメラへの小さな振動や衝撃を検知したい場合は高感度に設定します。カメラへの大きな振動や衝撃のみを検知したい場合は低感度に設定します。（→ 108 ページ）

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする

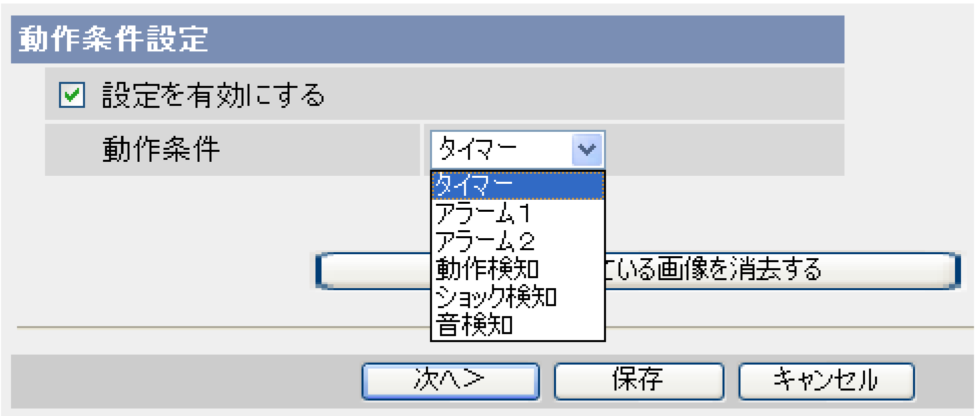
動作条件

No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	フォーマット	転送条件	通知	無検知
1	無効	動作検知	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きあり）	なし	なし
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–

3 設定したい動作条件のNo.をクリックする

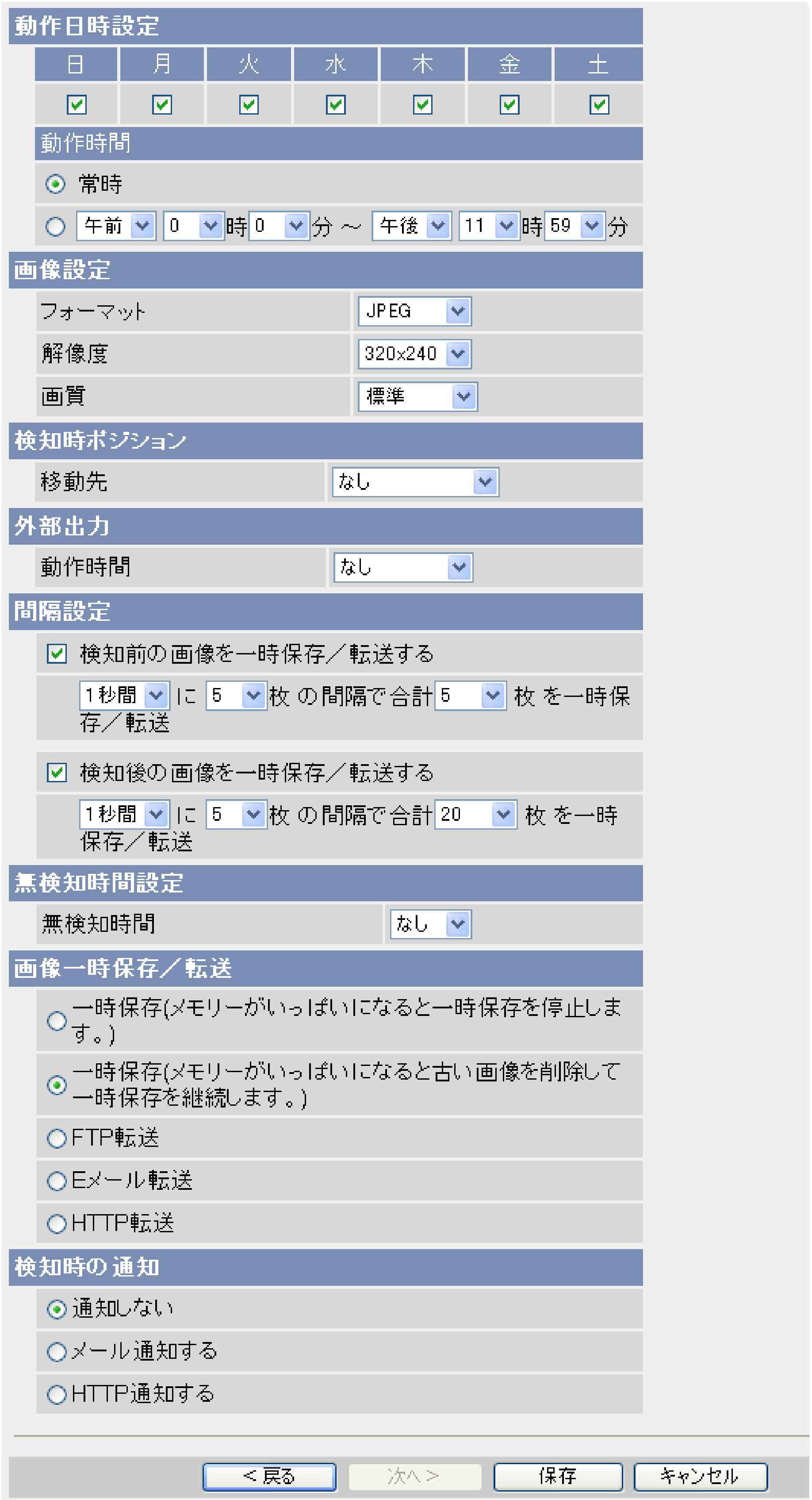
4 [設定を有効にする] にチェックを付けて一時保存／転送を有効にする

5 プルダウンメニューから[アラーム1]、[アラーム2]、[動作検知]、[音検知]、[ショック検知]のいずれかを選択し、[次へ]をクリックしてさらに設定をする（次の手順）か、 [保存] をクリックして終了する



- [アラーム1] または [アラーム2]を選択した場合は、アラームの状態によって［検知する信号］でI／Oコネクターに接続されたアラームの検知方法 [立上り(開放)] または [立下り(短絡)] を選択します。(→256 ページ)
  - [立上り(開放)]：I／Oコネクターの G ピンと1番ピンまたは2番ピンを開放
  - [立下り(短絡)]：I／Oコネクターの G ピンと1番ピンまたは2番ピンを短絡
- 一時保存画像を消去したいときは、[一時保存されている画像を消去する］をクリックします。設定している動作条件のカメラ画像が消去されます。

6 各項目を設定する


動作日時設定
日
月
火
水
木
金
土
動作時間
常時
午前 0 時 0 分 ～ 午後 11 時 59 分
画像設定
フォーマット
JPEG
解像度
320x240
画質
標準
検知時ポジション
移動先
なし
外部出力
動作時間
なし
間隔設定
検知前の画像を一時保存／転送する
1秒間 に 5 枚 の間隔で合計 5 枚 を一時保存／転送
検知後の画像を一時保存／転送する
1秒間 に 5 枚 の間隔で合計 20 枚 を一時保存／転送
無検知時間設定
無検知時間
なし
画像一時保存／転送
一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。)
一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。)
FTP転送
Eメール転送
HTTP転送
検知時の通知
通知しない
メール通知する
HTTP通知する
＜戻る
次へ＞
保存
キャンセル

a. [動作日時設定]: 検知する曜日にチェックを付けます。

b. 検知する時間帯を設定します。検知の開始時刻と終了時刻を設定してください。24時間、カメラ画像を検知し続けたい場合は、[常時] を選択します。

c. [画像設定]: 画像のフォーマット、解像度、画質を選択します。

- 携帯電話にカメラ画像（JPEG）をEメール転送する場合は、解像度が320 × 240ドット／192 × 144ドットの[動き優先]を選択してください。640 × 480ドットの［画質優先］または［標準］では画像サイズが大きくなり、携帯電話で表示できないことがあります。

d. [検知時ポジション]: 検知時に、カメラが向くカメラポジションを選択します。各カメラポジションは、あらかじめ登録しておいてください。(→ 36 ページ)
検知時ポジションを設定すると、カメラの向きが指定したポジションへ移動したあとに、一時保存／転送を開始します。

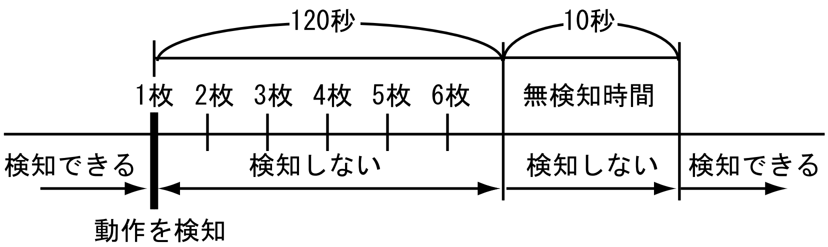
e. [外部出力]: 検知時に、外部出力を短絡／開放する時間を設定します。

f. [間隔設定]: 一時保存／転送の間隔を選択します。
検知後（1秒間／1分間）に、何枚 （1～30枚）の間隔で、合計何枚のカメラ画像を一時保存するかを設定します。設定を有効にするには、[検知後の画像を一時保存／転送する] のチェックボックスにチェックを付けてください。
検知前（1秒間／1分間）に、何枚 （1～30枚）の間隔で、合計何枚のカメラ画像を一時保存するかを設定します。設定を有効にするには、[検知前の画像を一時保存／転送する]のチェックボックスにチェックを付けてください。

- SDメモリーカードに保存しているときは、画像更新間隔（フレームレート）が遅くなります。
- SDメモリーカードに保存するときは、設定した間隔で保存されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。（1秒間に1枚の間隔を目安に設定してください。）

g. [無検知時間設定]: 検知時の一時保存終了後に、検知動作を一時停止する時間を選択します。

- 携帯電話にEメールを転送し過ぎないようにするために、この機能のご使用をおすすめします。ただし、選択した時間を経過するまで検知しないため、本来は検知すべき状況でもカメラ画像を保存できない恐れがあります。
- 検知機能を使ってカメラ画像（JPEG）を転送している場合は、設定したすべての画像枚数を一時保存し終えるまで次の検知は行われません。
例）[間隔設定]の[検知後の画像を一時保存／転送する]で1分間に3枚の画像を6枚になるまで一時保存にして、無検知時間を10秒に設定した場合



- 無検知時間中は検知前のカメラ画像（JPEG）を保存しません。例えば、[間隔設定]で「検知前画像を1秒間に1枚間隔で10枚保存する」と設定していても、無検知時間終了直後に検知した場合には、画像が保存されません。無検知時間が終了後10秒以上たつと、画像を設定どおりに保存します。

h. [画像一時保存／転送]: カメラ画像の一時保存／転送方法を選択します。

- [一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。)]: 画像は転送されません。画像はメモリーがいっぱいになるまで一時保存されます。
- [一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。)]: 画像は転送されません。メモリーがいっぱいになると、古い画像は削除され新しい画像が一時保存されます。
- [FTP転送]: 画像は指定のFTP サーバーに転送されます。
- [Eメール転送]: 画像は指定のEメールアドレスあてに転送されます。
- [HTTP転送]: 画像は指定のHTTPサーバーに転送されます。

i. [検知時の通知]: カメラが検知したときに通知する方法を選択するか、[通知しない]を選択します。

7 [画像一時保存／転送] と[検知時の通知]での設定に応じて、以下の手順にしたがう

a. 転送しない（一時保存のみ行う）設定にし、検知時に通知しない設定にした場合は、[保存] をクリックして終了します。

- [保存]をクリックすると、設定した動作条件で内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

b. 画像をFTP、Eメール、HTTPで転送する設定にした場合は、[次へ]をクリックします。

- 該当の転送設定画面が表示されます。
  - FTP サーバーに転送する場合→ 83 ページ
  - Eメールで転送する場合→ 85 ページ
  - HTTPサーバーに転送する場合→ 88 ページ

c. 画像を転送しないが、検知時に通知をする設定にした場合は、[次へ]をクリックします。

- 該当の通知設定画面が表示されます。
  - メール通知する場合→ 91 ページ
  - HTTP通知する場合→ 94 ページ

お知らせ

- ネットワーク環境、被写体、カメラへのアクセス数、SDメモリーカードへの一時保存機能などの影響で、指定した枚数／フレームレートやビットレートで保存されない場合があります。

2.3 一時保存／転送を無効／有効にする

画像の一時保存／転送を設定したあと、その設定を一時的に無効にしたり、有効にしたりすることができます。無効にしている間は、その動作条件で画像の一時保存／転送や検知時の通知は行われません。

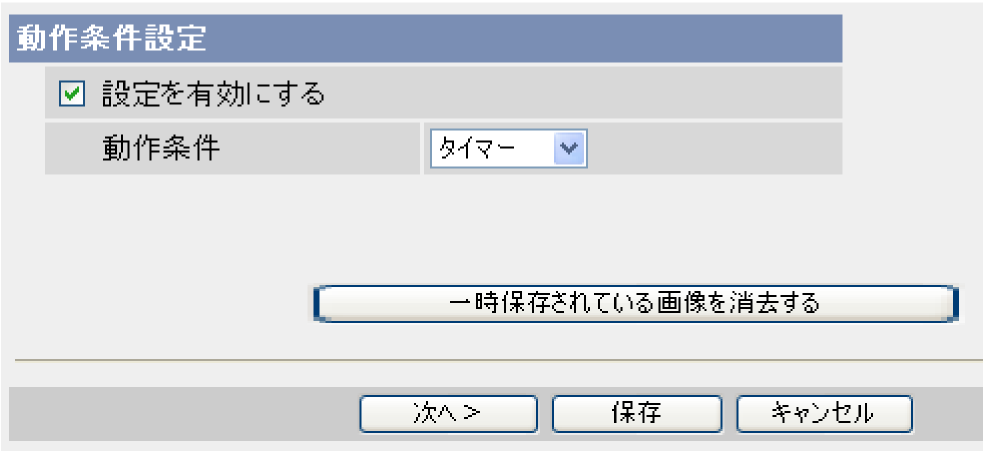
お知らせ

- 動作条件設定の有効／無効を変更すると、内部メモリーまたはSDメモリーカードに一時保存されている画像はすべて消去されます。（→ 101 ページ）

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする

3 設定したい動作条件のNo.をクリックする



4 [設定を有効にする] のチェックをはずして、一時保存／転送を無効にする

- 無効にした一時保存／転送を有効にするには、[設定を有効にする]にチェックを入れます。

5 [保存]をクリックする

- [保存]をクリックすると、その動作条件で内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

2.4 転送の方法を設定する

カメラに、タイマー、アラーム、動作検知、音検知、ショック検知による画像の一時保存／転送を設定した場合、その画像をFTP (→ 83 ページ)、Eメール (→ 85 ページ)、HTTP (→ 88 ページ)によって転送する設定をすることができます。画像は、一度カメラからの転送に成功すると、削除されます。

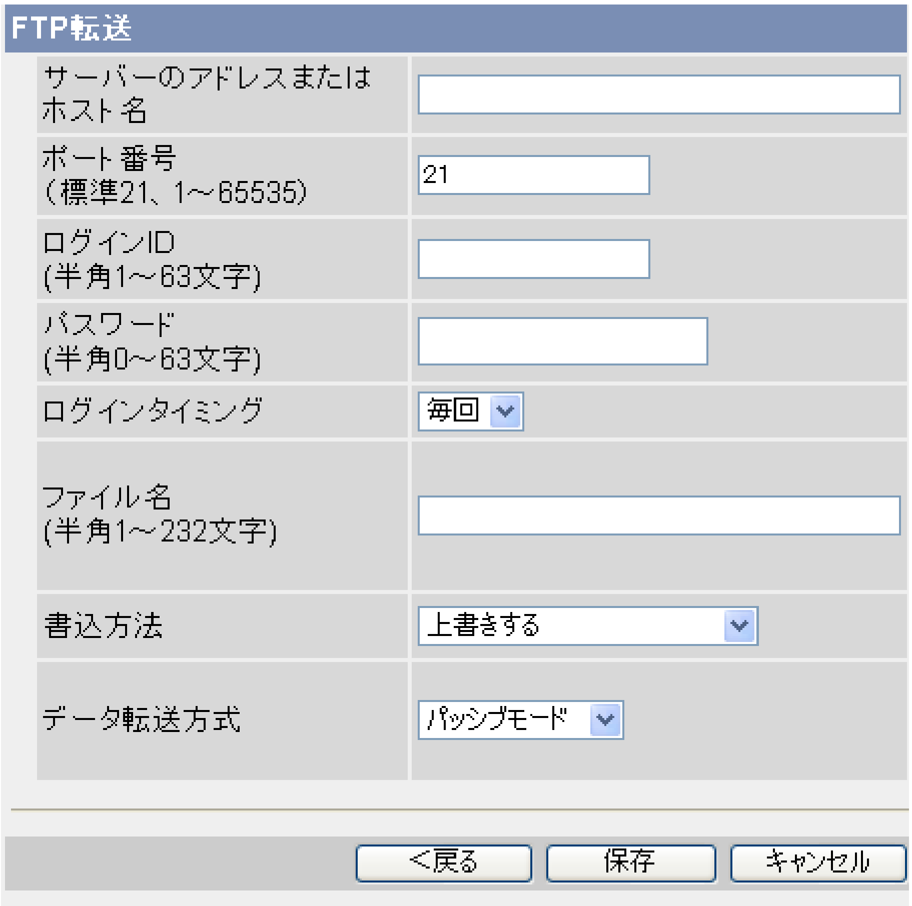
2.4.1 FTPサーバーに転送する

タイマーまたは検知時のカメラ画像（JPEG）をFTPサーバーに転送できます。(→ 71 ページ または 76 ページ)
以下の手順にしたがって、画像をFTPサーバーに転送する設定をしてください。適切な設定については、FTPサーバーの管理者に確認してください。

お知らせ

- MPEG-4を選択した場合は、FTPサーバーに転送できません。

1 各項目を設定する



a. FTPサーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
- IPv6アドレスでも入力できます。

b. FTPサーバーのポート番号（1～65535）を入力します。通常は21を入力します。

c. FTPサーバーのログインID[*3]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。

d. FTPサーバーのパスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

e. [ログインタイミング]: FTPサーバーにログインする回数を選択します。
- – [毎回]: サーバーに画像を転送するたびに、カメラはサーバーにログインします。
- – [1回]: カメラ画像の転送間隔が1分以内の場合は、[1回]を選択します。FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン／ログアウトによる処理時間を削減できます。

f. 転送するカメラ画像のディレクトリ（保存場所）とファイル名[*2]を、半角英数字で入力します（232文字以内）。ディレクトリはあらかじめ作成しておいてください。

- 例)「camera」ディレクトリ内に「image.jpg」と保存する場合： camera/image

g. [書込方法]: 同じファイル名で上書きするか、または日時を追加したファイル名で個別に保存するかを選択します。
- [上書きする]: サーバーのファイルは、カメラがアップロードしたファイルで上書きされます。つまり、サーバーに保存されているのは、1 ファイルだけです。
- [ファイル名に日時を追加する]: ファイル名の最後に時間を表す名前が追加され、サーバーには複数のファイルが保存されます。例えば、ファイル名を「image.jpg」に設定した場合、アップロードされたファイル名は、「image20090101093020500.jpg」のようになります。このファイル名の数字は「2009年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

h. [データ転送方式]: サーバーへのファイルアップロードの方法を選択します。
- 通常は、[パッシブモード] を選択してください。FTPサーバーに転送できない場合は、[アクティブモード]を選択して動作を確認してください。

2 動作条件を設定した時の設定に応じて、以下の手順にしたがう

a. 検知時に通知しない設定にした場合は、[保存] をクリックして、[動作条件設定画面へ]をクリックします。

b. 検知時に通知をする設定にした場合は、[次へ]をクリックします。
- 該当の通知設定画面が表示されます。
  - メール通知する場合→ 91 ページ
  - HTTP通知する場合→ 94 ページ

---

*1 IPv6のときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。「0」が連続する場合は「::」と省略して入力できます。例) 2001:2:3:4::5

*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

*3 ["] は使えません。

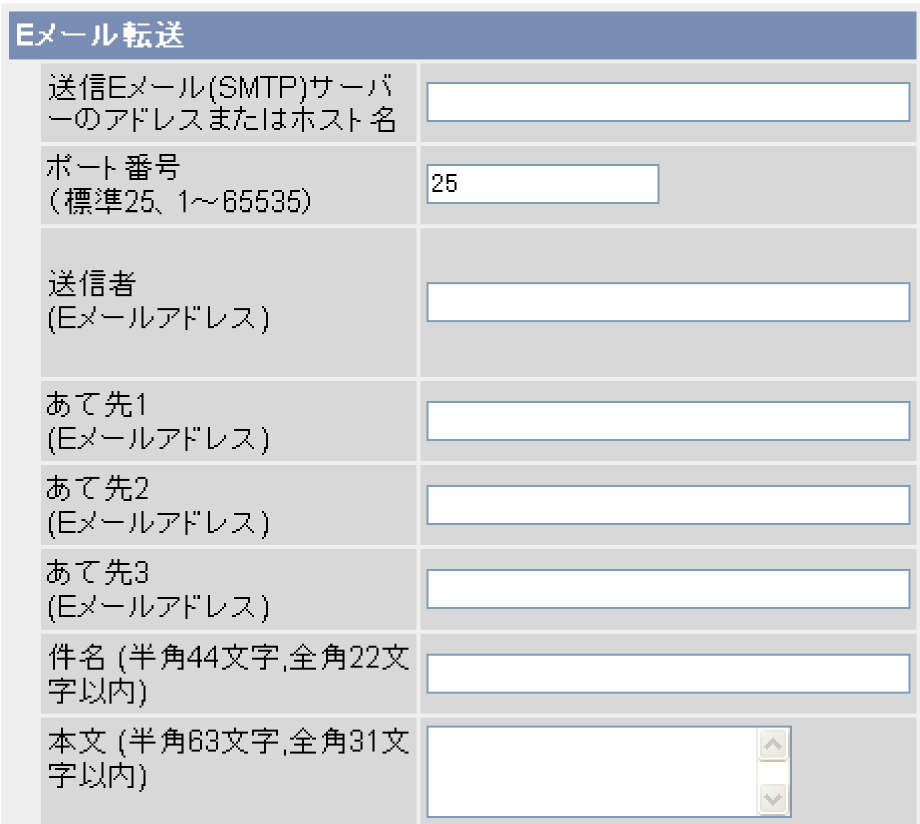
2.4.2 Eメールで転送する

タイマーまたは検知時のカメラ画像（JPEG）を、Eメールの添付ファイルとして指定したパソコン／携帯電話のEメールアドレスに送信できます。(→ 71 ページ または 76 ページ)
EメールはSSL暗号化して送信することもできます。
以下の手順にしたがって、画像をEメールアドレスに転送する設定をしてください。適切な設定については、インターネットのプロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してください。

お知らせ

- MPEG-4を選択した場合は、Eメール転送できません。
- Eメール転送はSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているEメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmail ®のようにウェブブラウザを介してアクセスするEメールアカウントは使用できません。
- 誤転送により、カメラ画像の漏えいにつながる恐れがあります。あて先のEメールアドレスを必ず確認してから、設定してください。
- [間隔設定]で一時保存／転送の間隔を短めに設定すると転送回数が増えるため、Eメール転送の転送先が携帯電話の場合は、パケット料金が多くかかる場合があります。(→ 71 ページ または 76 ページ)

1 各項目を設定する



a. [Eメール転送]: 送信Eメール（SMTP）サーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
   - IPv6アドレスでも入力できます。

b. 送信Eメール（SMTP）サーバーのポート番号（1～65535）を入力します。通常は25を入力します。

- プロバイダーによっては、サブミッションポート587やSSL（SMTP over SSL)で使用する465を設定する必要があります。

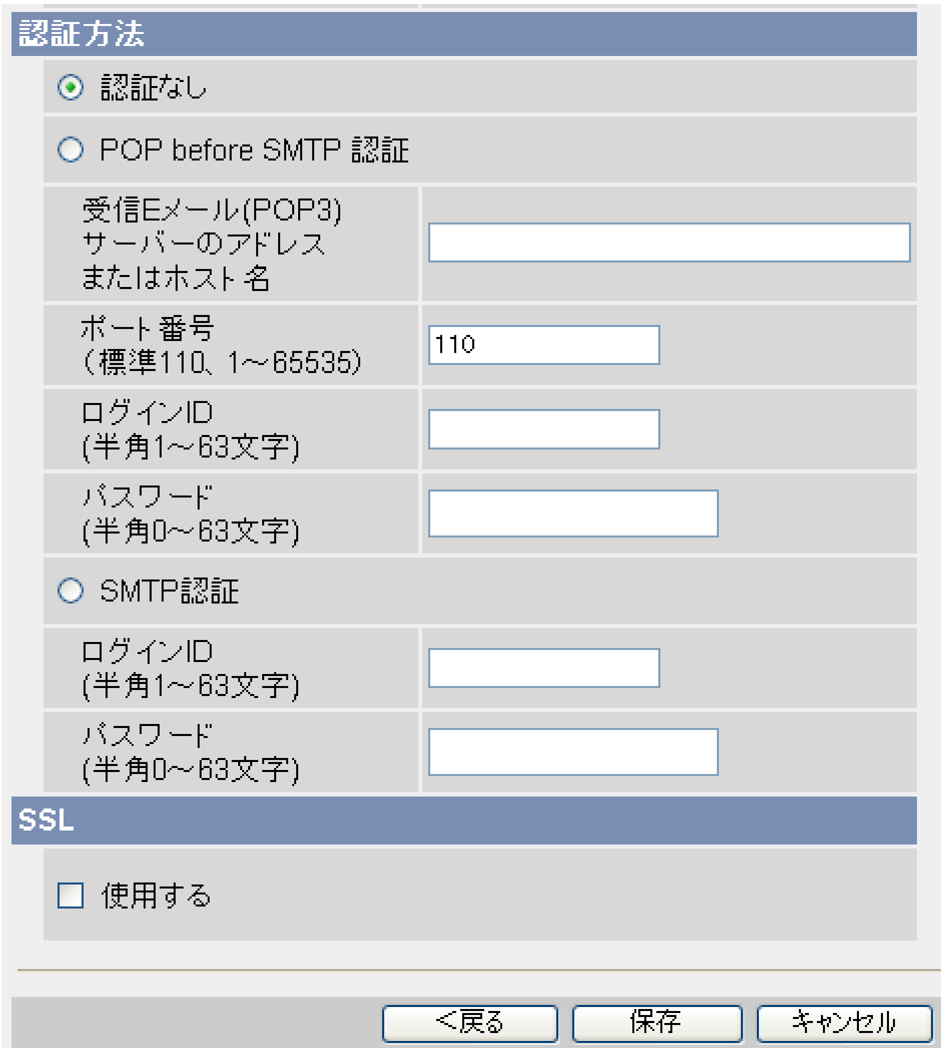
c. Eメール送信者のアドレス[*3]を入力します。
- プロバイダーより付与されたEメール送信者(カメラ管理者)のEメールアドレスを入力してください。

d. カメラ画像を転送したいEメールアドレス[*3]を3件まで設定できます。

e. Eメールの件名[*3]を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。
- 日付と時間（24時間制）が自動で件名に追加されます。
  例えば、「カメラ画像」と入力した場合は「カメラ画像：20090101093020500」となります。
  件名の数字は「2009年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
- 日付と時間は、転送されるファイル名にも使われます。(例：20090101093020500.jpg)

f. Eメールの本文[*3]を入力します（全角31文字以内、半角63文字以内)。
- 文章の改行はできません。

2 [認証方法]: インターネットのプロバイダーが要求する認証方法を必要に応じて設定する



– [認証なし]: Eメール送信時に、ユーザー認証しない場合に選択します。

– [POP before SMTP認証]: プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、[POP before SMTP認証]を選択して、各項目を設定してください。
    a. 受信Eメール（POP3）サーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
        • IPv6アドレスでも入力できます。
    b. ポート番号（1～65535）を入力します。通常は110を入力します。
    c. 受信Eメールサーバーの、ログインID[*3]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。
    d. 受信Eメールサーバーの、パスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。
– [SMTP認証]: 送信Eメール（SMTP）サーバーで、ユーザー認証します。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式、LOGIN方式、CRAM-MD5方式です。
    a. 送信EメールサーバーのログインID[*3]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。
    b. 送信Eメールサーバーのパスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

3 [SSL]: メール送信時にSSL暗号化して送信する
– [使用する]: Eメール送信時にSSL暗号化する場合はチェックを入れます。
[SSL]で[使用する]を選択すると、SSL暗号化します。
– [使用する]にチェックした場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。
– SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。

<u>お知らせ</u>
• SMTPサーバーまたはPOPサーバーによりSSLに対応していない場合があります。

4 動作条件を設定した時の設定に応じて、以下の手順にしたがう
a. 検知時に通知しない設定にした場合は、[保存] をクリックして、[動作条件設定画面へ]をクリックします。
b. 検知時に通知をする設定にした場合は、[次へ]をクリックします。
• 該当の通知設定画面が表示されます。
    – メール通知する場合→ 91 ページ
    – HTTP通知する場合→ 94 ページ

---

*1 IPv6のときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。「0」が連続する場合は「::」と省略して入力できます。例）2001:2:3:4::5
*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
*3 ["] は使えません。

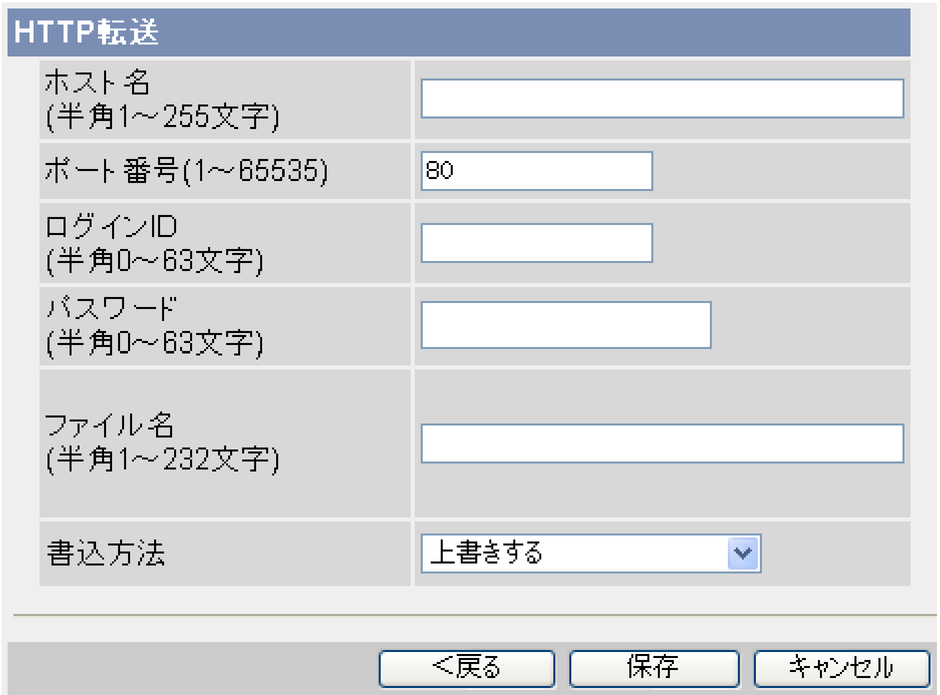
2.4.3 HTTPサーバーに転送する

タイマーまたは検知時のカメラ画像（JPEG）をHTTPサーバーに転送できます。(→ 71 ページ または 76 ページ)
以下の手順にしたがって、画像をHTTPサーバーに転送する設定をしてください。適切な設定については、HTTPサーバーの管理者に確認してください。

お知らせ

- MPEG-4を選択した場合は、HTTPサーバーに転送できません。
- HTTP転送でプロキシサーバーを使用する場合は、[ネットワーク（IPv4）] 画面でプロキシサーバーも設定してください。(→ 141 ページ)

1 各項目を設定する



a. HTTPサーバーのURL[*1]を入力します(255文字以内)。
  - IPv6アドレスでも入力できます。

b. HTTPサーバーのポート番号（1～65535）を入力します。(工場出荷値は80)

c. HTTPサーバーのログインID[*2]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。

d. HTTPサーバーのパスワード[*2]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

e. 転送するカメラ画像のディレクトリ（保存場所）とファイル名[*2]を半角英数字で入力します（232文字以内）。ディレクトリはあらかじめ作成しておいてください。
  - 例）「camera」ディレクトリ内に「image.jpg」と保存する場合： camera/image

f. [書込方法]: 同じファイル名で上書きするか、または日時を追加したファイル名で個別に保存するかを選択します。
  – [上書きする]: サーバーのファイルは、カメラがアップロードしたファイルで上書きされます。つまり、サーバーに保存されているのは、1 ファイルだけです。
  – [ファイル名に日時を追加する]: ファイル名の最後に時間を表す名前が追加され、サーバーには複数のファイルが保存されます。例えば、ファイル名を「image.jpg」に設定した場合、アップ

ロードされたファイル名は、「image20090101093020500.jpg」のようになります。
このファイル名の数字は「2009年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

2 動作条件を設定した時の設定に応じて、以下の手順にしたがう

a. 検知時に通知しない設定にした場合は、[保存] をクリックして、[動作条件設定画面へ]をクリックします。

b. 検知時に通知をする設定にした場合は、[次へ]をクリックします。

- 該当の通知設定画面が表示されます。
  – メール通知する場合→ 91 ページ
  – HTTP通知する場合→ 94 ページ

---

*1 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
*2 ["] は使えません。

2.5 通知の方法を設定する

動作条件でアラーム検知、動作検知、音検知、ショック検知による画像の一時保存／転送を設定すると、カメラが検知したときにEメール (→ 91 ページ) またはHTTP (→ 94 ページ) で、通知する設定をすることができます。

お知らせ

- タイマーによる画像の一時保存／転送は、通知できません。
- 検知の履歴（ログ）を、1日1回指定した時間に、通知することもできます。(→ 110 ページ)

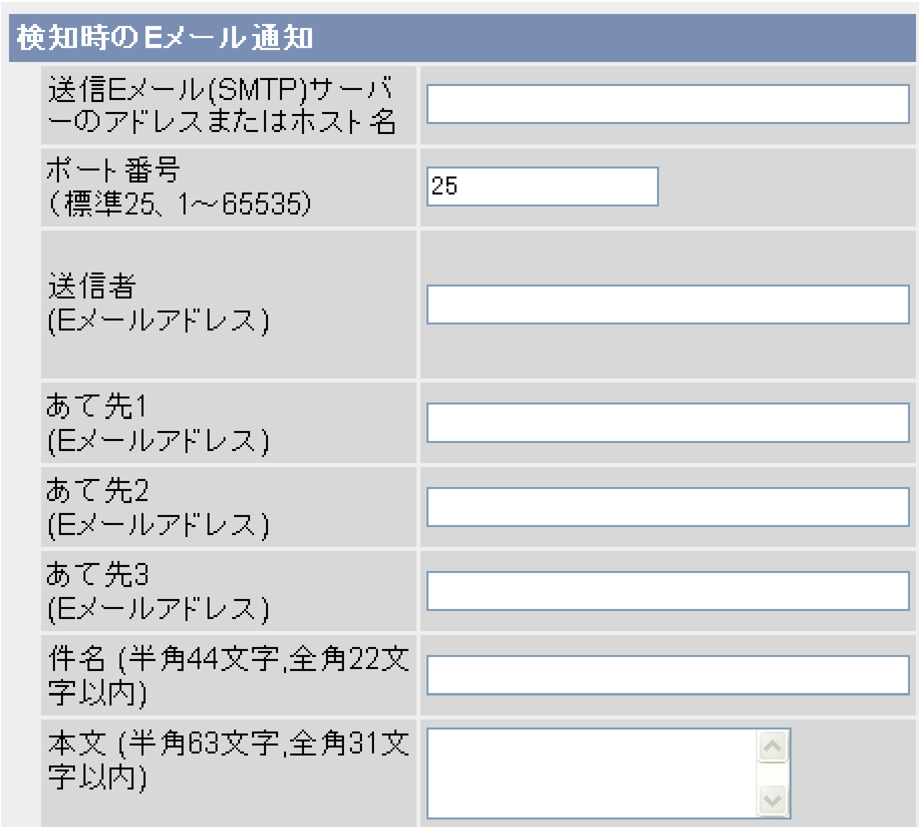
2.5.1 一時保存／転送時にEメールで通知する

動作条件設定の検知時の通知で[メール通知する]を選択した場合は、通知の設定をしてください。
(→ 76 ページ)
EメールはSSL暗号化して送信することもできます。
以下の手順にしたがって、Eメールで通知する設定をしてください。適切な設定については、インターネットのプロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してください。

お知らせ

- 通知が誤転送されないように、あて先のEメールアドレスを必ず確認してから、設定してください。

1 各項目を設定する



a. 送信Eメール（SMTP）サーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
- IPv6アドレスでも入力できます。
- Hotmail のようにウェブブラウザを介してアクセスするEメールアカウントは使用できません。

b. 送信Eメール（SMTP）サーバーのポート番号（1～65535）を入力します。通常は25を入力します。
- プロバイダーによっては、サブミッションポート587やSSL（SMTP over SSL)で使用する465を設定する必要があります。

c. Eメール送信者のアドレス[*3]を入力します。
- 送信Eメール（SMTP）サーバー欄で指定した、サーバー用のEメール送信者(カメラ管理者)のEメールアドレスを入力してください。

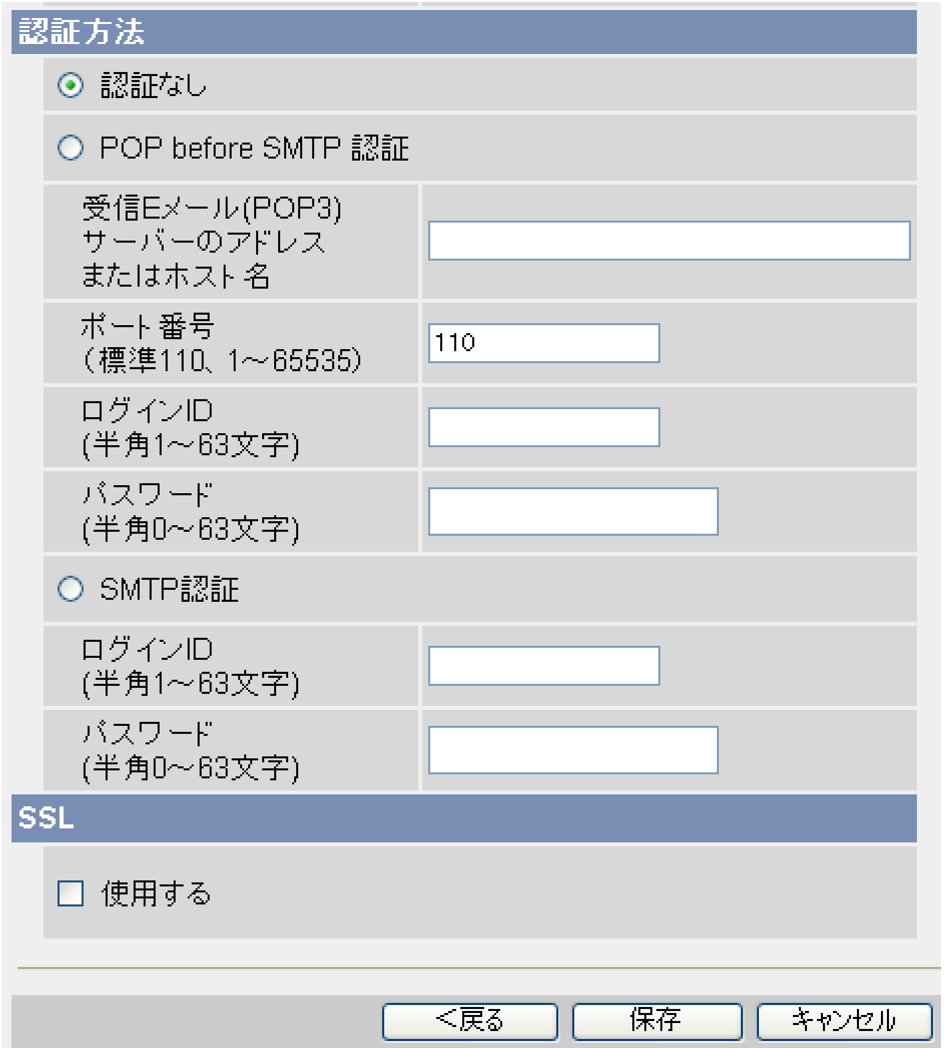
d. あて先とするEメールアドレス[*3]を3件まで設定できます。

e. Eメールの件名[*3]を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。

- 日付と時間（24時間制）が自動で件名に追加されます。
  例えば、「カメラ画像」と入力した場合は「カメラ画像：20090101093020500」となります。
  件名の数字は「2009年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

f. Eメールの本文[*3]を入力します（全角31文字以内、半角63文字以内）。
- 文章の改行はできません。

2 [認証方法]: インターネットのプロバイダーが要求する認証方法を必要に応じて設定する



– [認証なし]: Eメール送信時に、ユーザー認証しない場合に選択します。
– [POP before SMTP認証]: プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、[POP before SMTP認証]を選択して、各項目を設定してください。

a. 受信Eメール（POP3）サーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
- IPv6アドレスでも入力できます。

b. ポート番号（1～65535）を入力します。通常は110を入力します。

c. 受信Eメールサーバーの、ログインID[*3]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。

d. 受信Eメールサーバーの、パスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

– [SMTP認証]: 送信Eメール（SMTP）サーバーで、ユーザー認証します。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式、LOGIN方式、CRAM-MD5方式です。
  a. 送信EメールサーバーのログインID[*3]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内）。
  b. 送信Eメールサーバーのパスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

3 [SSL]: メール送信時にSSL暗号化して送信する

– [使用する]: Eメール送信時にSSL暗号化する場合はチェックを入れます。
  [SSL]で[使用する]を選択すると、SSL暗号化します。
– [使用する]にチェックした場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。
– SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。

<u>お知らせ</u>

- SMTPサーバーまたはPOPサーバーによりSSLに対応していない場合があります。

4 [保存]をクリックして、[動作条件設定画面へ]をクリックする

---

*1 IPv6のときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。「0」が連続する場合は「::」と省略して入力できます。例）2001:2:3:4::5
*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
*3 ["] は使えません。

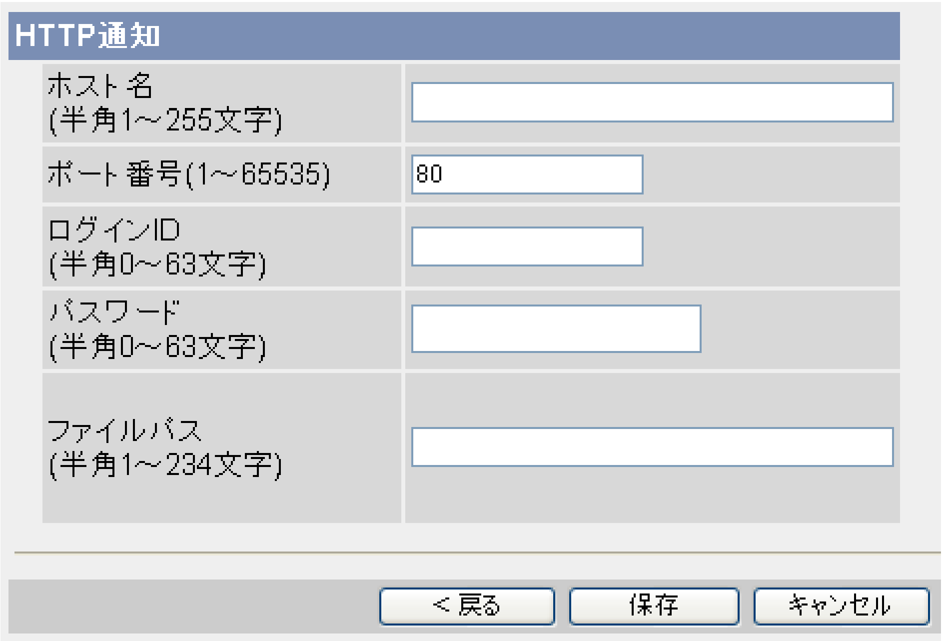
2.5.2 一時保存／転送時にHTTPで通知する

動作条件設定の検知時の通知で[HTTP通知する]を選択した場合は、通知の設定をしてください。
(→ 76 ページ)
以下の手順にしたがって、HTTPで通知する設定をしてください。適切な設定については、インターネットのプロバイダーまたはネットワーク管理者に確認してください。

お知らせ

- HTTP転送でプロキシサーバーを使用する場合は、[ネットワーク（IPv4）] 画面でプロキシサーバーも設定してください。(→ 141 ページ)

1 各項目を設定する



a. HTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名[*1]を入力します(255文字以内)。
- IPv6アドレスでも入力できます。

b. HTTPサーバーのポート番号（1～65535）を入力します。（工場出荷値は80）

c. HTTPサーバーのログインID[*2]（ユーザー名）を半角英数字で入力します（63文字以内)。

d. HTTPサーバーのパスワード[*2]を半角英数字で入力します（63文字以内)。

e. HTTPサーバー上のファイルパス[*2]を入力します（234文字以内)。

2 [保存]をクリックして、[動作条件設定画面へ]をクリックする

---

*1 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
*2 ["] は使えません。

2.6 一時保存画像を見る／保存する

カメラに画像を一時保存する設定をした場合 (→ 71 ページ 、76 ページ)、カメラにアクセスして一時保存画像画面で、タイマー／アラーム／動作検知／音検知／ショック検知によって記録されたカメラ画像（MPEG-4／JPEG）を見ることができます。また、一時保存画像（MPEG-4／JPEG）をパソコンに保存できます。

お知らせ

- 静止画（JPEG）の場合、音声を保存できません。
- 静止画（JPEG）の場合は、解像度、画質により保存できる枚数が変わります。動画（MPEG-4）の場合は、解像度、被写体によって保存できる時間が変わります。
- カメラがFTP、Eメール、HTTPを使って画像を転送する設定になっている場合、一度転送された画像は消去されるため、ここでの手順では画像を見ることはできません。
- 動画（MPEG-4）の場合、動画ファイルの作成が完了するまで画像の参照はできません。動画ファイルは以下の場合に作成が完了します。
  - タイマー：内部メモリーの空きがなくなった場合（約1分）
  - タイマー：SDメモリーカードで20 MBのファイルの保存が完了した場合（数十分）
- 動画（MPEG-4）を見るには、G.726 Audio Codecが必要です。あらかじめパナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)の手順に従ってダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

1 [一時保存画像] タブをクリックする

- 動作条件No.1～5 の一番古い画像が表示されています。
- 動作条件がMPEG-4の場合は、一覧では黒い画面で表示されます。
- 動作条件が無効の場合やその動作条件でまだ一時保存されていない場合、青色の画面で表示されます。



2 見たいカメラ画像の番号・名前をクリックする

JPEGの場合



A. 一時保存を開始および終了した日付・時刻を表示します。

B. カメラ画像

C. 一時保存した日付、時刻、画像No.を表示します。

D. 画像再生ボタン (詳細は下記を参照してください。)

E. [保存] をクリックしたときにパソコンに保存される画像枚数を選択します。

F. クリックすると選択した枚数の画像を保存します。

画像を再生する

[連続再生]: すべての一時保存画像を、表示している画像から連続して再生します。
[先頭] ／ [最後]: 先頭または最後の画像を表示します。
[<10000], [<1000], [<100], [<10], [<1]: 1、10、100、1000、10000画面前の画像を表示します。
[10000>], [1000>], [100>], [10>], [1>]: 1、10、100、1000、10000画面後の画像を表示します。

お知らせ

- 日付、時刻、画像No.は再生時には表示されません。
- 連続再生中のみ、ActiveXコントロールによる3倍デジタルズーム(→ 47 ページ)が使えます。(デジタルズーム操作中は、カメラ画像上に倍率が表示されます。) ただし、デジタルズームで拡大表示した画像は、画質が低下します。
- 同時接続が最大数を超えると青色画像が表示されます。(→ 67 ページ)

画像を保存する

保存枚数を選択して [保存]をクリックし、パソコンで画像を保存するフォルダを指定してください。表示している画像以降の選択した枚数の画像が保存されます。 [最後まで]を選択して [保存]をクリックすると、表

示しているカメラ画像以降をすべて保存します。保存したJPEG画像を見るには、専用のネットワークカメラビューア ⅡソフトIが必要です。ネットワークカメラビューア Ⅱソフトは、CD-ROM（添付品）のNCVフォルダ内にあるNCV2_README_C.txtファイルを参照してインストールするか、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)からダウンロードし、パソコンにインストールして使用してください。
JPEGで一時保存した場合は、保存したいカメラ画像の上でマウスの右ボタンをクリックして、[名前をつけて画像を保存...]をクリックすることでも静止画として保存できます。ただし、連続再生中は保存できません。

お知らせ

- JPEGの解像度が大きい場合や保存枚数が多い場合は、ネットワーク環境によって、保存が完了するまでに数時間かかることがあります。
- パソコンにカメラ画像を保存中に、ネットワークの異常などによりカメラとパソコンの通信が切断された場合は、パソコンにカメラ画像は保存されません。

MPEG-4の場合



A. 一時保存を開始および終了した日付・時刻を表示します。

B. カメラ画像

C. Windows Media® Player コントロール (操作については、Windows Media Player のヘルプを参照してください。)

D. 画像再生ボタン (詳細は下記を参照してください。)

E. 保存ボタン

動画を再生する

[連続再生]: すべての一時保存MPEG-4画像を、表示している画像から連続して再生します。
[先頭] ／ [最後]: 先頭または最後のファイルを再生します。
[<10000], [<1000], [<100], [<10], [<1]: 1、10、100、1000、10000前のファイルを再生します。
[10000>], [1000>], [100>], [10>], [1>]: 1、10、100、1000、10000後のファイルを再生します。

お知らせ

- 動画ファイルは、録画が完了するまで画像の再生はできません。
- タイマーでSDメモリーカードに動画を保存している場合、録画時間が長いと再生を開始するまでに時間がかかることがあります。
- 動画を再生するには、G.726 Audio Codecをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。 [画像が表示されないときや、音声が聴こえないときは、こちらをクリックしてください。] の下のリンクをクリックして、サイトにアクセスし、G.726 Audio Codecをダウンロードしてください。（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）
- 日付、時刻、画像No.は再生時には表示されません。
- Windows 7またはWindows VistaでMPEG-4画像を再生中に再生が停止する場合があります。再生が停止した場合はWindows Media Playerの再生ボタンをクリックしてください。
- Windows 7の場合は、MPEG-4画像を再生すると認証画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力してください。
- 同時接続が最大数を超えると黒画像が表示されます。（→ 67 ページ）

動画を保存する

[保存]をクリックして、パソコンでファイルを保存するフォルダを指定してください。MPEG-4画像がパソコンにASF（Advanced Streaming Format）ファイルとして保存されます。保存したMPEG-4画像（ASFファイル）は、Windows Media Playerで再生できます。

お知らせ

- カメラ本体の内部メモリーに一時保存 、またはSDメモリーカードに保存したカメラ画像への容量の割り当てや削除の条件については、101 ページを参照してください。
- MPEG-4画像の再生と保存についての詳細は、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)を参照してください。

2.7 一時保存画像を手動で削除する

1つの動作条件によって一時保存された画像すべてを内部メモリーまたはSDメモリーカードから消去することができます。

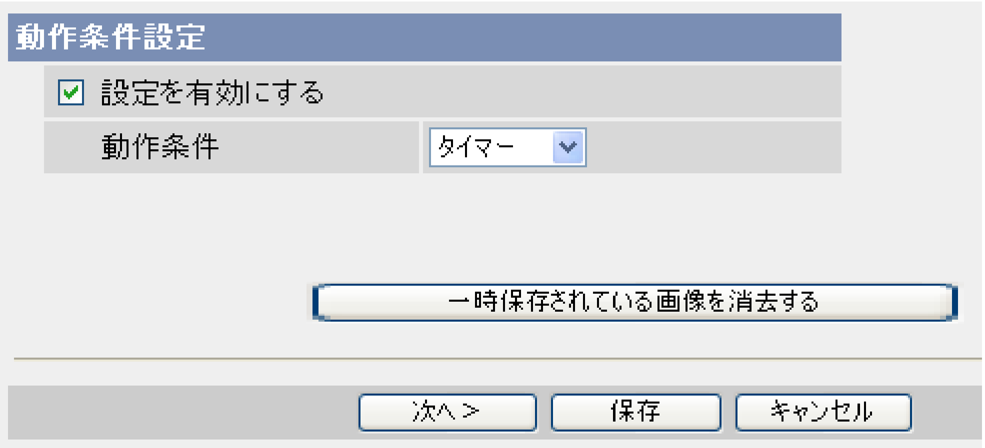
1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする

動作条件

No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	フォーマット	転送条件	通知	無検知
1	無効	動作検知	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きあり）	なし	なし
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	JPEG	一時保存（上書きなし）	–	–

3 一時保存されている画像すべてを消去したい動作条件のNo. (1〜5)をクリックする



4 [一時保存されている画像を消去する]をクリックする

5 [OK]をクリックする

お知らせ

- 動作条件の設定内容を変更した場合も、その動作条件によって一時保存されていた画像は消去されます。
- 以下の操作をすると、内部メモリーにあるすべての一時保存画像が消去されます。
  – カメラの電源を切った場合、または再起動した場合
  – ファームウェアのバージョンアップをした場合
  – カメラの設定をファイルから復元した場合
  – 工場出荷値に戻した場合
  – 日付・時刻の設定内容を変更・保存した場合

– 動作条件の状態（有効／無効）を切り替えた場合

2.8 一時保存画像のメモリーと削除について

一時保存画像は、カメラの内部メモリーおよびSDメモリーカードに以下のように保存されます。

内部メモリー

使用容量の割り当てについて

内部メモリーの容量は、有効に設定された動作条件の数で、等分割されます。例えば、5つの動作条件が有効になっている場合、1つの動作条件に対して1／5の容量が、3つの動作条件が有効になっている場合、1つの動作条件に対して、1／3の容量が割り当てられます。カメラの内部メモリーについて詳しくは、243 ページ を参照してください。

消去される条件について

カメラ本体の内部メモリーに一時保存されているカメラ画像は、以下の場合に消去されます。

- 1つの動作条件の画像のみ消去
  - 動作条件の設定内容を変更した場合
  - 各動作条件の［動作条件設定］画面で、［一時保存されている画像を消去する］をクリックした場合
- すべて消去
  - 動作条件の状態（有効／無効）を切り替えた場合 (→ 81 ページ、71 ページ 、76 ページ)
  - 電源を切った場合、または再起動した場合 (→ 203 ページ)
  - ファームウェアのバージョンをアップした場合 (→ 205 ページ、238 ページ)
  - 工場出荷値に戻した場合 (→ 211 ページ)
  - 日付・時刻の設定内容を変更・保存した場合 (→ 157 ページ)
  - カメラの設定をファイルから復元した場合 (→ 209 ページ)

SDメモリーカード

使用容量の割り当てについて

SDメモリーカードの容量は、有効に設定された動作条件の数で、等分割されます。例えば、5つの動作条件が有効になっている場合、1つの動作条件に対して1／5の容量が、3つの動作条件が有効になっている場合、1つの動作条件に対して、1／3の容量が割り当てられます。対応するSDメモリーカードと録画枚数については、245 ページを参照してください。

消去される条件について

SDメモリーカードに一時保存されているカメラ画像は、以下の場合に消去されます。

- 1つの動作条件の画像のみ消去
  - 各動作条件の［動作条件設定］画面で、［一時保存されている画像を消去する］をクリックした場合
  - ［画像設定］の［フォーマット］（MPEG-4、JPEG）を変更した場合
- すべて消去
  - SD メモリーカードをフォーマットした場合(→ 197 ページ)
  - 動作条件の状態（有効／無効）を切り替えた場合 (→ 81 ページ)
  - 新しい動作条件を設定した場合(→ 71 ページ、76 ページ)

2.9 動作検知の感度を調整する

被写体の動作を過度に検知したくない、または小さな動作も逃さず検知したい場合に、動作検知の感度を調整します。

重要

- 動作検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知機能を使用しないでください。動作検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作検知感度]をクリックする



3 [プレビュー] を見て、現在の設定での動作検知を確認する

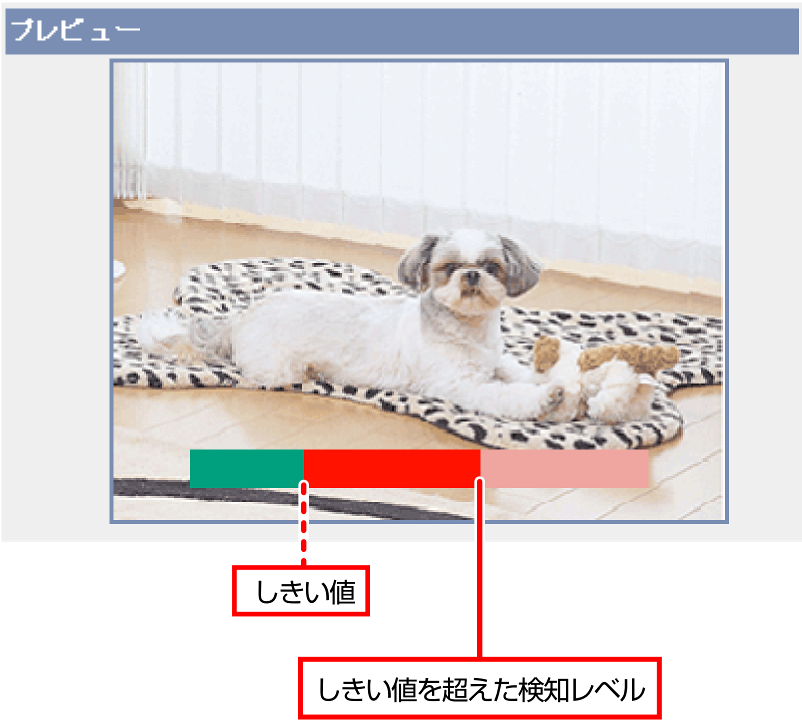
- この画面での設定変更は、[保存]をクリックするまで、[プレビュー] 画面には反映されません。
- [プレビュー] 画面では、クリック＆センタリング機能を使いカメラの向きを変えることができます。(→ 30 ページ)

4 [しきい値] バーをクリックして動作検知のしきい値を調整する(→ 103 ページ)

5 [感度]バーをクリックして動作検知の感度を調整する(→ 103 ページ)

6 [保存]をクリックして、[動作検知感度設定画面へ]をクリックする

7 [プレビュー] を見て、新しい設定での動作検知を確認する



- プレビュー画面の下部に、しきい値（緑）と検知レベル（赤）が表示されます。検知レベルがしきい値を超えると赤のバーが表示され、動作検知したことを表します。
- さらに設定が必要であれば手順4から繰り返してください。

[しきい値] と[感度]について

動作検知は、しきい値と感度で調整します。[しきい値] と[感度] について理解することで動作検知機能を効果的に設定し利用することができます。
[しきい値]: 動作検知する場合に、カメラ画像に動きがあったかどうかを判断するための基準値を設定します。被写体の小さな動きも検知したい場合は値を低く、カメラ画像の半分以上を占めるような大きな動きを検知したい場合は、値を高く設定してください。[プレビュー] 画面ではしきい値は黄緑色で表示されます。
[感度]: 感度は、画像の輝度の変化によって、動きがあると判断するための設定です。高感度側に設定すると、わずかな輝度の変化でも動きとして捉えます。大きな輝度の変化だけを動きとして捉えたいときは、低感度側に設定してください。[プレビュー] 画面では、動きがしきい値を超えない場合は緑色で、しきい値を超えた場合は赤で表示されます。
[プレビュー]: 設定と実際の動作検知の状況をプレビュー表示します。([保存]をクリックしたら反映されます。)
小さな動きも検知したいときは、しきい値を低く、感度を高く設定します。
大きな動きだけ検知したいときは、しきい値を高く、感度を低く設定します。

お知らせ

- 蛍光灯の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合があります。
- カメラの動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。一方、別売りのネットワークカメラ専用録画プログラムの動作検知機能は、動きの変化を動体全体の変化と

輝度変化によって検知しています。したがって、同じ動作を検知するための設定が、カメラの動作検知機能と録画プログラムの動作検知機能とでは異なります。

- 背景と手前の被写体の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
- パン／チルト／ズーム操作中は動作検知しません。
- 動作検知は、被写体、解像度、画質などの条件によって変わります。[プレビュー] 画面で現在の設定で動作検知を確認してください。

2.10 音検知の感度を調整する

カメラのマイクで周辺の音を拾い、設定された音量のしきい値を超えた場合に検知を行います。音検知の音量しきい値は10段階で調整できます。

重要

- 音検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、音検知機能を使用しないでください。音検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[音検知感度]をクリックする



3 [プレビュー] 画面で、音量しきい値と現在の音量レベルを確認する

- この画面での設定変更は、[保存]をクリックするまで、[プレビュー] 画面には反映されません。

4 検知したい音量がしきい値を超えるように、[音量しきい値]バーで調整する(→ 106 ページ)

5 [保存]をクリックして、[音検知感度設定画面へ]をクリックする

6 [プレビュー] を見て、新しい設定での音検知を確認する



- プレビュー画面の下部に、しきい値（緑）と検知レベル（赤）が表示されます。検知レベルがしきい値を超えると赤のバーが表示され、音検知したことを表します。
- さらに設定が必要であれば手順4から繰り返してください。

[音量しきい値] について

音検知は、音量しきい値で調整します。[音量しきい値] について理解することで音検知機能を効果的に設定し利用することができます。
[音量しきい値]: 音検知する場合に、カメラの周辺で音があったかどうかを判断するための基準値を設定します。

- 小さな音も検知したいときは、しきい値を低く設定します。
- 大きな音だけ検知したいときは、しきい値を高く設定します。

[プレビュー]: 設定と実際の音検知の状況をプレビュー表示します。([保存]をクリックしたら反映されます。)

お知らせ

- プレビュー画面では音と画像がずれて聞こえます。
- 音声設定画面の[入力（パソコンのスピーカー出力）]を[しない]に設定していると検知しません。(→ 161 ページ)
- 音声設定画面の[感度]設定は、検知レベルに影響します。(→ 161 ページ)
- 音検知は、周囲雑音より大きな音が入った時に反応します。図書館など静かな環境では、高感度を、騒がしい環境では、低感度を、工場などの常に騒々しい環境では、超低感度に設定することを推奨します。(→ 161 ページ)

- 検知した音は、一時保存またはSDメモリーカードには録音できません。
- 周囲の雑音などで誤検知することがあります。
- 音の大きさ（音量）のみで検知する方式であり、音の種類には関係ありません。

2.11 ショック検知の感度を調整する

カメラに外部から与えられた振動や衝撃を受けた場合に、設定された感度レベルを超えた場合にその振動や衝撃を検知します。
ショックの検知感度は、高感度または低感度の設定ができます。(→ 252 ページ)

重要

- ショック検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、ショック検知機能を使用しないでください。ショック検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[ショック検知感度]をクリックする



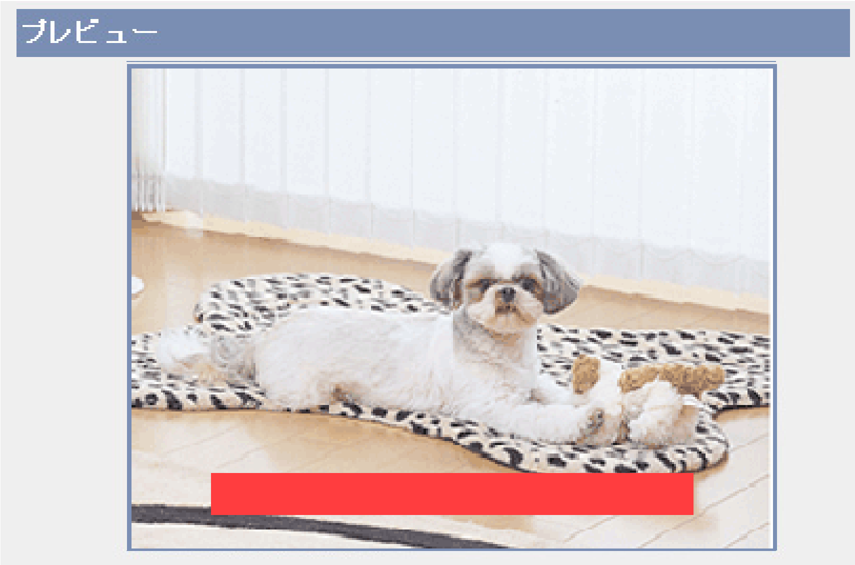
3 [プレビュー] 画面で、現在の設定でのショック検知を確認する

- 衝撃が検知レベルより低い場合には、検知バーはピンクです。
- 衝撃が検知レベルより大きい場合には、検知バーは赤です。
- この画面での設定変更は、[保存]をクリックするまで、[プレビュー] 画面には反映されません。

4 検知したい衝撃を検知するように[ショック検知感度] で[高感度]／[低感度] を選択し、感度を調整する (→ 109 ページ)

5 [保存]をクリックして、[ショック検知感度設定画面へ]をクリックする

6 [プレビュー] を見て、新しい設定でのショック検知の感度を確認する



- プレビュー画面の下部のバーが濃い赤色になるとショック検知したことを表します。
- さらに調整が必要であれば手順4から繰り返してください。

[ショック検知感度] について

ショック検知は、高感度／低感度で設定します。[ショック検知感度] について理解することでショック検知機能を効果的に設定し利用することができます。
[ショック検知感度]: ショック検知する場合に、カメラに振動や衝撃があったかどうかを判断するための感度を設定します。(→ 252 ページ)

- カメラへの小さな振動や衝撃を検知したい場合は高感度に設定します。
- カメラへの大きな振動や衝撃のみを検知したい場合は低感度に設定します。

[プレビュー]: 実際のショック検知の状況をプレビュー表示します。([保存]をクリックしたら反映されます。)

<u>**お知らせ**</u>

- 検知する衝撃のレベルは、設置条件や衝撃の加え方で変わりますので、検知できない場合や誤検知する場合があります。

2.12 アラームログをEメールで通知する

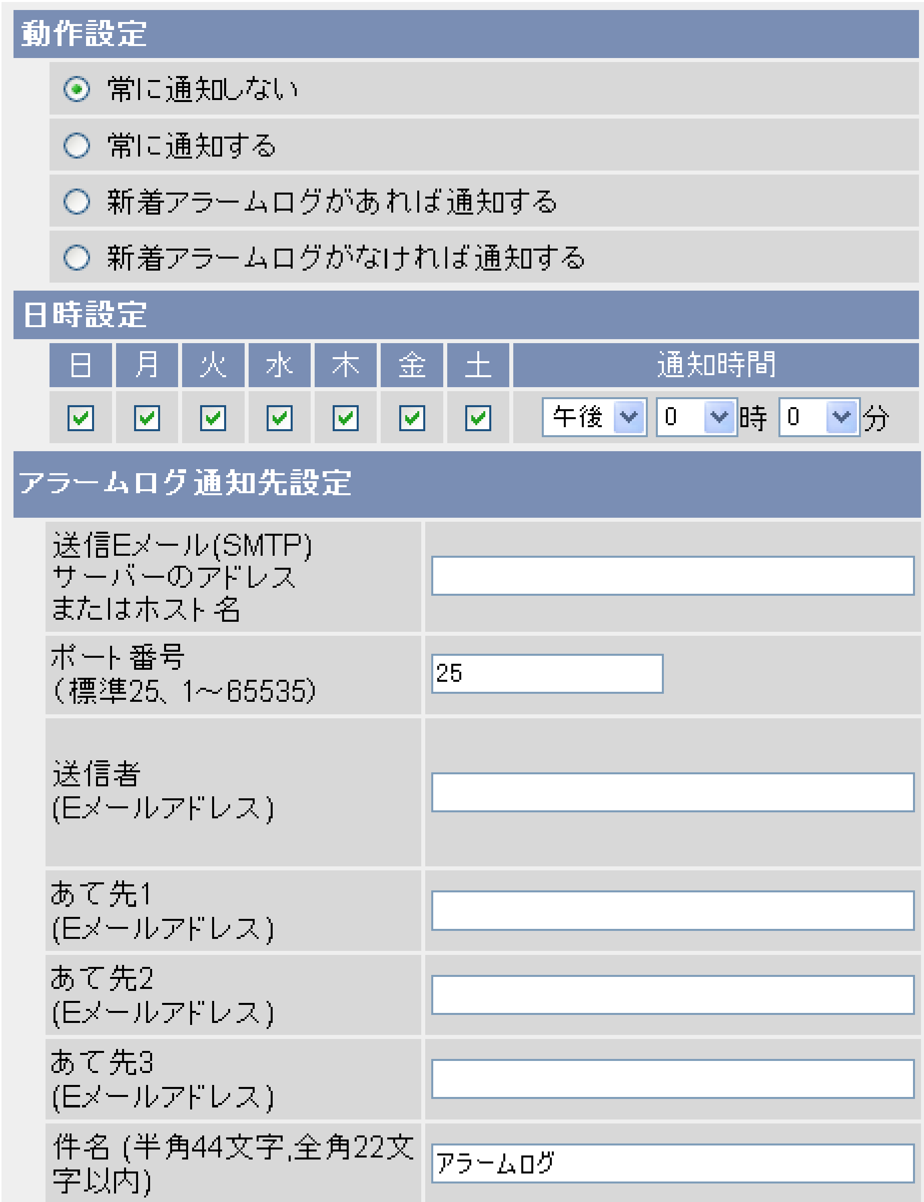
アラーム検知、動作検知、音検知、ショック検知の履歴（ログ）を、1日1回指定した時間に、任意のEメールアドレスへEメール送信できます。また、1日1度も検知しなかった場合にも、通知することができます。EメールはSSL暗号化して送信することもできます。

お願い

- ログ通知を設定するには、動作条件をアラーム1～2、動作検知、音検知、ショック検知にして、設定を有効にしてください。(→ 76 ページ)

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[アラームログ通知]をクリックする



3 各項目を設定する

a. [動作設定]: ログの通知条件を選択します。

– [常に通知しない]: アラームログは通知されません。
– [常に通知する]: 検知がなくてもアラームログは通知されます。
– [新着アラームログがあれば通知する]: 検知がある場合のみ、アラームログは通知されます。
– [新着アラームログがなければ通知する]: 検知がない場合のみ、アラームログは通知されます。

b. [日時設定]: ログを通知する曜日と時刻を選択します。

c. [アラームログ通知先設定]: 送信Eメール（SMTP）サーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]（255文字以内）を入力します。
- IPv6アドレスでも入力できます。
- この機能は、Hotmailのようなウェブサイト形式のメールサーバーに画像を転送することはできません。

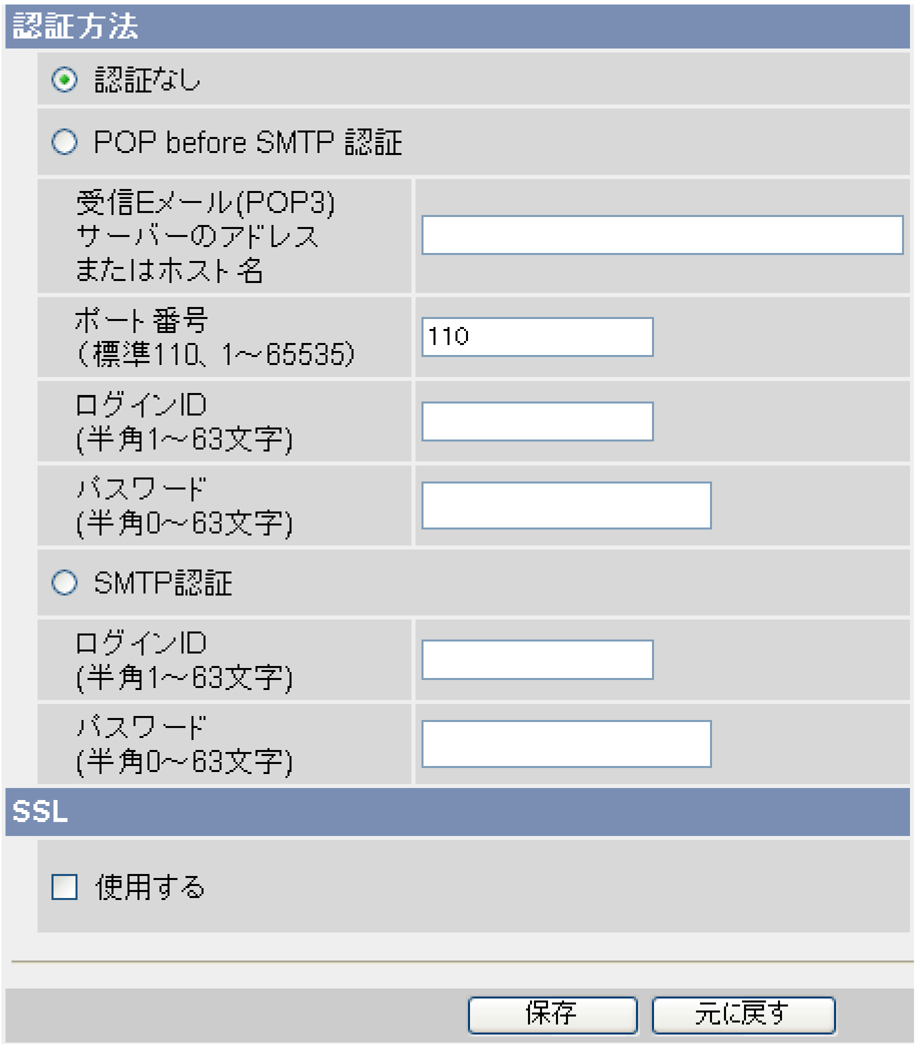
d. 送信Eメール（SMTP）サーバーのポート番号（1～65535）を入力します。通常は25を入力します。
- プロバイダーによっては、サブミッションポート587やSSL（SMTP over SSL)で使用する465を設定する必要があります。

e. Eメール送信者のアドレス[*3]を入力します。
- 送信Eメール（SMTP）サーバー欄で指定した、サーバー用のEメール送信者(カメラ管理者)のEメールアドレスを入力してください。

f. あて先とするEメールアドレス[*3]を、3件まで設定できます。

g. Eメールの件名[*3]を入力します（全角22文字以内、半角44文字以内)。（工場出荷値は「アラームログ」になります。）

4 [認証方法]: 認証方法を設定する



- [認証なし]: Eメール送信時に、ユーザー認証を行わない場合に選択します。
- [POP before SMTP認証]: プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、[POP before SMTP認証]を選択して、各項目を設定してください。
  a. 受信EメールサーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。
  - IPv6アドレスでも入力できます。

  b. ポート番号（1～65535）を入力します。通常は110を入力します。
  c. 受信EメールサーバーのログインID[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。
  d. 受信Eメールサーバーのパスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。
- [SMTP認証]: 送信Eメール（SMTP）サーバーで、ユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式、LOGIN方式、CRAM-MD5方式です。
  a. 送信EメールサーバーのログインID[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。
  b. 送信Eメールサーバーのパスワード[*3]を半角英数字で入力します（63文字以内）。

5 [SSL]: メール送信時にSSL暗号化して送信する

- [使用する]: Eメール送信時にSSL暗号化する場合はチェックを入れます。
  [SSL]で[使用する]を選択すると、SSL暗号化します。
- [使用する]にチェックした場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。
- SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。

お知らせ

- SMTPサーバーまたはPOPサーバーによりSSLに対応していない場合があります。

6 [保存]をクリックして、[アラームログ通知設定画面へ]をクリックする

お知らせ

- [動作設定]を変更して保存すると、新着アラームログの数は0になります。

---

*1 IPv6のときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。「0」が連続する場合は「::」と省略して入力できます。例）2001:2:3:4::5
*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
*3 ["] は使えません。

2.13 ネットワークに接続せずにSDメモリーカードに録画する（SDメモリーカード単独録画機能）

ネットワークに接続せずにカメラ本体とSDメモリーカードのみで、録画や録音（MPEG-4のみ、音声対応モデル）ができます。パソコンで設定しなくても、あらかじめ用意された6つの録画動作条件から選択することで、簡単に設定できます。録画画像を確認するにはSDメモリーカードを本体から取り出し、パソコン上で参照します。
詳しくは、『SD メモリーカード単独録画機能について』（添付品）を参照してください。

3 携帯電話の機能

携帯電話でカメラ画像を見るためには、カメラをインターネットに公開する必要があります。(→ 134 ページ)
携帯電話からインターネットを使って、カメラ画像（静止画のみ）を見られます。携帯電話での機能を使う前に以下のことにご注意ください。

- 携帯電話ではカメラの音声機能は使用できません。
- 携帯電話によっては、ポート番号が80しか使用できないことがあります。また、接続できなかったり、画像が表示されなかったりする場合があります。詳しくは パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) を参照してください。

3.1 携帯電話からカメラにアクセスする

1 携帯電話のアドレスバーに「**http://**IPアドレスまたはURL:ポート番号**/mobile**」と入力して、接続する

例）http://*.***.***.***/mobile**

- カメラのポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。
- [HTTPSを使用する]に設定している場合には、「**https://**IPアドレスまたはURL:ポート番号/mobile」と入力してください。
  - カメラのポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合も、ポート番号を入力する必要があります。
  - 機種によっては、HTTPSに設定している場合にアクセスできないことがあります。その場合は、設定をHTTPに戻してください。

2 認証画面が表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力する

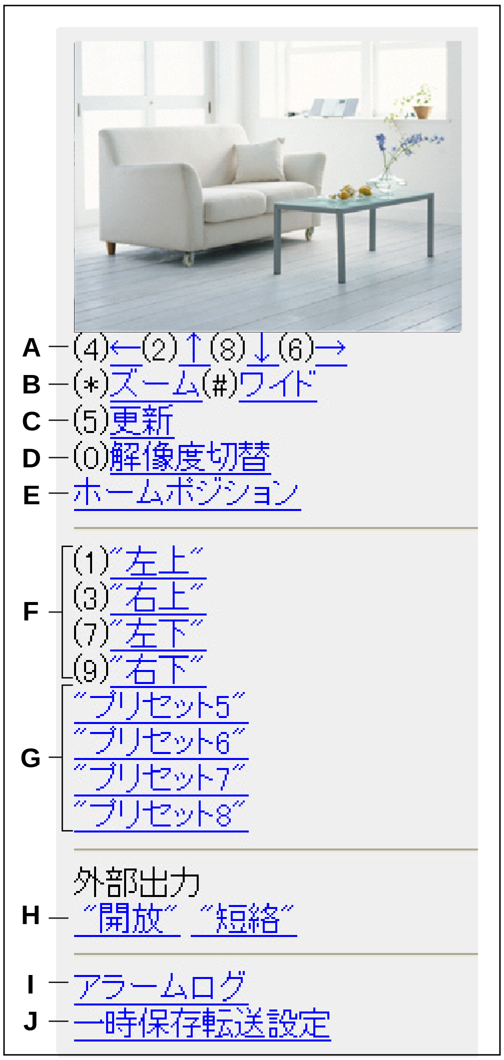
- カメラ画像が表示されます。（ただし、動画は表示できません。）

お知らせ

- 管理者の設定画面で［携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可］、［未登録ユーザーを許可］にすると、認証なしで携帯電話用画面を見られます。(→ 174 ページ)
- HTTPSに設定している場合、NTT ドコモの携帯電話のみカメラにアクセスできます。

3.2 携帯電話で静止画を見る

携帯電話でカメラ画像（静止画のみ）を見られます。



A. カメラの向きを操作します。各番号のダイヤルキーを押すと、それぞれの方向にパン／チルトします。パン／チルト 操作で終端位置に移動した場合は、操作に該当するキー番号は非表示になります。

B. ダイヤルキーの「*」ズーム（テレ）と「#」（ワイド）を押すことにより、カメラ画像のズーム操作ができます。

C. ダイヤルキーの「5」を押すと、カメラ画像が更新されます。

D. ダイヤルキーの「0」を押すと、192 × 144ドット（工場出荷値）と320 × 240ドットの解像度を交互に切り替えます。表示する解像度の初期値を変更することもできます。 (→ 179 ページ)

E. [ホームポジション] を選択すると、カメラの向きがホームポジションに移動します。

F. 各番号のダイヤルキーを押すことで、プリセット登録されたカメラの向きでカメラ画像を表示します。

G. 5つ目以降のプリセットにはダイヤルキー用の番号は表示されず、プリセット名のみ表示されます。

H. 外部出力を切り替えます。(→ 188 ページ)

I. [アラームログ] を選択すると、アラームログ情報が表示されます（管理者のみ）。(→ 118 ページ)

J. [一時保存転送設定]を選択すると、携帯電話から、カメラ画像の一時保存／転送を有効または無効にできます（管理者のみ）。(→ 119 ページ)

お知らせ

- 管理者の設定画面で［携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可］、［未登録ユーザーを許可］にすると、認証なしで携帯電話用画面を見られます。(→ 174 ページ)
- 最大画像サイズを1280 × 960に設定しているときは、ズーム機能と一時保存転送設定は使用できません。
- [アラームログ] 、[一時保存転送設定]は管理者のみ操作できます。
- ズーム、ワイド操作で動く量は、パソコンでの操作より大きく動きます。

3.3 携帯電話でアラームログを見る

携帯電話でカメラにアクセスし、カメラ操作画面で[アラームログ] を選択すると、最新50回のアラーム検知／動作検知／音検知／ショック検知の履歴を確認できます。

お知らせ

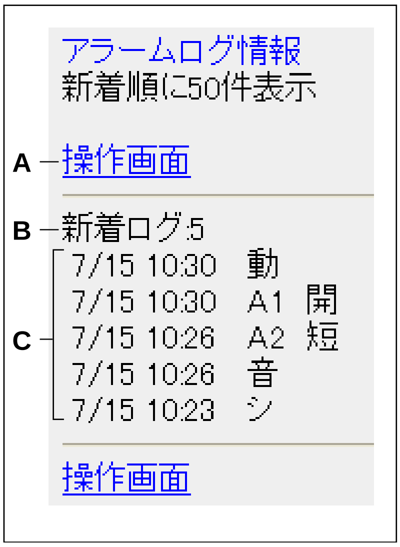
- この機能は、管理者でカメラにログインしなければ使えません。

1 携帯電話でカメラにアクセスする (→ 116 ページ)

2 [アラームログ]を選択する

3 検知の履歴を確認する

4 [操作画面] を選択して、カメラ操作画面に戻る



A. カメラ操作画面に戻ります。

B. 新着アラームログ件数を表示します。

C. 新着アラームログの内容（検知日時、アラームの種類、信号の種類）を表示します。

- 日付は月／日で表示されます。
- 時間は24時間制で表示されます。
- [動] は動作検知を表します。
- [A1] は、アラーム1の検知を表します。
- [A2] は、アラーム2の検知を表します。
- [開] は、[立上り(開放)] を表します。
- [短] は、[立下り(短絡)] を表します。
- [音] は音検知を表します。
- [シ] はショック検知を表します。

3.4 携帯電話から一時保存／転送を有効または無効にする

携帯電話でカメラにアクセスし、カメラ操作画面で [一時保存転送設定] を選択すると、一時保存／転送設定の操作画面が表示されます。

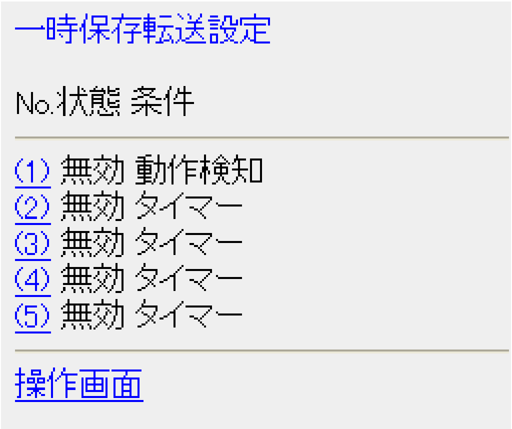
お知らせ

- この機能は、管理者でカメラにログインしなければ使えません。

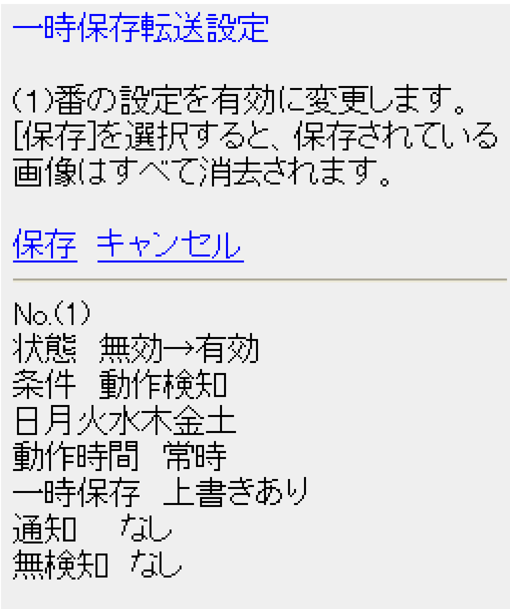
1 携帯電話でカメラにアクセスする (→ 116 ページ)

2 [一時保存転送設定]を選択する

3 設定を有効、または無効にしたい動作条件のNo.を選択する



4 [保存] を選択する



- [保存]を選択すると、一時保存転送設定が有効または無効に設定され、一時保存されているカメラ画像はすべて消去されます。

5 [操作画面] を選択して、カメラ操作画面に戻る

4　カメラ画像をインターネットに公開する

カメラをインターネットに公開することで、自宅の外や携帯電話からカメラ画像を見たり、カメラを操作できるようになります。

お知らせ

- IPv6でインターネットに公開する場合は、223 ページを参照してください。

IPv4で公開する場合

カメラをインターネットに公開するには、以下が必要になります。

ルーターのポートフォワーディング設定

UPnP™に対応したルーターを使用すると、ルーターのポートフォワーディング設定を自動で行うことができます。(→ 122 ページ)
UPnP™に対応していないルーターを使用してインターネット経由でカメラにアクセスできるようにするには、ルーターにポートフォワーディング設定する必要があります。(→ 125 ページ)

ダイナミックDNSサービスの利用

ダイナミックDNSサービスには、当社がおすすめする「みえますねっと」サービス（有料です。IPv6に対応していますが、IPv4／IPv6の両方の接続環境が必要です。）と他社のダイナミックDNSサービスがあります。(→ 126 ページ)
「みえますねっと」サービスについては、「みえますねっと」サービスのウェブサイト
(http://www.miemasu.net/)を参照してください。

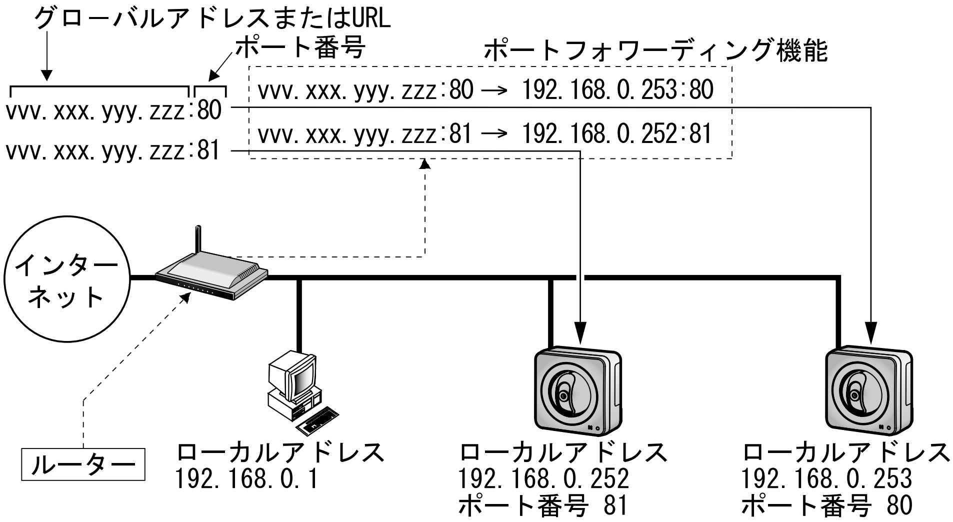
お願い

- 複数のカメラをインターネットに公開する場合は、各カメラに固有のポート番号を設定する必要があります。

ポートフォワーディング機能について

インターネットから、自宅や会社のネットワークにあるカメラにアクセスする場合、各カメラに設定された固有のポート番号を手がかりに通信します。ポートフォワーディング機能を、ルーターによってはアドレス

変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと説明している場合があります。



<u>お知らせ</u>

- [公開]画面の自動ポートフォワーディング設定は、ネットワーク内で空いているポートを検索して設定するため、ポート番号が変わることがあります。現在のポート番号でポートフォワーディング設定をしたい場合は、[設定] − [UPnP] の [自動ポートフォワーディング] で設定してください。(→ 122 ページ)
- [公開]画面での自動ポートフォワーディング設定は、[設定] − [UPnP] の [自動ポートフォワーディング] での設定にも反映されます。(→ 122 ページ)
- 他社のダイナミックDNSサービスについて
  – 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
  – 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。
- カメラのネットワーク設定については、135 ページを参照してください。
- プロバイダーによっては、インターネットへ送信する通信のデータ転送量（上り）を制限している場合がありますので、ご注意ください。

4.1 ポートフォワーディングの設定をする

カメラをインターネットに公開するためには、ルーターにポートフォワーディングの設定をする必要があります。ルーターがUPnP™ (Universal Plug and Play) に対応している場合、カメラとルーターは交信して、自動でポートフォワーディングの設定をすることができます。この設定は『かんたんガイド』の手順にしたがってカメラのセットアップ時に行うか、以下の手順にしたがって行います。
UPnP™でポートフォワーディングの設定をする方法は二つあります。

- **[公開]タブから設定する（推奨）**
  この方法では、カメラの現在のポート番号が変わります。以下の場合は [公開]画面から設定してください。(→ 122 ページ)
  – ネットワーク内から使用可能なポート番号を検索してポートフォワーディング設定する場合
  – 「みえますねっと」サービスに登録してインターネットに公開する場合
- **[UPnP]画面から設定する**
  この方法では、カメラの現在のポート番号は変わりません。そのため、すでにこのポート番号がルーターに設定されている場合はエラーになります。(→ 124 ページ)

お願い

- 複数のカメラをインターネットに公開する場合は、各カメラに固有のポート番号を設定する必要があります。

お知らせ

- UPnP™非対応ルーターを使用してインターネット経由でアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング機能を手動でルーターに設定する必要があります。(→ 125 ページ)
- ポートフォワーディング機能を、ルーターによってはアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと説明している場合があります。
- UPnP™の機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使えます。IPv6には対応していません。
- カメラのネットワーク設定については、135 ページを参照してください。

[公開] 画面から[自動ポートフォワーディング] を有効にする

UPnP対応ルーターを使用してください。UPnP非対応ルーターの場合は、「UPnP™を使わないポートフォワーディングを設定する」の手順にしたがって設定してください。(→ 125 ページ)

1 [公開] タブをクリックする



2 [自動ポートフォワーディング (IPv4)]で［有効］を選択して、［みえますねっとサービス登録］（有料）で［する］を選択する

3 [保存]をクリックする

- 「自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、パソコンや録画プログラムに登録されているカメラのURLのポート番号を変更してください。」と表示された後、「インターネット公開のため、ルーターの設定を行っています。」と表示されます。表示内容を確認して［OK］をクリックしてください。（［キャンセル］をクリックすると保存されずに処理を中断します。）
- 設定が完了すると、「自動ポートフォワーディングの設定が完了しました。」と表示されます。
- 手順2の［みえますねっとサービス登録］で［しない］を選択した場合は、手順5に進んでください。この場合は、ルーターのグローバルアドレスを使ってカメラにアクセスする必要があります。 通常、プロバイダーからルーターへ割り振られるグローバルアドレスは変動するのでご注意ください。 「みえますねっと」サービスまたは他社のダイナミックDNSサービスを利用すると、グローバルアドレスが変動しても、固定のドメイン名でカメラにアクセスすることができます。(→ 128 ページ、132 ページ)
- ［元に戻す］をクリックすると、設定内容は保存されずに変更前の設定に戻ります。

4 ［みえますねっとサービス登録画面へ］をクリックする

- 「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されます。画面に従って登録を進めてください。詳しくは「みえますねっと」サービスのウェブサイト(http://www.miemasu.net/)を参照してください。

5 [シングル画面へ]をクリックする

- シングル画面が表示されます。
- カメラのインターネット公開を止めるときは、手順2の［自動ポートフォワーディング（IPv4)］で［無効］を選択して、［保存］をクリックしてください。

6 ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認する(→ 124 ページ)

お知らせ

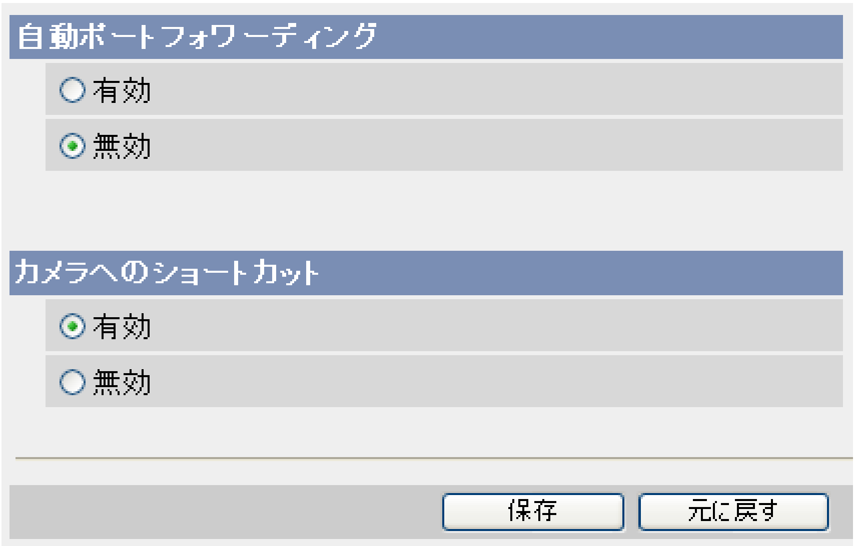
- 「みえますねっと」サービスを後で解除する場合は、「みえますねっと」サービスのウェブサイト(http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/) にアクセスして解約してください。
- この設定画面での自動ポートフォワーディング設定は、 [UPnP]画面での自動ポートフォワーディング設定にも反映されます。

[UPnP] 画面から [自動ポートフォワーディング] を有効にする

UPnP対応ルーターを使用してください。UPnP非対応ルーターの場合は、「UPnP™を使わないポートフォワーディングを設定する」の手順にしたがって設定してください。(→ 125 ページ)

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[UPnP]をクリックする



3 [自動ポートフォワーディング]で、[有効]を選択する

4 [保存]をクリックする

- 設定が完了したら、[保存が完了しました。] と表示されます。

5 ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認する(→ 124 ページ)

お知らせ

- この設定画面での自動ポートフォワーディング設定は、[公開]画面での自動ポートフォワーディング設定にも反映されます。

UPnP™ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認する

UPnP™ ポートフォワーディングが正しく設定されたか以下の手順で確認してください。

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [UPnP]で、ステータスが [有効]になっていることを確認する
- [有効] が表示されていない場合は、『困ったときには』の1.2 セットアップソフトウェアについてと1.3 カメラへのアクセスについて で、UPnP™ 関連の項目を参照してください。

UPnP™を使わないポートフォワーディングを設定する

UPnP™に対応していないルーターを使用する場合、ポートフォワーディング機能を手動でルーターに設定する必要があります。

1 [設定] タブをクリックする

2 [接続モード]で、[Static設定]をクリックする

3 ここで表示されるIP アドレスとポート番号を設定する（ルーターのポートフォワーディングを設定するときに必要になります。）

4 [保存]をクリックする

5 [再起動]をクリックする

6 ルーターの取扱説明書を参照しながらポートフォワーディングの設定をする
- 設定するときは、手順3で確認をしたIP アドレスとポート番号を使ってください。
- ポートフォワーディング機能を、ルーターによってはアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと説明している場合があります。

7 カメラを「みえますねっと」サービスのようなダイナミックDNSサービスに登録する (→ 128 ページ)

お知らせ
- ［自動ポートフォワーディング（IPv4)］を必ず、［無効］に設定してください。

4.2 ダイナミックDNSサービスを使う

ダイナミックDNSサービスに登録することで、インターネット経由でドメイン名を指定してカメラにアクセスできます。インターネット経由でカメラにアクセスしたい場合は、ダイナミックDNSサービスは、「みえますねっと」サービス（有料）のご利用をおすすめします。（他社のダイナミックDNSサービスを使うこともできます。）
利用するダイナミックDNSサービスに合わせて、以下を参照してください。（インターネットに接続できることを確認してから、作業を開始してください。）

- 「みえますねっと」サービスを利用する場合（→ 128 ページ）
- 他社のダイナミックDNSサービスを利用する場合（→ 132 ページ）

「みえますねっと」サービス（有料）について、詳しくは「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/）を参照してください。

お願い

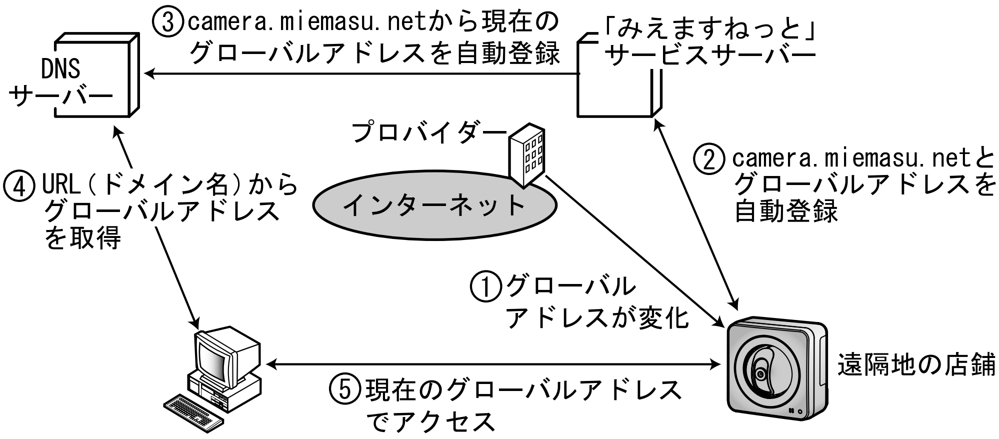
- ダイナミックDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。（→ 122 ページ）
- 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
- 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

ダイナミックDNSサービスについて（IPv4／IPv6）

ダイナミックDNSサービスを利用することによって、インターネット経由でカメラ画像を見ることができます。
ダイナミックDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づけるサービスです。当社がおすすめするダイナミックDNSサービスの「みえますねっと」サービス（有料。IPv6に対応していますが、IPv4／IPv6両方の接続環境が必要です。）、または「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定できます。
多くのプロバイダーが提供するサービスはグローバルアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のグローバルアドレスでカメラにアクセスできなくなる場合があります。グローバルアドレスが固定されない環境のカメラに、インターネットからアクセスするには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- ダイナミックDNSサービス（「みえますねっと」サービスなど）
  グローバルアドレスが変化しても、登録した固定のドメイン名（例：**camera.miemasu.net**）でアクセスできるサービスです。IPv6接続を利用する場合もドメイン名サービスに加入する必要があります。
  「みえますねっと」サービスの詳細情報については、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/）を参照してください。
- 固定IPアドレスサービス（ご契約プロバイダーのサービスなど）
  グローバルアドレスが変化しない（固定）サービスです。

ダイナミックDNSサービスの仕組み（「みえますねっと」サービスの場合）



1. 契約しているプロバイダーがグローバルアドレスをルーター（またはカメラ）に割り当てます。このときに割り当てられるグローバルアドレスは、固定ではなく変化するアドレスになります。
2. 「みえますねっと」サービスに加入していただいた場合は、カメラには固有の「ドメイン名」（例：**camera.miemasu.net**）が割り当てられます。カメラが、自動的に「みえますねっと」サービスサーバーにルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを通知することで（「みえますねっと」サービスサーバーが）、カメラのドメイン名とルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを管理します。
3. 「みえますねっと」サービスサーバーは、ルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスとドメイン名をDNSサーバーに登録します。
4. インターネット経由でカメラにアクセスする際、ウェブブラウザにドメイン名を含むURLを入力することで、DNSサーバーが、登録されているルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを割り出します。
5. 割り出したグローバルアドレスでルーター（またはカメラ）へアクセスし、画像をモニタリングできます。

お知らせ

- 使用しているIPアドレスが固定かどうかについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダーによっては、ローカルアドレスが割り振られる場合があります。その場合は、ダイナミックDNSサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーにご確認ください。

4.2.1 「みえますねっと」サービスを使う

インターネット経由でカメラにアクセスしたい場合は、「みえますねっと」サービス（有料）のご利用をおすすめします。「みえますねっと」サービスは、当社がおすすめするダイナミックDNSサービスです。「みえますねっと」サービスについて、詳しくは「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/）を参照してください。
「みえますねっと」サービスを使うための設定をする方法は二つあります。

– **[公開]タブから設定する（推奨）**
  この方法で設定する場合は、128 ページを参照してください。
– **[ダイナミックDNS]画面から設定する**
  この方法で設定する場合は、129 ページを参照してください。

お知らせ

- UPnP™対応ルーターを使用してインターネット経由でアクセスできるようにするには、122 ページの手順で自動ポートフォワーディングと「みえますねっと」サービスの設定をしてください。
- 「みえますねっと 」サービスを後で解除する場合は、「みえますねっと 」サービスのウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pns/miemasunet/mnet/) にアクセスして解約してください。
- カメラのURLは、「みえますねっと」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録したカメラのURLが有効になるまでに、最大で30分くらいかかる場合があります。）
- みえますねっと設定画面またはステータス画面の［みえますねっと］のカメラURLに、「期限切れです」と表示されたときは、「みえますねっと」サービス登録後にカメラを再起動してください。
  (→ 203 ページ)
  再起動後、メンテナンス画面の［ステータス］－［みえますねっと］のカメラURLに、登録したURLが表示されていることを確認してください。(→ 199 ページ)

[公開] タブから「みえますねっと」サービスを使う設定をする

1 [公開] タブをクリックする



2 [みえますねっとサービス登録]で、[する]を選択する

3 [保存]をクリックする

4 [設定が完了しました。]と表示されたら、[みえますねっとサービス登録画面へ]をクリックする

- 「みえますねっと 」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

5 画面にしたがって「みえますねっと」サービスの登録を行う

- 「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、パソコンがインターネットに接続しているか確認し、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- [設定が完了しました。]と表示されたら、 カメラにアクセスするためのアドレスが表示されます。
- 登録時に選択した「みえますねっと」URL を使ってカメラにアクセスできます。ただし、カメラと同じネットワーク(LAN)に接続されているパソコンからは、このURLでアクセスできません。

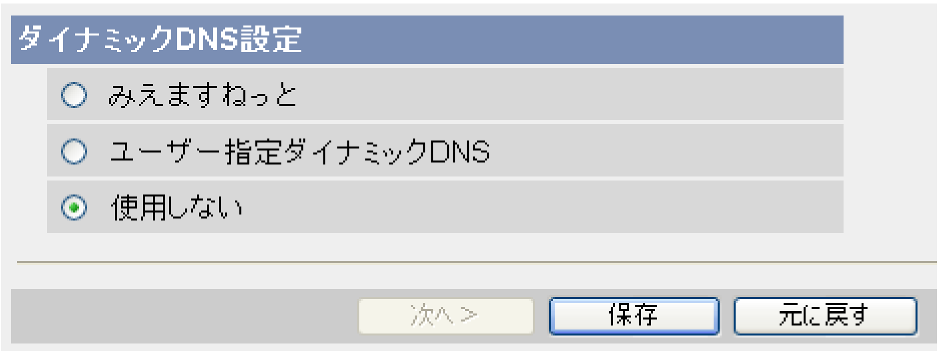
6 [シングル画面へ]をクリックする

7 登録したカメラのURLで、インターネット経由でカメラにアクセスできることを確認する

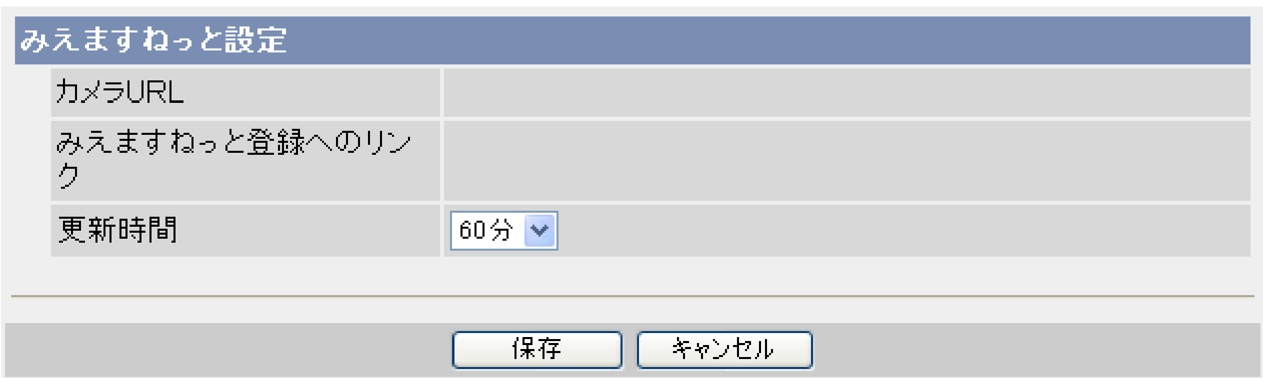
[ダイナミックDNS] 画面から「みえますねっと」サービスを使う設定をする

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[ダイナミックDNS]をクリックする



3 [みえますねっと]を選択して、[次へ]をクリックする



4 [保存]をクリックする

- 設定が完了したら、[保存が完了しました。] と表示されます。

5 [みえますねっと設定画面へ]をクリックする



6 [みえますねっと登録へのリンク]をクリックする

- 「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

7 画面にしたがって「みえますねっと」サービスの登録を行う

- 「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、パソコンがインターネットに接続しているか確認し、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- 登録が完了したら、登録時に選択した「みえますねっと」URL を使ってカメラにアクセスできます。ただし、カメラと同じネットワーク(LAN)に接続されているパソコンからは、このURLでアクセスできません。

8 登録したカメラのURLで、インターネット経由でカメラにアクセスできることを確認する

お知らせ

- 「みえますねっと」サービスへの登録がすでに完了している場合は、自分が登録したURLが表示されています。このアドレスがインターネット経由でカメラにアクセスするときに使うアドレスです。[みえますねっと登録へのリンク] の横に表示されているURLにアクセスして、「みえますねっと」サービスへの登録情報を確認できます。
- [みえますねっと登録へのリンク] が表示されない場合は、「みえますねっと」サービスへの登録が完了していてパソコンがインターネットに接続されていることを確認して、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- ルーターのグローバルアドレスが変わり、アクセスできないことが多く発生する場合には、[更新時間]を小さい値に設定してください。

「みえますねっと」サービスの登録を確認する

カメラが「みえますねっと」サービスに間違いなく登録されたか確認することができます。

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [みえますねっと]で、[有効 (4)] が表示されていることを確認する

お知らせ

- ステータスが[無効]と表示されている場合は、「みえますねっと」サービスに登録 したか確認するか、カメラを再起動してこの画面に再度アクセスしてください。

「みえますねっと」アドレス更新時間を変更する

「みえますねっと」サーバーに、カメラの現在のグローバルアドレスを通知する間隔を指定します。
ルーターのグローバルアドレスが変わり、アクセスできないことが多く発生する場合には、[更新時間]を小さい値に設定してください。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[ダイナミックDNS]をクリックする

3 [みえますねっと]を選択して、[次へ]をクリックする

4 [更新時間]を選択する

5 [保存]をクリックする

4.2.2 他社のダイナミックDNSサービスを使う

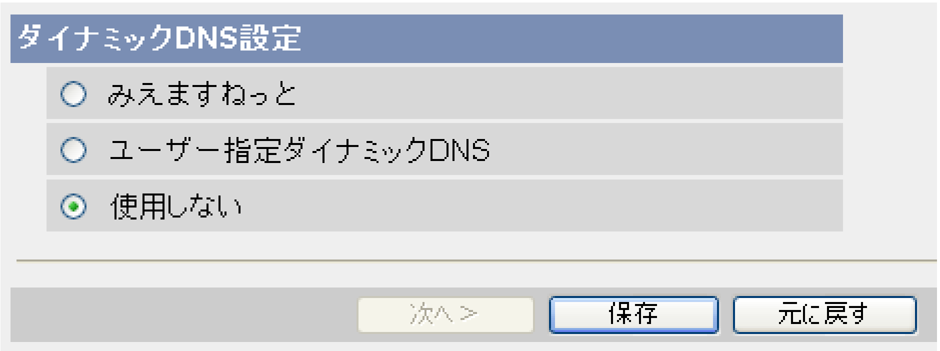
他社のダイナミックDNSサービスを使う場合は、ダイナミックDNSサービスの提供事業者に、ダイナミックDNSサービスを使うために必要な情報を確認してから以下の手順を始めてください。

お知らせ

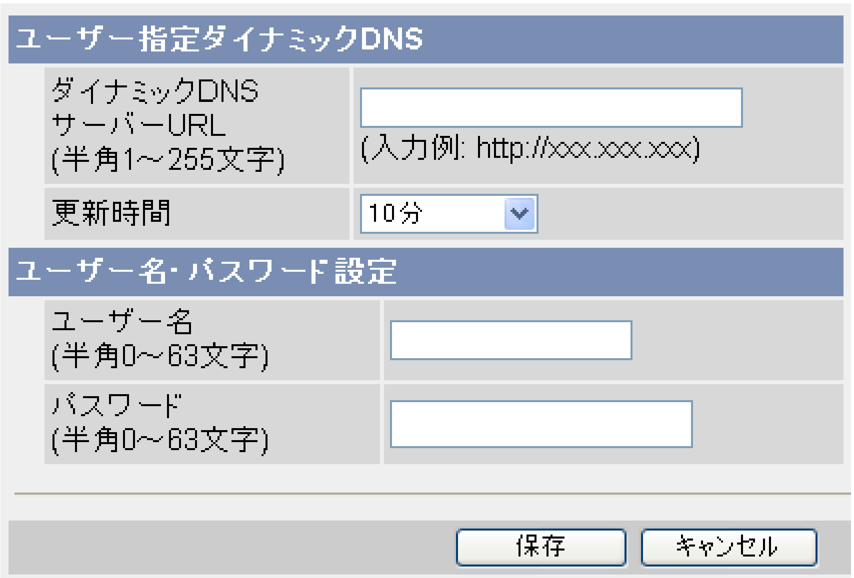
- 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。(→ 128 ページ)
- 「みえますねっと」サービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。
- 他社のダイナミックDNSサービスを使う設定をしたあと、インターネット経由でカメラにアクセスできるまでに、数分から数十分かかる場合があります。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[ダイナミックDNS]をクリックする



3 [ユーザー指定ダイナミックDNS]を選択して、[次へ]をクリックする



4 ダイナミックDNSサービスの提供事業者から取得したURL (`http://`を含む)[*1]を、半角英数字で入力する（255文字以内）

5 ダイナミックDNSサービスに、カメラの現在のグローバルアドレスを通知する間隔を指定する

6 ダイナミックDNSサービスの提供事業者に登録したユーザー名*2を、半角英数字でそれぞれ入力する（63文字以内）

7 ダイナミックDNSサービスの提供事業者に登録したパスワード*2を、半角英数字でそれぞれ入力する（63文字以内）

8 [保存]をクリックする

---

*1 半角英数字が使えます。(→ 242 ページ)
ただし、[スペース] と ["] は使えません。また、サーバー自身のIPアドレスまたはURLのみを入力してください。個別のサーバーのみが認識するテキスト文字列などには対応していません。

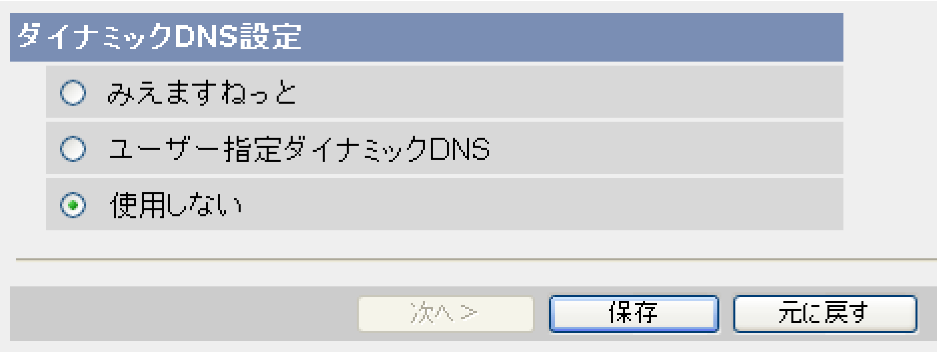
*2 半角英数字が使えます。(→ 242 ページ)
ただし、["] と[:] は使えません。

ダイナミックDNSサービスへのカメラのアクセスを止める

以下の手順で、ダイナミックDNSサービスへのカメラのアクセスを止めることができます。ただし、ダイナミックDNSサービスの利用自体をやめたい場合は、ダイナミックDNSサービスの提供事業者に解約の連絡をする必要があります。解約の方法については、ダイナミックDNSサービスの提供事業者に確認してください。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[ダイナミックDNS]をクリックする



3 [使用しない]を選択して、[保存]をクリックする

4.3 カメラ画像のインターネット公開を確認する

カメラにダイナミックDNSサービスを使う設定をし、ルーターにポートフォワーディングの設定をしたあとは、インターネット経由でカメラにアクセスできるか確認してください。
インターネット経由でカメラにアクセスできるか確認するためには、カメラと異なるネットワーク(LAN)に接続されているパソコンを使うか、携帯電話を使ってカメラにアクセスしてください。(→ 116 ページ)

5 カメラの設定を変更する

5.1 ネットワーク設定

カメラのネットワーク設定は、『かんたんガイド』の手順にしたがってカメラをセットアップしたときに設定されています。 このネットワーク設定は、必要であれば、この章の手順にしたがって変更することができます。

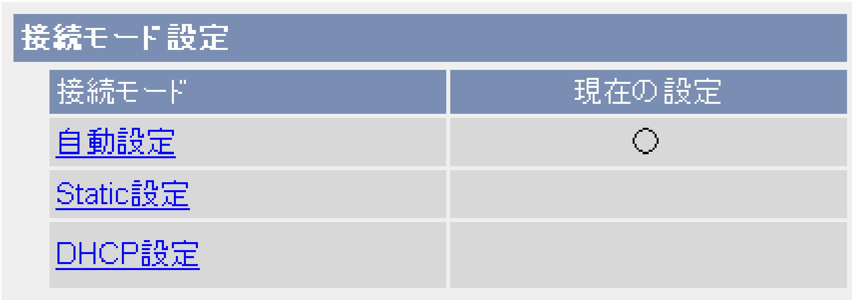
お知らせ

- ネットワーク設定を変更する場合は、管理者としてカメラにログインしてください。
- ネットワーク設定を変更し、[保存]をクリックしたら、カメラを再起動しなければなりません。その際内部メモリーに保存されている画像はすべて削除されます。
- 適切なネットワーク設定については、インターネットのプロバイダーまたはネットワークの管理者にご相談ください。
- ネットワーク設定を変更した後、カメラにアクセスできない場合は、セットアップソフトウェアを使ってIPアドレスを設定する (→ 235 ページ) か、『かんたんガイド』の手順にしたがってカメラを再度設定してください。
- お使いのネットワークがIPv6 プロトコルを使用している場合は、215 ページを参照してください。

5.1.1 カメラをIPv4ネットワークに接続する

カメラの接続モード（自動設定／Static設定／DHCP設定）を、お使いのネットワーク環境に合わせて設定します。

1 [設定] タブをクリックする



2 ネットワーク環境に応じて、接続モードを選択する

– [自動設定]: ルーターやプロバイダーなどのDHCPサーバーからネットワーク情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス）を自動的に取得します。IPアドレスは、ほかのネットワーク機器で使用されていないものを自動的に検索し、決定します。

– [Static設定]: 特定のIPアドレス、ポート番号などをカメラに手動で設定したい場合に選択します。

– [DHCP設定]: プロバイダーやルーターのDHCPサーバー機能を使って、自動的にカメラのIPアドレスなどを取得する場合に選択します。ポート番号は手動で変更することもできます。

[自動設定]



1 各項目を設定する

a. [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ量を制限します。*1（IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。）

b. [接続タイプ]: 接続タイプを選択します。（IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。）

- 通常は[自動]を選択してください。

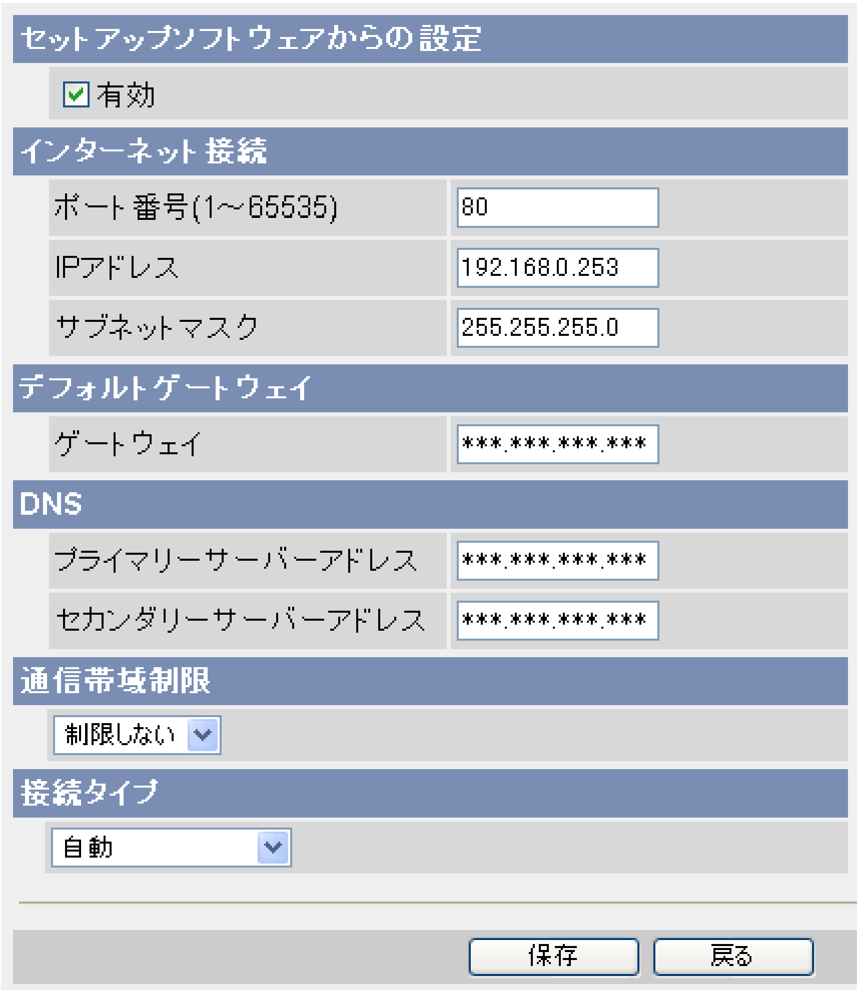
2 [保存]をクリックする

3 [保存が完了しました。] が表示されたら、[再起動]をクリックする

お知らせ

- [自動設定]または[DHCP設定]に設定した場合には、カメラの再起動後にIPアドレスが変わる可能性があります。トップ画面が表示されないときは、CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアを使用してカメラに接続してください。 (→ 235 ページ)
- 現在のカメラのネットワークに関する設定内容は、[ステータス]画面で参照できます。 (→ 199 ページ)

[Static設定]



1 各項目を設定する

a. [セットアップソフトウェアからの設定]: セットアップソフトウェアによる設定の有効（工場出荷値）／無効を切り替えます。セットアップソフトウェアから設定内容を変更されたくない場合は、チェックをはずしてください。

b. [インターネット接続]: カメラのポート番号を入力してください。

- 1～65535の範囲で入力します。複数のカメラがある環境で、インターネット経由で外部からアクセスするときは、各カメラに固有のポート番号を設定してください。（工場出荷値は80）
- 携帯電話でアクセスする場合、携帯電話会社・機種によってはネットワークカメラに使用できるポート番号に制限があります。ご使用の携帯電話会社にご確認ください。
- ポート番号を設定される場合は、以下のポート番号お勧めします。

  – 80番(HTTP)、443番(HTTPS)、50000番台、60000番台
    ただし、カメラのUPnPをご使用の場合は自動割り当てポート番号(50000 ～ 50050)を除く。
    カメラコントロールユニットをご使用の場合は自動割り当てポート番号(60001 ～ 60016(工場出荷時))を除く。
- 以下のポート番号は設定できません。
  – 同じネットワークに接続されている、ほかのネットワーク機器で使用しているポート番号
  – 20、21、25、110（あらかじめカメラが使用しています。）

c. IP アドレスを入力してください。
- ネットワーク管理者またはプロバイダーからIPアドレスを取得して入力します。同じネットワーク内からカメラにアクセスする場合は、アクセスするパソコンと同じクラスのIPアドレスを入力してください。（工場出荷値は192.168.0.253）

d. サブネットマスクを入力してください。
- ネットワーク管理者またはプロバイダーからサブネットマスクを取得して入力します。同じネットワーク内からカメラにアクセスする場合は、アクセスするパソコンと同じクラスのサブネットマスクを入力してください。（工場出荷値は 255.255.255.0）

e. [デフォルトゲートウェイ]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを取得して入力します。カメラをルーターに接続している場合は、ルーターのLAN側のIPアドレスを設定してください。

f. [DNS]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、DNSサーバーのIPアドレスを取得して入力します。以下の場合に設定してください。
- カメラ画像をFTP転送、Eメール転送／通知、HTTP転送／通知したい（各サーバーアドレスをホスト名で設定している場合）
- マルチ画面の設定で、カメラをホスト名で登録したい
- ダイナミックDNSサービス「みえますねっと」サービスを利用したい
- 他社のダイナミックDNSサービスを利用したい
- アラームログを通知したい （各サーバーアドレスをホスト名で設定している場合）

g. [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ量を制限します。*1
- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

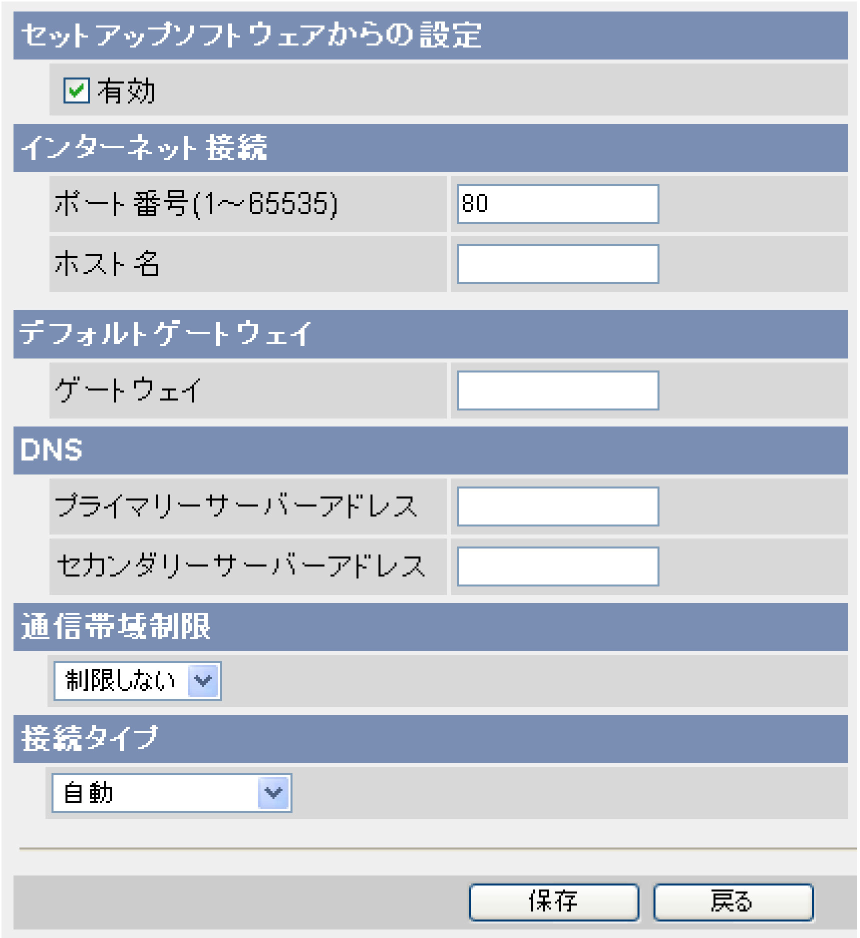
h. [接続タイプ]: 接続タイプを選択します。
- 通常は[自動]を選択してください。
- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

2 [保存]をクリックする

3 [保存が完了しました。] が表示されたら、[再起動]をクリックする
- カメラの再起動時、アラームログと内部メモリーに保存されている画像はすべて削除されます。

__お知らせ__
- 再度カメラにアクセスするには、ここで設定したIPアドレスを使用してください。
- 現在のカメラのネットワークに関する設定内容は、[ステータス] 画面で参照できます。(→ 199 ページ)

[DHCP設定]



1 各項目を設定する

a. [セットアップソフトウェアからの設定]: セットアップソフトウェアによる設定の有効（工場出荷値）／無効を切り替えます。セットアップソフトウェアから設定内容を変更されたくない場合は、チェックをはずしてください。

b. [インターネット接続]:カメラのポート番号、ホスト名を入力します。
ポート番号

- 1～65535の範囲で入力します。複数のカメラがある環境で、インターネット経由で外部からアクセスするときは、各カメラに固有のポート番号を設定してください。（工場出荷値は80）
- 携帯電話でアクセスする場合、携帯電話会社・機種によってはネットワークカメラに使用できるポート番号に制限があります。ご使用の携帯電話会社にご確認ください。
- ポート番号を設定される場合は、以下のポート番号お勧めします。
  - 80番(HTTP)、443番(HTTPS)、50000番台、60000番台
    ただし、カメラのUPnPをご使用の場合は自動割り当てポート番号(50000 ～ 50050)を除く。
    カメラコントロールユニットをご使用の場合は自動割り当てポート番号(60001 ～ 60016(工場出荷時))を除く。
- 以下のポート番号は設定できません。
  - 同じネットワークに接続されている、ほかのネットワーク機器で使用しているポート番号
  - 20、21、25、110（あらかじめカメラが使用しています。）

ホスト名

- 必要なときはネットワーク管理者またはプロバイダーの指示に従い、ホスト名[*2]を半角英数字または記号で入力します（63文字以内）。プロバイダーによってはホスト名が認証に使用されていることがあります。
- カメラがルーターに接続されている場合、通常この設定は空欄のままにしておくことができます。

c. [デフォルトゲートウェイ]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを取得して入力します。

- 通常この欄は空欄のままにしておくことができます。

d. [DNS]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、DNSサーバーのIPアドレスを取得して入力します。

- 通常この欄は空欄のままにしておくことができます。

e. [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ量を制限します。[*1]

- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

f. [接続タイプ]: 接続タイプを選択します。

- 通常は[自動]を選択してください。
- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

2 [保存]をクリックする

3 [保存が完了しました。] が表示されたら、[再起動]をクリックする

- カメラの再起動時、アラームログと内部メモリーに保存されている画像はすべて削除されます。

[*1] 通信帯域制限設定は、以下のファイルサイズ（1枚のJPEG画像）と同時に参照される数を参考に設定してください。（画質の設定は標準です。ファイルサイズは、画質や被写体の明るさなどの状態により変わります。）
また、MPEG-4やH.264は同時に参照される数と設定しているビットレートを参考に設定してください。

- 192 × 144ドット：約 7 KB（56 Kbit）
- 320 × 240ドット：約 16 KB（128 Kbit）
- 640 × 480ドット：約 35 KB（280 Kbit）
- 1280 × 960ドット：約 77 KB（616 Kbit）

[*2] 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

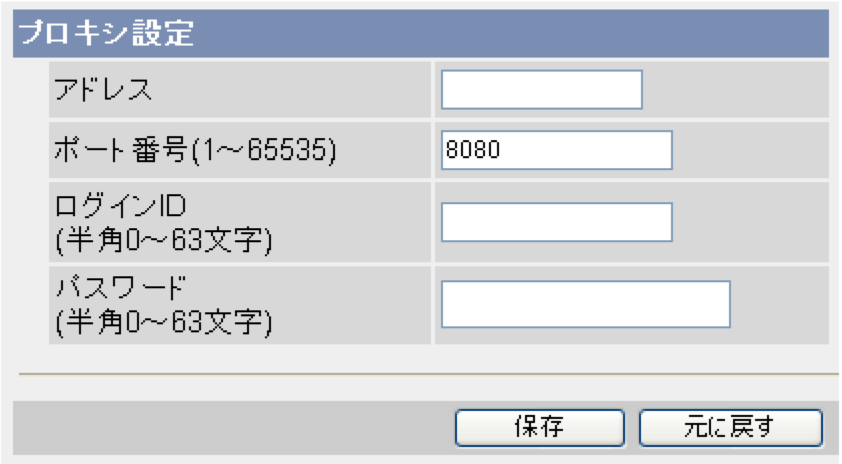
お知らせ

- [自動設定]または[DHCP設定]に設定した場合には、カメラの再起動後にIPアドレスが変わる可能性があります。トップ画面が表示されないときは、CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアを使用してカメラに接続してください。 (→ 235 ページ)
- 現在のカメラのネットワークに関する設定内容は、[ステータス]画面で参照できます。 (→ 199 ページ)

5.1.2 プロキシサーバーについて設定する

動作条件設定の検知時の通知で[HTTP通知する］を選択し、カメラのHTTP転送／HTTP通知が、インターネット接続時にプロキシサーバーを経由する場合は、あらかじめプロキシサーバーについて設定してください。

1 [設定] タブをクリックする



2 [プロキシ設定]で、各項目を設定する

a. プロキシサーバーのIPアドレス[*1]またはホスト名[*2]を入力します。

- IPv6アドレスでも入力できます。

b. プロキシサーバーのポート番号（1～65535）を入力します。（工場出荷値は8080）

c. プロキシサーバーのログインID[*3]とパスワード[*3]を、半角英数字で入力します（63文字以内)。

3 [保存]をクリックする

---

*1 IPv6のときは、8つの16進数値を「:」で区切って入力してください。「0」が連続する場合は「::」と省略して入力できます。例）2001:2:3:4::5

*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

*3 ["] は使えません。

5.2 カメラへのアクセスを暗号化する（HTTPS機能）

5.2.1 HTTPSを設定する

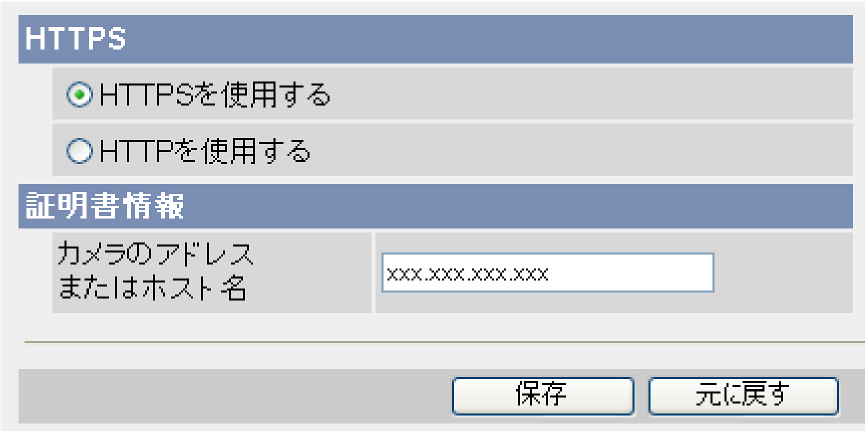
カメラへのアクセスを暗号化する（HTTPS機能）ことにより、通信の安全性を高めます。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[HTTPS] をクリックする

3 [HTTPSを使用する]を選択し、証明書情報を入力する

- 証明書情報は、カメラのアドレスまたはホスト名（ドメイン名）を入力してください。*1



4 [保存]をクリックする

- [設定中]の画面が表示されます。しばらくお待ちください。
- 設定が完了すると[保存が完了しました。]と表示されます。

5 [再起動]をクリックする

- カメラが再起動して設定した内容が有効になり、トップ画面が表示されます。
- 再起動するとアラームログと内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。
- HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従ってセキュリティ証明書をパソコンにインストールしてください。（→ 145 ページ）

お知らせ

- [HTTPSを使用する]に設定した場合は、[保存]をクリック後、SSL暗号化キーを作成するために最大5分かかります。
- HTTPSに設定すると、最大画像サイズ設定が1280 × 960 の場合、動画はMJPEGのみの表示になります。（→ 246 ページ）
- 再起動後、認証画面が表示された場合、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従ってセキュリティ証明書をパソコンにインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、HTTPS画面の「カメラのアドレスまたはホスト名」には、インターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。

- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下します。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間が掛かることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れることがあります。
- ポート番号80をご使用の場合も、カメラにアクセスするURLにポート番号を追加してください。
  (例) https://カメラURL:80
- カメラに同時に接続（録画も含める）できる最大接続数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。 (→ 67 ページ)

---

*1 使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし [スペース], ["], ['], [&], [<], [>] は使えません。

5.2.2 HTTPSでカメラにアクセスする

1 パソコンでウェブブラウザを起動する

2 アドレスバーに「**https://**IPv4アドレスまたはURL：ポート番号/」を入力して、[Enter] を押す

- ポート番号443以外をご使用の場合、カメラにアクセスするURLにポート番号を追加してください。
- ポート番号80をご使用の場合も、カメラにアクセスするURLにポート番号を追加してください。

3 セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールする（→ 145 ページ）

4 認証画面で、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックする

- トップ画面が表示されます。

お知らせ

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も遅くなります。

5.2.3 セキュリティ証明書をインストールする

HTTPSを使用しているカメラにアクセスするときに、カメラに該当するセキュリティ証明書がパソコンにインストールされていない場合、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順にしたがってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。

お知らせ

- HTTPS画面の「カメラのアドレスまたはホスト名」に設定している内容でセキュリティ証明書がパソコンにインストールされます。そのため、「カメラのアドレスまたはホスト名」に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス／ホスト名に合わせる必要があります。異なった場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス／ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、HTTPS画面の「カメラのアドレスまたはホスト名」には、インターネットからアクセスするアドレス／ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。

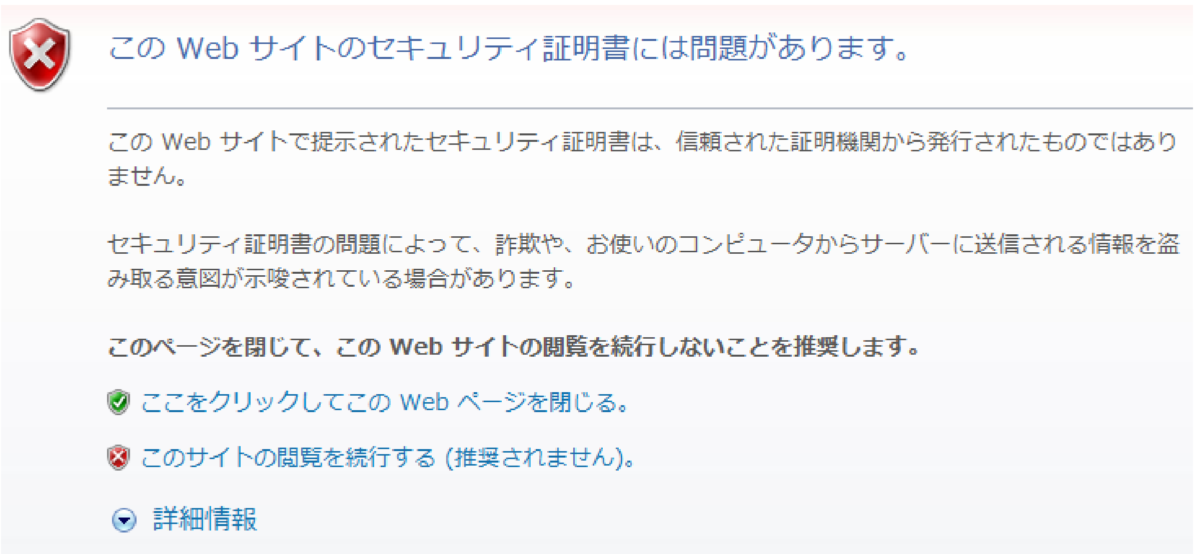
OS：Windows 7、Windows Vista、Windows XP ウェブブラウザ：Internet Explorer 7（日本語版）とInternet Explorer 8（日本語版）の場合

お知らせ

- Windows XP Internet Explorer 7、Windows XP Internet Explorer 8 の場合、少し画面が異なります。

1 HTTPSでカメラにアクセスする

2 セキュリティ警告画面が表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。」をクリックする

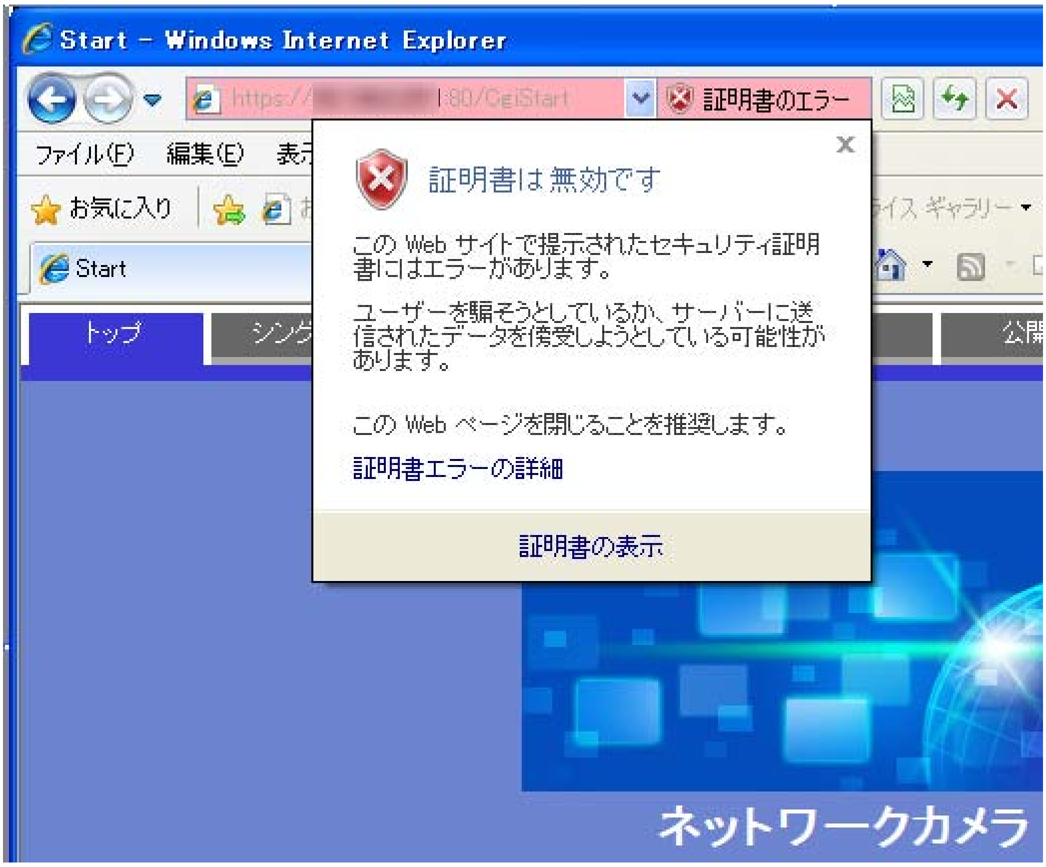


- IDとパスワードを入力後、トップ画面が表示されます。

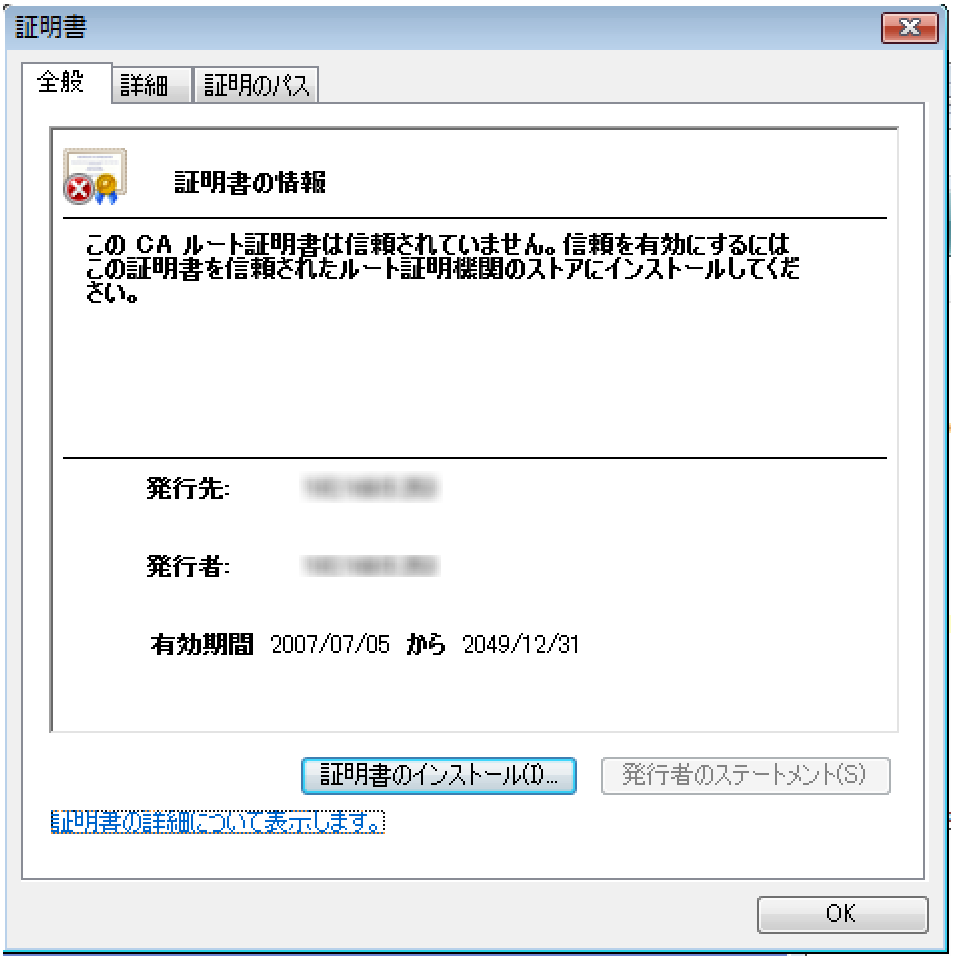
お願い

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3 URL上の「証明書のエラー」をクリックし、「証明書の表示」をクリックする



4 「証明書のインストール(I)...」をクリックする



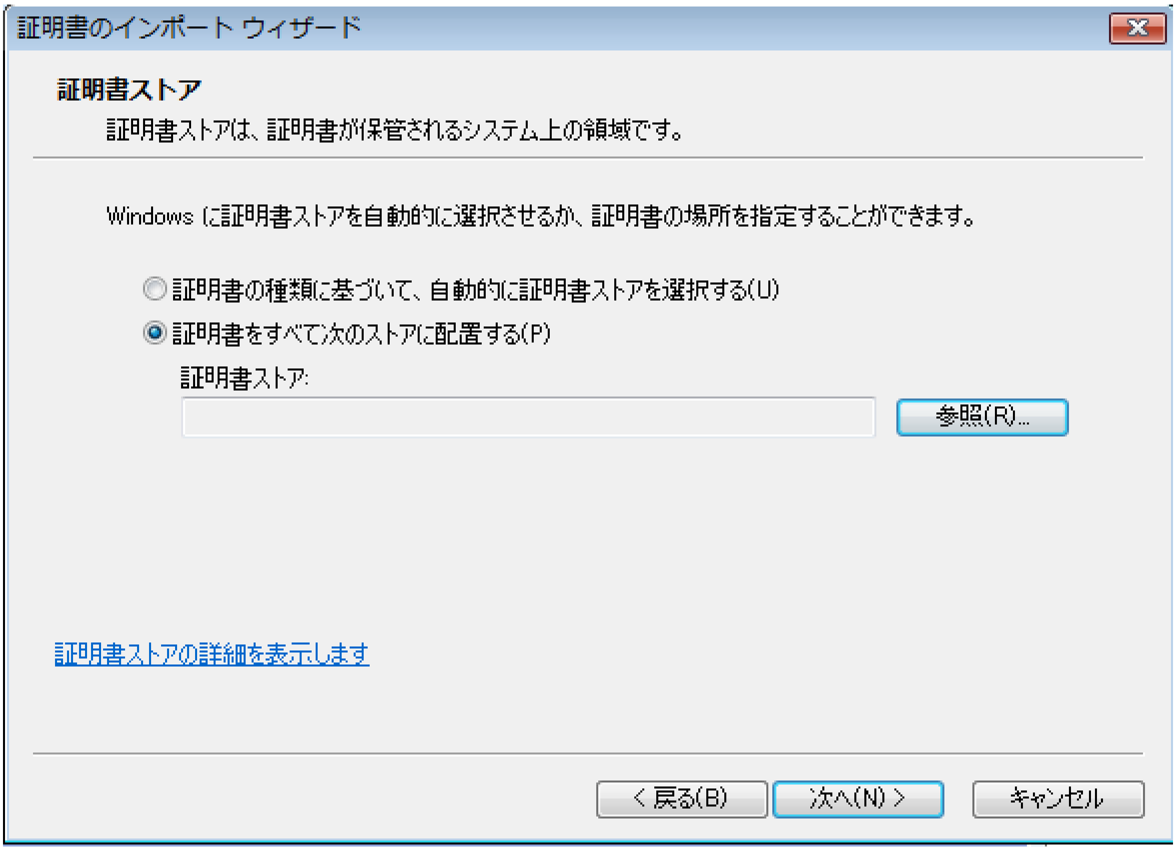
お知らせ

- 「証明書のインストール(I)...」が表示されない場合は、いったんInternet Explorerを閉じて、「管理者として実行(A)...」を選択し起動してください。[スタート] → [プログラム] → [Internet Explorer] を右クリック →「管理者として実行(A)...」をクリック

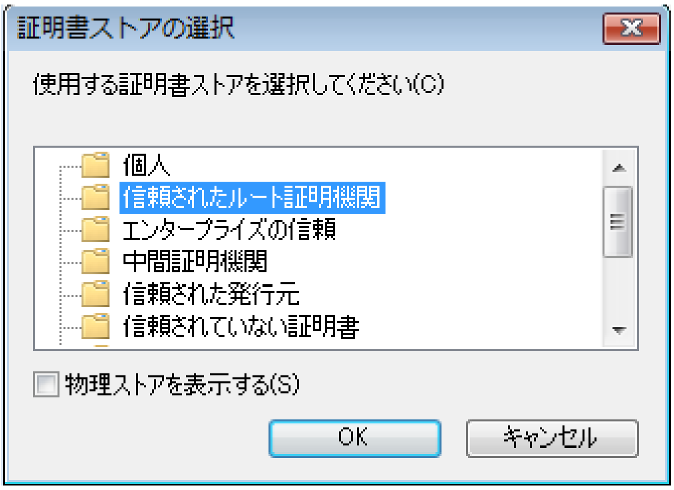
5 証明書のインポートウィザードに表示される 「次へ」をクリックする



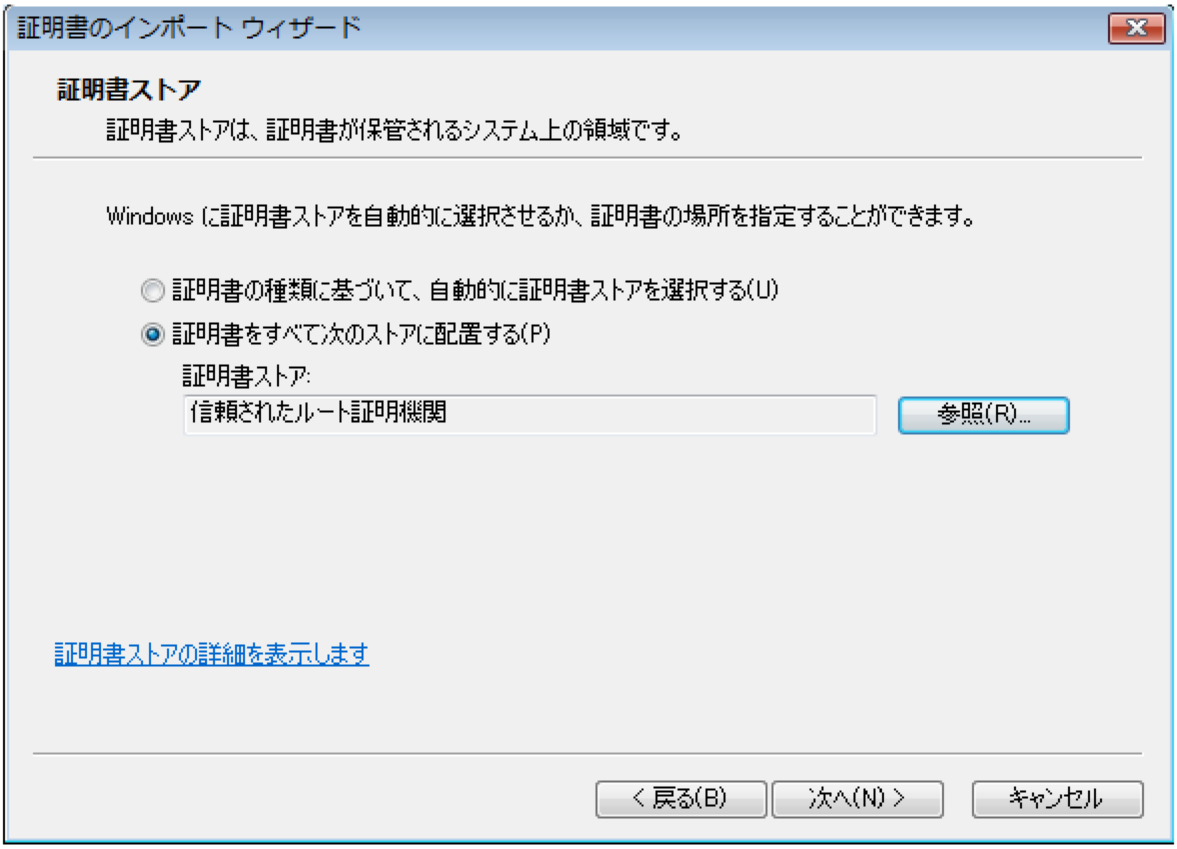
6 「証明書をすべて次のストアに配置する（P)」を選択し、「参照（R）...」をクリックする



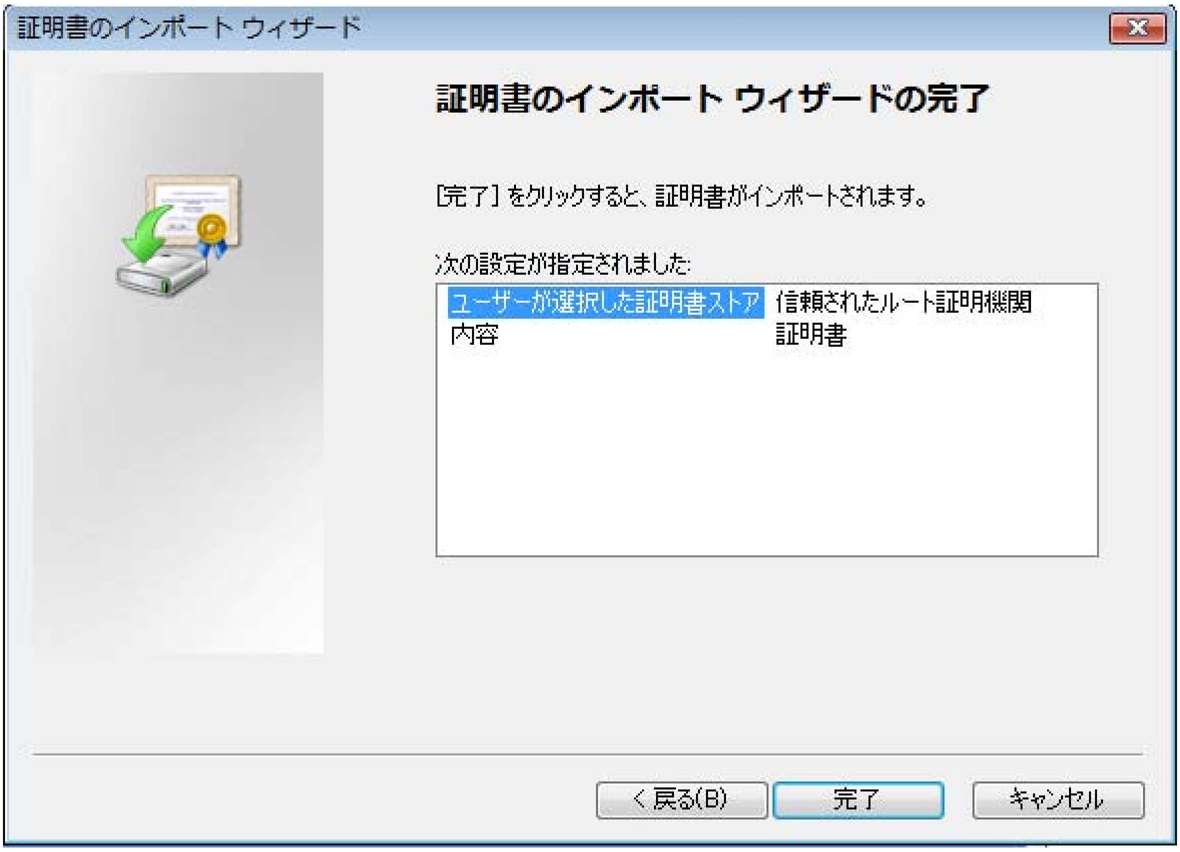
7 「信頼されたルートの証明機関」を選択し、「OK」をクリックする



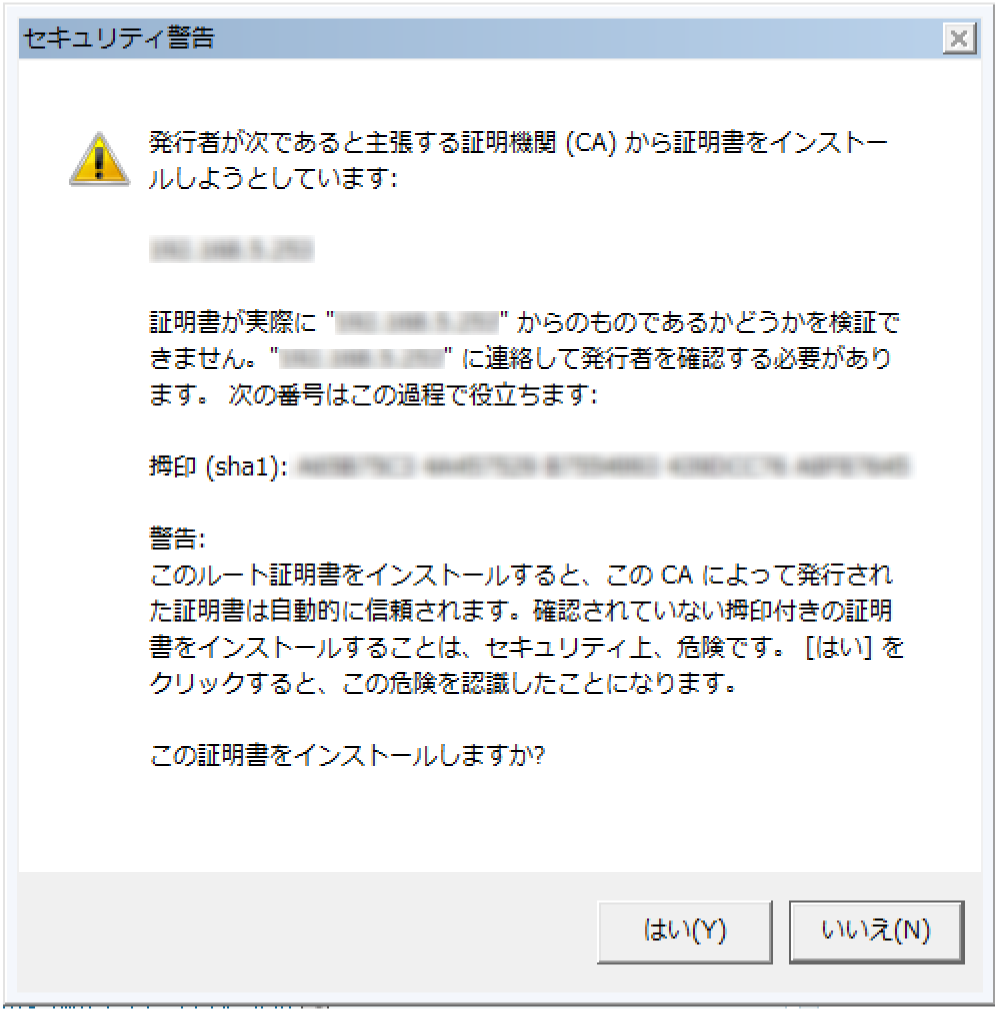
8 「次へ」をクリックする


証明書のインポート ウィザード
証明書ストア
証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。
証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)
証明書をすべて次のストアに配置する(P)
証明書ストア:
信頼されたルート証明機関
参照(R)...
証明書ストアの詳細を表示します
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

9 「完了」をクリックする

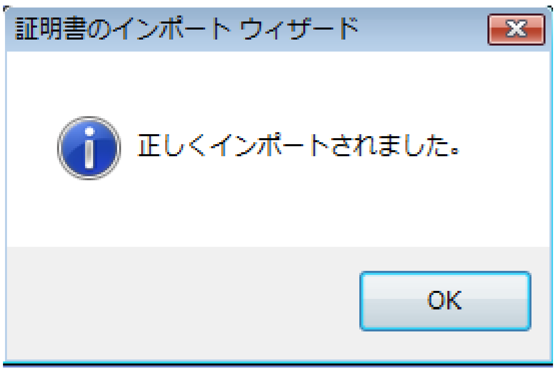

証明書のインポート ウィザード
証明書のインポート ウィザードの完了
[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。
次の設定が指定されました:
ユーザーが選択した証明書ストア 信頼されたルート証明機関
内容 証明書
< 戻る(B)
完了
キャンセル

10「はい」をクリックする



- インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11「OK」をクリックする

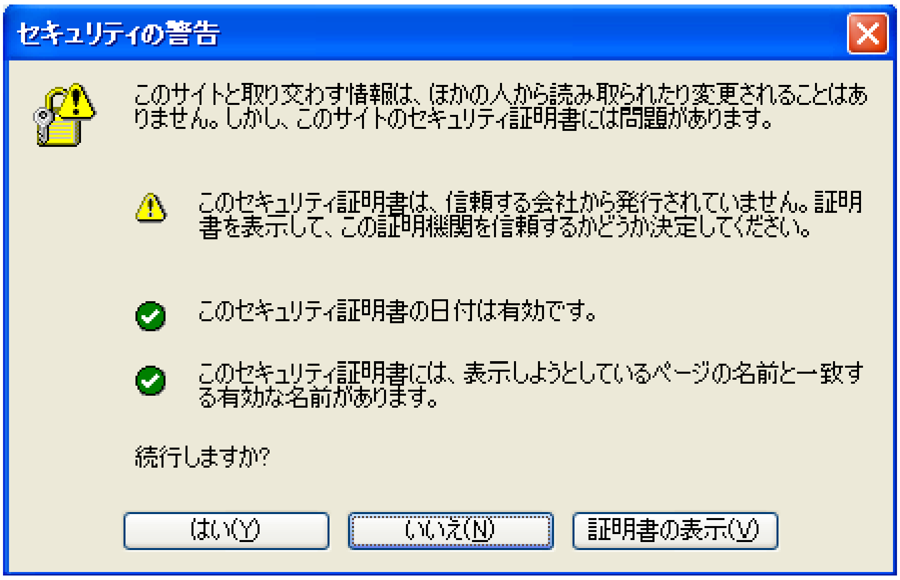


- 証明書をインポートした後ブラウザを再起動すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

OS：Windows XP ウェブブラウザ：Internet Explorer 6（日本語版）の場合

1 HTTPSでカメラにアクセスする

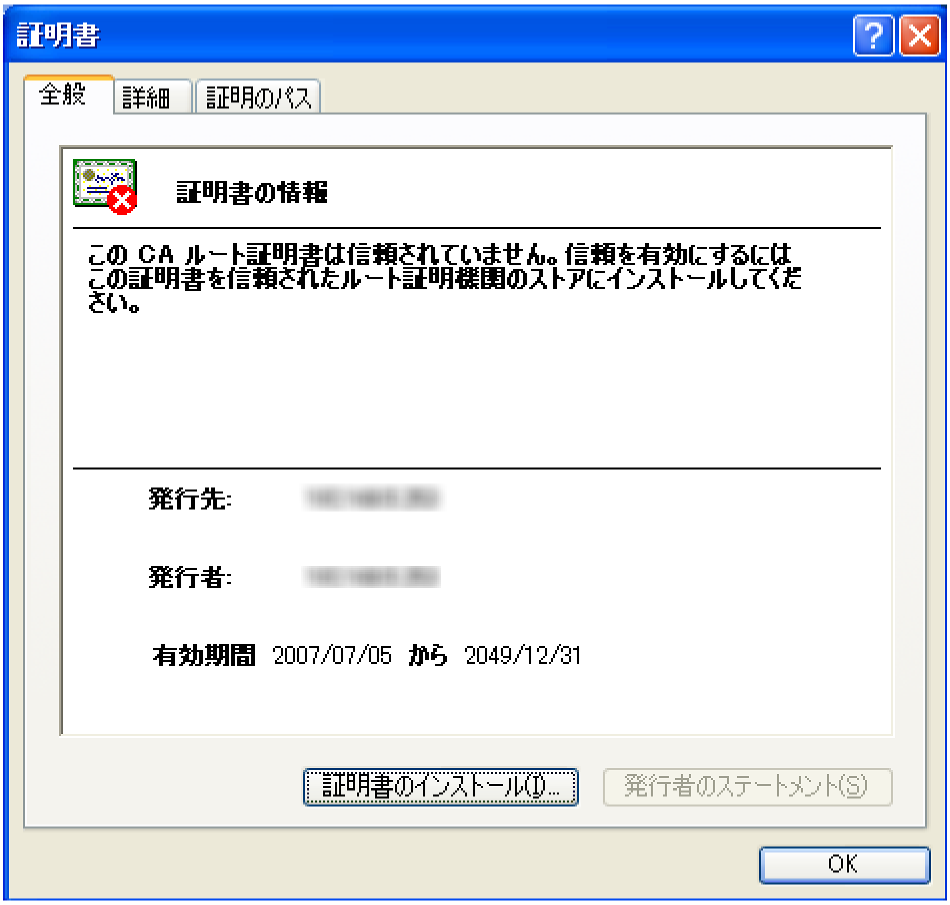
2 「証明書の表示」をクリックする



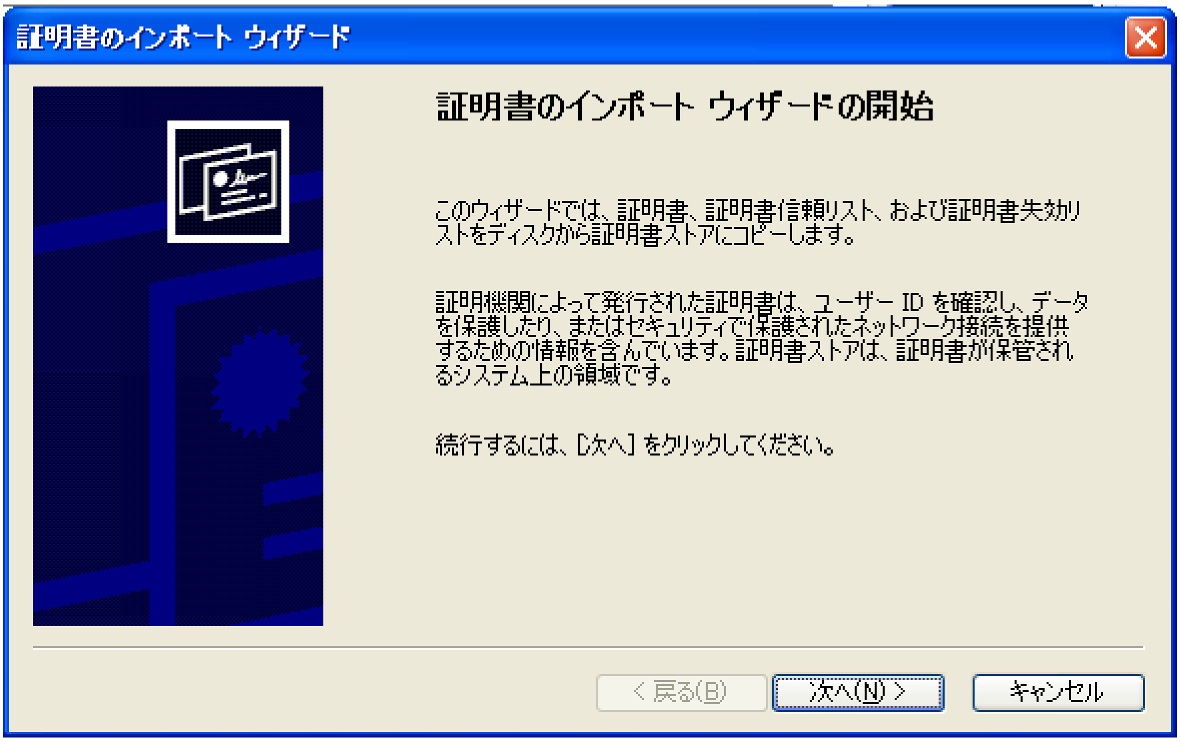
お願い

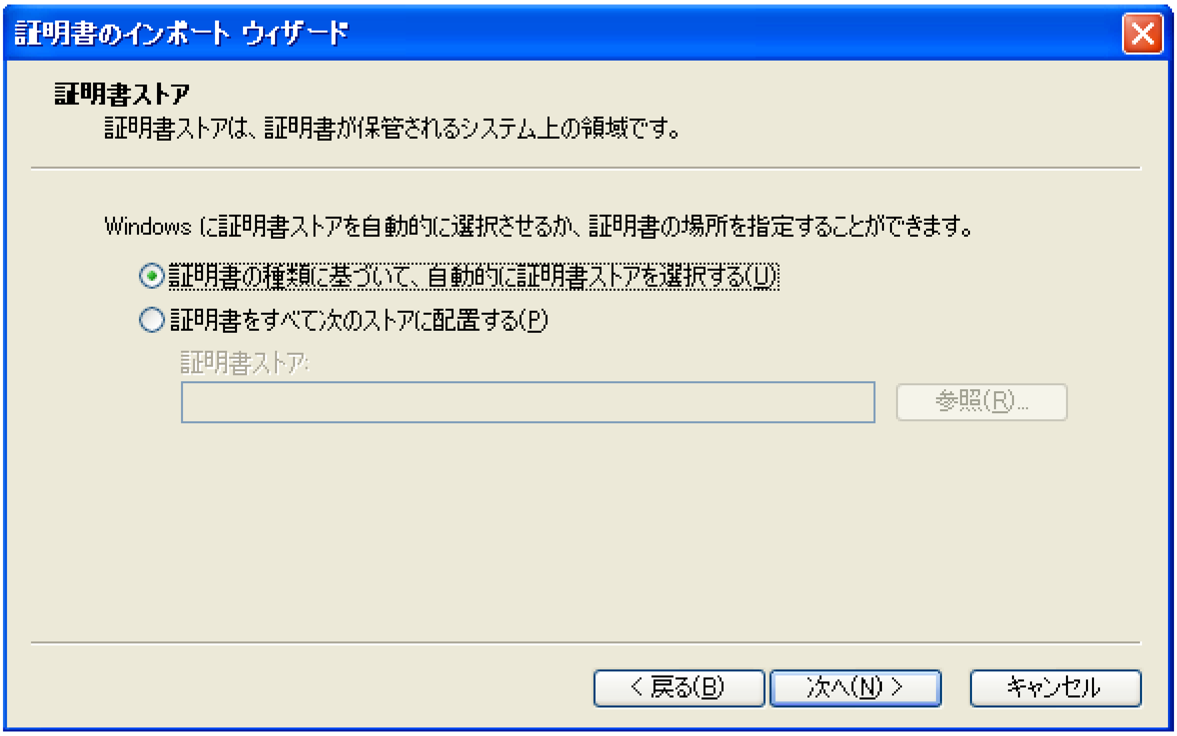
- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

3 「証明書のインストール(I)...」をクリックする

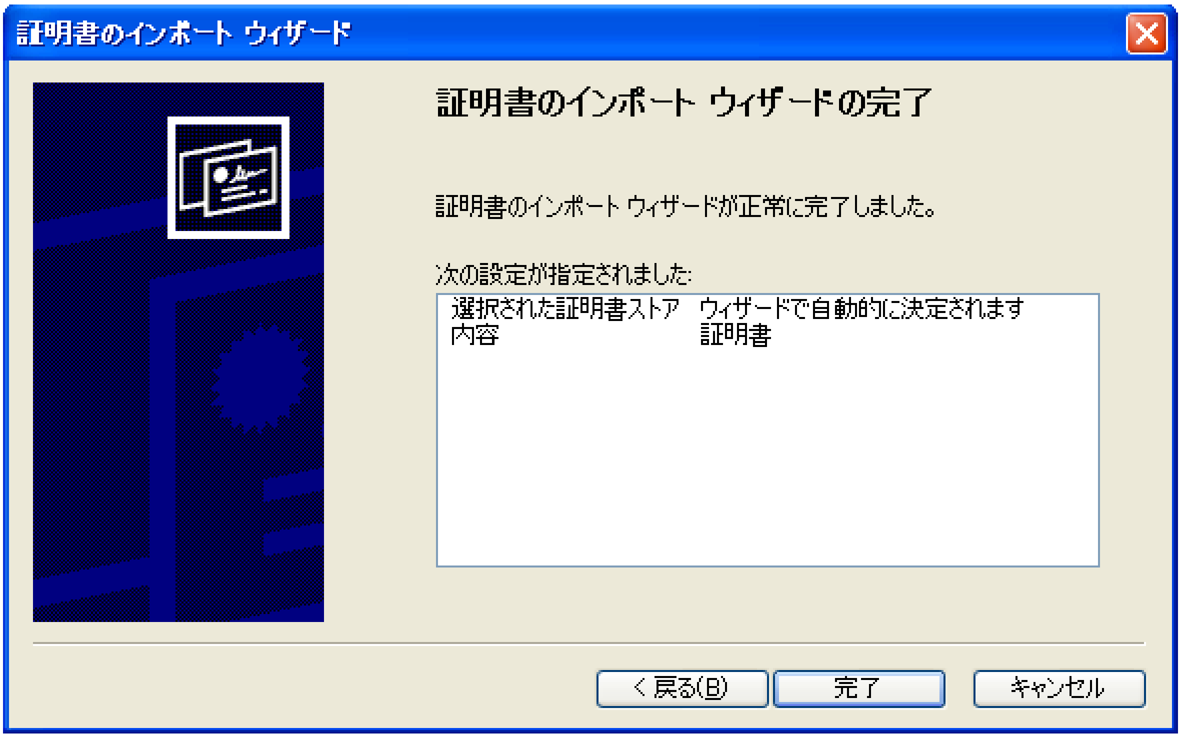


4 証明書のインポートウィザードで表示される手順に従い「次へ」をクリックしていく

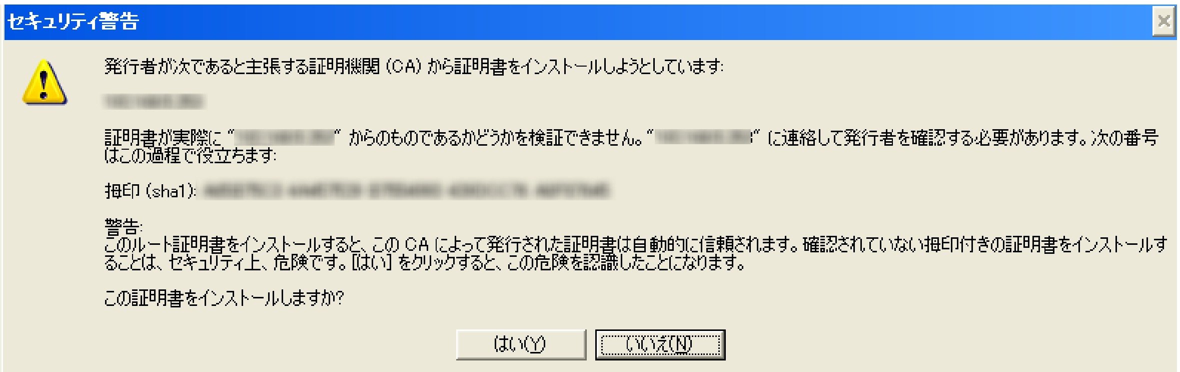




5 「完了」をクリックする

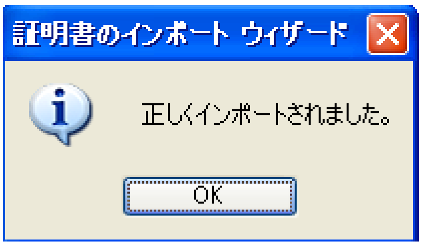


6 セキュリティ警告画面が表示されるので、「はい」をクリックする



- インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

7 「OK」をクリックする



- 証明書をインポートした後ブラウザを再起動すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

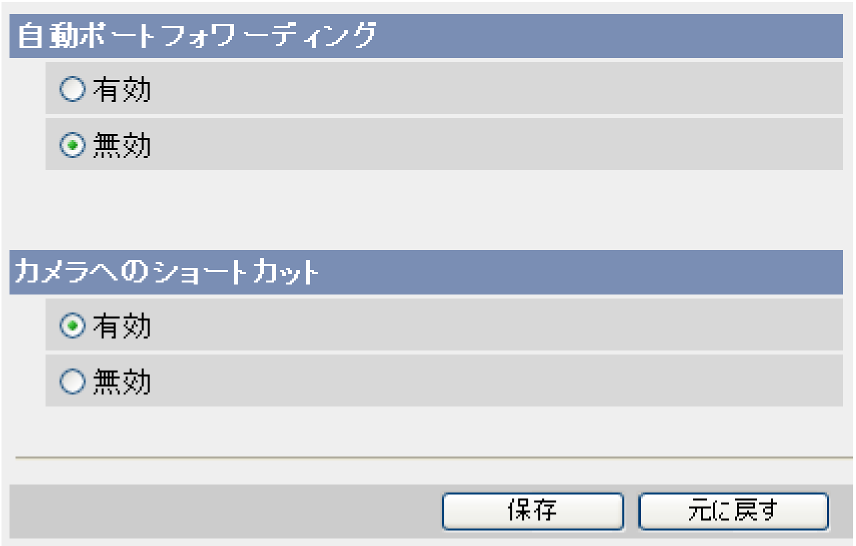
5.3 UPnP™ を設定する

カメラは、UPnP™ (Universal Plug and Play) に対応しているため、次のことが可能です。

– ルーターのポートフォワーディング機能を設定すること。（ただし、UPnP™ 対応のルーターが必要です。）この設定はインターネットや携帯電話からカメラにアクセスしたい場合に便利です。詳しくは、120 ページ を参照してください。
– カメラへのショートカットをパソコンの[マイネットワーク] フォルダ（Windows VistaとWindows 7の場合は、[ネットワーク]フォルダ）に作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されること。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[UPnP]をクリックする



3 各項目を設定する

a. ルーターのポートフォワーディング機能を設定したい場合は、[自動ポートフォワーディング]で、[有効]を選択してください。

- この機能を使うには、使用するルーターが UPnP™ 対応で、UPnP™ 機能が有効になっていなければなりません。

b. カメラへのショートカットをパソコンの[マイネットワーク] フォルダ（Windows VistaとWindows 7の場合は、[ネットワーク]フォルダ）に作りたい場合は、[カメラへのショートカット]で、[有効]を選択してください。

- この機能を使うには、あらかじめ、パソコンでUPnP™ 機能を有効にしてください。詳しくは、227 ページ を参照してください。

4 [保存]をクリックする

お知らせ

- UPnP設定画面での自動ポートフォワーディング設定は、公開画面での［自動ポートフォワーディング (IPv4)］設定にも反映されます。(→ 122 ページ)

5.4 カメラの日付・時刻を設定する（NTPも含む）

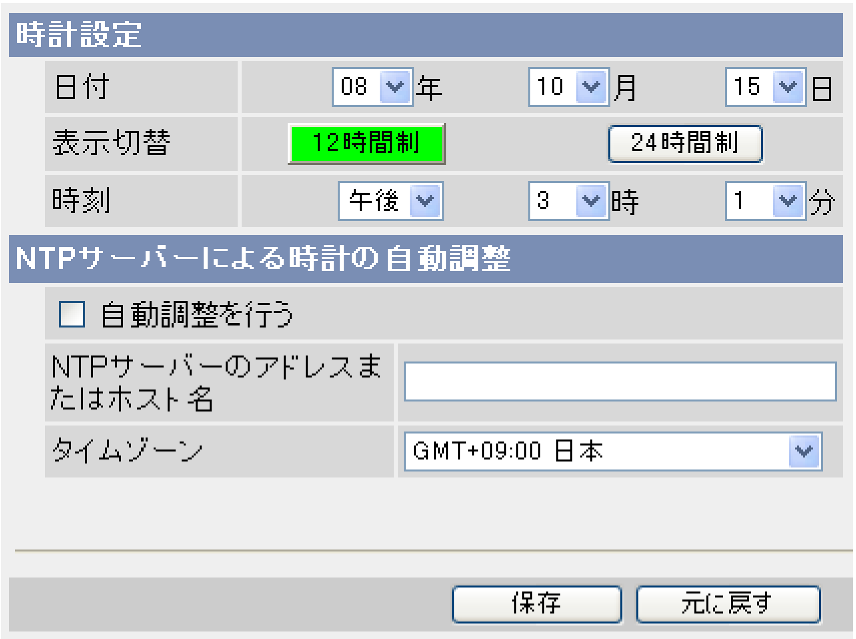
シングル画面やマルチ画面のカメラ画像と、一時保存画像の各画像に表示する日付と時刻を設定します。また、公開時間、一時保存の動作条件、アラームログ、再起動予約などは、ここでの日付・時刻の設定をもとに動作します。

お知らせ

- 環境温度や使用時間などの条件によって、設定した日付・時刻に誤差が生じる場合があります。日付・時刻を正確に保ちたい場合は、[NTPサーバーによる時計の自動調整]をおすすめします。
- 日付・時刻の設定を保存すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[日付時刻]をクリックする



3 各項目を設定する

a. [時計設定]: 年、月、日を選択します。

b. ボタンをクリックして、時刻表示の12時間制／24時間制を切り替えます。[*1]

c. 午前／午後（12時間制の場合）、時、分を選択します。

d. [NTPサーバーによる時計の自動調整]: NTPサーバーを参照して日付・時刻を自動調整するか選択します。

i. NTPサーバーを利用する場合は、ネットワーク管理者またはプロバイダーから取得した、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名[*2]（255文字以内）を入力します。

- IPv6 アドレスが入力できます。

ii. タイムゾーンは、工場出荷値で日本（[GMT+09:00 日本]）の指定になっています。変更の必要はありません。

4 [保存]をクリックする

- [保存]をクリックすると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。

---

*1　FTP転送、Eメール転送／通知、HTTP転送／通知の件名やファイル名、アラームログ、接続者情報は24時間制で表示されます。

*2　半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

お知らせ

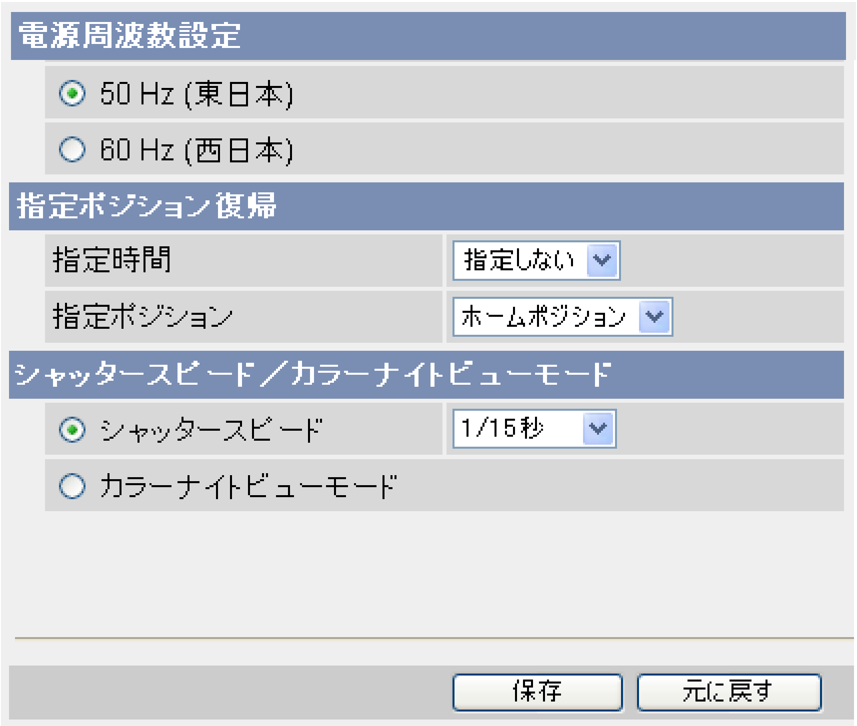
- カメラの日付、時刻の自動調整は[保存]をクリックしたときやカメラの電源を入れたときや再起動したときに行い、以後24時間おきに自動調整を行います。ただし、カメラの日付・時刻とNTPサーバーから取得した日付・時刻が1時間以上ずれている場合は、NTPサーバーのなりすましなどによる誤動作を避けるため、自動調整は機能しません。
  [保存]をクリックしたときは、時刻に1時間以上のずれがある場合でも自動調整を行います。
- カメラの管理者でネットワークディスクレコーダーに登録すると、時計の自動調整はネットワークディスクレコーダーから自動調整が行われます。ただし、[自動調整を行う]にチェックをした場合には、NTPサーバーから自動調整を行い、ネットワークディスクレコーダーから自動調整は行われません。
  また、一般ユーザーまたは未登録ユーザーの場合はネットワークディスクレコーダーから調整は行われません。

5.5 カメラの基本設定を変更する

カメラの基本的な機能を変更できます。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[カメラ]をクリックする



3 各項目を設定する

a. [電源周波数設定]: 地域に合わせて電源周波数を選択できます。

– [50 Hz (東日本)]: 電源周波数は50 Hzに設定されます。東日本で使う場合に選択してください。

– [60 Hz (西日本)]: 電源周波数は60 Hzに設定されます。西日本で使う場合に選択してください。

<u>**お知らせ**</u>

- 蛍光灯などの照明の影響によりカメラ画像にノイズが入る場合があります。ノイズが入る場合は、電源周波数の設定で改善できます。

b. [指定ポジション復帰]: 指定した時間内にカメラが操作されなかったときはカメラの向きを指定したポジションに戻す設定ができます。

i. 復帰までの待機時間を選択します。選択した時間内にカメラが操作されなかったときに、指定ポジションにカメラの向きが変わります。指定ポジションにプリセットポジションを登録するときは、指定時間を長めに設定してください。指定時間が短い場合、プリセット登録中に指定ポジションへ復帰し、プリセット登録ができません。

ii. 復帰するカメラの向きを選択します。指定ポジションは、プリセットしたものから選択できます。必要に応じて、あらかじめカメラポジションをプリセットしておいてください。(→ 36 ページ)

<u>**お知らせ**</u>

- 指定ポジション復帰を無効にするには、[指定時間] で [指定しない] を選択して、[保存] をクリックしてください。

- プリセットシーケンスまたはオートパン動作中は、指定時間経過後も指定ポジションに移動しません。

c. [シャッタースピード/カラーナイトビューモード]: 動きの速いものをぶれずに写したい場合にシャッタースピードを調整したり、撮影環境が薄暗い場合にカラーナイトビューモードを動作させ、カメラ画像を明るくして被写体を見られるように設定します。

i. シャッタースピードを調整するには、[シャッタースピード]を選択して、プルダウンメニューからシャッタースピードを選択してください。

- シャッタースピードを設定しても、実際のシャッタースピードは被写体の明るさによって変化します。シャッタースピードは被写体の明るさが暗くなると遅くなり、ここでの設定値までシャッタースピードが遅くなります。撮影時間や撮影環境に応じて撮影環境が暗くなる場合などは、シャッタースピード設定を遅くするか、カラーナイトビューモードに設定してください。
- 高速のシャッタースピードに設定している場合は、光源によりカメラ画像にノイズが入ったり、明るさによっては、画面のノイズが増えます。
- 設定できるシャッタースピードの値は電源周波数の設定値により異なります。
電源周波数設定が50 Hzの場合：1/15秒、1/25秒、1/50秒、1/100秒、1/250 秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/10000秒
電源周波数設定が60 Hzの場合：1/15秒、 1/30秒、1/60秒、1/120秒、1/250 秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/10000秒

ii. カラーナイトビューモード機能を有効にするには、[カラーナイトビューモード]を選択してください。

- 撮影環境が暗くなったときはシャッタースピードが遅くなり、カメラ画像を明るくして被写体を確認しやすくします。明るい場所を撮影しているときは、カラーナイトビューモードは動作しません。
- 工場出荷値ではカラーナイトビューモードは無効になっています。
- カラーナイトビューモード機能を有効にした場合、以下の現象が起きることがあります。
  – フレームレートが低下し、動きのある被写体を見るときやパン／チルト操作をするときに画像がぶれる場合があります。
  – 暗い被写体を映しているときに、画面全体に白点、または色のついた光の点が生じることがあります。これは撮像素子の特性なので、故障ではありません。

お知らせ

- 各パソコンで設定できるソフトウェアカラーナイトビューを使用すると、動きのある被写体を見るときやパン／チルト操作をするときでも画像のぶれを低減することができます。
(→ 54 ページ)
- カラーナイトビューモード機能を有効にした場合、ソフトウェアカラーナイトビューは効かなくなります。

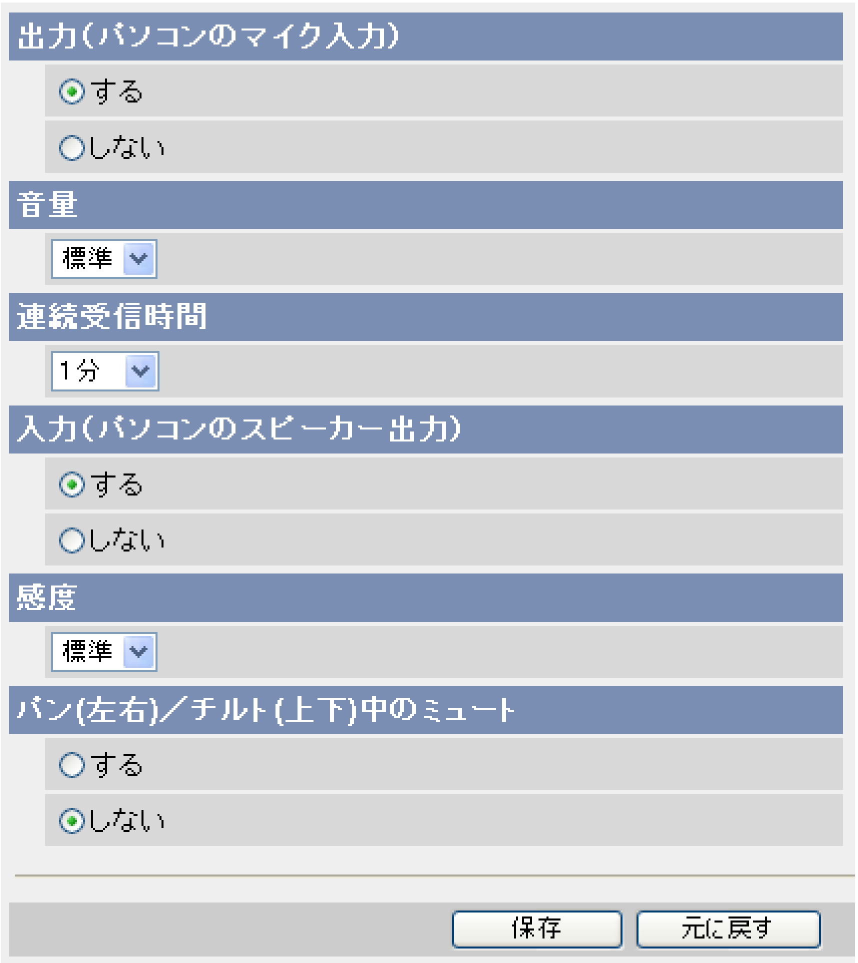
4 [保存]をクリックする

5.6 音声について設定する

外部スピーカー（市販品）の有効／無効の切り替えと音量調整や、カメラの内蔵マイクまたは外部マイク（市販品）の感度などを調整します。また、カメラのパン／チルト動作中のノイズを聴こえないように音声入力をミュート（消音）することもできます。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[音声]をクリックする



3 各項目を設定する

a. [出力（パソコンのマイク入力）]: [する]（工場出荷値）を選択すると、カメラに接続された外部スピーカーからの音声出力が有効になります。カメラ付近の作業者などに指示を音声で伝えることができます。

b. [音量]: カメラに接続された外部スピーカーの出力音量を選択します。

c. [連続受信時間]: パソコン側の音声をカメラが連続して受信する時間（カメラの外部スピーカーに出力する連続時間）を設定します。（工場出荷値は［1分］）

- 連続受信時間を経過すると送話ボタン（ ）が送話OFFボタン（ ）の表示になります。

d. [入力（パソコンのスピーカー出力）]: [する]（工場出荷値）を選択すると、内蔵マイクまたはカメラに接続された外部マイクからの音声入力が有効になります。カメラ付近の音を聴くことができます。

e. [感度]: 内蔵マイクまたはカメラに接続された外部マイクの感度を選択します。

- 感度は[超低感度]、[低感度]、[標準]（工場出荷値）、 [高感度]の４段階で設定できます。感度が高いほど小さな音をとらえることができます。
- 感度の設定は、音検知感度の検知レベルの動きに影響を与えます。設定変更後は音検知感度の設定画面で検知レベルを調整してください。(→ 105 ページ)

f. [パン（左右）／チルト（上下）中のミュート]: [する］を選択すると、カメラがパン／チルトしているときに、カメラの音声入力を一時停止します。パン／チルト動作時のノイズをミュート（消音）したいときは、[する］を選択してください。

- 工場出荷値では［しない］になっています。
- この機能が［しない］になっている場合、パン／チルト動作時にカメラの音声入力は有効になり、パン／チルト動作時のノイズをマイクがひろってしまうことがあります。

4 [保存]をクリックする

5.7 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）の映像配信を設定する

動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）の映像配信とマルチキャストに関するネットワーク設定を行います。

1 [設定]タブをクリックする

2 [基本設定]の[映像配信]をクリックする

3 各項目を設定する

- 最大画像サイズ、配信フォーマットの設定値により表示される画面は異なります。

最大画像サイズで640 × 480、配信フォーマットでMPEG-4／MJPEGを選択時



a. [最大画像サイズ設定]: 配信する画像の最大サイズを設定します。*1

- 1280 × 960を設定すると一部機能が制限されます。(→ 248 ページ)

お知らせ

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、内部メモリー（一時保存）やSDメモリーカードに保存も転送もできません。(→ 248 ページ)
- [最大画像サイズ]または[配信フォーマット]を変更した場合に、画像表示設定のシングル画面とマルチ画面で設定されている画像更新間隔と解像度が表示できない場合にはこれらの設定が変更されます。

b. [配信フォーマット設定]: 配信する動画フォーマットを設定します。*1

- H.264とMPEG-4は同時に配信することはできません。
- 最大画像サイズの設定により、配信フォーマットの設定項目は変わります。

最大画像サイズ設定が1280 × 960の場合



最大画像サイズ設定が640 × 480の場合



- 設定値により一部機能が制限されます。(→ 248 ページ)

お知らせ

- H.264画像は内部メモリー（一時保存）やSDメモリーカードに保存も転送もできません。(→ 248 ページ)

c. [最大接続数]: 最大接続数を設定します。*1 *2

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、最大接続数の設定はできません。
- 最大接続数は、最大画像サイズ設定、配信フォーマット設定、HTTP／HTTPS設定によって異なります。67 ページを参照し、最大接続数設定はH.264／MPEG-4とMJPEGの合計が、最大接続数より小さくなるように設定してください。

d. [Exズーム]: Exズームを設定します。（→ 47 ページ）[*1]

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、設定できません。（→ 248 ページ）
- Exズームと4画素加算は同時に使用できません。4画素加算が設定されているときは、設定できません。

e. [4画素加算]: 暗い画像を明るくするデジタル画像補正を行います。[*1]

- [4画素加算]で[使用する]を設定すると、常に4画素加算を行います。
- 最大画像サイズ設定が1280 × 960のときは、設定できません。（→ 248 ページ）
- Exズームと4画素加算は同時に使用できません。Exズームが設定されているときは、設定できません。
- [4画素加算]を設定すると、設定しない場合に比べて、ノイズが増えたり、表示サイズが640 × 480の場合に、解像度が低くなる場合があります。
- [4画素加算]を設定すると、ソフトウェアカラーナイトビューは効かなくなります。

f. [H.264最大フレームレート]／[MPEG-4最大フレームレート]: 解像度ごとにH.264／MPEG-4の最大フレームレートを設定します。

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960の時は、640 × 480、320 × 240、192 × 144の最大フレームレートは設定できません。
- 最大画像サイズ設定が640 × 480のときは、1280 × 960の最大フレームレートは設定できません。

g. [H.264 ビットレート]／[MPEG-4ビットレート]: 解像度ごとにH.264／MPEG-4のビットレートの範囲を設定します。音声のビットレートはこの設定には含まれません。

- 最大画像サイズ設定が1280 × 960の時は、640 × 480、320 × 240、192 × 144の最大ビットレートは設定できません。
- 最大画像サイズ設定が640 × 480のときは、1280 × 960のビットレートは設定できません。
- 被写体の動きが小さいときのビットレートの目安です。被写体の動きが大きいときは、設定したビットレートを越えることがあります。
- 通信帯域を制限したい場合には、ネットワーク設定の通信帯域制限で制限してください。（→ 136 ページ）

h. [RTSP]: H.264／MPEG-4を配信するためのRTSP（Real Time Streaming Protocol）のポート番号を設定します。(通常は、ポート番号554が使用されます。)

i. [RTP]: H.264／MPEG-4を配信するためのRTP（Real-time Transport Protocol）のポート番号を設定します。

j. [マルチキャスト]: マルチキャスト配信をカメラに設定する場合のみ [マルチキャスト設定画面を表示する] にチェックを付けます。設定しない場合は、[保存]をクリックしてください。[マルチキャスト設定画面を表示する] にチェックを付けると、画面に各種設定項目が表示されます。

- [マルチキャスト（IPv4）] や[マルチキャスト（IPv6）]で、[使用する]にチェックを付けると、操作バーの[配信方法]で［Multicast］が選択できるようになります。



4 各項目を設定する

a. [パケット有効期間]: マルチキャストのパケットの有効期間TTL（ルーターの通過回数）を設定します。ネットワーク上のルーターの数に合わせて設定してください。

b. [マルチキャスト（IPv4）]: マルチキャストをIPv4のネットワークで使用する場合は、[使用する]にチェックを付けて、各項目を設定してください。

i. 送信するマルチキャストのIPアドレスを指定します。

ii. H.264の動画（音声を含む）とMPEG-4の動画（音声を含まず）のポート番号を指定します。

- ポート番号は偶数を設定してください。

iii. MPEG-4の音声のポート番号を指定します。

- ポート番号は偶数を設定してください。

c. [マルチキャスト（IPv6）]: マルチキャストをIPv6のネットワークで使用する場合は、[使用する]にチェックを付けて、各項目を設定してください。

i. 送信するマルチキャストのIPアドレスを指定します。このアドレスは、IPv6 アドレスでなければなりません。

ii. H.264の動画（音声を含む）とMPEG-4の動画（音声を含まず）のポート番号を指定します。

- ポート番号は偶数を設定してください。

iii. MPEG-4の音声のポート番号を指定します。

- ポート番号は偶数を設定してください。

5 [保存]をクリックする

- [最大画像サイズ]、[配信フォーマット設定]、[最大接続台数]、[Exズーム]、[４画素加算]を変更すると［再起動］画面が表示されます。[再起動]をクリックしてください。
- 再起動すると、内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

---

*1　設定を変更するには、カメラの再起動が必要です。カメラを再起動すると、内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

*2　最大接続数にはマルチキャストの接続数も含まれます。

お知らせ

- [最大画像サイズ]または[配信フォーマット]を変更した場合に、画像表示設定のシングル画面とマルチ画面で設定されている画像更新間隔と解像度が表示できない場合にはこれらの設定が変更されます。
- 最大画像サイズ設定と配信フォーマット設定により配信できないフォーマットと解像度を録画プログラムなどから要求された場合は、青画面や灰色画面が表示されます。
- H.264／MPEG-4配信中に設定を保存すると、すべての配信を停止します。ウェブブラウザの更新ボタンをクリックして、再読み込みを行ってください。
- 画質を良くしたい場合は、フレームレートの設定を小さくしてください。
- フレームレートを上げたい場合は、ビットレートの最小値を大きくしてください。
- 映像の表示が不安定な場合は、ビットレートの最大値を小さく設定するとともに、配信方法をHTTPに設定してください。
- ネットワークの通信帯域がせまく、表示が乱れる場合は、配信方法をHTTPに設定してください。

6 ユーザー設定

6.1 管理者／一般ユーザー／未登録ユーザーについて

カメラにアクセスできるユーザーには、管理者、一般ユーザー、未登録ユーザーがあり、それぞれのユーザーで表示される画面や、許可されている操作が異なります。

ユーザーの種類	ユーザー名とパスワード入力	登録数	アクセスできる画面	機能許可設定
[管理者]	必要	1名	全画面[*1]	すべての操作ができます。
[一般ユーザー]	必要	50名	設定画面、公開画面、メンテナンス画面以外[*2]	一般ユーザーごとに機能許可設定ができます。 (→ 171 ページ)
[未登録ユーザー]	不要	–	設定画面、公開画面、メンテナンス画面以外[*2]	未登録ユーザーの機能許可設定ができます。 (→ 174 ページ)
[未登録ユーザー] （携帯電話のみ）	不要	–	携帯電話用画面のみ	未登録ユーザーの機能許可設定ができます。 (→ 174 ページ)

お知らせ

- 未登録ユーザーとは、ユーザー名とパスワードなしでカメラにアクセスできる不特定多数のユーザーです。未登録ユーザーがアクセスできるようにするには、管理者設定画面で［未登録ユーザーを許可］または［携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可］に設定する必要があります。
  (→ 174 ページ)
- 一般ユーザーで表示できる画面や利用できる機能を設定できます。詳しくは171 ページを参照してください。

[*1] 管理者の設定画面で[未登録ユーザーを禁止]または[携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可]にしている場合は、[ログイン]タブは表示されません。(→ 174 ページ)

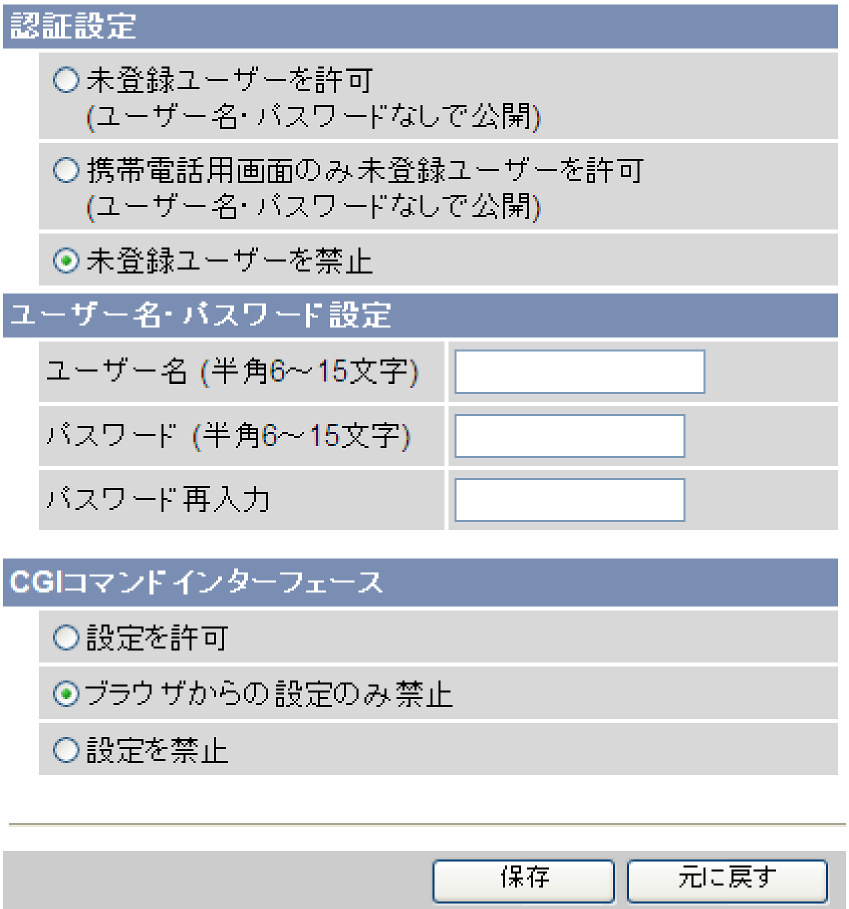
[*2] 一般ユーザー設定画面（新規登録／変更）または未登録ユーザー変更画面で、［マルチ画面参照］、［一時保存画像参照］が許可されていない場合は、アクセス時に、[マルチ]タブ、[一時保存画像]タブは表示されません。

6.2 管理者のユーザー名／パスワードを変更する

管理者のユーザー名／パスワードを変更します。ユーザー名、パスワードについては、自己の責任で適切に管理してください。また、ユーザー名とパスワードは、できるだけ推測されにくいものを設定し、パスワードは定期的に変更してください。

1 [設定] タブをクリックする

2 [ユーザー設定]の [管理者]をクリックする



3 [ユーザー名・パスワード設定]で、管理者のユーザー名とパスワードを設定する

- 入力できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[:] は、使えません。

4 [保存]をクリックする

お知らせ

- [認証設定]については174 ページを参照してください。
- [CGIコマンドインターフェース]については193 ページを参照してください。

6.3 一般ユーザー

一般ユーザーは50名まで登録できます。一般ユーザーの登録／削除、シングル画面やマルチ画面でのカメラ操作の制限などをユーザー単位で設定します。

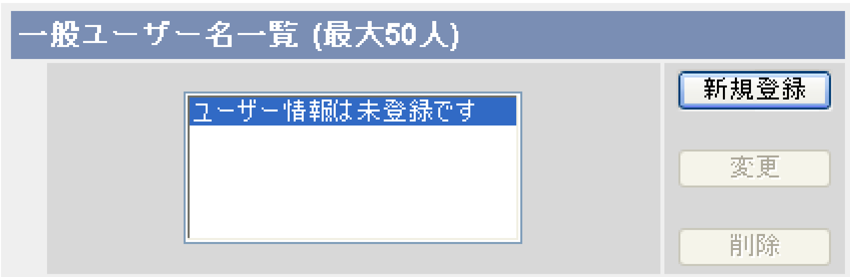
お知らせ

- ユーザー名とパスワードは、できるだけ推測されにくいものを設定し、パスワードは定期的に変更してください。
- 一般ユーザーは、設定内容に関係なくウェブブラウザ画面上の [設定]タブ、[公開]タブ、[メンテナンス]タブは表示されません。[マルチ] タブ、[一時保存画像] タブは管理者が許可をすれば表示されます。

一般ユーザーを登録／変更する

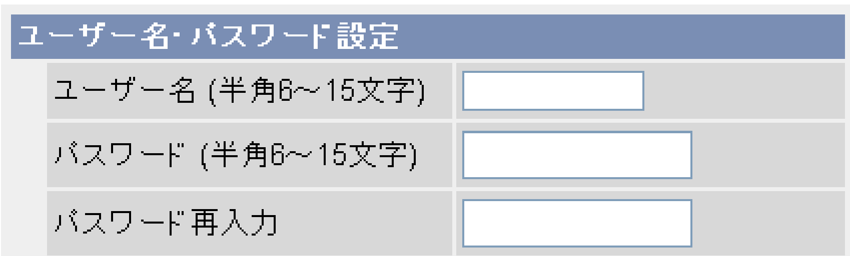
1 [設定] タブをクリックする

2 [ユーザー設定]の [一般ユーザー]をクリックする



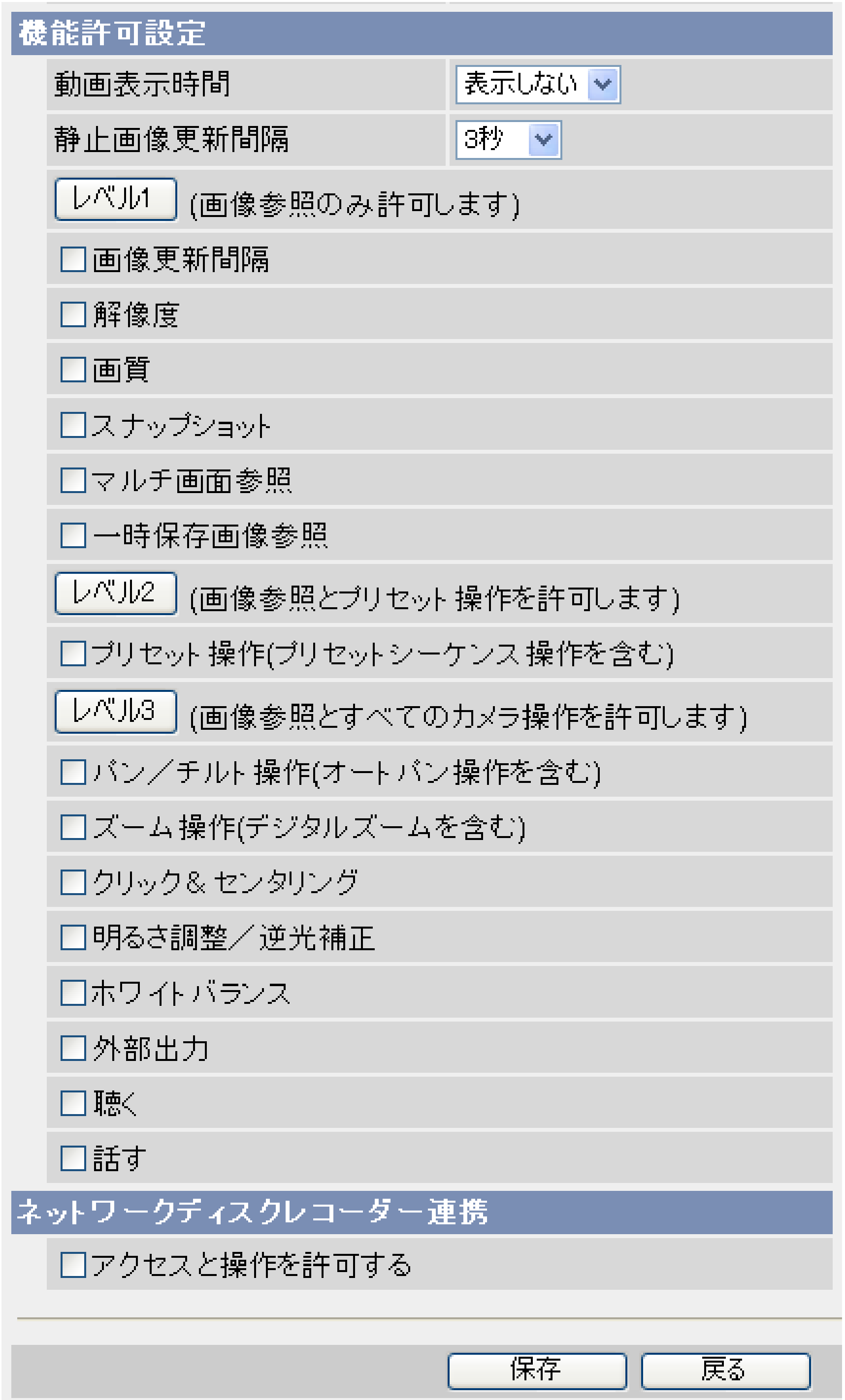
3 [一般ユーザー名一覧]で[新規登録]をクリックする

- 一般ユーザーは50名まで登録できます。
- 既存のユーザーを変更する場合は、変更したい一般ユーザーを選択して、[変更]をクリックします。



4 [ユーザー名・パスワード設定]で、ユーザー名とパスワードを設定する

- 入力できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[:] は、使えません。



5 [機能許可設定]で、操作を許可する機能を選択する

a. [動画表示時間]: 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）の表示時間を選択します。

– [制限しない]: ユーザーは常に動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を見ることができます。

– [表示しない]: 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を見ることができなくなります。

– [10秒]～[60分]: 選択した時間だけ動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を表示した後、静止画（JPEG）に切り替わります。

b. [静止画像更新間隔]: [動画表示時間]の指定で静止画（JPEG）に切り替わったあとの、更新間隔を選択します。

c. ユーザーに許可する機能を選択してください。

- 各チェックボックスにチェックを入れることもできますが、[レベル1]ボタン、 [レベル2]ボタン、[レベル3]ボタンをクリックすると、以下の機能をすべて有効にします。機能を無効にするには、各チェックボックスのチェックをはずしてください。

6 [ネットワークディスクレコーダー連携]を設定する

- ネットワークディスクレコーダーからのアクセス、操作、画像参照、録画を一般ユーザーに許可する場合には、[アクセスと操作を許可する]をチェックしてください。
なお、ネットワークディスクレコーダーからカメラの各設定はできません。
また、[アクセスと操作を許可する]をチェックすると、[機能許可設定]の設定に関係なく、ネットワークディスクレコーダーから画像の参照や操作や録画ができます。
ネットワークディスクレコーダーの操作については、ネットワークディスクレコーダーの取扱説明書を参照してください。

7 [保存]をクリックする

お知らせ

- 機能の制限によりクリック＆センタリングを禁止している場合でも、マルチ画面のActiveXデジタルズーム時はクリック＆センタリング機能が使えます。ズームした範囲でクリック＆センタリング機能が使えても、パン／チルトは動作しません。
- 一般ユーザーまたは未登録ユーザーの権限で[画像更新間隔]を許可し、[解像度]を禁止しているときに、該当する[解像度]が表示できない場合には、[画像更新間隔]に画像の種類が表示されないことがあります。(→ 246 ページ)
- マルチ画面参照を許可した場合は、マルチ画面で画像が縮小表示されることがありますので、解像度を許可することをおすすめします。
- プリセットシーケンスは、[プリセット操作]で禁止することができます。
- オートパンは、[パン/チルト操作]で禁止することができます。

一般ユーザーを削除する

1 [設定] タブをクリックする

2 [ユーザー設定]の[一般ユーザー]をクリックする

3 [一般ユーザー名一覧]で削除したい一般ユーザを選択して[削除]をクリックする

4 表示される一般ユーザー削除画面で、 [削除]をクリックする

5 確認画面で[OK]をクリックする

6.4 未登録ユーザー

未登録ユーザーのアクセスを許可／禁止します。未登録ユーザーは、ユーザー名／パスワードを入力せずにカメラにアクセスできます。ただし、設定内容に関係なくウェブブラウザ画面上の [設定]タブ、[公開]タブ、[メンテナンス]タブは表示されません。また、携帯電話用画面のみにアクセスできる未登録ユーザーも許可することができます。

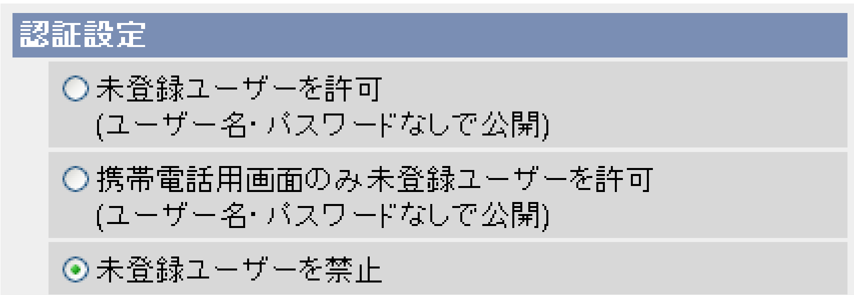
重要

[未登録ユーザーを許可]または[携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可]に設定した場合には、画像を第三者に見られる可能性があります。被写体のプライバシーにはご注意ください。

未登録ユーザーのアクセスを許可／禁止する

1 [設定] タブをクリックする

2 [ユーザー設定]の [管理者]をクリックする



3 [認証設定]で、未登録ユーザーのアクセス方法を選択する

– [未登録ユーザーを許可]: カメラにアクセスしても、認証画面が表示されません。未登録ユーザーで、ユーザー名とパスワードを知らなくても、パソコンや携帯電話からカメラ画像を見られるようになります。(ただし、パソコンからのアクセスの場合は、設定内容に関係なく [設定]タブ、[公開]タブ、[メンテナンス]タブは表示されません。)

– [携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可]: 携帯電話用の画面のみに、ユーザー名とパスワードなしでアクセスできます。

– [未登録ユーザーを禁止]: カメラにアクセスするときは、必ず認証画面が表示されます。

4 [保存]をクリックする

お知らせ

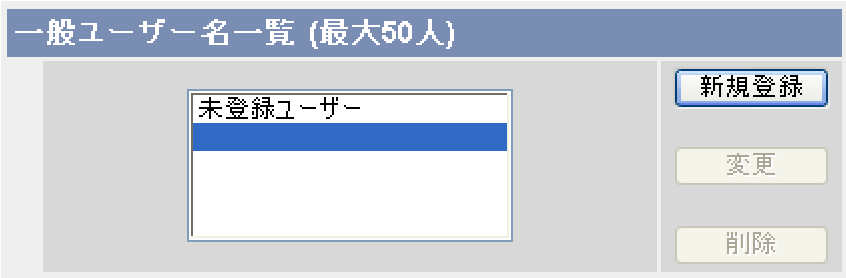
- [未登録ユーザーを許可] にしている場合は、カメラにアクセスしたとき、認証画面は表示されず、トップ画面に[ログイン] タブが表示されます。このタブをクリックしてログイン画面から管理者／一般ユーザーでログインしてください。詳しくは、178 ページを参照してください。

未登録ユーザーに操作を許可する機能を変更する

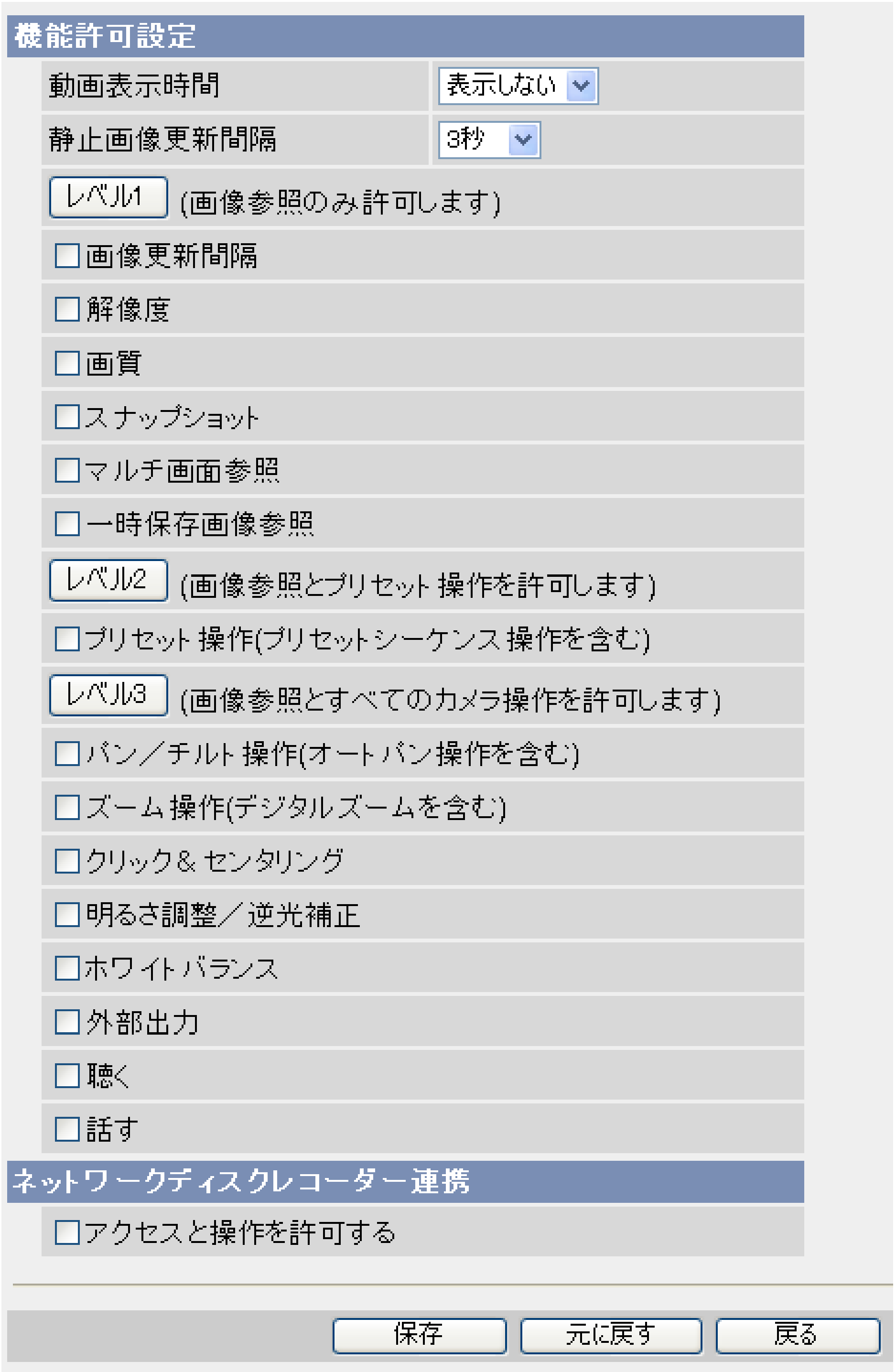
1 未登録ユーザーがカメラにアクセスできるように設定しておく

2 [設定] タブをクリックする

3 [ユーザー設定]の[一般ユーザー]をクリックする



4 [一般ユーザー名一覧]で、[未登録ユーザー]を選択し、[変更]をクリックする



5 [機能許可設定]で、操作を許可する機能を選択する

a. [動画表示時間]: 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）の表示時間を選択します。

- [制限しない]: ユーザーは常に動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を見ることができます。
- [表示しない]: 動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を見ることができなくなります。
- [10秒]～[60分]: 選択した時間だけ動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）を表示した後、静止画（JPEG）に切り替わります。

b. [静止画像更新間隔]: [動画表示時間]の指定で静止画（JPEG）に切り替わったあとの、更新間隔を選択します。

c. ユーザーに許可する機能を選択してください。

- 各チェックボックスにチェックを入れることもできますが、[レベル1]ボタン、 [レベル2]ボタン、[レベル3]ボタンをクリックすると、以下の機能をすべて有効にします。機能を無効にするには、各チェックボックスのチェックをはずしてください。

6 [ネットワークディスクレコーダー連携]を設定する

- ネットワークディスクレコーダーからのアクセス、操作、画像参照、録画を未登録ユーザーに許可する場合には、[アクセスと操作を許可する]をチェックしてください。
なお、ネットワークディスクレコーダーからカメラの各設定はできません。
また、[アクセスと操作を許可する]をチェックすると、[機能許可設定]の設定に関係なく、ネットワークディスクレコーダーから画像の参照や操作や録画ができます。
ネットワークディスクレコーダーの操作については、ネットワークディスクレコーダーの取扱説明書を参照してください。

7 [保存]をクリックする

お知らせ

- 機能の制限によりクリック＆センタリングを禁止している場合でも、マルチ画面のActiveXデジタルズーム時はクリック＆センタリング機能が使えます。ズームした範囲でクリック＆センタリング機能が使えても、パン／チルトは動作しません。
- 一般ユーザーまたは未登録ユーザーの権限で[画像更新間隔]を許可し、[解像度]を禁止しているときに、該当する[解像度]が表示できない場合には、[画像更新間隔]に画像の種類が表示されないことがあります。(→ 246 ページ)
- マルチ画面参照を許可した場合は、マルチ画面で画像が縮小表示されることがありますので、解像度を許可することをおすすめします。
- プリセットシーケンスは、[プリセット操作]で禁止することができます。
- オートパンは、[パン/チルト操作]で禁止することができます。

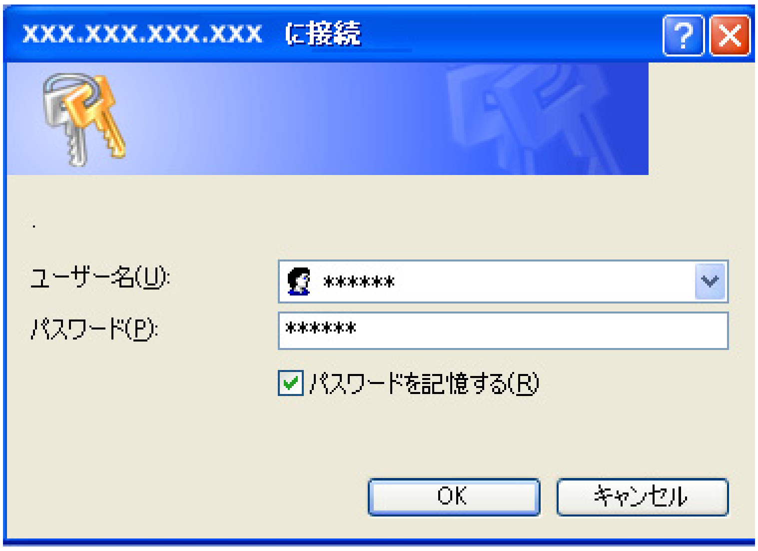
6.5 未登録ユーザーから管理者／一般ユーザーでログインする

管理者の設定画面で［未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)］にしている場合(→ 174 ページ)は、カメラの操作や設定に制限があります。ログイン画面から管理者／一般ユーザーでログインしてください。

1 ［ログイン］タブをクリックする



2 認証画面で、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力して、［OK］をクリックする



7 その他の設定

7.1 画像表示の設定を変更する

カメラにアクセスしたときに表示されるカメラの名前やカメラ画像の表示のしかたを変更することができます。ここでの手順にしたがって以下の設定を変更できます。

– カメラの名前
– シングル画面とマルチ画面の画像更新間隔、解像度、画質
– シングル画面の動画（H.264／MPEG-4）の配信方法
– 携帯電話で見るカメラ画像の解像度
– 表示設定 (日付時刻、テキスト、カメラの状態などを表示させるか）
– 表示言語
– バナー表示 (シングル画面にバナーを表示させるか）

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[画像表示]をクリックする



カメラ名設定

カメラ名	NetworkCamera

シングル画面

画像更新間隔	MJPEG
解像度	320x240
画質	標準
配信方法	自動

マルチ画面

画像更新間隔	MJPEG
解像度	320x240
画質	標準

携帯電話画面

解像度	192x144

表示設定

日付時刻表示	☐ 表示する
日付表示形式	YY/MM/DD (06/04/15)
テキスト表示	☐ 表示する
テキスト (半角英数1～20文字)	
状態表示	☐ 表示する

表示言語設定

表示言語	日本語

バナー表示設定

☐ 有効にする	
表示対象	全ユーザー表示
画像URL (半角1～127文字)	
リンク先URL (半角0～127文字)	

保存　元に戻す

3 各項目を設定する

a. [カメラ名設定]: シングル画面で表示されるカメラの名前を入力します。

- 全角は7文字以内で、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号で入力します。半角は15文字以内で、英数字と記号で入力します。使用できる文字については242 ページを参照してください。[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使用できません。

b. [シングル画面]: アクセスしたときに表示されるカメラ画像の画像更新間隔、解像度、画質 (MJPEG画像または静止画像の場合）と配信方法 (H.264／MPEG-4 画像の場合)を選択します。アクセスしなおしても毎回同じ設定でカメラ画像を表示させることができます。

c. [マルチ画面]: アクセスしたときに表示されるカメラ画像の画像更新間隔、解像度、画質 (MJPEG画像または静止画像の場合）を選択します。アクセスしなおしても毎回同じ設定でカメラ画像を表示させることができます。

お知らせ

- マルチ画面で表示できる解像度は320×240または192×144のため、最大画像設定が1280×960のときは、画像更新間隔でH.264／MPEG-4の設定はできません。

d. [携帯電話画面]: 携帯電話で見るカメラ画像の解像度を選択します。アクセスしなおしても毎回同じ設定でカメラ画像を表示させることができます。

e. [表示設定]: シングル画面やマルチ画面のカメラ画像に、日付・時刻（画面左上)、状態表示（画面右上)、任意のテキスト（画面左下）をそれぞれ表示できます。また、一時保存画像にも一時保存したときの状態を表示します。表示例については、13 ページを参照してください。

i. 日付・時刻表示の有効／無効を切り替えます。カメラ画像の左上に日付・時刻を表示する場合は、チェックを付けてください。また、日付の表示形式を選択します。12時間制と24時間制を切り替えるには、157 ページを参照してください。

ii. テキスト表示の有効／無効を切り替えます。カメラ画像の左下に任意のテキストを表示する場合は、チェックを付けてください。表示したいテキストを入力します（20文字以内)。

- 使用できる文字については242 ページを参照してください。["]、[']、[&]、[<]、[>] は使用できません。

iii. 状態表示の有効／無効を切り替えます。カメラの状態を表示する場合は、チェックを付けてください。カメラ画像の右上に、検知などの状態を表示します。（検知の表示は、動作条件の設定と関係なく、アラーム1～2、動作検知、音検知、ショック検知で反応したときだけ表示します。）

- [O]: 音検知時
- [H]: ショック検知時
- [M]: 動作検知時
- [1] または[2]: アラーム1またはアラーム2検知時
- [P]：プリセットシーケンス動作中
- [U]：オートパン動作中
- 太陽マーク（）：シングル画面で逆光補正をONにした場合

お知らせ

- 解像度が192 x 144の場合には、状態表示は表示されません。
- 「アラーム1検知時」または「アラーム2検知時」の表示は、アラームセンサーが検知時に[立下り(短絡)]になる場合に表示されます。[立上り(開放)]されるアラームセンサーをご使用の場合は表示が逆になります。（検知時：表示なし、未検知時：表示）

f. [表示言語設定]: 画面に表示される言語を切り替えます。

- トップ画面でも表示言語を切り替えることができます。
- [韓国語]を選択した場合は、[トップ]画面、[シングル]画面、[マルチ]画面、[一時保存画像]画面のみ韓国語で表示されます。それ以外の画面は、すべて英語で表示されます。

g. [バナー表示設定]: シングル画面にバナー画像を表示することができます。また、バナー画像にリンクしたいURLを設定することもできます。

i. バナー表示を有効にするには、チェックを付けてください。

ii. バナーを表示する対象ユーザーを選択します。

iii. バナー表示させたい画像のURL[*1]を半角英数字で入力します（127文字以内)。カメラと同じネットワーク内の共有サーバーやインターネット上の画像を指定できます。また、バナー表示できる画像のファイル形式（拡張子）は、.jpgと.pngです。

<u>**お知らせ**</u>

- バナー画像が、認証の必要なパソコンやサーバーに保存されている場合は、シングル画面を表示するたびにバナー画像を表示するための認証画面が表示されます。認証画面を表示したくない場合は、認証の必要のないパソコンやサーバーに保存されているバナー画像を指定してください。
- バナー表示を有効にすると、シングル画面を表示するごとに設定されたバナー画像のURLにアクセスします。シングル画面を頻繁に切り替えると、バナー画像が保存されているパソコンやサーバーに負荷がかかることがあります。

iv. バナー画像にリンクを設定します。リンク先のURL[*1]を半角英数字で入力します（127文字以内)。

4 [保存]をクリックする

---

*1 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

7.2 カメラをマルチ画面に登録する

[マルチ]画面に他のパナソニックネットワークカメラを登録することができます。このカメラにアクセスし、[マルチ]タブをクリックするだけで、16台までのカメラ画像を一度に見ることができます。[マルチ]画面で複数のカメラ画像を見るためには、カメラのIPアドレスまたはホスト名、カメラ名を登録します。（工場出荷値では、自カメラはNo.1に設定されています。）

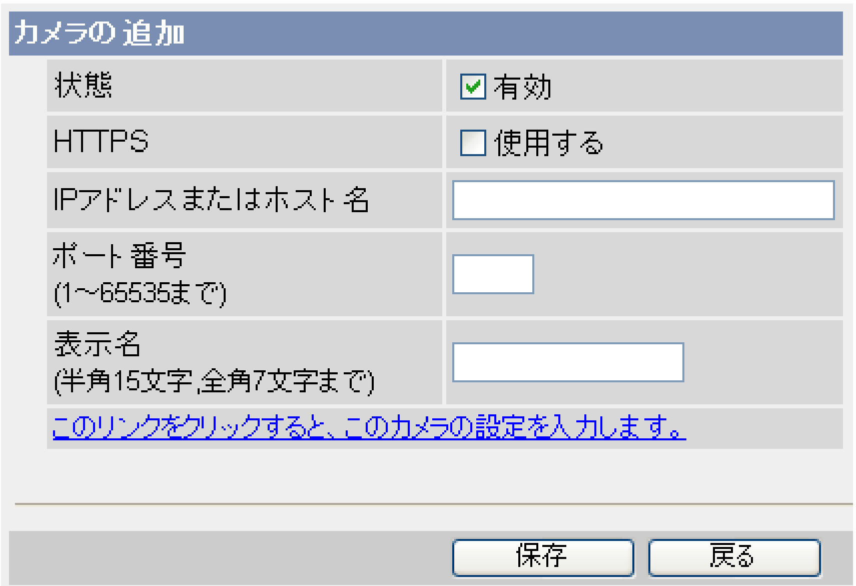
他のカメラを登録する

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[マルチ画面]をクリックする

No.	状態	HTTPS	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号	表示名
1	有効	使用しない	selfcamera	--	BB-HCM735
追加					

3 [追加]をクリックする



4 各項目を設定する

a. [状態]: チェックを付けると、カメラがマルチ画面に表示されます。

b. [HTTPS]: HTTPSに設定されているカメラには、チェックを付けてください。

c. [IPアドレスまたはホスト名]: 追加したいカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。インターネットからカメラ画像を見る場合には、カメラのグローバルアドレスまたはドメイン名を設定してください。また、パソコンと同じネットワーク内のカメラ画像を見る場合には、IPアドレス（ローカルアドレス）を設定してください。（IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。）

- IPv6アドレスを設定する場合は、[ ]でアドレスを囲んで入力してください。
- ホスト名に入力できる文字数は、1～255文字です。使用できる文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[#]、[%]、[=]、[+]、[?]は使えません。

d. [ポート番号]: 追加したいカメラのポート番号（1～65535）を入力します。

e. [表示名]: マルチ画面に表示させるカメラ名を入力します。

- 全角は7文字以内で、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角は15文字以内で、英数字と記号が入力できます。使用できる半角文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[#]、[%]、[=]、[+]、[?]、 [:]は使えません。

f. [このリンクをクリックすると、カメラの設定を入力します。]: リンクをクリックすると、自カメラの設定が自動的に入力されます。（ポート番号には「--」、表示名には品番が表示されます。）

5 [保存]をクリックする

お知らせ

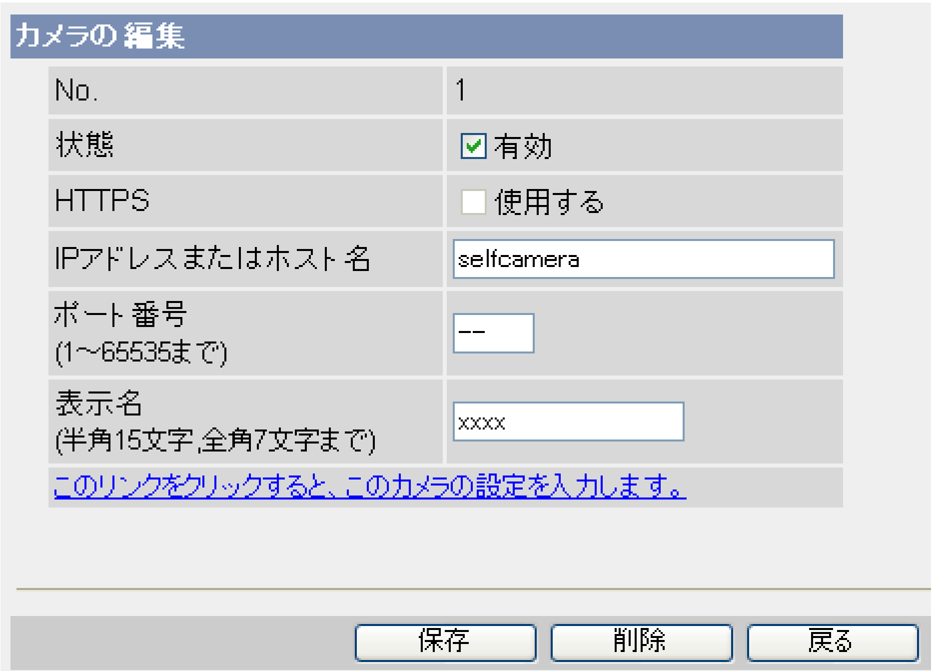
- H.264対応カメラのマルチカメラにH.264非対応カメラを登録した場合は、MJPEGで表示されます。
- H.264非対応カメラのマルチカメラにH.264対応カメラを登録した場合は、MJPEGで表示されます。

登録したカメラを変更する

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[マルチ画面]をクリックする

3 変更したいカメラNo.をクリックする



4 各項目を変更する

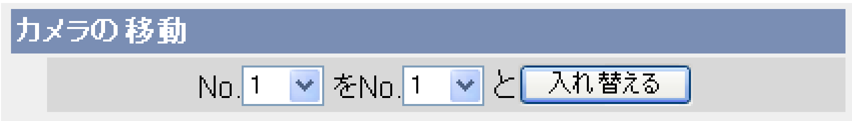
5 [保存]をクリックする

登録したカメラを削除する

1. [設定] タブをクリックする
2. [その他の設定]の[マルチ画面]をクリックする
3. 削除したいカメラNo.をクリックする
4. [削除]をクリックする
5. [OK]をクリックする

[マルチ] 画面でのカメラの配置を変更する

1. [設定] タブをクリックする
2. [その他の設定]の[マルチ画面]をクリックする



3. [カメラの移動]: 移動させたいカメラ No.を選択し、移動先のカメラNo.を選択する
4. [入れ替える]をクリックする
   - 移動元のカメラと移動先のカメラの配置が入れ替わります。

7.3 カメラ画像の公開時間を制限する

一般ユーザーと未登録ユーザーに対して、カメラ画像を公開する時間帯を設定できます。管理者は公開時間の設定に関わりなく、常にカメラ画像を見ることができます。
一般ユーザーと未登録ユーザーが公開時間外にカメラにアクセスすると、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面のカメラ画像が青色画像、黒画像または灰色画像で表示されます。また、[公開時間外です。]とシングル画面に表示されます。時間帯は、7パターンまで設定できます。

お願い

- 設定を誤ると、意図していないカメラ画像を見られる恐れがあります。設定したあとに必ず一般ユーザーまたは未登録ユーザーとして公開時間外にカメラにアクセスし動作を確認してください。

お知らせ

- あらかじめ、カメラの日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。(→ 157 ページ)

1 [設定] タブをクリックする

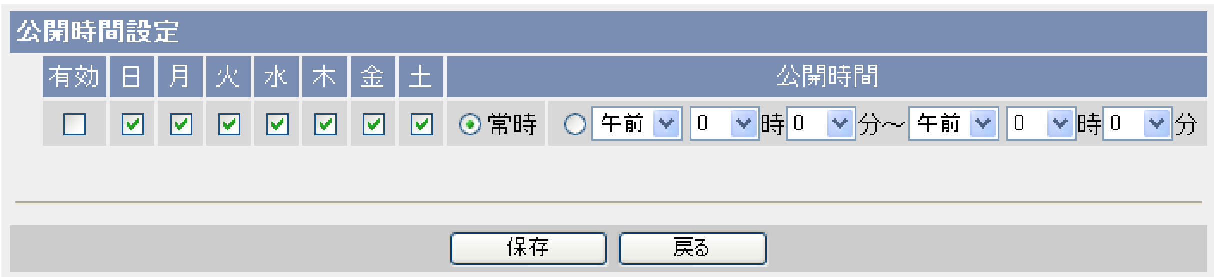
2 [その他の設定]の[公開時間]をクリックする

公開時間設定

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
2	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
3	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
4	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
5	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
6	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
7	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時

3 時間設定のNo.をクリックする

- No. 1から7 まですべて無効になっている場合は、カメラ画像がいつでも公開されています。



4 [有効] にチェックを付けて、カメラ画像を公開する曜日と時間帯を設定する

- [常時] をクリックすると、選択した曜日に24時間、カメラ画像を公開します。

5 [保存]をクリックする

お知らせ

- 画像参照中に公開時間外になった場合、MJPEGは最後の画像が表示されたままになります。
  H.264／MPEG-4画像の場合は、公開時間外になっても、ActiveXのタイムアウト処理までの約20秒間は古い画像が表示され、その後、H.264は黒画像、MPEG-4は灰色画像に切り替わります。
- 管理者は公開時間の設定に関わりなく、常にカメラ画像を見ることができます。
- 以下の画面のように、No.1が火曜日を公開しない設定にしていても、ほかの有効な設定（No.2）が火曜日を公開するように設定していた場合はカメラ画像は公開されます。

公開時間設定

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	有効	○	○		○		○	○	常時
2	有効	○	○	○			○	○	午後 2:00 ～ 午後 5:00

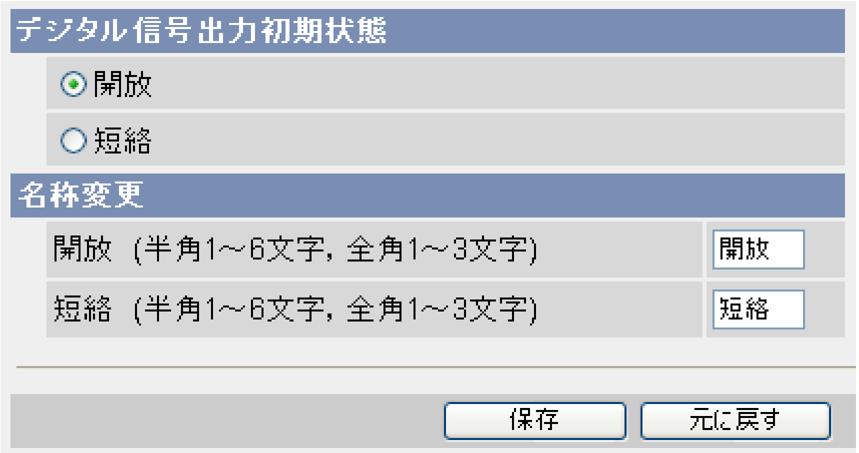
例）上記のNo.1とNo.2が有効の場合は、以下のようにカメラ画像を公開します。
日曜日…常時
月曜日…常時
火曜日…午後2時～午後5時
水曜日…常時
木曜日…公開しない
金曜日…常時
土曜日…常時

7.4 外部機器をI／Oコネクターに接続する

I／Oコネクターのデジタル出力端子を使って、ライトや外部機器などをコントロールできます。
I／Oコネクターの詳細や接続の例は、256 ページを参照してください。
また、検知時に、一定時間、デジタル出力端子（外部出力端子）を開放または短絡にすることができます。(→ 76 ページ)

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[外部出力]をクリックする



3 [デジタル信号出力初期状態]: カメラを起動したときの初期状態を設定する

– [開放] （工場出荷値）: 選択すると、内部トランジスタがオフになり、外部出力端子は、ハイインピーダンスになります（オープンコレクタ）。

– [短絡]: 選択すると、内部トランジスタがオンになります。電気的にGNDにショートされた状態になり外部出力端子はローインピーダンス（0 V）になります。

4 [名称変更]: 操作バーにある外部出力ボタンの名称を入力する

- 接続した外部機器に合わせて表現を変更できます。全角は3文字以内で、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号で入力します。半角は6文字以内で、英数字と記号で入力します。使用できる半角文字については、242 ページを参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

5 [保存]をクリックする

お知らせ

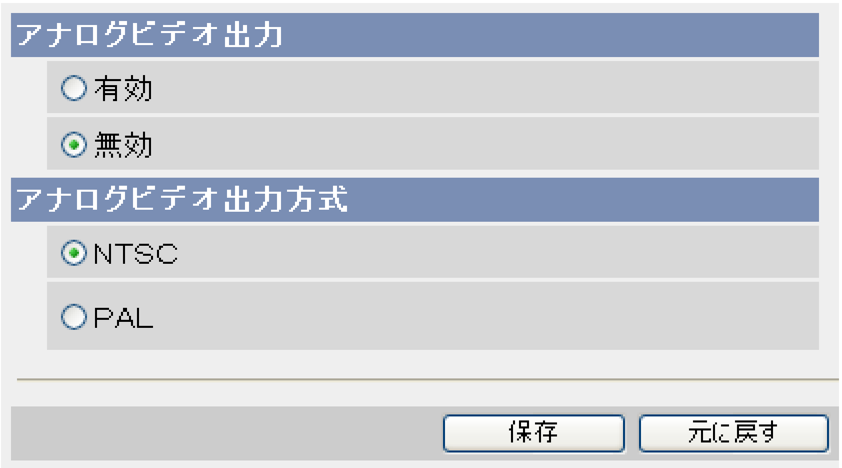
- 詳しくは外部機器の取扱説明書を参照するか、カメラの設置業者にご相談ください。

7.5 テレビなどのモニターにカメラ画像を表示する（アナログビデオ出力）

カメラのアナログビデオ出力端子に接続したテレビなどのモニターに、カメラ画像を表示します。
テレビまたは外部マイク／スピーカーのカメラへの接続方法は、255 ページ、253 ページを参照してください。

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[アナログビデオ出力]をクリックする



3 [アナログビデオ出力]: 有効／無効を選択する

- 工場出荷値では、無効に設定されています。

4 [アナログビデオ出力方式]: カメラに接続される機器に対応したアナログビデオ出力方式を選択する

- 工場出荷値では、[NTSC]（日本）の指定になっています。変更の必要はありません。

5 [保存]をクリックする

- [保存が完了しました。] が表示されます。

6 [再起動]をクリックする

- 再起動すると、内部メモリーに一時保存されている画像はすべて消去されます。

お知らせ

- [アナログビデオ出力] を[有効]にすると、カメラの動画のフレームレートが低下することがあります。
- テレビなどのモニターに表示される画像はアナログビデオ処理されているため、ウェブブラウザで表示される画像よりも画質が低下します。

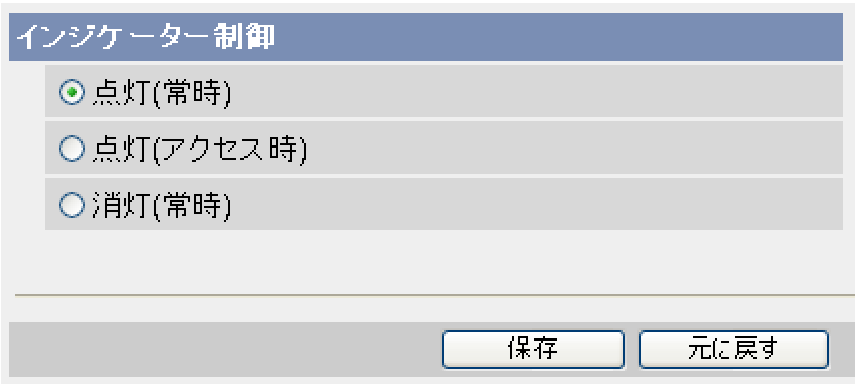
7.6 インジケーターの点灯方法を変更する

インジケーターの点灯方法を設定できます。誰かがカメラにアクセスしているときだけ点灯させたり、常に消灯させたりできます。工場出荷値では[点灯(常時)]に設定されています。

– [点灯(常時)]: 常にインジケーターが点灯または点滅します。
– [点灯(アクセス時)]: カメラにアクセスしているときのみインジケーターが緑点灯します。
– [消灯(常時)]: 常にインジケーターが消灯します。ネットワークに接続していても点灯しなくなります。

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[インジケーター]をクリックする



3 インジケーターの点灯方法を選択する

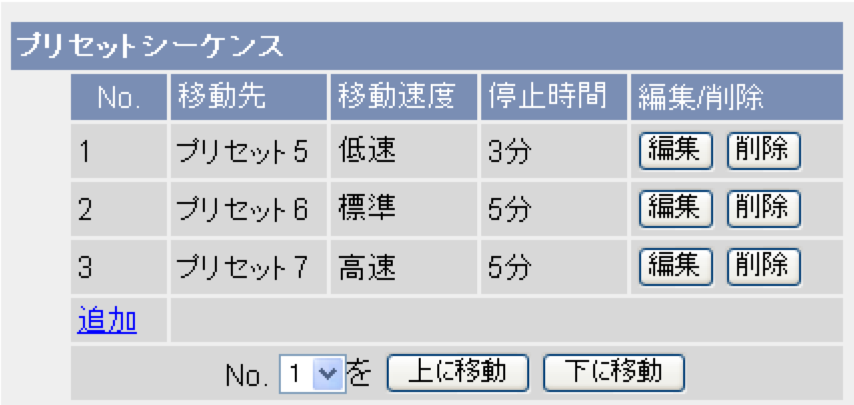
4 [保存]をクリックする

お知らせ

• インジケーターの表示については、インジケーター表示についてを参照してください。(→ 5 ページ)

7.7 プリセットシーケンスを登録する

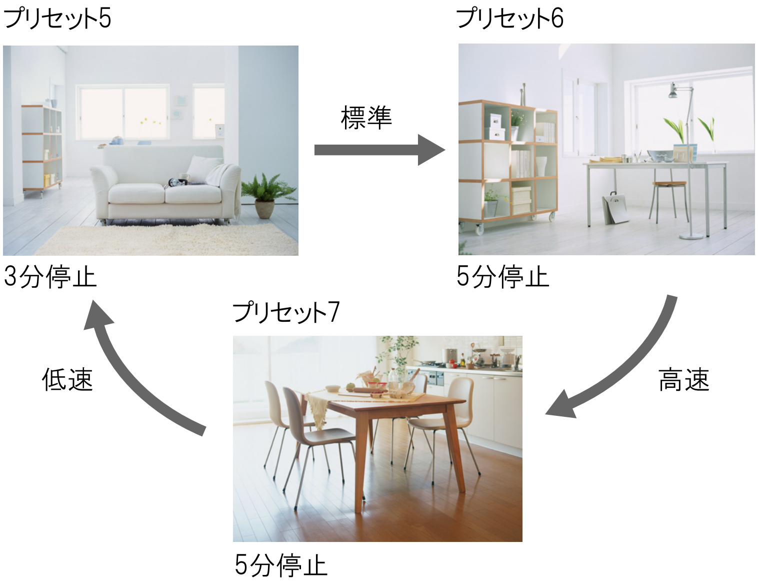
プリセットに登録している場所（→ 36 ページ）を定期的に巡回して見ることができます。
プリセットシーケンスの操作はシングル画面で行います。（→ 39 ページ）
設定例：



プリセットシーケンス

No.	移動先	移動速度	停止時間	編集/削除
1	プリセット 5	低速	3分	編集 削除
2	プリセット 6	標準	5分	編集 削除
3	プリセット 7	高速	5分	編集 削除
追加				

No. 1 を 上に移動 下に移動



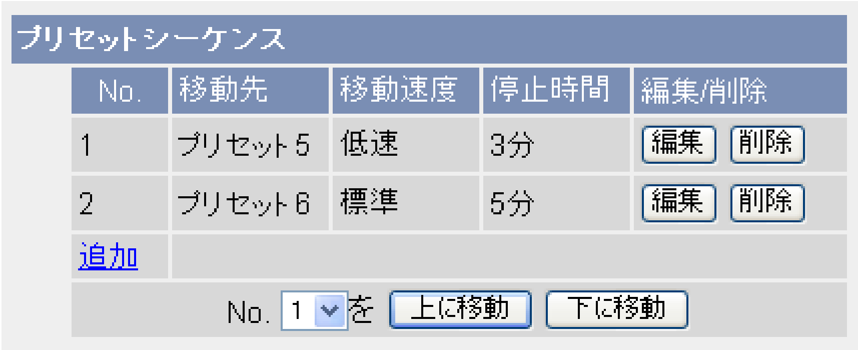
お知らせ

- プリセットシーケンスの登録／削除を行うには、管理者権限でログインしてください。

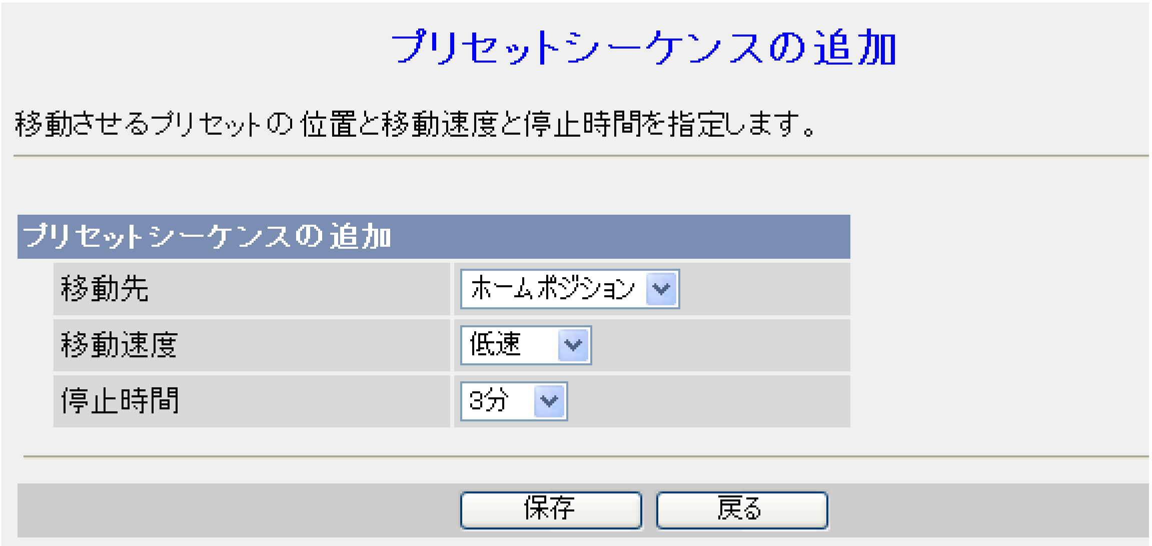
登録する

1 [設定] タブをクリックする

2 [その他の設定]の[プリセットシーケンス]をクリックする



3 [追加]をクリックする



4 各項目を設定する

- [移動先]：移動先（ホームポジション、アラーム1～2、プリセット1～20）を設定する
- [移動速度]：移動速度（超低速、低速、標準、高速、超高速）を設定する
- [停止時間]：停止時間（3分、4分、5分、10分、15分、20分、30分、40分、50分、60分）を設定する

5 [保存]をクリックする

- プリセットを追加するには[追加]ボタンをクリックして手順4～5を行ってください。

お知らせ

- プリセットは10個まで登録できます。
- 登録したプリセットは、[編集]／[削除]ボタンで編集／削除できます。
- 表示する順番は[No.]を選択して[上に移動]／[下に移動]ボタンで変更できます。

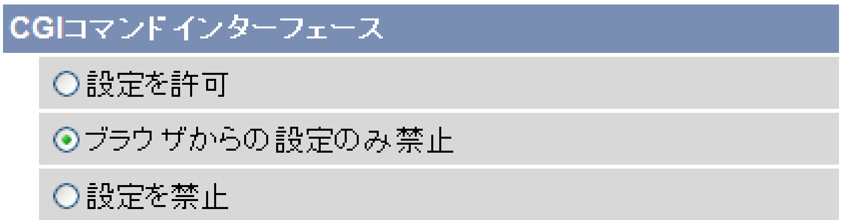
7.8 CGIコマンドインターフェースを変更する

ウェブブラウザや外部接続機器、アプリケーションなどからCGIコマンドインターフェース*1を使用して、カメラの設定を制限することができます。

1 [設定] タブをクリックする

2 [ユーザー設定]の [管理者]をクリックする

3 [CGIコマンドインターフェース]でカメラ設定の制御方法を選択する



設定を許可	ウェブブラウザ、外部接続機器、アプリケーションなどからカメラの設定ができますが、セキュリティは低くなります。
ブラウザからの設定のみ禁止	ウェブブラウザからのカメラの設定が制限されます。
設定を禁止	ウェブブラウザ、外部接続機器、アプリケーションなどからカメラの設定が制限されますが、セキュリティは高くなります。

4 [保存]をクリックする

*1 CGIコマンドインターフェースとは、設定画面を使用せずに、コマンドを使用してカメラを制御するインターフェースのことです。

お知らせ

- 当社製の録画プログラムやテレビモニタリングユニット、カメラコントロールユニットを使用する場合は、[設定を許可]または[ブラウザからの設定のみ禁止]を選択してください。
- 携帯電話やStrada（カーナビ）からのカメラ設定は制限されません。
- ウェブブラウザで独自にカメラ設定メニューを作成して使用している場合は、[設定を許可]を選択するとカメラを制御することができます。

8 SDメモリーカードを使う

画像は内部メモリーの代わりにSD メモリーカード（別売品）に保存することができます。カメラは当社製SDメモリーカード（BB-HCC02）および当社製SDHC メモリーカード（BB-HCC04, BB-HCC08)に対応しています。(→ 279 ページ)
パナソニック製SD／SDHCメモリーカードの256 MBから8 GBまでの動作を確認しています。

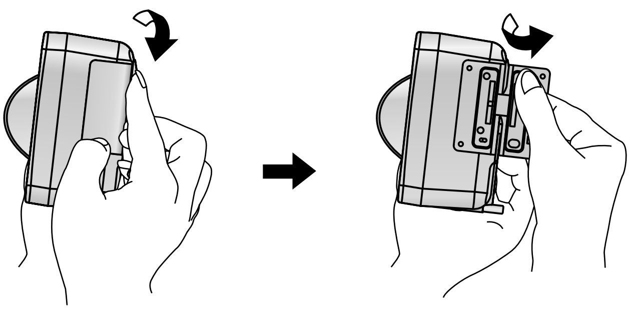
<u>お知らせ</u>

- SDメモリーカードにカメラ画像を保存するには、事前にフォーマットが必要です。(→ 197 ページ)
- 他のカメラで使用していたSDメモリーカードを使用した場合やカメラの設定内容を保存したファイルから復元した場合には、必ずSDメモリーカードをフォーマットしてください。(→ 197 ページ)
- SDメモリーカードに保存したJPEGファイルをパソコンで見るには、専用のネットワークカメラビューア Ⅱソフトが必要です。ネットワークカメラビューア Ⅱソフトは、CD-ROM（添付品）のNCVフォルダ内にあるNCV2_README_C.txtファイルを参照してインストールするか、 パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html)からダウンロードし、パソコンにインストールして使用してください。
- SDメモリーカードに保存したMPEG-4ファイルをパソコンで見るには、Windows Media Playerが必要です。
- SDメモリーカードは消耗品です。
  SDメモリーカードへの録画を自動上書きにより繰り返して行う場合は、データ保持の信頼性を高めるため、当社の別売品（SDメモリーカードBB-HCC02、SDHCメモリーカードBB-HCC04／BB-HCC08）をご使用ください。(→ 279 ページ)
- SDメモリーカードの利用方法によっては、SDメモリーカードの製品寿命が大幅に短くなる場合があります。SDメモリーカードを長時間利用するには、アラーム録画・動作検知録画・タイマー録画・音検知録画・ショック検知録画において、記録する時間帯や記録するデータ量をなるべく少なく制限するとともに、記録の頻度を少なくするなどのご利用をおすすめします。
- SDメモリーカードの使用状況や空き容量などの情報は、[ステータス]画面に表示されます。
  (→ 199 ページ)
- SDメモリーカードの使用時は、Eメール転送、FTP転送、HTTP転送などでSDメモリーカードに一時保存されない場合でも、転送失敗時の保存領域として使用される場合があります。

8.1 SDメモリーカードの取り付け／取りはずし

SDメモリーカードを取り付ける

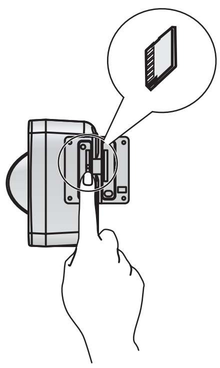
1 本体側面のカバーを開ける



お知らせ

- SDカードカバー（樹脂）を使用している場合は、カバーを取りはずしてください。カバーの取りはずしかたは、BB-HCM715の「かんたんガイド」を参照してください。

2 SDメモリーカードのラベル面を本体の背面側にして差し込み、指でカチッと音がするまでSDメモリーカードを押す



お知らせ

- カメラのインジケーター表示が赤になったら、SDメモリーカードを取り外し、カードが書込み禁止になっていないか確認してください。書込み禁止になっていない状態でインジケーター表示が赤のままの場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。(→ 197 ページ)

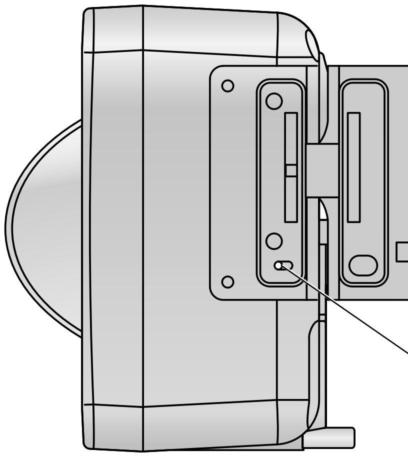
3 カバーを閉じる

SDメモリーカードを取りはずす

1 本体側面のカバーを開ける

2 FUNCTIONボタンを押して一時保存画像の録画を停止する

- FUNCTIONボタンを押し、録画が停止すると緑点灯が消灯します。手順3に進む前に、FUNCTIONボタンの緑点灯の消灯を確認してください。



3 カードを軽く押して、取り外す

4 カバーを閉じる

お願い

- SDメモリーカードを取りはずす前に、カメラのFUNCTIONボタンを押すか、動作条件画面の下部にある［SD録画停止］をクリックしてから取りはずしてください。（→ 198 ページ）
- SDメモリーカードは、FUNCTIONボタンが点灯していないことを確認してから取りはずしてください。
- SDメモリーカードへの録画開始後は、録画を停止せずにSDメモリーカードの取りはずしやカメラの再起動、電源の入／切をしないでください。保存できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

8.2 SDメモリーカードをフォーマットする

カメラ画像を録画する前に、SDメモリーカードをフォーマットしてください。SDメモリーカードのフォーマットは、以下を参照してカメラでフォーマットするか、SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをパソコンにインストールしてフォーマットしてください。SDメモリーカードフォーマットソフトウェアについては パナソニックのサポートウェブサイト
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) を参照してください。

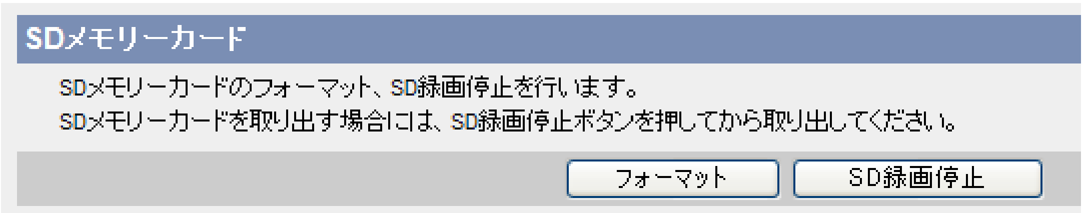
お知らせ

- フォーマットすると、SDメモリーカード内のすべてのデータが消去されます。
- SDメモリーカードの使用状況や空き容量などの情報は、[ステータス]画面に表示されます。
(→ 199 ページ)

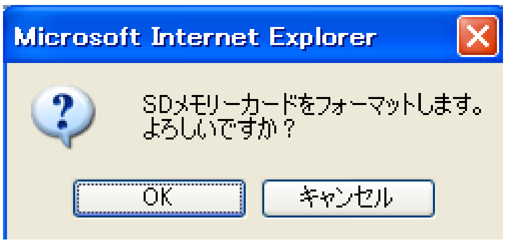
1 SDメモリーカードを取り付ける

2 [設定] タブをクリックする

3 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする



4 [SDメモリーカード]で、[フォーマット]をクリックする



5 [OK]をクリックする

- SDメモリーカードのフォーマットが始まります。
フォーマットが完了すると、「フォーマットが完了しました。」と表示されます。

6 [動作条件設定画面へ] をクリックする

- 動作条件設定画面に戻ります。

8.3 SDメモリーカードへの録画を開始／停止する

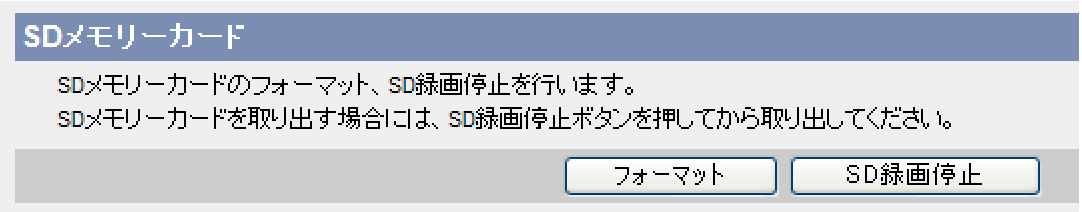
一時保存／転送の動作条件が設定されている場合は、フォーマットされたSDメモリーカードを取り付けるとSDメモリーカードが自動認識されて録画を開始します。SDメモリーカードへの録画は、開始したり停止したりすることができます。SDメモリーカードへの録画を停止すると、画像はカメラの内部メモリーに保存されます。SDメモリーカードを取りはずす場合、以下の手順にしたがってSDメモリーカードへの録画を開始/停止してください。

お知らせ

- SDメモリーカードの使用状況や空き容量などの情報は、[ステータス]画面に表示されます。(→ 199 ページ)
- カメラを再起動すると、SDメモリーカードへの録画が再度開始されます。
- SDメモリーカードを取りはずして再度取り付けると、SDメモリーカードへの録画が再度開始されます。

1 [設定] タブをクリックする

2 [一時保存／転送]の[動作条件]をクリックする



3 [SDメモリーカード]で、[SD録画開始] または[SD録画停止]をクリックする

- [SD録画停止] をクリックしたあとに、SDメモリーカードを取りはずさずに録画を開始するには、[SD録画開始] をクリックしてください。

4 [動作条件設定画面へ] をクリックする

- 動作条件設定画面に戻ります。

お知らせ

- カメラのFUNCTIONボタンを押すことでもSDメモリーカードへの録画を停止できます。(→ 195 ページ)
- Eメール転送、FTP転送、HTTP転送でSDメモリーカードに一時保存されない場合でも、転送失敗時の保存領域としてSDメモリーカードの保存領域が使用されます。

9 カメラの管理とメンテナンス

9.1 動作状況（ステータス）を確認する

以下のようなカメラのファームウェア情報やネットワーク情報、接続時のエラー情報などを[ステータス] 画面で確認できます。

– バージョン
– SDメモリーカード使用状況（SDメモリーカードの総容量と一時保存画像でのメモリーの使用容量が表示されます。）
– ネットワーク
– ネットワーク（IPv6）
– カメラアドレス
– みえますねっと
– ユーザー指定ダイナミックDNS
– UPnP
– プロトコル
– エラーログ
– 自己診断（カメラ起動時に、カメラの状態（正常／異常）を診断した結果が表示されます。）
– パン、チルト動作の回数

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 必要な情報を確認する

お知らせ

• ステータス画面の表示内容（みえますねっと・ユーザー指定ダイナミックDNS・UPnPの各ステータス、UPnP・ダイナミックDNS・Eメール・FTPなどの各エラーログ、自己診断など）については、パナソニックサポートウェブサイトのステータス情報（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/esprt_js.html）を参照してください。

9.2 接続者情報を確認する

[接続者情報] 画面で、カメラの動画、音声の接続者情報を確認できます。以下のようなシングル画面、マルチ画面、一時保存画像画面への接続者の情報のほか、録画プログラムの動画、音声配信の接続者情報と、マルチキャストの配信情報を確認できます。

– セッション数（各動画（H.264／MPEG-4／MJPEG）と各音声（G.726／AAC）の現在のアクセス数）
  - 音声(AAC)は、H.264の音声です。
  - 動画、音声の同時アクセス数は、最大画像サイズ設定、配信フォーマット設定、HTTP／HTTPS接続により異なります。詳細は、67 ページを参照してください。なお、最大接続台数は、映像配信設定画面の最大接続数設定で変更することができます。(→ 163 ページ)

– 動画、音声の接続者情報

– 配信中のマルチキャストの情報

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[接続者情報]をクリックする

セッション数

マルチキャストを含めた動画と音声の接続カウント数を表示します。

区分	最大接続数	現在の接続数
動画(MPEG-4)	3	1
動画(MJPEG)	10	1
音声(G.726)	13	2

接続者リスト

マルチキャスト以外の接続者一覧を表示します。(最大60件)

接続時刻	区分	IPアドレス	接続者	接続方式
2009/ 6/12 10:13	音声(G.726)	xxx.xxx.xxx.xxx	管理者	HTTP
2009/ 6/12 10:13	動画(MJPEG)	xxx.xxx.xxx.xxx	管理者	HTTP
2009/ 6/12 10:31	音声(G.726)	xxx.xxx.xxx.xxx	管理者	Unicast
2009/ 6/12 10:31	動画(MPEG-4)	xxx.xxx.xxx.xxx	管理者	Unicast

マルチキャスト

配信中のマルチキャストの情報を表示します。

区分	解像度	IPv4/IPv6

3 アクセス状況を確認する

<u>お知らせ</u>

- 以下の接続者情報は表示されません。
  - 携帯電話でのアクセス
  - 静止画の表示
  - [トップ]画面、[設定]画面、[公開]画面、[メンテナンス]画面、[サポート] 画面へのアクセス（動作検知感度、音検知感度、ショック検知感度の設定画面を除く）
- 動作検知感度、音検知感度、ショック検知感度などプレビュー画面を表示中は、接続者情報に影響を与えます。
- [動画(H.264)]と[音声(AAC)]は、配信フォーマットでH.264を選択したときのみ表示し、[動画(MPEG-4)]は、配信フォーマットでMPEG-4を選択したときのみ表示します。

9.3 アラームログを確認する

[アラームログ通知] 画面で、最新50回の検知（動作検知、アラーム検知、音検知、ショック検知）の履歴(ログ)について情報を確認できます。

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[アラームログ]をクリックする

3 情報を確認する

お知らせ

- カメラを再起動すると、アラームログの内容は削除されます。
- アラームログを1日1回指定した時間に、任意のEメールアドレスへEメール送信できます。
  (→ 110 ページ)

9.4 カメラを再起動する

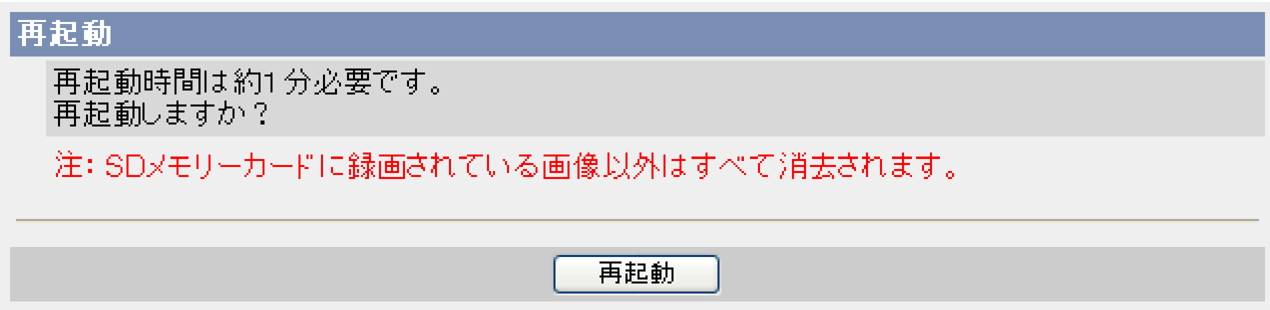
[再起動] 画面からカメラを再起動することができます。

お知らせ

- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。（ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。）
- 再起動すると、アラームログの内容は消去されます。
- SDメモリーカードに保存している場合は、再起動する前に、カメラのFUNCTIONボタンを押して一時保存を停止してください。（→ 195 ページ）

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[再起動]をクリックする



3 [再起動]をクリックする

自動で再起動する

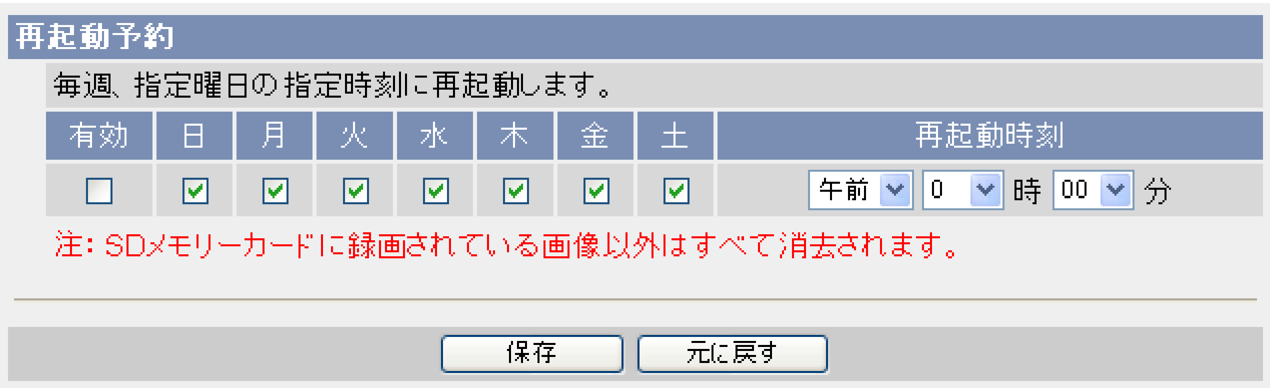
定期的に自動で再起動することができます。

お知らせ

- あらかじめ、カメラの日付・時刻が正しく設定されていることを確認してください。（→ 157 ページ）

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[再起動]をクリックする



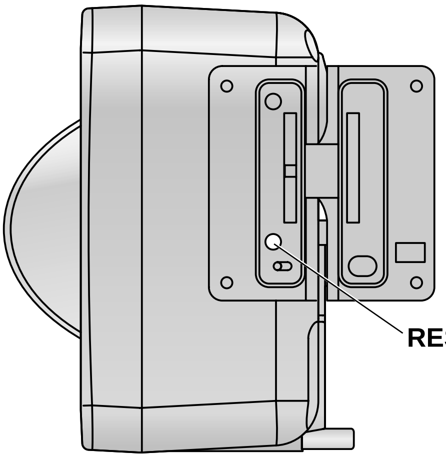
3 [再起動予約]で[有効]にチェックをつける

4 カメラを自動で再起動する曜日と時間を設定する

5 [保存]をクリックする

RESETボタンを押して再起動する

電源が入っている状態で、RESETボタンを押してカメラを再起動することができます。先の細長い棒状のもので、RESETボタンをゆっくりと約1秒押し続けてください。
カメラがパン／チルトの初期動作をすると再起動は完了です。



お知らせ

- SDカードカバー（樹脂）を使用している場合は、カバーをはずしてRESETボタンを押してください。（BB-HCM715のみ）
  SDカードカバー（樹脂）のはずしかたは、BB-HCM715の「かんたんガイド」を参照してください。
- SDメモリーカードに保存している場合は、再起動する前に、FUNCTIONボタン（→ 3 ページ）を押して一時保存を停止してください。

9.5 カメラをバージョンアップする

新機能の追加や不正アクセスに対するセキュリティを確保するためにも、最新のファームウェアにバージョンアップしてください。[バージョンアップ]画面からバージョンアップできます。

お願い

- バージョンアップ中は、カメラの電源を切らないでください。
- ネットワーク環境によっては、バージョンアップの完了までに約10分以上かかることがあります。

お知らせ

- 現在のファームウェアのバージョンは、[トップ]画面（→ 10 ページ）または[ステータス]画面（→ 199 ページ）で確認できます。
- バージョンアップすると、以下の内容が消去されます。
  - 内部メモリーにある一時保存画像（ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。）
  - アラームログ
- CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアからもバージョンアップできます。（→ 233 ページ）
- HTTPS設定時にバージョンアップする時でも、HTTPでバージョンアップされます。そのため認証が発生し、ユーザー名、パスワードが必要になる場合があります。バージョンアップ完了後は、HTTPSに戻ります。
- IPv6でのバージョンアップ後にトップ画面が表示されない場合があります。その場合は、セットアップソフトで検索してアクセスしてください。

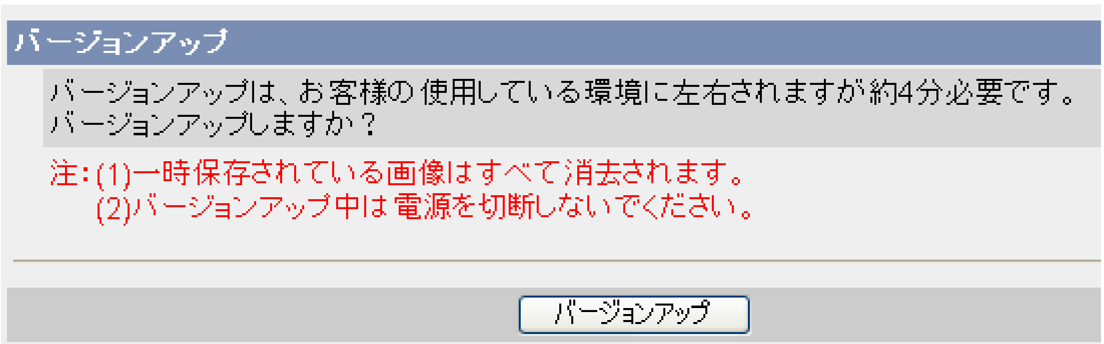
1 最新のファームウェアを パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) からダウンロードする

- バージョンアップしたいカメラと同じ機種のファームウェアをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは、パソコン内の任意の場所に保存してください。

2 [メンテナンス] タブをクリックする

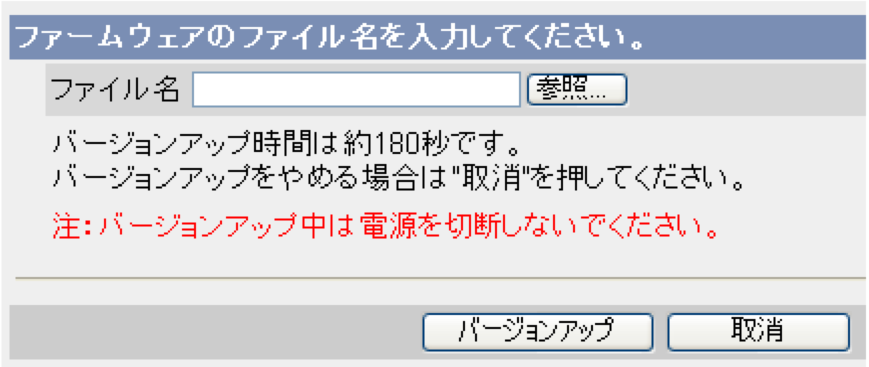
3 [メンテナンス]の[バージョンアップ]をクリックする

4 [バージョンアップ]をクリックする



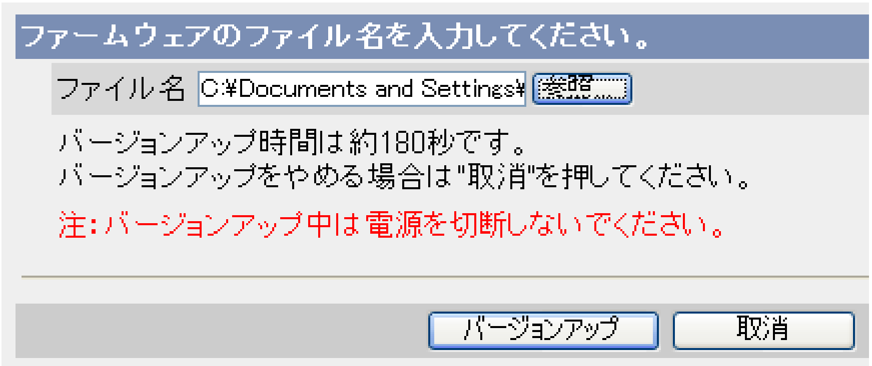
- 再起動が始まります。再起動が完了すると、ファームウェア選択画面が表示されます。

5 [参照...]をクリックする



6 手順1でダウンロードしたファームウェアを選択して、[開く(O)]をクリックする

7 ファイル名を確認して、[バージョンアップ]をクリックする



- バージョンアップが始まります。バージョンアップが終わると、自動的にカメラが再起動してトップ画面が表示されます。
- バージョンアップを中断するには、[取消]をクリックします。再起動後にトップ画面が表示されます。

8 トップ画面で、ファームウェアのバージョンを確認する

- バージョンが更新されていれば、ファームウェアのバージョンアップは完了です。

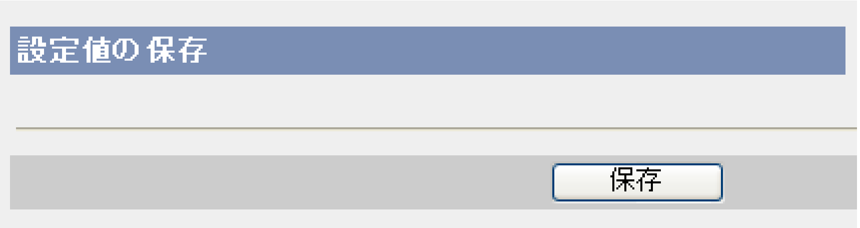
9.6 カメラの設定内容をファイルに保存する

カメラのすべての設定内容を、暗号化したバックアップファイルとして保存できます。設定内容を保存しておくと、カメラの設定を復元したいときや、同じ機種のほかのカメラに同じ設定を反映させるときに、各項目を設定する手間を省けます。設定内容のカメラへの反映については、209 ページを参照してください。

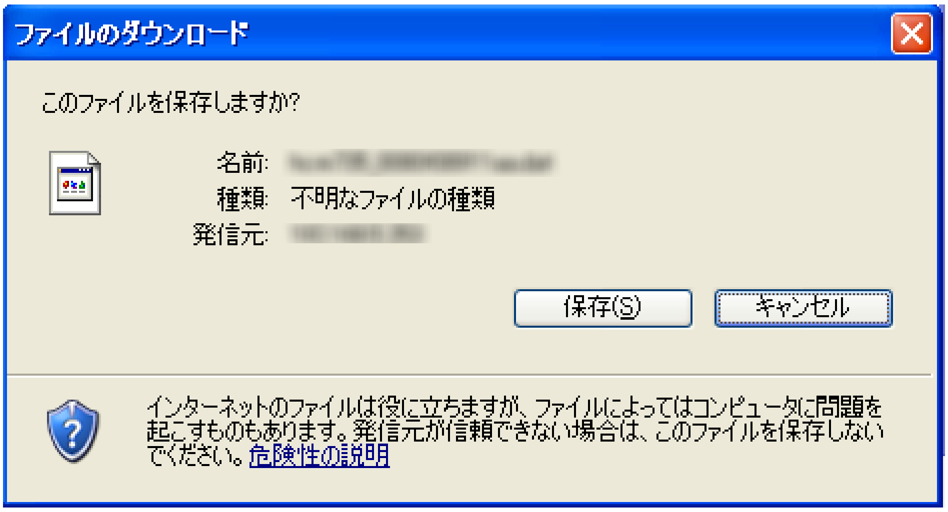
1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[設定値保存]をクリックする

3 [保存]をクリックする

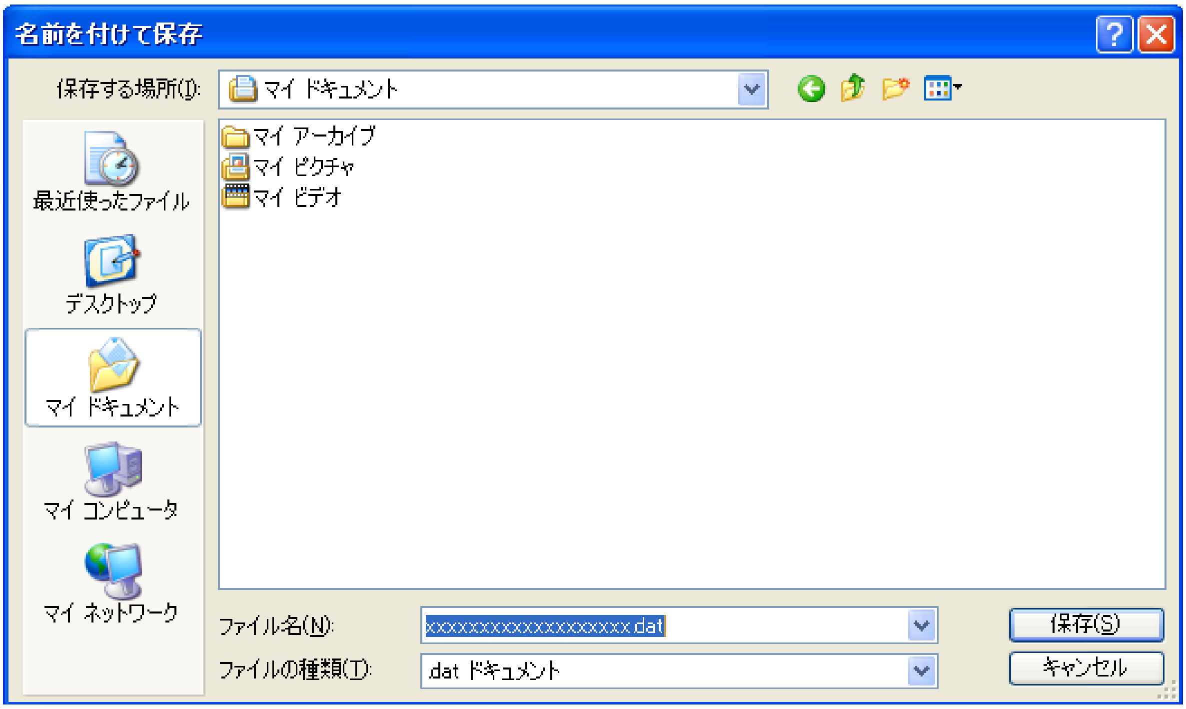


4 [保存(S)]をクリックする



- バックアップファイルの保存先を指定するための画面が表示されます。

5 保存先を選択して、[保存(S)]をクリックする



お願い

- バックアップファイル（保存した設定内容）には、個人情報や管理者情報が含まれており、第三者による不正アクセスや情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。自己の責任で適切に管理してください。
- バックアップファイル名を変更したい場合は、拡張子「.dat」を変更しないでください。「.dat」を変更すると、設定を復元できません。
- 保存したバックアップファイルは暗号化されているため、テキストエディタなどで開かないでください。テキストエディタなどで開くと、設定の復元ができなくなる場合があります。
- カメラのファームウェアを、最新のバージョンに更新してからバックアップファイルを保存してください。バックアップファイルを保存したときのファームウェアと、復元するときのファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに正しく復元されない場合があります。(→ 205 ページ)

お知らせ

- CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアから設定内容を保存することもできます。(→ 233 ページ)
- 一時保存画像はバックアップファイルに保存されません。

9.7 カメラの設定内容をファイルから復元する

カメラのすべての設定内容を保存したファイル（バックアップファイル）から、同じ機種のほかのカメラに同じ設定内容を反映できます。バックアップファイルには、管理者情報やネットワーク情報も保存されます。メンテナンス画面から復元すると、すべての設定が復元され、保存したときの管理者情報やネットワーク情報が反映されます。

1 [メンテナンス] タブをクリックする

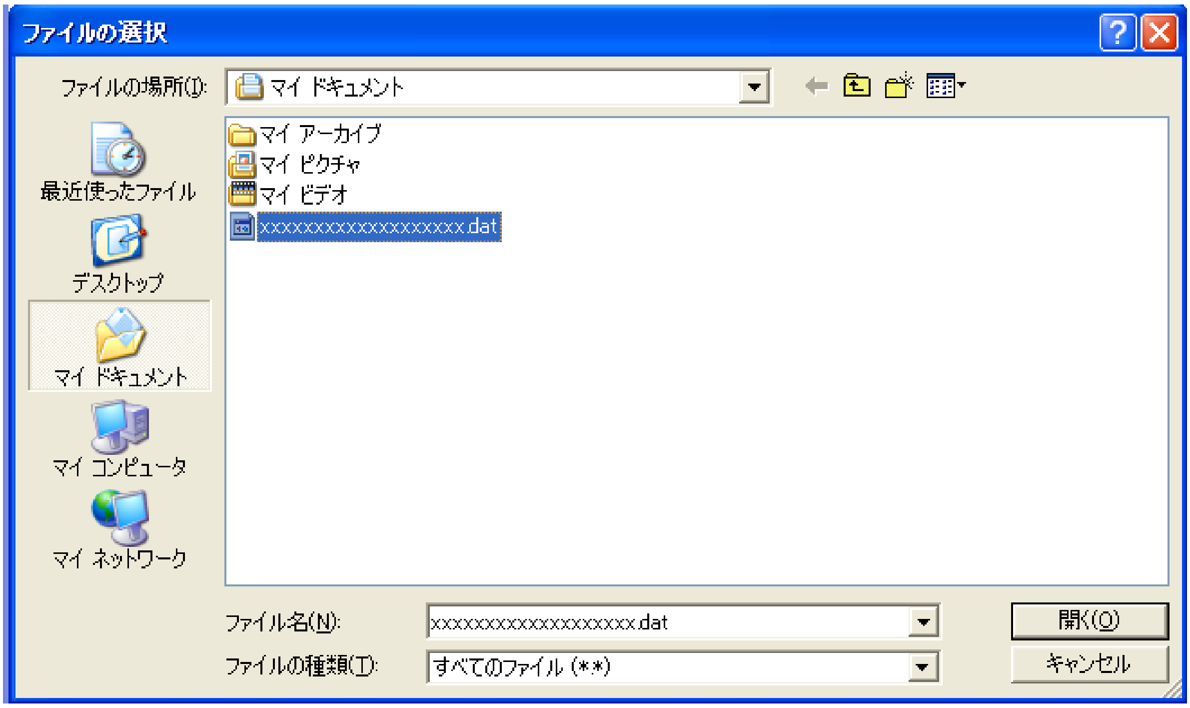
2 [メンテナンス]の[設定値復元]をクリックする

3 [参照...]をクリックする

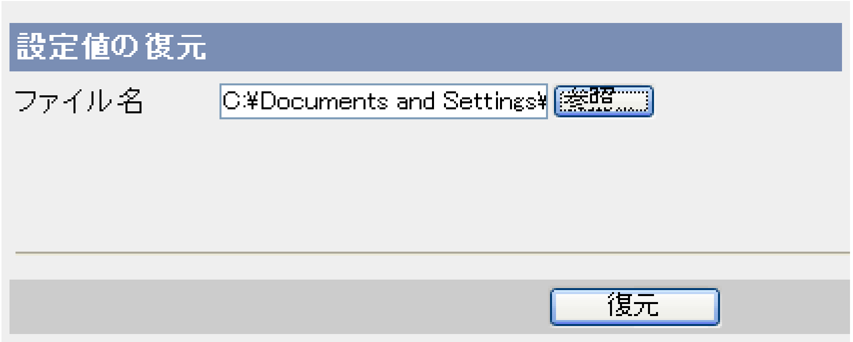


- 保存されているバックアップファイルの場所を指定するための画面が表示されます。

4 バックアップファイルを指定して[開く(O)]をクリックする



5 フィル名を確認して[復元]をクリックする



- 復元が始まります。復元が終わると、[復元が完了しました。]と表示されます。

6 [再起動]をクリックする

- 再起動が始まります。再起動が完了すると、トップ画面が表示されます。

お願い

- バックアップファイル保存時のカメラのファームウェアと、復元時のカメラのファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに正しく復元されない場合があります。ファームウェアのバージョンが同じことを確認してから、復元の作業を始めてください。

お知らせ

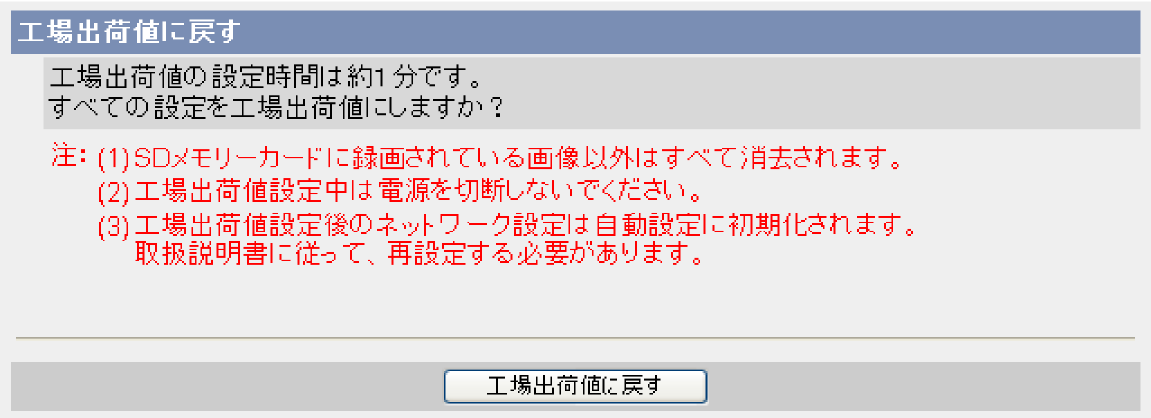
- バックアップファイル作成後にネットワーク設定を変更した場合は、トップ画面が表示されません。CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアでカメラを検索してください。(→ 233 ページ)
- CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアから設定内容を復元することもできます。(→ 233 ページ)
  ただし、その場合は、管理者情報やネットワーク情報は復元されません。
- 一時保存画像とアラームログは、設定内容を復元しカメラを再起動すると消去されます。
- カメラの設定内容を保存したファイルから復元した場合には、必ずSDメモリーカードをフォーマットしてください。(→ 197 ページ)

9.8 カメラの設定を工場出荷値に戻す

カメラをリセットして、設定内容を工場出荷値に戻します。ネットワーク設定、画像表示設定、ユーザー名／パスワードの設定など、すべてが工場出荷値の内容になります（時計設定を除く）。

1 [メンテナンス] タブをクリックする

2 [メンテナンス]の[工場出荷値に戻す]をクリックする



3 [工場出荷値に戻す]をクリックする

- インジケーターがオレンジに点滅後、数秒間消灯します。設定内容が工場出荷値に戻り、完了まで約1分かかります。

お願い

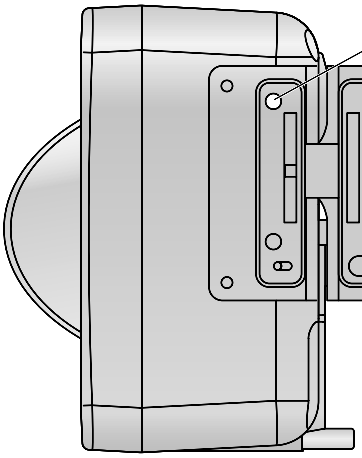
- 工場出荷値に戻すには、約1分かかります。その間は、カメラの電源を切らないでください。
- インジケーターが緑点灯状態になるまで、またはパン／チルトの初期動作が完了するまで電源を切らないでください。

お知らせ

- カメラを工場出荷値に戻すと、時刻はそのままで12時間制（工場出荷値）に戻ります。24時間制で表示したい場合は、日付・時刻設定画面で設定しなおしてください。(→ 157 ページ)
- 工場出荷値に戻すとすべての設定がリセットされるため、カメラに接続できなくなります。『かんたんガイド』を参照して、CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアから設定しなおしてください。(→ 233 ページ)
- 作業の前に、設定内容をバックアップファイルとして保存しておくことをおすすめします。(→ 207 ページ)
- 工場出荷値の一覧は、259 ページを 参照してください。
- 工場出荷値に戻すと、以下の内容も消去されます。
  - 内部メモリーにある一時保存画像 （ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。）
  - アラームログ

CLEAR SETTING ボタンを押して工場出荷値に戻す

電源が入っている状態で、カメラ本体のCLEAR SETTINGボタンを操作することで、工場出荷値に戻せます。管理者のユーザー名やパスワードが分からなくなったときは、CLEAR SETTINGボタンから工場出荷値に戻してください。
先の細長い棒状のもので、CLEAR SETTINGボタンをゆっくりと約1秒押し続けてください。インジケーターがオレンジに点滅後、数秒間消灯し、再度、点灯または点滅すると完了です。設定内容が工場出荷値に戻り、完了まで約1分かかります。



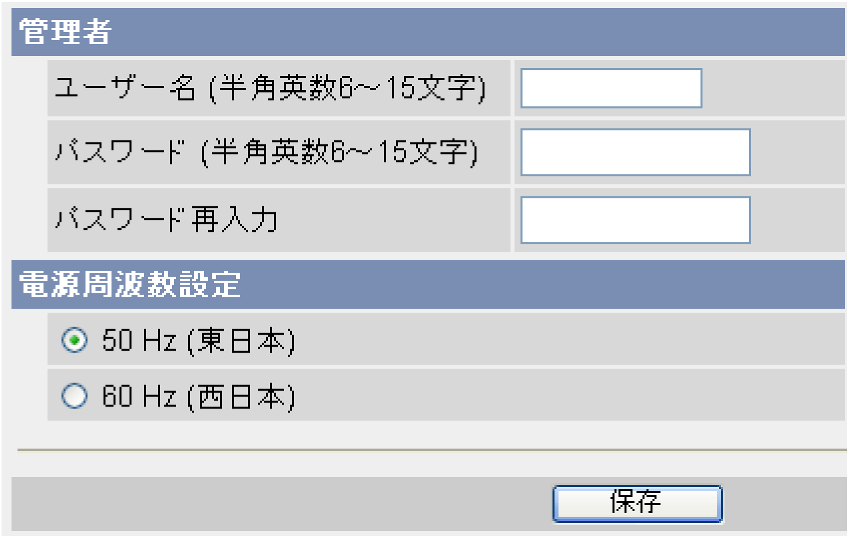
- 工場出荷値に戻したあとは、『かんたんガイド』を参照して、CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアからカメラを設定しなおしてください。

お知らせ

- SDカードカバー（樹脂）を使用している場合は、カバーをはずしてCLEAR SETTINGボタンを押してください。（BB-HCM715のみ）
  SDカードカバー（樹脂）のはずしかたは、BB-HCM715の『かんたんガイド』を参照してください。

9.9 初期認証設定画面について

初回のカメラ起動時に表示される画面です。(『かんたんガイド』を参照してください。)
その後は、[工場出荷値に戻す]を実行しない限り表示されません。



管理者	管理者用のユーザー名とパスワードを設定します。
電源周波数	お住まいの地域で決められた電源周波数を選択します。 (西日本：60 Hz、東日本：50 Hz)

10 サポート画面について

カメラの使いかたについての説明や、製品情報とサポートウェブサイトへのリンクなどを紹介しています。
[サポート] タブにはすべてのユーザーがアクセスでき、以下の画面を見ることができます。

[ヘルプ] 画面

操作方法や項目の説明を記載しています。

[製品情報] 画面

製品情報のウェブサイトへのリンクを表示しています。
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/index.html)

[サポート情報] 画面

サポートウェブサイト、「みえますねっと」サービスの関連ウェブサイトへのリンクを表示しています。
(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/index.html)

お知らせ

- お使いのパソコンがインターネットに接続されていない場合は、ウェブサイトの画面は表示できません。

11 IPv6を使う

このカメラは IPv6 (Internet Protocol Version 6)に対応しています。

お知らせ

- カメラをIPv6 のみのネットワークで使用する場合は、以下の制限があります。
  - セットアップソフトウェアはカメラ検索のみに使えます。他の機能は使えません。
  - 「みえますねっと」サービス機能は使用できません。

IPv6でカメラにアクセスするための環境

IPv6でカメラにアクセスするには、以下の環境が必要になります。

- Windows 7／Windows Vista／Windows XP Service Pack 1 以降
- Internet Explorer 6.0 （日本語版）以降
- IPv6対応ルーター
- IPv6接続サービス
  IPv6でインターネットに接続するには、IPv4とIPv6に対応したプロバイダーに加入する必要があります。「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4／IPv6デュアル接続」サービスに加入してください。IPv4接続のないIPv6のみの環境では、CD-ROM（添付品）による「かんたん設定」や、「みえますねっと」サービス機能は使用できません。
- IPv6ドメイン名サービス
  Internet Explorer 6.0の場合は、IPv6アドレスをアドレスバーに直接入力してもカメラにアクセスできません。IPv6ドメイン名サービスで登録したURLを入力する必要があります。（当社は「みえますねっと」サービス(http://www.miemasu.net/)をおすすめします。その他のIPv6ドメイン名サービスについては、契約しているプロバイダーにお問い合わせください。）
  Internet Explorer 7またはInternet Explorer 8の場合は、以下のようにIPv6アドレスを直接入力してカメラにアクセスできます。
  http://[IPv6アドレス]:ポート番号/

IPv6でカメラにアクセスするための準備

IPv6でカメラにアクセスするには、以下の手順での準備が必要です。

1. ルーターをIPv6用に設定する (→ 216 ページ)
2. パソコンをIPv6用に設定する (→ 217 ページ)
3. カメラをIPv6用に設定する (→ 218 ページ)

11.1 ルーターをIPv6用に設定する

加入したIPv6サービスに応じた設定をしてください。ルーターがインターネット側からのアクセスを遮断している場合は、フィルタリング設定でインターネット側からのTCPパケットの通過を許可するように設定してください。IPv6対応ルーターは、当社製カメラコントロールユニットBB-HGW502をおすすめします。
パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/)

11.2 パソコンをIPv6用に設定する

IPv6 は、Windows 7、Windows Vista、Windows XP Service Pack 1 以降のOSに対応しています。Windows XPをご使用の場合は、以下の手順でIPv6をインストールしてください。Windows XP Service Pack 1以降がインストールされていない場合は、Service Pack 1以降をインストールしてから以下の手順を行ってください。

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択して、クリックする

2 [コマンドプロンプト] が起動したら、**`ipv6 install`**と入力する

- [Succeeded.] と表示されたら、成功です。

3 IPv6が有効になっているか確認するため、コマンドプロンプト画面に、**`ipconfig`**と入力する

- IPv6アドレスが表示されることを確認します。

Windows XP Service Pack 2以降をご使用の場合

Windows XP Service Pack 2以降をご使用の場合は、以下の手順も必要です。

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]→[Windowsファイアウォール]→[詳細設定] タブを選択する

2 [ICMP]で、[設定...] ボタンをクリックする

3 [ルーター要求の着信を許可する]にチェックをつけて[OK]をクリックする

お知らせ

- 通常、カメラにはIPv6アドレスが自動で設定されます。固定のIPv6アドレスを設定するには、218 ページを参照してください。
- Internet Explorer 6.0をご使用の場合で、IPv6でカメラにアクセスするには「みえますねっと」サービスなどのダイナミックDNSサービスを利用して、URLを登録する必要があります。(→ 126 ページ)

11.3 カメラをIPv6用に設定する

[ネットワーク（IPv6）] 画面の [接続モード] が [自動設定]に設定されていると、カメラにはIPv6アドレスが自動で設定されます。StaticのIPv6 アドレスをカメラに設定したい場合は、以下の手順にしたがって設定してください。

1 [設定] タブをクリックする

2 [基本設定]の[ネットワーク（IPv6）]をクリックする

接続モード設定

接続モード	現在の設定
自動設定	○
Static設定	

3 ネットワーク環境に応じて、接続モードを選択する

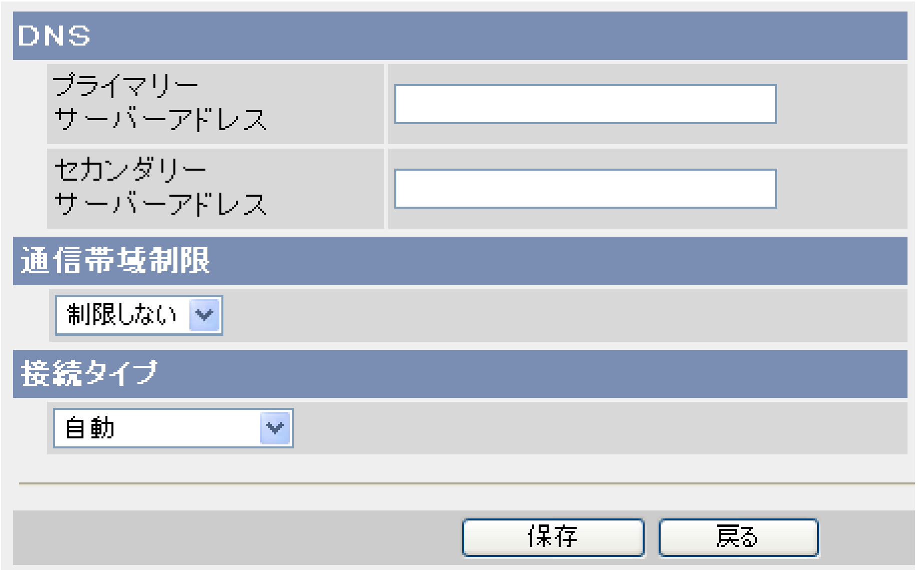
– [自動設定]: 通常は[自動設定]を選択してください。IPv6対応ルーターから取得したアドレス情報（プレフィックス）から、カメラが自動でIPアドレスを生成します。

– [Static設定]: 特定のIPアドレス、ポート番号などをカメラに設定したい場合に選択します。

お知らせ

- 現在のカメラのネットワークに関する設定内容は、[ステータス] 画面で参照できます。(→ 199 ページ)
- [自動設定]に設定した場合には、カメラの再起動後にIPアドレスが変わる可能性があります。トップ画面が表示されないときは、CD-ROM（添付品）収録のセットアップソフトウェアを使用してカメラに接続してください。(→ 233 ページ)
- カメラを再起動すると、以下の内容が消去されます。
  – 内部メモリーにある一時保存画像 （ただし、SDメモリーカードに保存されているカメラ画像は消去されません。）
  – アラームログ

[自動設定]



1 接続モードに応じて、各項目を設定する

a. [DNS]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、DNSサーバーのIPアドレス[*1]を取得して入力します。

b. [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ量を制限します。[*2]

- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

c. [接続タイプ]: 接続タイプを選択します。

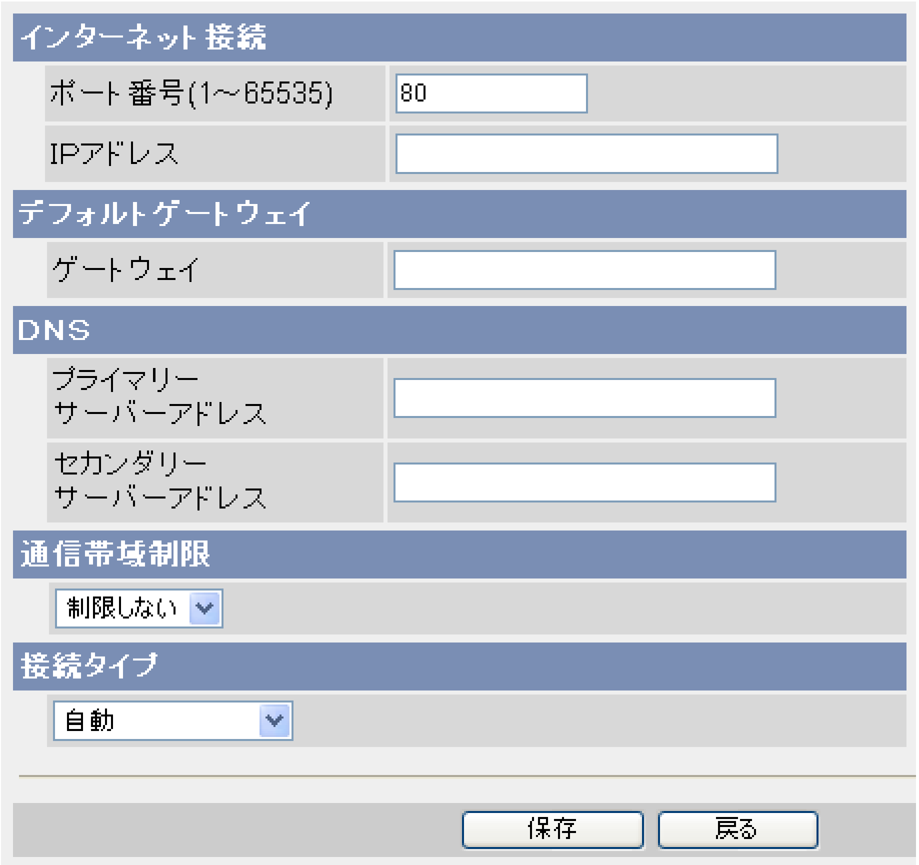
- 通常は [自動]を選択してください。
- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

2 [保存]をクリックする

3 [保存が完了しました。] と表示されたら、[再起動]をクリックする

- カメラが再起動して設定した内容が有効になり、トップ画面が表示されます。

[Static設定]



1 接続モードに応じて、各項目を設定する

a. [インターネット接続]: ポート番号[*3]を1～65535の範囲で入力します。

- 携帯電話でアクセスする場合、携帯電話会社・機種によってはネットワークカメラに使用できるポート番号に制限があります。ご使用の携帯電話会社にご確認ください。
- ポート番号を設定される場合は、以下のポート番号お勧めします。
  – 80番(HTTP)、443番(HTTPS)、50000番台、60000番台
    ただし、カメラのUPnPをご使用の場合は自動割り当てポート番号(50000 ～ 50050)を除く。
    カメラコントロールユニットをご使用の場合は自動割り当てポート番号(60001 ～ 60016(工場出荷時))を除く。

b. IPアドレス[*1]を入力します。

- グローバルアドレスを入力します。このとき、プレフィックス長を入力する必要はありません。

c. [デフォルトゲートウェイ]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから取得した、デフォルトゲートウェイのIPアドレス[*1]を入力します。

d. [DNS]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、DNSサーバーのIPアドレスを取得して入力します。

e. [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ量を制限します。[*2]

- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

f. [接続タイプ]: 接続タイプを選択します。

- 通常は [自動]を選択してください。

- IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。

2 [保存]をクリックする

3 [保存が完了しました。] と表示されたら、[再起動]をクリックする

- カメラが再起動して設定した内容が有効になり、トップ画面が表示されます。

---

*1 8つの16進数値を「:」で区切って表します。「0」が連続する場合は「::」と省略して表せます。
例）2001:2:3:4::5

*2 通信帯域制限設定は、以下のファイルサイズ（1枚のJPEG画像）と同時に参照される数を参考に設定してください。
（画質の設定は標準です。ファイルサイズは、画質や被写体の明るさなどの状態により変わります。
また、MPEG-4やH.264は同時に参照される数と設定しているビットレートを参考に設定してください。）

- 192 × 144ドット： 約 7 KB（56 Kbit)
- 320 × 240ドット： 約 16 KB（128 Kbit)
- 640 × 480ドット： 約 35 KB（280 Kbit)
- 1280 × 960ドット： 約 77 KB（616 Kbit)

*3 以下のポート番号は設定できません。
20、21、25、110（あらかじめカメラが使用しています。）

11.4 IPv6でカメラにアクセスする

IPv6 でカメラにアクセスするには、以下の情報が必要です。

Internet Explorer 6 の場合：

- カメラを登録したダイナミックDNSサービスやドメイン名サービスからカメラに割り当てられた URL（例：**camera.miemasu.net**）
- カメラのポート番号（80でない場合）
- カメラのセットアップ時に設定したカメラにアクセスするためのユーザー名とパスワード

Internet Explorer 7またはInternet Explorer 8の場合：

- カメラのIPv6 アドレス、または、カメラを登録したダイナミックDNSサービスやドメイン名サービスからカメラに割り当てられた URL（例：**camera.miemasu.net**）
- カメラのポート番号（80でない場合）
- カメラのセットアップ時に設定したカメラにアクセスするためのユーザー名とパスワード

カメラにIPv6 モードでアクセスする

1 パソコンのブラウザを起動する

2 ブラウザのアドレスバーに、カメラの**http://** で始まるホスト名とポート番号（80でない場合）を入力して、キーボードの[Enter] キーを押す

例: http://*.miemasu.net:50000**

- Internet Explorer 7またはInternet Explorer 8をお使いの場合、 カメラの**http://** で始まるIPv6 アドレスとポート番号（80でない場合）を入力してカメラにアクセスできます。ただし、IPv6 アドレスは、以下のように[ ]で囲んでください。

例: http://[**::***:****:****:***]:50000**

- HTTPSで接続している場合はカメラの**https://** で始まるホスト名とポート番号を入力してください。

3 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックする

- トップ画面が表示されます。

お知らせ

- カメラにアクセスする一般的な方法については、10 ページを参照してください。

11.5 IPv6でインターネットに公開する

IPv6 でインターネットに公開することや非公開にすることができます。

1 [公開] タブをクリックする



2 [インターネット公開 (IPv6)]: [公開]を選択してIPv6 でインターネットにカメラを公開するか、[非公開] を選択してIPv6 での公開を制限する

- [非公開] を選択した場合は、同じネットワーク内（同一プレフィックス）からのみカメラにアクセスできます。

3 [保存]をクリックする

12 パソコンをセットアップする

12.1 プロキシサーバー使用時のウェブブラウザを設定する

プロキシサーバーは、インターネットに接続されたネットワーク内のセキュリティを確保するために使用されます。プロキシサーバーを使用している場合に、パソコンと同じネットワーク内に設置されたカメラにアクセスするときには、プロキシサーバーを経由しないようにウェブブラウザの設定を変更してください。

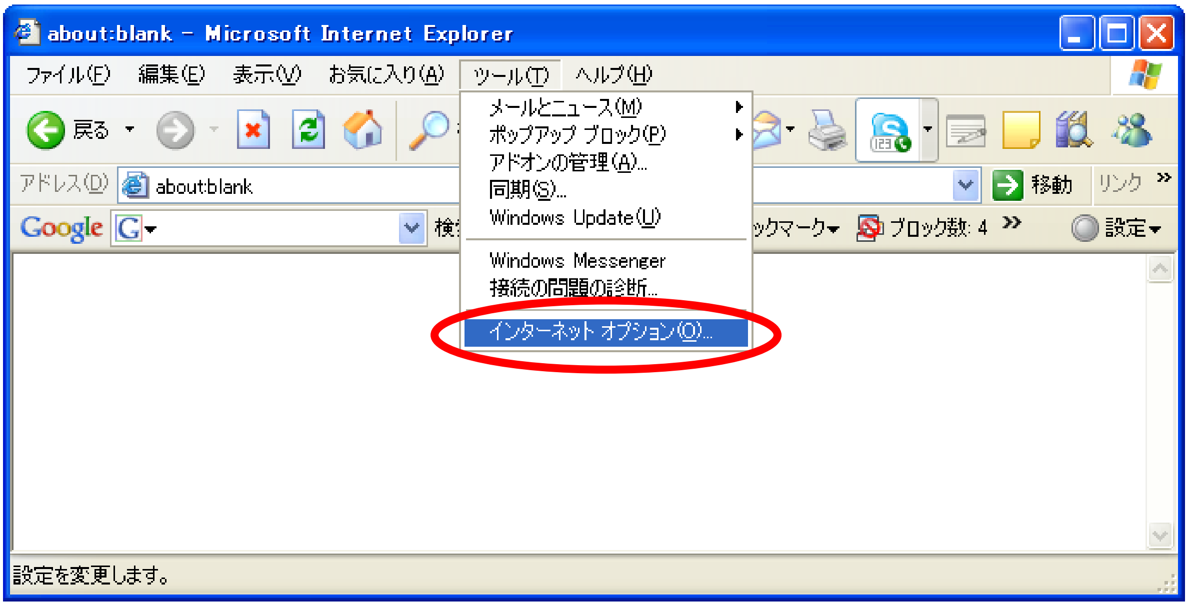
お知らせ

- プロキシサーバーを経由してカメラを使用すると、何らかの問題が生じる場合があります。プロキシサーバーを経由してアクセスする必要がある場合は、設置の前にネットワーク管理者に相談することをおすすめします。
- プロキシサーバーを経由してカメラを使用する場合は、画像更新間隔（フレームレート）が低下することがあります。
- プロキシサーバーを経由してカメラにアクセスする場合は、カメラ画像の音声の送話はできません。

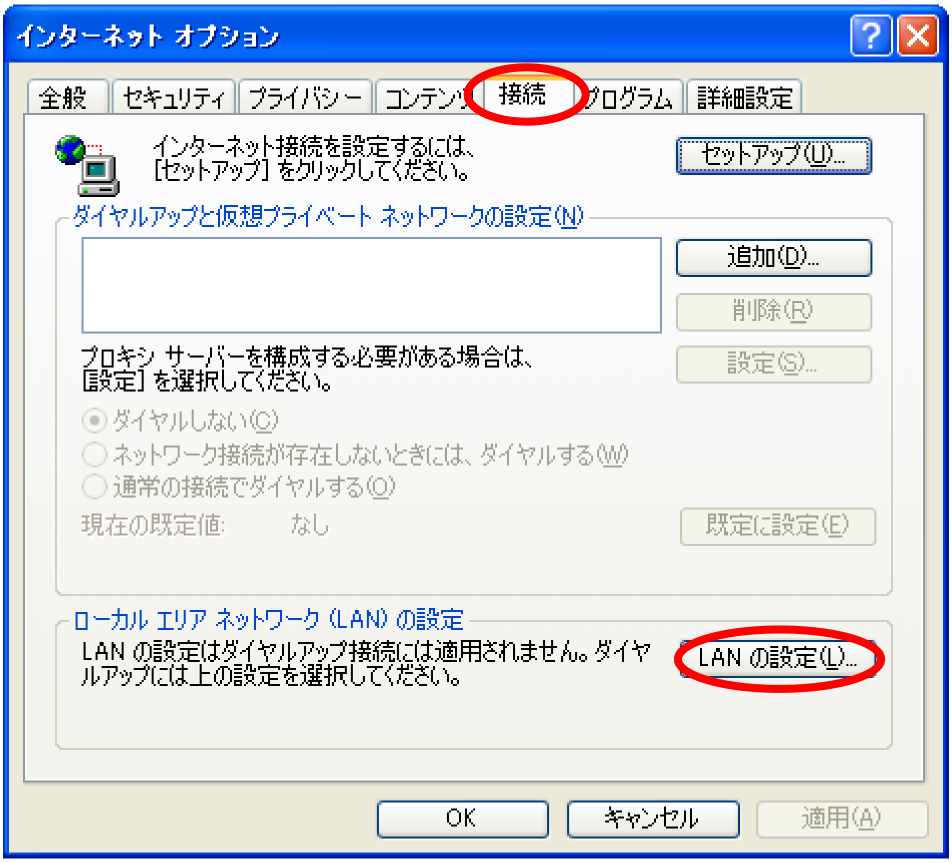
プロキシサーバーを経由せずにカメラにアクセスする方法

1 Internet Explorerを起動する

2 [ツール] メニューから[インターネットオプション(O)...]を選択する

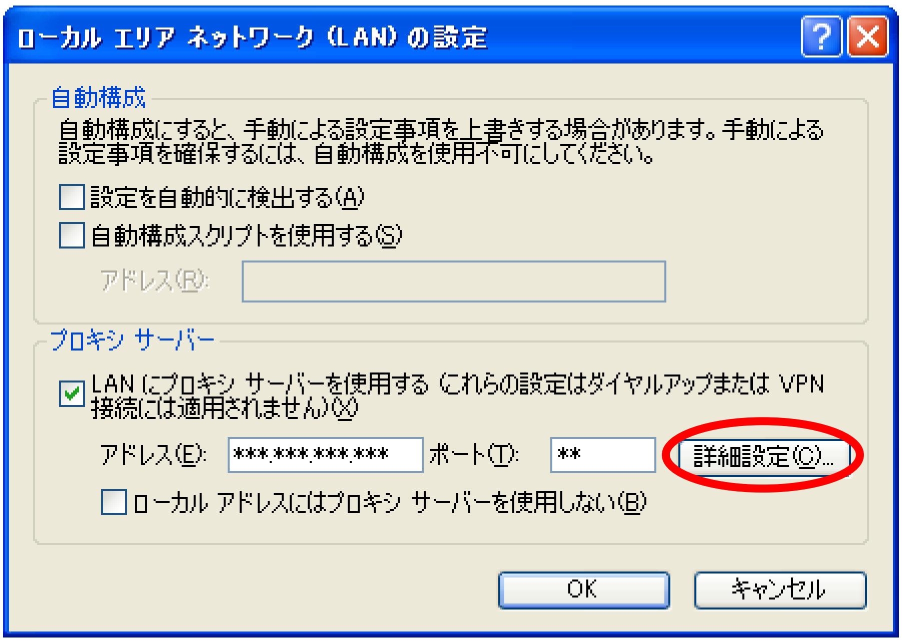


3 [接続] タブをクリックして、[LANの設定(L)...]をクリックする

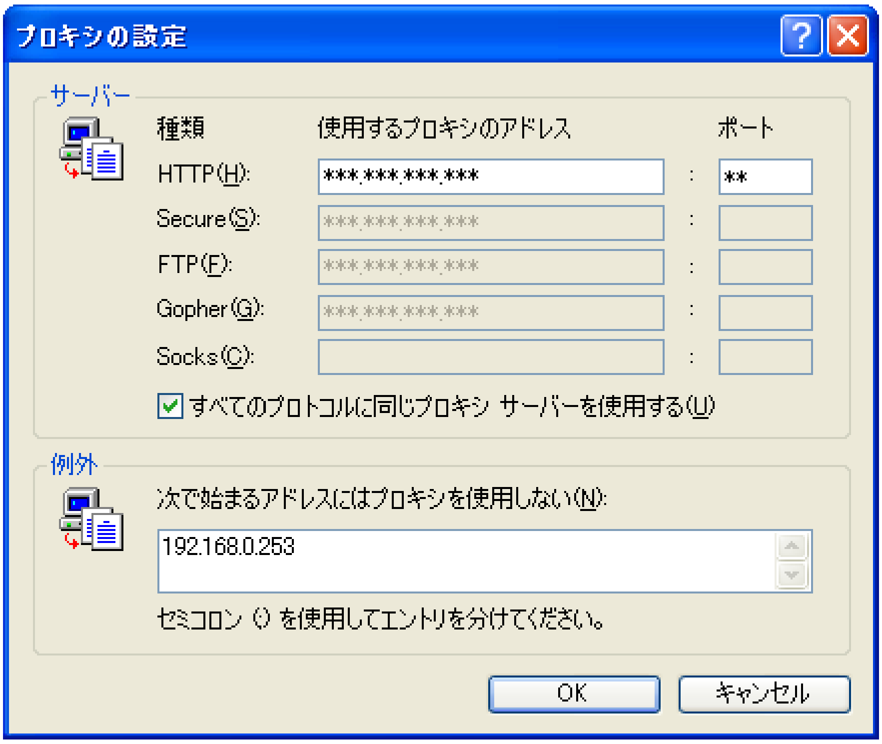


4 [LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックボックスに、チェックが付いている場合は、[詳細設定(C)...]をクリックする

- [LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックボックスに、チェックが付いていない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。以上で設定は完了です。



5 [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N):]の入力欄にカメラのIPアドレスを入力する



6 [OK]をクリックする

12.2 マイ ネットワークにカメラへのショートカットを作る

カメラへのショートカットをパソコンの[マイネットワーク] フォルダ（Windows VistaとWindows 7の場合は、[ネットワーク]フォルダ）に作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新される機能を使えます。Windowsの [マイネットワーク]フォルダ（Windows VistaとWindows 7の場合は、[ネットワーク]フォルダ）にカメラへのショートカットを表示させるには、Windows コンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnP™ (Universal Plug and Play)を有効にしてください。

お知らせ

- この機能はカメラの工場出荷値では有効になっています。設定は[UPnP] 画面で確認できます。(→ 156 ページ)

Windows XP (Service Pack 2またはService Pack 3)の場合

[スタート]→([設定])→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]→
[Windowsコンポーネントの追加と削除]→[ネットワークサービス]を選択する→[詳細]→
[インターネットゲートウェイデバイスの検出とクライアントの制御] と[UPnPユーザーインターフェイス]にチェックを付ける→
[OK]→[次へ]→完了

Windows Vistaの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有と探索]の[ネットワーク探索] の項目を広げる →[ネットワーク探索を有効にする]を選択する→
[適用]をクリックする→完了

Windows 7の場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]→[共有の詳細設定の変更]の[ネットワーク探索] の[ネットワーク探索を有効にする]を選択する→[変更の保存]をクリックする→完了

12.3 ウェブブラウザ（Internet Explorer）の [インターネット一時ファイル] 設定を変更する

古いカメラ画像が表示されるなどの現象が起こる場合は、ウェブブラウザの[インターネット一時ファイル]設定を確認して、以下のように設定してください。

Internet Explorer 6の場合

Internet Explorerを起動する→[ツール]→[インターネットオプション...]→[全般] タブ→
[インターネット一時ファイル]の [設定...] をクリックする→
[保存しているページの新しいバージョンの確認:]の[ページを表示するごとに確認する] にチェックを付ける →
[OK]→[OK]→完了

Internet Explorer 7の場合

Internet Explorerを起動する→[ツール]→[インターネットオプション...]→[全般] タブ→
[閲覧の履歴:]の [設定....] をクリックする→
[インターネット一時ファイル]の [Webサイトを表示するたびに確認する] にチェックを付ける →
[OK]→[OK]→完了

Internet Explorer 8の場合

Internet Explorerを起動する→[ツール]→[インターネットオプション...]→[全般] タブ→
[閲覧の履歴:]の [設定....] をクリックする→
[インターネット一時ファイル]の [Webサイトを表示するたびに確認する] にチェックを付ける →
[OK]→[OK]→完了

12.4 H.264ビューアープログラム（ActiveXコントロール）について

動画（H.264）を見るには、H.264ビューアープログラム（ActiveXコントロール）が必要です。カメラ1台につき1台のパソコンにのみH.264ビューアープログラムをインストールすることができます。複数台のパソコンで動画（H.264）を見る場合は、別売りのユーザーライセンス（→279 ページ）を購入してください。また、別紙の「ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書」を必ずお読みください。
別売りのユーザーライセンスを購入せずに、ほかのパソコンにH.264ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールするには、すでにインストールしているH.264ビューアープログラムをアンインストールしてください。

H.264ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をアンインストールする

H.264ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をアンインストールする場合は、Internet Explorerのメニューから以下の手順で行ってください。

Windows XPの場合：

1 カメラ画像を参照していたInternet Explorerを終了する → Internet Explorerを起動する → [ツール] → [インターネットオプション...] → [全般] タブ → [閲覧の履歴]（Internet Explorer 6の場合は、[インターネット一時ファイル])の[設定...]をクリックする → [オブジェクトの表示...]をクリックする → [PccCamActXCtrl Control]を右クリックする → [削除] → [はい]

2 CD-ROM（添付品）をパソコンのCD-ROMドライブに入れる → CD-ROMの[ocx] フォルダを開く → [H264] フォルダを開く → [uninstall.bat]をダブルクリックする

Windows Vista／Windows 7の場合：

1 カメラ画像を参照していたInternet Explorerを終了する → Internet Explorerを起動する → [ツール] → [インターネットオプション...] → [プログラム]タブ → [アドオンの管理...]をクリックする → Internet Explorer 8の場合は
表示：[ダウンロード済みコントロール]を選択する → [PccCamActXCtrl Control]を右クリックする → [詳細情報...] → [削除]
Internet Explorer 7の場合は (Windows Vistaのみ)
表示：[ダウンロードされたActiveXコントロール...]を選択する → [PccCamActXCtrl Control]をクリックする → [削除]

2 CD-ROM（添付品）をパソコンのCD-ROMドライブに入れる → CD-ROMの[ocx] フォルダを開く

3 [H264] フォルダをパソコンの任意のフォルダーにコピーする

4 [スタート]の[すべてのプログラム]をクリック

5 [アクセサリ]の[コマンドプロンプト]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする

6 [コマンドプロンプト]で手順3でコピーしたフォルダーに移動する→
Windows Vista/Windows 7(32 ビット)の場合
"uninstall.bat"を実行する

Windows 7(64 ビット)の場合

"uninstall64.bat"を実行する

- アンインストールが実行されます。

お知らせ

- Windows VistaとWindows 7の場合は、Administrator（管理者権限を持つユーザー）でパソコンにログオンしていなければなりません。詳しくは、CD-ROMの[ocx] - [H.264]フォルダにある[ReadmeJp.txt]を参照してください。
- 詳しい情報は、 パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) を参照してください。

12.5 MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）について

動画（MPEG-4）を見るには、MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）が必要です。カメラ1台につき1台のパソコンにのみMPEG-4ビューアープログラムをインストールすることができます。複数台のパソコンで動画（MPEG-4）を見る場合は、別売りのユーザーライセンス（→279 ページ）を購入してください。また、別紙の「ソフトウェアエンドユーザーライセンス契約書」を必ずお読みください。
別売りのユーザーライセンスを購入せずに、ほかのパソコンにMPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をインストールするには、すでにインストールしているMPEG-4ビューアープログラムをアンインストールしてください。

MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をアンインストールする

MPEG-4ビューアープログラム（ActiveXコントロール）をアンインストールする場合は、Internet Explorerのメニューから以下の手順で行ってください。

Windows XPの場合：

1 カメラ画像を参照していたInternet Explorerを終了する → Internet Explorerを起動する → [ツール] → [インターネットオプション...] → [全般] タブ → [閲覧の履歴]（Internet Explorer 6の場合は、[インターネット一時ファイル])の[設定...]をクリックする → [オブジェクトの表示...]をクリックする → [pmpeg4camV4 Class]を右クリックする → [削除] → [はい]

2 CD-ROM（添付品）をパソコンのCD-ROMドライブに入れる → CD-ROMの[ocx] フォルダを開く → [MPEG-4] フォルダを開く → [uninstall.bat]をダブルクリックする

Windows Vista／Windows 7の場合：

1 カメラ画像を参照していたInternet Explorerを終了する → Internet Explorerを起動する → [ツール] → [インターネットオプション...] → [プログラム]タブ → [アドオンの管理...]をクリックする →
Internet Explorer 8の場合は
表示：[ダウンロード済みコントロール]を選択する → [pmpeg4camV4 Class]を右クリックする → [詳細情報...] → [削除]
Internet Explorer 7の場合は (Windows Vistaのみ)
表示：[ダウンロードされたActiveXコントロール...]を選択する → [pmpeg4camV4 Class]をクリックする → [削除]

2 CD-ROM（添付品）をパソコンのCD-ROMドライブに入れる → CD-ROMの[ocx] フォルダを開く

3 [MPEG-4] フォルダをパソコンの任意のフォルダーにコピーする

4 [スタート]の[すべてのプログラム]をクリック

5 [アクセサリ]の[コマンドプロンプト]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする

6 [コマンドプロンプト]で手順3でコピーしたフォルダーに移動する→
Windows Vista/Windows 7(32 ビット)の場合
"uninstall.bat"を実行する

Windows 7(64 ビット)の場合
"uninstall64.bat"を実行する

- アンインストールが実行されます。

お知らせ

- Windows VistaとWindows 7の場合は、Administrator（管理者権限を持つユーザー）でパソコンにログオンしていなければなりません。詳しくは、CD-ROMの[ocx] - [MPEG-4]フォルダにある[ReadmeJp.txt]を参照してください。
- 詳しい情報は、 パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) を参照してください。

13 セットアップソフトウェアを使う

CD-ROMに収録されているセットアップソフトウェアを使うことで、以下のようなことができます。（ただし、セットアップソフトウェアは、同一ネットワーク内でのみ使用することができます。）

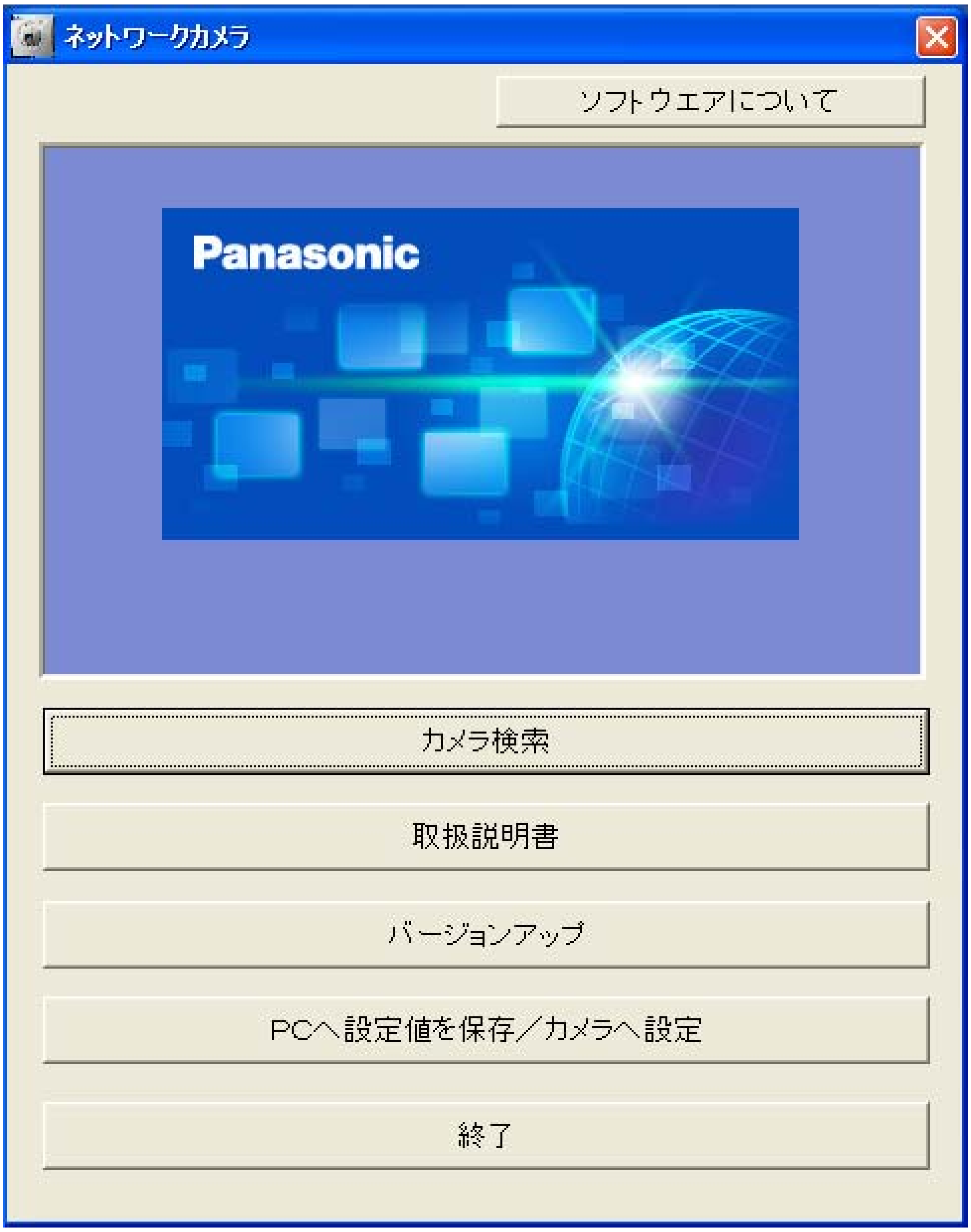
– カメラを検索して情報を確認し、カメラに接続する(→ 235 ページ)
– カメラを自動設定または手動設定（Static／DHCP）する (→ 236 ページ)
– MACアドレスからカメラをネットワーク設定する (→ 237 ページ)
– カメラをバージョンアップする (→ 238 ページ)
– カメラの設定内容をファイルに保存する (→ 238 ページ)
– カメラの設定内容をファイルから復元する (→ 239 ページ)

お知らせ

- ここで説明する設定は、どれもカメラに直接アクセスしてもできることです。セットアップソフトウェアを使うと、カメラが複数台ある場合に一台ずつアクセスする必要がないため、全部を一度に設定する場合に便利です。
- カメラがIPv6 のみで接続されている場合は、セットアップソフトウェアはカメラ検索のみに使えます。 他の機能は使えません。
- セットアップソフトを使用して、カメラ検索・設定などが正常に動作しない場合には、アンチウイルス・ソフトウェアを一時的に無効にしてください。

1 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- 設定画面が表示されない場合は、CD-ROM内の「Setup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



2 セットアップソフトウェアを使ってしたいことを選択する

- 以下の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

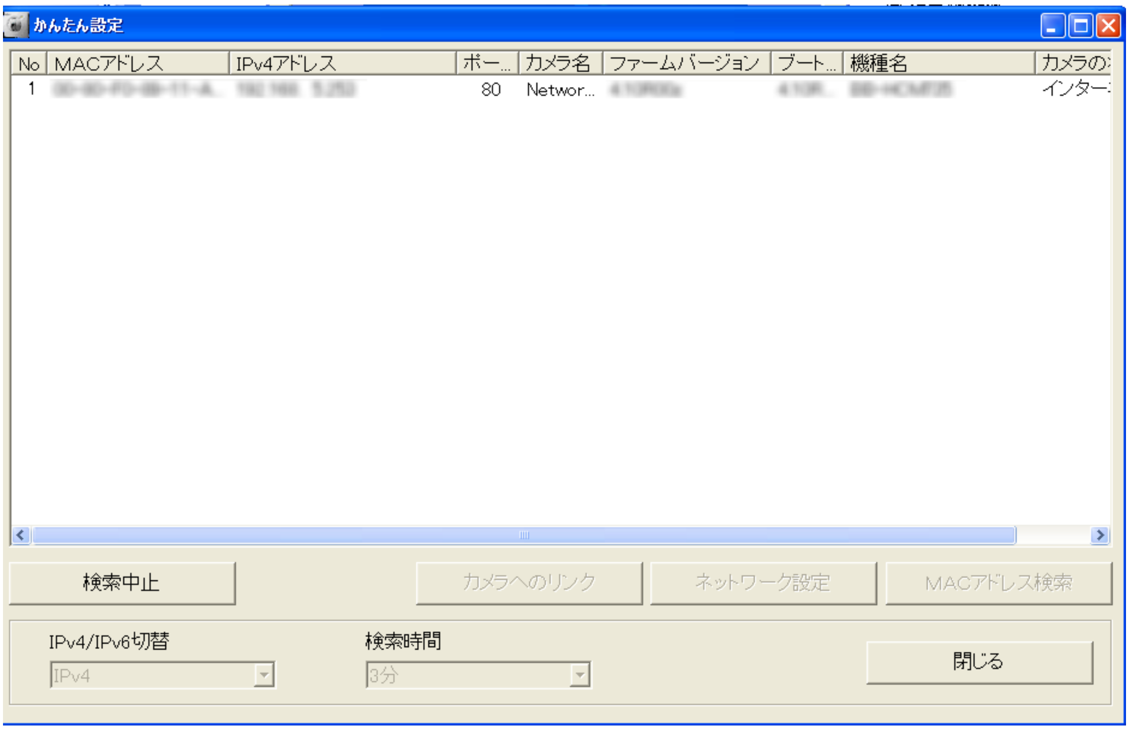


カメラを検索して情報を確認し、カメラに接続する

1 [カメラ検索]をクリックする



2 セットアッププログラムがネットワーク上のすべてのカメラを検索して情報を表示するまで待つ



- 探しているカメラが表示されない場合、電源が入っていてネットワークに接続されているか確認してください。
- 探しているカメラが表示されない場合、MACアドレスを入力してカメラを検索することができます。[MACアドレス検索]をクリックして、MACアドレスを入力してください。（MACアドレスは、カメラ本体に貼り付けられているラベルに記載されています。）

お知らせ

- パナソニック電工ネットワークス社製のPoE給電機能付スイッチングハブをご使用の場合、検索一覧に表示される場合があります。詳細は、PoE給電機能付スイッチングハブの取扱説明書を参照ください。

3 カメラのIPアドレス、ポート番号などを確認する

4 接続するカメラを選択し、[カメラへのリンク]をクリックする

- 認証画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力するとトップ画面が表示されます。

カメラを自動設定または手動設定（Static／DHCP）する

1 カメラを検索する (→ 235 ページ)

2 カメラを選択する

3 [ネットワーク設定]をクリックする

- 管理者のユーザー名またはパスワードを設定したカメラは、電源を入れてから20分以上経過すると設定を開始できません。電源を入れてから20分以上経過しているときは、カメラを再起動してください。(→ 203 ページ)（工場出荷値のカメラは、電源投入後の経過時間に制限なく設定できます。）

4 カメラ名を入力する（全角7文字、半角15文字以内）

- ここで入力した名前はシングル画面で表示されます。
- 使用できる文字については、242 ページ を参照してください。ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

5 ポート番号*1（1～65535）を入力する

- 複数のカメラがある環境で、インターネット経由で外部からアクセスするときは、各カメラに固有のポート番号を設定してください。（工場出荷値は80）

6 設定方法を選択して、ネットワーク設定する（各設定の詳細は136 ページを参照してください。）

– [自動設定]: 自動でネットワーク設定を行います。ルーターやプロバイダーなどのDHCPサーバー機能から、ネットワーク情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス）を自動的に取得します。IPアドレスは、ほかのネットワーク機器で使用されていないものを自動で検索して割り当てます。

– [IPアドレスを指定する]: ［IPアドレスを指定する］を選択した場合に、ネットワーク管理者またはプロバイダーからIPアドレスを指定されているときは、指定されたネットワークIPアドレス／サブネットマスクを入力します。同じネットワーク内からカメラにアクセスする場合は、アクセスするパソコンと同じクラスのIPアドレス／サブネットマスクを入力してください。

– [DHCP設定]: ［DHCP設定］を選択した場合に、ネットワーク管理者またはプロバイダーの指示に従って、ホスト名*2を半角英数字または記号で入力します（63文字以内)。プロバイダーによってはホスト名が認証に使用されていることがあります。

– [デフォルトゲートウェイ]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから取得した、デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。

– [DNSサーバーアドレス1～2]: ネットワーク管理者またはプロバイダーから、DNSサーバーのIPアドレスを取得して入力します。以下の場合に設定してください。
  - カメラ画像をFTP転送、Eメール転送／通知、HTTP転送／通知したい（各サーバーアドレスをホスト名で設定している場合）
  - マルチ画面の設定で、カメラをホスト名で登録したい
  - ダイナミックDNSサービス「みえますねっと」サービスを利用したい
  - 他社のダイナミックDNSサービスを利用したい
  - アラームログを通知したい（各サーバーアドレスをホスト名で設定している場合）

– [通信帯域制限]: カメラから送信するデータ容量を制限します*3。（IPv4／IPv6ネットワークともに有効になります。）

7 [保存]をクリックする

- 設定完了までに数分間かかる場合があります。
- 設定完了すると「カメラの設定が完了しました」が表示されます。

8 ［OK］をクリックする

MACアドレスからカメラをネットワーク設定する

パソコンのファイアウォール設定などにより、セットアップソフトウェアのリスト画面にカメラが表示されない場合があります。ファイアウォール設定を解除できないときは、カメラのMACアドレスからカメラを検索・設定してください。

1 [カメラ検索]をクリックする

2 [MACアドレス検索]をクリックして、MACアドレスを入力する (MACアドレスは、カメラ本体に貼り付けられているラベルに記載されています。)

3 [ネットワーク設定]をクリックする

4 表示されているネットワーク情報を確認して、[OK] をクリックする

- 設定完了までに数分間かかる場合があります。
- 設定完了すると「カメラの設定が完了しました」が表示されます。

5 [OK] をクリックする

セットアップソフトウェアからバージョンアップする

1 最新のファームウェアを パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html) からダウンロードする

- バージョンアップしたいカメラと同じ機種のファームウェアをダウンロードしてください。
- ダウンロードしたファイルは、パソコン内の任意の場所に保存してください。

2 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- 設定画面が表示されない場合は、CD-ROM内の「Setup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

3 [バージョンアップ]をクリックする

- セキュリティ警告画面が表示されたときは、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

4 手順1でダウンロードしたファームウェアを選択して、[開く]をクリックする

- ダウンロードしたファームウェアの機種のみ一覧に表示されます。

5 カメラを選択して、管理者のユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックする

- 複数のカメラを選択すると、一度にバージョンアップを実行することができます。

6 [実行]をクリックする

- バージョンアップが完了したら、[バージョンアップ完了。]と表示されます。

7 ログ情報を保存する場合は、 [ログ保存]をクリックしてログファイル（テキストファイル）をパソコンに保存してください。

8 完了したら、[OK] をクリックする

お知らせ

- カメラのメンテナンス画面からもバージョンアップができます。(→ 205 ページ)

カメラの設定内容をファイルに保存する

1 [PCへ設定値を保存/カメラへ設定]をクリックする

- セキュリティ警告画面が表示されたときは、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

2 カメラを選択して、管理者のユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックする

3 [PCへ設定値を保存]をクリックする

4 ファイルの保存先を指定して、[保存]をクリックする

5 [PCへ設定値を保存しました。]が表示されたら、[OK]をクリックする

お願い

- バックアップファイル名を変更したい場合は、拡張子「.dat」を変更しないでください。「.dat」を変更すると、設定を復元できません。
- 保存したバックアップファイルは暗号化されているため、テキストエディタなどで開かないでください。テキストエディタなどで開くと、設定の復元ができなくなる場合があります。

お知らせ

- 一時保存画像はバックアップファイルに保存されません。
- カメラのファームウェアを、最新のバージョンに更新してからバックアップファイルを保存してください。バックアップファイルを保存したときのファームウェアと、復元するときのファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに正しく復元されない場合があります。(→ 205 ページ)

カメラの設定内容をファイルから復元する

1 [PCへ設定値を保存/カメラへ設定]をクリックする

2 カメラを選択して、管理者のユーザー名とパスワードを入力して、[OK]をクリックする

- 複数のカメラを選択すると、一度に復元を実行することができます。

3 [カメラへ設定]をクリックする

- 設定内容を保存したファイルの場所を指定する画面が表示されます。

4 設定内容を保存したファイルを選択して、 [開く]をクリックする

5 [実行]をクリックする

- 画面がステータスを表示します。

6 設定が復元されると、カメラは自動で再起動します。

7 「カメラへ保存しました」が表示されたら、[OK] をクリックする

お知らせ

- セットアップソフトウェアを使って設定内容を復元した場合は、ネットワーク設定と管理者のユーザー名・パスワードは変更されません。
- カメラの設定内容を保存したファイルから復元した場合には、必ずSDメモリーカードをフォーマットしてください。(→ 197 ページ)

---

*1 以下のポート番号は設定できません。

- 20、21、25、110(あらかじめカメラが使用しています。)

*2 半角英数字、記号が使えます。使用できる文字については、242 ページを参照してください。
ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

*3 通信帯域制限設定は、以下のファイルサイズ(1枚のJPEG画像)と同時に参照される数を参考に設定してください。
(画質の設定は標準です。ファイルサイズは、画質や被写体の明るさなどの状態により変わります。)
また、MPEG-4やH.264は同時に参照される数と設定しているビットレートを参考に設定してください。

- 192 × 144ドット:約 7 KB(56 Kbit)
- 320 × 240ドット:約 16 KB(128 Kbit)

- 640 × 480ドット：約 35 KB（280 Kbit)
- 1280 × 960ドット：約 77 KB（616 Kbit)

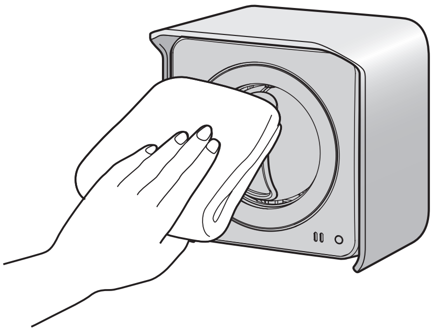
14 補足情報

14.1 お手入れについて

レンズカバーが汚れると、画質が悪くなる原因になります。定期的なお手入れをおすすめします。 お手入れは、カメラの電源を切ってから始めてください。

カメラ本体のお手入れ

ほこりなどが付着したままでレンズカバーをふくと、傷がつく恐れがあります。ほこりなどを落として、乾いた布でふいてください。



お知らせ

- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、ガラスクリーナー、殺虫剤、ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色、変質の恐れがあります。)
- レンズカバーに手を触れないでください。指紋がついてしまうと、焦点が合いにくくなる原因となります。

14.2 使用できる半角文字について

カメラの設定時に入力できる文字は以下のとおりです。

[スペース]	0	@	P	`	p
!	1	A	Q	a	q
"	2	B	R	b	r
#	3	C	S	c	s
$	4	D	T	d	t
%	5	E	U	e	u
&	6	F	V	f	v
'	7	G	W	g	w
(	8	H	X	h	x
)	9	I	Y	i	y
*	:	J	Z	j	z
+	;	K	[	k	{
,	<	L	\	l	|
-	=	M	]	m	}
.	>	N	^	n	~
/	?	O	_	o	

14.3 ファイルサイズと一時保存枚数／一時保存時間について

カメラ画像（JPEG）のファイルサイズと、カメラの内部メモリーに一時保存できる枚数との関係を表にしています。設定の参考にしてください。また、一時保存／転送時の最大保存枚数について、以下を参照してください。

お知らせ

- ファイルサイズは、最大値を記載しています。

JPEG 画像 (動画と静止画)

解像度	仕様	スナップショット	画質		
			画質優先	標準	動き優先
1280 × 960	ファイルサイズ	120 KB	120 KB	77 KB	60 KB
	枚数	(パソコンに保存)	—	—	—
640 × 480	ファイルサイズ	50 KB	50 KB	35 KB	27 KB
	枚数	(パソコンに保存)	360	520	680
320 × 240	ファイルサイズ	25 KB	25 KB	16 KB	10 KB
	枚数	(パソコンに保存)	730	1160	1880
192 × 144	ファイルサイズ	10 KB	10 KB	7 KB	5 KB
	枚数	(パソコンに保存)	1880	2710	3850

お知らせ

- 一時保存／転送時の最大保存枚数は、解像度と画質によって異なります。

MPEG-4 画像

MPEG-4 画像の保存時間については、パナソニックのサポートウェブサイト
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.htmlを参照してください。

お知らせ

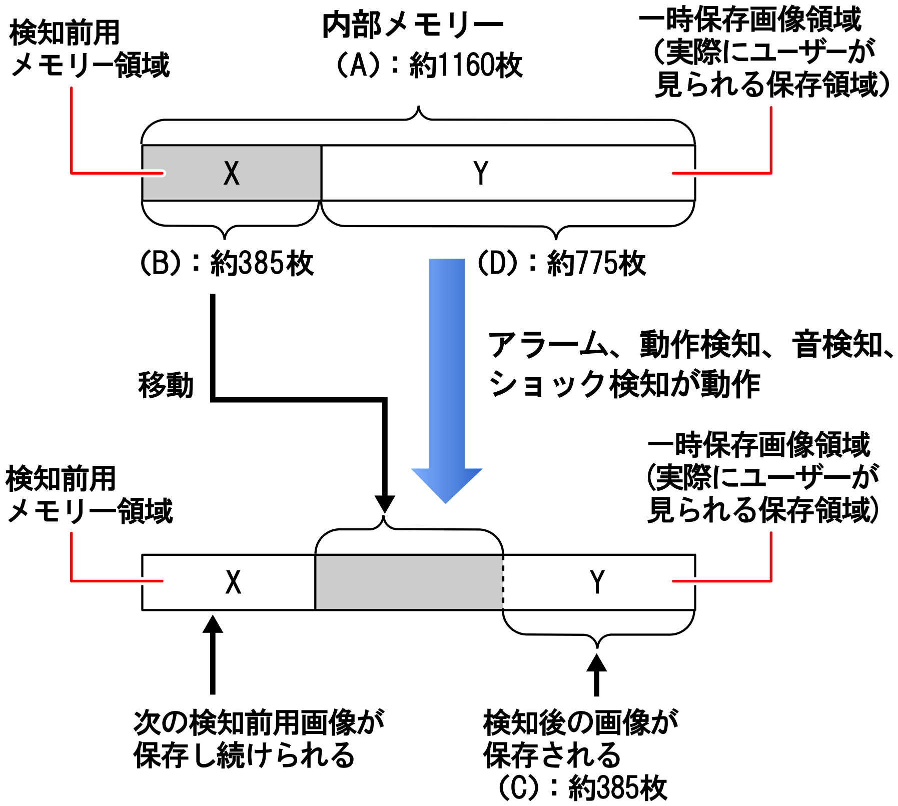
- 一時保存／転送時の最長保存時間は、解像度、ネットワーク通信容量、配信方法に設定されているフレームレート、ビットレートによって異なります。

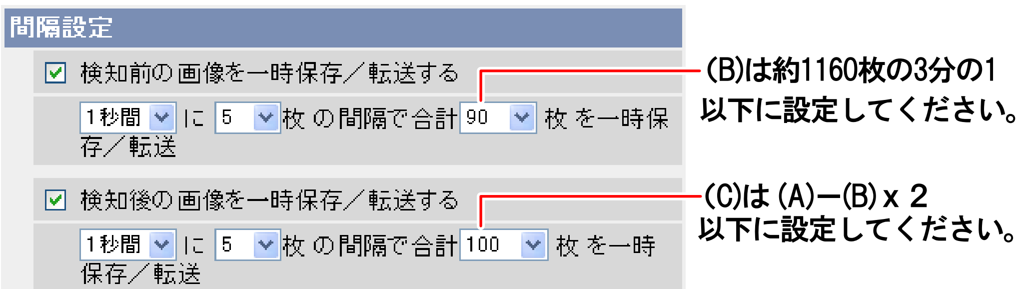
一時保存／転送の最大保存枚数について

動作条件設定で、タイマー、アラーム、動作検知、音検知、ショック検知を有効に設定している設定数最大5つ分に、内部メモリーの容量が分割されます。
例えば、320 × 240ドットの解像度、画質を標準にした場合、内部メモリーに約1160枚保存できます。
動作条件設定画面で、タイマー、アラーム、動作検知、音検知、ショック検知をそれぞれ1つずつ有効にした場合、設定数が3となり、内部メモリーが3分割されます。その結果、各動作条件設定において内部メモリーに保存できる枚数はそれぞれ約385枚となります。

例）1つの設定あたりの最大保存枚数（A）：約1160枚、検知前に一時保存／転送する画像の枚数（B）：約385枚、検知後に一時保存／転送する画像の枚数（C）：約385枚のとき

- 内部メモリーのうち、［検知前の画像を一時保存／転送する］の指定枚数分（B：約385枚）を検知前用メモリー領域（X）として確保し、指定した間隔で画像を保存し続けます。
- アラーム、動作検知、音検知、ショック検知が動作すると、検知前用メモリー領域（X）に保存されている画像は、ユーザーが実際に見られる一時保存画像メモリー領域（Y）へ移動し、一時保存画像メモリー領域（Y）の空き領域には検知後の画像が保存され続けます。
- 検知前用メモリー領域（X）は、一時保存画像メモリー領域としては割り当てられず、次の検知前画像を保存し続けます。





14.4 SDメモリーカードへの保存枚数と保存時間について

本製品は、当社製SD メモリーカード（BB-HCC02）および当社製SDHC メモリーカード（BB-HCC04, BB-HCC08)に対応しています。(→ 279 ページ)

SDメモリーカードへのJPEGの保存枚数やMPEG-4の保存時間は、 パナソニックのサポートウェブサイトhttp://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.htmlを参照してください。

お知らせ

- JPEGの最大保存枚数は、解像度と画質によって異なります。
- 最大画像サイズの設定が1280 × 960のカメラ画像はSDメモリーカードに保存できません。また、H.264画像は保存できません。（→ 248 ページ）
- MPEG-4の最長保存時間は、解像度、ネットワーク通信速度、映像配信に設定されているフレームレート、ビットレートによって異なります。

14.5 最大画像サイズと配信フォーマットについて

最大画像サイズの設定、配信フォーマットの設定は映像配信画面（→ 163 ページ）で行います。
最大画像サイズにより設定できる配信フォーマットは制限されます。

最大画像サイズ設定で1280 × 960を選択したとき

- H.264、MPEG-4、MJPEGの1280 × 960の画像を同時に配信することができません。
- 640 × 480 ／320 × 240／192 × 144はMJPEGでしか配信できません。
- H.264とMPEG-4を同時に配信することはできません。

最大画像サイズ設定で640 × 480を選択したとき

- H.264とMPEG-4を同時に配信することはできません。

最大画像サイズならびに配信フォーマットの設定により、操作バーの［画像更新間隔］、［解像度］に表示される項目は次のようになります。

最大画像 サイズ	HTTP／HTTPS	配信フォーマット	画像更新 間隔	解像度
1280 × 960	HTTP	H.264（1280 × 960）／MJPEG（320 × 240 ／ 192 × 144）	H.264	1280 × 960
			MJPEG	320 × 240 192 × 144
		MPEG-4（1280 × 960）／ MJPEG（320 × 240／ 192 × 144）	MPEG-4	1280 × 960
			MJPEG	320 × 240 192 × 144
		MJPEG（1280 × 960／ 640 × 480／ 320 × 240 ／ 192 × 144）	MJPEG	1280 × 960 640 × 480 320 × 240 192 × 144
	HTTPS	MJPEG（1280 × 960／ 640 × 480／ 320 × 240 ／ 192 × 144）	MJPEG	1280 × 960 640 × 480 320 × 240 192 × 144

最大画像 サイズ	HTTP／HTTPS	配信フォーマット	画像更新 間隔	解像度
640 × 480	HTTP／HTTPS	H.264（640 × 480 ／ 320 × 240）／MJPEG（640 × 480 ／ 320 × 240／192 × 144）	H.264	640 × 480 320 × 240
			MJPEG	640 × 480 320 × 240 192 × 144
		MPEG-4／ MJPEG（640 × 480 ／320 × 240／ 192 × 144）	MPEG-4	640 × 480 320 × 240 192 × 144
			MJPEG	640 × 480 320 × 240 192 × 144

お知らせ

- ［最大画像サイズ設定]、［配信フォーマット設定］を変更するには映像配信設定画面で設定します。ただし、設定後にカメラの再起動が必要になります。カメラを再起動すると、カメラの内部メモリーに保存されている画像はすべて削除されます。
- 最大画像サイズ設定と配信フォーマット設定により配信できないフォーマットと解像度を録画プログラムなどから要求された場合は青画面や灰色画面が表示されます。
- マルチ画面では320 × 240と192 × 144の画像のみ配信することができます。

14.6 最大画像サイズと配信フォーマットの設定で制限される機能について

高画質の解像度1280 × 960や配信フォーマットの設定により一部機能が制限されます。 最大画像サイズと配信フォーマットの設定により制限される機能は以下のとおりです。

内部メモリー（一時保存）／SD録画／転送

最大画像サイズ	配信フォーマット	解像度	内部メモリー録画	SD録画	転送
1280 × 960	H.264	1280 × 960	不可	不可	不可
	MPEG-4	1280 × 960	不可	不可	不可
	MJPEG	1280 × 960	不可	不可	不可
		640 × 480	不可	不可	不可
		320 × 240	不可	不可	不可
		192 × 144	不可	不可	不可
640 × 480	H.264	640 × 480	不可	不可	不可
		320 × 240	不可	不可	不可
	MPEG-4	640 × 480	可*1	可*1	不可
		320 × 240	可*1	可*1	不可
		192 × 144	可*1	可*1	不可
	MJPEG	640 × 480	可	可	可
		320 × 240	可	可	可
		192 × 144	可	可	可

*1 動作条件がタイマー以外の検知録画では保存できません。

スナップショット

最大画像サイズ	配信フォーマット	解像度	スナップショット
1280 × 960	H.264	1280 × 960	不可
	MPEG-4	1280 × 960	不可
	MJPEG	1280 × 960	可
		640 × 480	可
		320 × 240	可
		192 × 144	可

最大画像サイズ	配信フォーマット	解像度	スナップショット
640 × 480	H.264	640 × 480	可
		320 × 240	可
	MPEG-4	640 × 480	可
		320 × 240	可
		192 × 144	可
	MJPEG	640 × 480	可
		320 × 240	可
		192 × 144	可

デジタルズームとExズーム

最大画像サイズ	配信フォーマット	解像度	Exズーム	本体デジタルズーム
1280 × 960	H.264	1280 × 960	不可	不可
	MPEG-4	1280 × 960	不可	不可
	MJPEG	1280 × 960	不可	不可
		640 × 480	不可	不可
		320 × 240	不可	不可
		192 × 144	不可	不可
640 × 480	H.264	640 × 480	可	可
		320 × 240	可	可
	MPEG-4	640 × 480	可	可
		320 × 240	可	可
		192 × 144	可	可
	MJPEG	640 × 480	可	可
		320 × 240	可	可
		192 × 144	可	可

4画素加算

最大画像サイズ	配信フォーマット	解像度	4画素加算
1280 × 960	H.264	1280 × 960	不可
	MPEG-4	1280 × 960	不可
	MJPEG	1280 × 960	不可
		640 × 480	不可
		320 × 240	不可
		192 × 144	不可
640 × 480	H.264	640 × 480	可
		320 × 240	可
	MPEG-4	640 × 480	可
		320 × 240	可
		192 × 144	可
	MJPEG	640 × 480	可
		320 × 240	可
		192 × 144	可

14.7 ナイトビュー機能について

撮影環境が薄暗い場合にカメラ画像を明るくして被写体を確認しやすくする方法として、カラーナイトビュー、ソフトウェアカラーナイトビュー、4画素加算があります。
それぞれの特徴は次のとおりです。

	カラーナイトビュー	ソフトウェア カラーナイトビュー	4画素加算
画像の更新速度	遅くなる（暗い時のみ）	パソコンの能力に依存（暗い時のみ）	影響なし
パソコンへの負荷	無し	有り	無し
有効／無効の設定	カメラごとに設定	パソコンごとに設定	カメラごとに設定
解像度	制限無し	制限無し	1280 × 960は不可
利用条件	暗いときに有効になります。	暗いときに有効になります。	暗くなくても有効です。
その他制限	暗くなると画像がブレやすくなります。	画像の更新速度が遅いと、効かなくなります。	Exズームを有効にしていると使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアカラーナイトビューを使用して、MPEG-4またはH.264画像が崩れる場合には、パソコンの能力が不足してる可能性があります。カメラのカラーナイトビューまたは４画素加算を使用してください。

14.8 ショック検知について

本製品は加速度センサーを内蔵しています。
外部からの衝撃を検知し、画像一時保存転送を行ったり、Eメールで通知したりすることができます[*1]。
(→ 69 ページ)

検知感度は２段階あります。(→ 108 ページ)

高感度（工場出荷値）	カメラカバーの取りつけや取り外し、SDカードの抜き差し、ドアの開け閉めなど比較的小さい衝撃を検知する場合に設定します[*2]。 検知しやすい反面、意図しない振動や衝撃で誤検知[*3]しやすくなります。
低感度	ハンマーなどでカメラを強くたたいた場合などの強い衝撃のみ検知します[*2]。誤検知しにくい反面、カメラのレンズの向きを変えたり、SDカードを抜くなどの、いたずらに対する検知がしにくくなります。

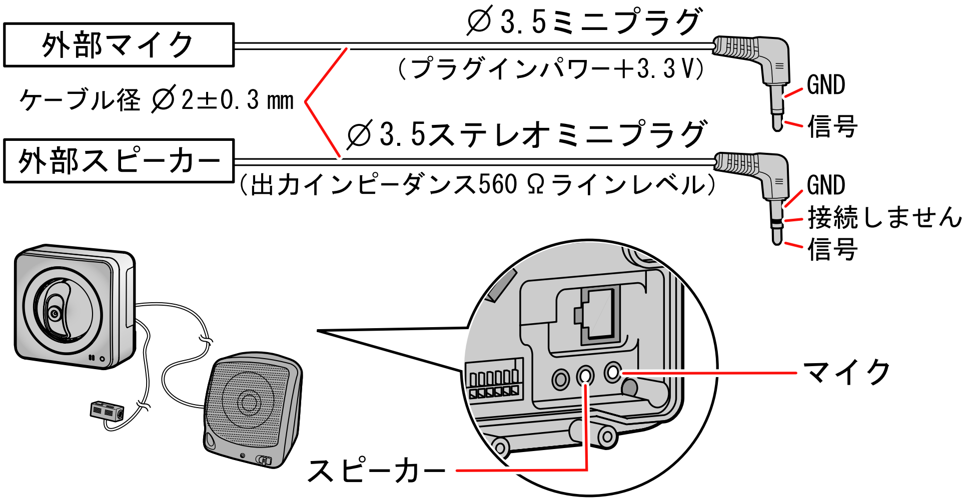
*1 衝撃によりカメラが破壊した場合、検知および画像一時保存転送などができない場合があります。
*2 検知する衝撃の程度は設置条件や衝撃の加え方で変わりますので、検知できない場合や誤検知する場合があります。

- 設置場所（天井に設置する場合、壁に設置する場合など）
- 設置する天井、壁の材質や強度
- 衝撃を与える方向
- 衝撃を与えるものの材質（金属製ハンマー、ゴム製ハンマーなど）

*3 誤動作が多発する場合は、検知感度を低感度に設定してください。

14.9 カメラに外部マイク／スピーカーを接続する

カメラに外部マイクやスピーカー（いずれも市販品）を接続して、音声を受話・送話できます。
外部マイク用のコードは、7 m以内の長さのものを使用してください。コードの長さや、マイクの特性によって音質が低下することがあります。

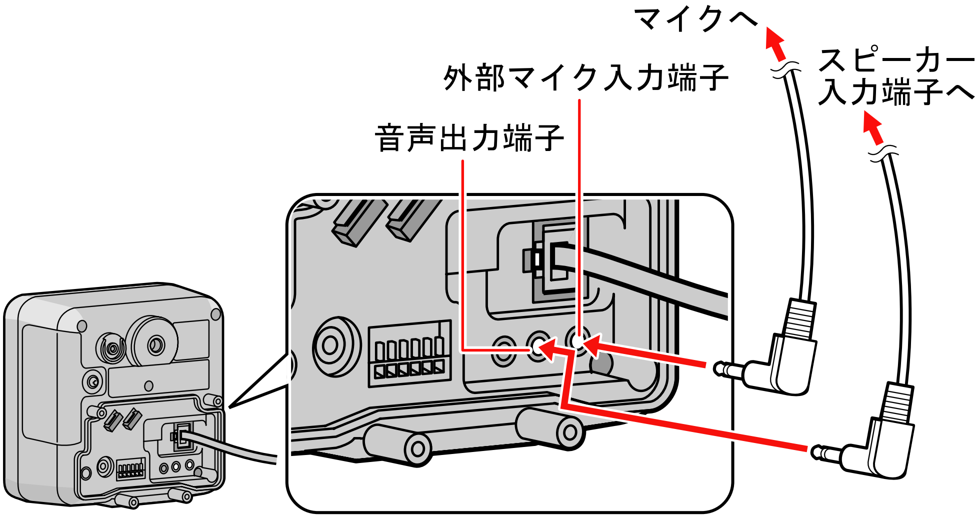


- 外部マイクをカメラに接続すると、内蔵マイクでの音声入力はできなくなります。
- 外部スピーカーを接続する場合は、アンプ内蔵のスピーカーを使用してください。（出力はモノラルになります。）
- 外部マイクおよび外部スピーカーを屋外に設置する場合は、屋外設置用の外部マイク／スピーカーを使用してください。
- カメラに接続可能な外部マイク／スピーカーは、以下の仕様になります。
  ＜マイク＞
  - プラグインパワー対応（供給電源 3.3 V）
  - 音圧感度：−48 dB（0 dB＝1 V／Pa, 1 kHz）
  - 出力インピーダンス： 1 k Ω
  - プラグ：ø3.5モノラルミニプラグ
  - コード長： 最大7 m

  ＜スピーカー＞
  - 入力インピーダンス： 12 k Ω（最小1 k Ω）
  - プラグ：ø3.5ステレオミニプラグ
- 外部マイク／スピーカーコード（いずれも市販品）は、カメラまたはアンプ（スピーカー）の電源を切った状態で抜き差ししてください。（スピーカーから大きなノイズが発生する場合があります。）

1 カメラと外部マイク／スピーカーの電源が入っていないことを確認する

2 マイクコードとスピーカーコード（いずれも市販品）でカメラとマイク、スピーカーを接続する



3 カメラと外部マイク／スピーカーの電源を入れる

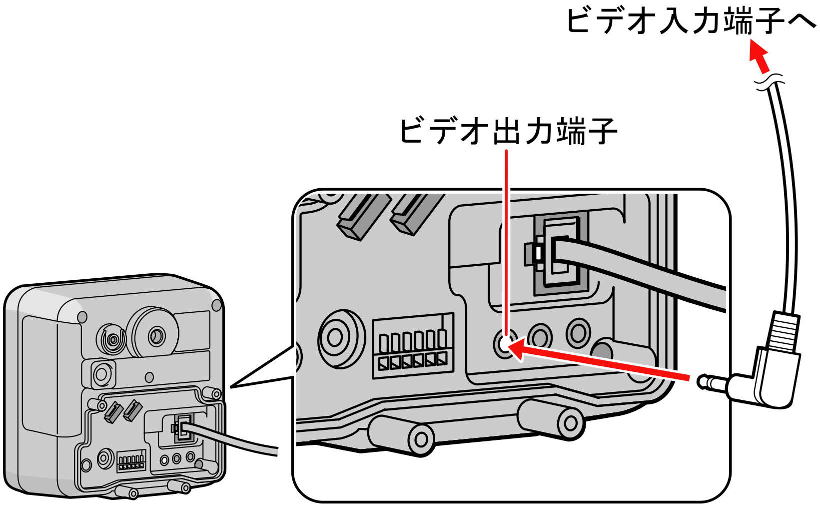
- 外部マイクやスピーカーの詳しい操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

14.10 アナログビデオ出力をテレビに接続してカメラ画像を見る

カメラをテレビや録画機器に接続することで、カメラ画像をテレビなどのモニターで確認したり、ビデオに録画することができます。接続には、映像コード（市販品）を別途用意してください。
工場出荷値では、アナログビデオ出力は無効になっています。あらかじめアナログビデオ出力を有効に設定してください。（アナログビデオ出力を有効にすると、カメラの動画のフレームレートが低下することがあります。）（→ 189 ページ）

- カメラに接続可能な映像コード（市販品）は、以下の仕様になります。
  - プラグ：ø3.5 mmミニプラグ

1 カメラに映像コード（市販品）を接続する



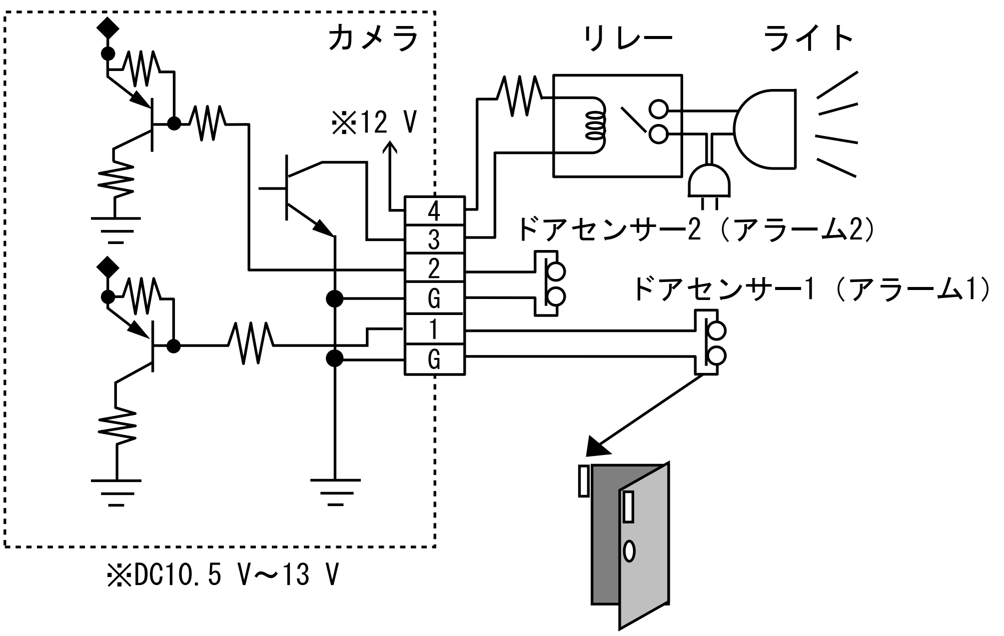
2 テレビまたは録画機器の電源を入れて、外部入力に切り替える
- テレビまたは録画機器の詳しい操作方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

14.11 I／Oコネクターについて

アラーム（市販品）などを、カメラのI／Oコネクターに接続することで、アラーム検知機能を使ってカメラ画像の一時保存／転送ができるようになります。

ピン	機能
G	GND
1	デジタル入力端子1（オープンまたはGNDに接続してください。アラーム1）
G	GND
2	デジタル入力端子2（オープンまたはGNDに接続してください。アラーム2）
3	デジタル出力端子 • 初期状態の設定（開放または短絡）は、外部出力設定（→ 188 ページ）でできます。また、外部出力の操作は、シングル画面（→ 27 ページ）または携帯電話（→ 117 ページ）でできます。 • 検知時に、一定時間、デジタル出力端子（外部出力端子）を開放または短絡にすることができます。(→ 76 ページ) • オープンコレクタ出力回路になっています。電流は、DC電源出力電流（4番ピン）と同じです。印加圧電はDC電源出力電圧（4番ピン）を超えないようにしてください。
4	DC電源出力 • 電源出力電圧10.5 V～13 V • 電源出力電流100 mA

回路接続の例



⚠注意

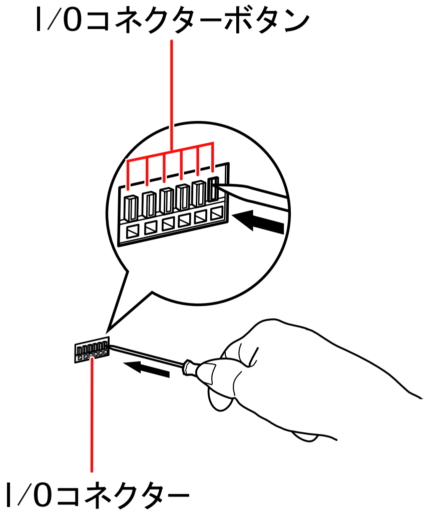
I／Oコネクター接続時は、各端子の電気的仕様を守り、確実に行う

電流や電圧が仕様の数値を超えると、感電の原因になることがあります。

● わからないときは、販売店にお問い合せください。

お願い

- I／Oコネクターを先の尖ったようなもので、強く押さないでください。I／Oコネクターのボタンの溝がつぶれて、戻らなくなることがあります。



- DC電源（4番ピン）とGND (G) は短絡させないでください。カメラの電源が短絡して、カメラが故障する場合があります。
- ネットワーク障害などにより外部出力に接続している機器が操作できなくなる可能性があります。外部出力機能は接続している機器の操作不能による障害の可能性に留意してご使用ください。（温度上昇を伴う機器の温度制御不可やロック開錠の機器の開閉不可など）

お知らせ

- I／Oコネクターに関する取り付け方法やその他の仕様については、パナソニックのサポートウェブサイト(http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/)を参照してください。

14.12 パナソニックネットワークディスクレコーダーについて

パナソニックネットワークディスクレコーダーを使用すると、カメラの画像をモニタリングしたり、カメラを操作したり、カメラ画像を録画することができます。
詳細は、パナソニックネットワークディスクレコーダーの取扱説明書を参照してください。対応するパナソニックネットワークディスクレコーダーは下記の機種になります。(2009年12月現在)

– DG-ND200　ソフトウェアバージョン 3.10以上

14.13 お買い上げ時の設定（工場出荷値）

- シングル画面／マルチ画面に関する設定(→ 259 ページ)
- ネットワークに関する設定(→ 260 ページ)
- カメラに関する設定(→ 262 ページ)
- ユーザーに関する設定(→ 265 ページ)
- 動作条件（一時保存／転送）に関する設定(→ 267 ページ)
- その他の設定(→ 272 ページ)

シングル画面／マルチ画面に関する設定

シングル画面

項目	工場出荷値	選択など
微調整（パン・チルト）	OFF	ON, OFF
範囲指定	パン: -52° ～ +52° チルト: -45° ～ +8°	パン: -52° ～ +52° チルト: -45° ～ +8°
ズーム	—	テレ, ワイド
プリセット	左上 右上 左下 右下	プリセット1–20, ホームポジション, アラーム1, アラーム2
プリセットシーケンス	—	開始, 終了
オートパン	—	登録, 開始, 終了
明るさ	標準	9 段階
逆光補正	OFF	ON, OFF
ホワイトバランス	自動	自動, 屋内, 蛍光灯（白色）, 蛍光灯（昼白色）, 屋外, ホールド
外部出力	開放 短絡	–
画像更新間隔	MJPEG	H.264, MPEG-4, MJPEG, 3 秒, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 60秒
解像度	320 × 240	1280 × 960, 640 × 480, 320 × 240, 192 × 144
画質	標準	画質優先, 標準, 動き優先

項目	工場出荷値	選択など
配信方法	自動	自動, Multicast, Unicast, HTTP

マルチ画面

項目	工場出荷値	選択など
レイアウト	4分割	4分割, 9分割, 16分割
表示するカメラ	1–4	1–4, 5–8, 9–12, 13–16
画像更新間隔	MJPEG	H.264, MPEG-4, MJPEG, 3 秒, 5 秒, 10 秒, 30 秒, 60 秒
解像度	320 × 240	320 × 240, 192 × 144

ネットワークに関する設定

ネットワーク（IPv4）

項目		工場出荷値	選択など
接続モード設定	接続モード	自動設定	自動設定, Static設定, DHCP設定
プロキシ設定	アドレス	–	–
	ポート番号	8080	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
セットアップソフトウェアからの設定(Static／DHCP設定のみ)		有効	有効, 無効
インターネット接続(Static／DHCP設定のみ)	ポート番号	80	1～65535
	IPアドレス (Static設定のみ)	192.168.0.253	–
	サブネットマスク (Static設定のみ)	255.255.255.0	–
	ホスト名 (DHCP設定のみ)	–	–
デフォルトゲートウェイ(Static／DHCP設定のみ)	ゲートウェイ	–	–

項目		工場出荷値	選択など
DNS (Static／DHCP設定のみ)	プライマリーサーバーアドレス	–	–
	セカンダリーサーバーアドレス	–	–
通信帯域制限(Mbps)		制限しない	制限しない, 0.1, 0.2, 0.3, 0.5, 1, 2, 3 Mbps
接続タイプ		自動	自動, 100 Mbps/全2重, 100 Mbps/半2重, 10 Mbps/全2重, 10 Mbps/半2重

ネットワーク（IPv6）

項目		工場出荷値	選択など
接続モード設定	接続モード	自動設定	自動設定,Static設定
インターネット接続(Static設定のみ)	ポート番号	80	1～65535
	IPアドレス	–	–
デフォルトゲートウェイ(Static設定のみ)	ゲートウェイ	–	–
DNS	プライマリーサーバーアドレス	–	–
	セカンダリーサーバーアドレス	–	–
通信帯域制限(Mbps)		制限しない	制限しない, 0.1, 0.2, 0.3, 0.5, 1, 2, 3 Mbps
接続タイプ		自動	自動, 100 Mbps/全2重, 100 Mbps/半2重, 10 Mbps/全2重, 10 Mbps/半2重

HTTPS

項目	工場出荷値	選択など
HTTPS機能	HTTPを使用する	HTTPSを使用する, HTTPを使用する
証明書情報 カメラのアドレスまたはホスト名	設定なし	–

UPnP

項目	工場出荷値	選択など
自動ポートフォワーディング	無効	有効, 無効
カメラへのショートカット	有効	有効, 無効

ダイナミックDNS

項目		工場出荷値	選択など
ダイナミックDNS		使用しない	みえますねっと, ユーザー指定ダイナミックDNS, 使用しない
みえますねっと設定	更新時間	60分	10 , 20 , 30, 40 , 50 , 60 （分）
ユーザー指定ダイナミックDNS	ダイナミックDNSサーバーURL	–	–
	更新時間	10分	起動時のみ, 10 分, 30 分, 1 時間, 3 時間, 6 時間, 12時間, 24 時間
ユーザー名・パスワード設定	ユーザー名	–	–
	パスワード	–	–

カメラに関する設定

日付時刻

項目		工場出荷値	選択など
時計設定	日付	–	–
	表示切替	12時間制	12時間制, 24時間制
	時刻	–	–
NTPサーバーによる時計の自動調整	自動調整を行う	チェックなし	–
	NTPサーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	タイムゾーン	GMT+09:00 日本	–

カメラ

項目	工場出荷値	選択など
電源周波数設定	50 Hz (東日本)	50 Hz (東日本), 60 Hz (西日本)

項目		工場出荷値	選択など
指定ポジション復帰	指定時間	指定しない	指定しない, 10 秒, 20 秒, 30 秒, 1 分, 5 分, 10 分, 30 分, 1 時間
	指定ポジション	ホームポジション	ホームポジション, アラーム1, アラーム2, プリセット 1–20
シャッタースピード/カラーナイトビューモード	シャッタースピード	チェックあり（1/15 秒）	シャッタースピード 50 Hz：1/15秒、1/25秒、1/50秒、1/100秒、1/250 秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/10000秒 60 Hz：1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/120秒、1/250 秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/10000秒
	カラーナイトビューモード	チェックなし	–

音声

項目	工場出荷値	選択など
出力（パソコンのマイク入力）	する	する, しない
音量	標準	最小, 標準, 最大
連続受信時間	1分	1、2、3、5、10、20、30、60（分）
入力（パソコンのスピーカー出力）	する	する, しない
感度	標準	超低感度, 低感度, 標準, 高感度
パン（左右）／チルト（上下）中のミュート	しない	する, しない

映像配信

項目		工場出荷値	選択など
最大画像サイズ設定		640 × 480	640 × 480, 1280 × 960
配信フォーマット設定	640 × 480	MPEG-4／MJPEG	H.264／MJPEG, MPEG-4／MJPEG
	1280 × 960	MPEG-4／MJPEG	H.264／MJPEG, MPEG-4／MJPEG, MJPEG
HTTP接続時最大接続数設定	H.264／MPEG-4	3	0～10
	MJPEG	10	0～30
HTTPS接続時最大接続数設定	H.264／MPEG-4	2	0～3
	MJPEG	3	0～8
Exズーム		チェックあり	–
4画素加算		チェックなし	–
MPEG-4最大フレームレート	1280 × 960	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
	640 × 480	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
	320 × 240	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
	192 × 144	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
MPEG-4ビットレート	1280 × 960	768 Kbps～4096 Kbps	768, 1024, 1536, 2048, 3072, 4096
	640 × 480	192 Kbps～2048 Kbps	192, 256, 384, 512, 768, 1024, 1536, 2048
	320 × 240	64 Kbps～1024 Kbps	64, 128, 192, 256, 384, 512, 768, 1024
	192 × 144	32 Kbps～512 Kbps	32, 64, 128, 192, 256, 384, 512
H.264最大フレームレート	1280 × 960	15 枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
	640 × 480	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒
	320 × 240	30枚／秒	5, 10, 15, 30 枚／秒

項目		工場出荷値	選択など
H.264 ビットレート	1280 × 960	768 Kbps～4096 Kbps	768, 1024, 1536, 2048, 3072, 4096
	640 × 480	512 Kbps～2048 Kbps	512, 768, 1024, 1536, 2048
	320 × 240	64 Kbps～1024 Kbps	64, 128, 192, 256, 384, 512, 768, 1024
RTSP	ポート番号	554	1～65535
RTP	ポート番号	33000	2～65400の偶数
マルチキャスト	マルチキャスト設定画面を表示する	チェックなし	–
パケット有効期間	TTL	5	1～255
マルチキャスト（IPv4）	使用する	チェックなし	–
	アドレス	231.244.244.241	–
	MPEG-4ポート番号	30000～30006	2000～65520の偶数
	H.264ポート番号	30040～30046	2000～65520の偶数
	音声ポート番号	30020	2000～65520の偶数
マルチキャスト（IPv6）	使用する	チェックなし	–
	アドレス	ff1e::0010	–
	MPEG-4ポート番号	30100～30106	2000～65520の偶数
	H.264ポート番号	30140～30146	2000～65520の偶数
	音声ポート番号	30120	2000～65520の偶数

ユーザーに関する設定

管理者

項目	工場出荷値	選択など
認証設定	未登録ユーザーを禁止	未登録ユーザーを許可, 携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可, 未登録ユーザーを禁止

項目	工場出荷値	選択など
ユーザー名	–	–
パスワード	–	–
パスワード再入力	–	–
CGIコマンドインターフェース	ブラウザからの設定のみ禁止	設定を許可,ブラウザからの設定のみ禁止,設定を禁止

一般ユーザー

項目	工場出荷値	選択など
一般ユーザー名一覧	–	–
ユーザー名	–	–
パスワード	–	–
パスワード再入力	–	–
動画表示時間	表示しない	表示しない, 制限しない, 10 秒, 30 秒, 1 分, 5 分, 10 分, 30 分, 60 分
静止画像更新間隔	3秒	3 秒, 5 秒, 10秒, 30 秒, 60秒
機能許可設定	すべてチェックなし	–
ネットワークディスクレコーダー連携	チェックなし	–

未登録ユーザー

項目	工場出荷値	選択など
動画表示時間	表示しない	表示しない, 制限しない, 10 秒, 30 秒, 1 分, 5 分, 10 分, 30 分, 60 分
静止画像更新間隔	3秒	3 秒, 5 秒, 10秒, 30 秒, 60秒
機能許可設定	すべてチェックなし	–
ネットワークディスクレコーダー連携	チェックなし	–

動作条件（一時保存／転送）に関する設定

動作条件

項目		工場出荷値	選択など
動作条件設定	設定を有効にする	チェックなし	–
	動作条件	**No. 1:** 動作検知 **No. 2-5:** タイマー	タイマー, アラーム1, アラーム2, 動作検知, 音検知, ショック検知
	検知する信号	立上り(開放)	立上り(開放) 立下り(短絡)
動作日時設定	曜日	すべてチェックあり	–
	動作時間	常時	常時、時間指定
画像設定	フォーマット	JPEG	JPEG, MPEG-4
	解像度	320 × 240	640 × 480, 320 × 240, 192 × 144
	画質	標準	画質優先, 標準, 動き優先
検知時ポジション	移動先	なし	なし, ホームポジション, アラーム1, アラーム2, プリセット 1-20
外部出力	動作時間	なし	なし, 1 秒, 3秒, 5 秒, 10秒, 30秒 1 分, 3 分, 5 分, 10 分, 30 分, 一時保存中
間隔設定 (タイマーの場合)	間隔設定	**No. 1:** 1秒間に5枚 **No. 2-5:** 1秒間に1枚	1時間に1枚～1秒間に30枚
間隔設定 (アラーム検知、動作検知、音検知、ショック検知の場合)	検知前の画像を一時保存／転送する	**No. 1:** 有効 **No. 2-5:** 無効	–
	間隔設定	**No. 1:** 1秒間に5枚、合計5枚 **No. 2-5:**1秒間に1枚、合計1枚	1分間に1枚～1秒間に30枚、合計1～600枚
	検知後の画像を一時保存／転送する	有効	–
	間隔設定	**No. 1:** 1秒間に5枚、合計20枚 **No. 2-5:** 1秒間に1枚、合計1枚	1分間に1枚～1秒間に30枚、合計1～1500枚

項目		工場出荷値	選択など
無検知時間設定	無検知時間	なし	なし, 10 秒, 30 秒, 1 分, 3 分, 5 分, 10 分
画像一時保存／転送		**No. 1:** 一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。) **No. 2-5:** 一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。)	一時保存(メモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。) 一時保存(メモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。) FTP転送 Eメール転送 HTTP転送
検知時の通知		通知しない	通知しない, メール通知する, HTTP通知する
FTP転送	サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	21	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
	ログインタイミング	毎回	毎回, 1回
	ファイル名	–	–
	書込方法	上書きする	上書きする, ファイル名に日時を追加する
	データ転送方式	パッシブモード	パッシブモード, アクティブモード

項目		工場出荷値	選択など
Eメール転送	送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	25	1～65535
	送信者（Eメールアドレス）	–	–
	あて先1(Eメールアドレス)	–	–
	あて先2(Eメールアドレス)	–	–
	あて先3(Eメールアドレス)	–	–
	件名	–	–
	本文	–	–
認証方法		認証なし	認証なし, POP before SMTP認証, SMTP認証
POP before SMTP認証	受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	110	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SMTP認証	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SSL		チェックなし	–
HTTP転送	ホスト名	–	–
	ポート番号	80	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
	ファイル名	–	–
	書込方法	上書きする	上書きする, ファイル名に日時を追加する

項目		工場出荷値	選択など
検知時のEメール通知	送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	25	1～65535
	送信者（Eメールアドレス）	–	–
	あて先1(Eメールアドレス)	–	–
	あて先2(Eメールアドレス)	–	–
	あて先3(Eメールアドレス)	–	–
	件名	–	–
	本文	–	–
認証方法		認証なし	認証なし, POP before SMTP認証, SMTP認証
POP before SMTP認証	受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	110	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SMTP認証	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SSL		チェックなし	–
HTTP通知	ホスト名	–	–
	ポート番号	80	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
	ファイルパス	–	–

動作検知感度

項目	工場出荷値	選択など
しきい値	左から3番目	–

項目	工場出荷値	選択など
感度	左から11番目	–

音検知感度

項目	工場出荷値	選択など
音量しきい値	右から3番目	–

ショック検知感度

項目	工場出荷値	選択など
ショック検知感度	高感度	高感度, 低感度

アラームログ通知

項目		工場出荷値	選択など
動作設定		常に通知しない	常に通知しない, 常に通知する, 新着アラームログがあれば通知する, 新着アラームログがなければ通知する
日時設定	曜日	すべてチェックあり	–
	通知時間	午後0時0分	時間指定
アラームログ通知先設定	送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	25	1～65535
	送信者（Eメールアドレス）	–	–
	あて先1(Eメールアドレス)	–	–
	あて先2(Eメールアドレス)	–	–
	あて先3(Eメールアドレス)	–	–
	件名	アラームログ	–
認証方法		認証なし	認証なし, POP before SMTP認証, SMTP認証

項目		工場出荷値	選択など
POP before SMTP認証	受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名	–	–
	ポート番号	110	1～65535
	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SMTP認証	ログインID	–	–
	パスワード	–	–
SSL		チェックなし	–

その他の設定

画像表示

項目		工場出荷値	選択など
カメラ名設定	カメラ名	NetworkCamera	–
シングル画面	画像更新間隔	MJPEG	H.264, MPEG-4, MJPEG, 3 秒, 5 秒, 10秒, 30秒, 60秒
	解像度	320 × 240	1280 × 960, 640 × 480, 320 × 240, 192 × 144
	画質 (MJPEG または静止画のみ)	標準	画質優先, 標準, 動き優先
	配信方法 (H.264、MPEG-4)	自動	自動, Multicast, Unicast, HTTP
マルチ画面	画像更新間隔	MJPEG	H.264, MPEG-4, MJPEG, 3 秒, 5 秒, 10秒, 30秒, 60秒
	解像度	320 × 240	320 × 240, 192 × 144
	画質 (MJPEG または静止画のみ)	標準	画質優先, 標準, 動き優先
携帯電話画面	解像度	192 × 144	320 × 240, 192 × 144

項目		工場出荷値	選択など
表示設定	日付時刻表示	チェックなし	–
	日付表示形式	YY/MM/DD	YY/MM/DD MMM.DD,YY DD MMM,YY
	テキスト表示	チェックなし	–
	テキスト	–	–
	状態表示	チェックなし	–
表示言語設定	表示言語	日本語	英語, 日本語, フランス語, ドイツ語, イタリア語, スペイン語, 中国語, ロシア語, 韓国語
バナー表示設定	有効にする	チェックなし	–
	表示対象	全ユーザー表示	全ユーザー表示, 管理者のみ表示, 一般ユーザーのみ表示
	画像URL	–	–
	リンク先URL	–	–

マルチ画面

項目	工場出荷値	選択など
マルチ画面設定	No.1に自カメラ登録	–
状態	No.1のみ有効	有効, 無効
HTTPS	使用しない	使用する, 使用しない
IPアドレスまたはホスト名	selfcamera	–
ポート番号	–	1～65535
表示名	(カメラの品番)	–

プリセットシーケンス画面

項目	工場出荷値	選択など
移動先	ホームポジション	ホームポジション, アラーム1, アラーム2, プリセット1～20
移動速度	低速	超低速, 低速, 標準, 高速, 超高速

項目	工場出荷値	選択など
停止時間	3分	3分, 4分, 5分, 10分, 15分, 20分, 30分, 40分, 50分, 60分

公開時間

項目	工場出荷値	選択など
状態	無効	有効, 無効
曜日	すべてチェックあり	–
公開時間	常時	常時, 時間指定

外部出力

項目	工場出荷値	選択など
デジタル信号出力初期状態	開放	開放, 短絡
名称変更	開放 短絡	–

アナログビデオ出力

項目	工場出荷値	選択など
アナログビデオ出力	無効	有効, 無効
アナログビデオ出力方式	NTSC	NTSC, PAL

インジケーター

項目	工場出荷値	選択など
インジケーター制御	点灯(常時)	点灯(常時) 点灯(アクセス時) 消灯(常時)

公開

項目	工場出荷値	選択など
自動ポートフォワーディング (IPv4)	無効	有効, 無効
みえますねっとサービス登録	しない	する, しない
インターネット公開 (IPv6)	非公開	公開, 非公開

再起動

項目	工場出荷値	選択など
再起動予約	無効	有効, 無効

項目	工場出荷値	選択など
曜日	すべてチェックあり	–
再起動時刻	午前0時00分	時間指定

検知音設定（ActiveXコントロール）[*1]

項目	工場出荷値	選択など
検知音再生	無効	有効, 無効
再生ファイル	–	–
再生時間	5 秒	1秒～10秒
動作検知	使用しない	使用しない, 使用する
アラーム1: 検知する信号	使用しない	使用しない 立上り(開放) 立下り(短絡)
アラーム2: 検知する信号	使用しない	使用しない 立上り(開放) 立下り(短絡)
音検知	使用しない	使用しない, 使用する
ショック検知	使用しない	使用しない, 使用する

画像表示（ActiveXコントロール）[*1]

項目		工場出荷値	選択など
画像表示方法	MPEG-4	自動	自動, DirectX Graphics, DirectDraw, GDI
	MJPEG	自動	自動, DirectX Graphics, DirectDraw, GDI
ソフトウェアカラーナイトビュー	H.264	使用しない	使用する, 使用しない
	MPEG-4	使用しない	使用する, 使用しない
	MJPEG	使用しない	使用する, 使用しない

*1　設定値はパソコンに保存されるため、工場出荷設定しても初期化されません。

14.14 仕様

カメラの仕様

項目	仕様
ズーム	6倍（Exズーム2倍、デジタルズーム3倍）
パン・チルト角度	パン：−52°～+52°、チルト：−45°～+8°
撮像素子	130万画素 ν Maicovicon (ニューマイコビコン)
対応照度	0.6～100,000ルクス （カラーナイトビューモード時： 0.07 ～100,000ルクス）
ホワイトバランス	オート／マニュアル／ホールド
レンズ明るさ	9段階
レンズ焦点	固定焦点
最短被写体距離、フォーカス範囲	0.5 m ～ ∞
レンズF No.	F2.4
シャッタースピード	50 Hz : 1/15、1/25、1/50, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 60 Hz : 1/15、1/30, 1/60, 1/120, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
水平画角	69°
垂直画角	51°
露光制御	オート

その他の仕様

項目	仕様
防塵・防水(BB-HCM735のみ)	IP55*1
逆光補正	露光制御および階調補正
画像圧縮方式	H.264、MPEG-4、 JPEG（JPEGのみ3段階（画質優先、標準、動き優先））
画像解像度	1280 × 960ドット、640 × 480ドット、320 × 240ドット（工場出荷値）、192 × 144ドット
一時保存画像*2	約1160枚（320 × 240ドット、画質標準）（SDメモリーカード未装着時）
音声方向	半二重双方向（トランシーバー方式）
音声圧縮方式	H.264：MPEG-2 AAC (AAC-LC) 64 Kbps MPEG-4&MJPEG：ADPCM 32 kbps

項目	仕様
音声帯域	300 Hz~3.4 KHz
音声再生方式	ActiveXでの再生
受信時エンコード方式	ActiveXでのエンコード
音声入力*3	内蔵マイクおよび外部マイク入力端子
外部マイク入力*3	ø3.5 mm ミニジャック
音声出力*3	外部スピーカー用音声ライン出力端子
音声出力端子*3	ø3.5 mm ステレオミニジャック（ただし、出力はモノラル）
ビデオ出力*3	アナログコンポジット（NTSC／PAL切替）
ビデオ出力端子*3	ø3.5 mm ミニジャック
I／Oコネクター	入力2系統 出力1系統
SDカードスロット	Full サイズ
画像更新速度（フレームレート）*4	最大30枚／秒（1280 × 960ドット*5、640 × 480ドット、320 × 240ドット、192 × 144ドット）
サポートプロトコル	IPv4／IPv6 デュアルスタック **IPv4:** TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、ARP、ICMP、POP3、NTP、UPnP™、SMTP認証、RTP、RTSP、RTCP、HTTPS、SSL、TLS **IPv6:** TCP、UDP、IP、HTTP 、FTP、SMTP、DNS、ICMPv6、POP3、NDP、NTP、RTP、RTSP、RTCP、HTTPS、SSL、TLS
画像転送条件	アラーム発生時、タイマー設定：曜日／時／分、動作検知時、音検知時、ショック検知時
画像転送方法	SMTP*6／FTP／ HTTP
インターフェース	10／100Base-T（X） イーサネット×1ポート コネクター形状： 8ピンモジュラー（RJ-45）
インジケーター	電源表示用（ネットワークのリンクと動作表示用）
外形寸法（高さ、幅、奥行）	約100 mm × 約100 mm × 約74 mm（本体のみ、突起部含まず）
質量（本体のみ）	**BB-HCM715:** 約335 g（本体のみ） **BB-HCM735:** 約340 g（本体のみ）
電源	**専用ACアダプター** (品番BB-HCA7　別売品)： 入力 AC 100 V、50／60 Hz 出力 DC 12 V、750 mA **PoE給電**（PoE対応規格 IEEE802.3af-2003）

項目	仕様
消費電力	**専用ACアダプター** (品番BB-HCA7　別売品)： 待機状態：約 3.3 W 最大（パンスキャン時）：約7.5 W **PoE給電** (PoE対応規格 IEEE802.3af-2003) 待機状態：約3.3 W 最大（パンスキャン時）：約7.5 W
動作温度	**BB-HCM715:** 動作時： 0 ℃～+40 ℃ 保存時： 0 ℃～+50 ℃ **BB-HCM735:** 動作時：−20 ℃～+50 ℃ 保存時：−25 ℃～+60 ℃
動作湿度	**BB-HCM715:** 動作時： 20 %～80 %（ただし、結露なきこと） 保存時： 20 %～90 %（ただし、結露なきこと） **BB-HCM735:** 動作時： 20 %～90 %（ただし、結露なきこと） 保存時： 20 %～90 %（ただし、結露なきこと）

*1 『かんたんガイド』に定める設置工事が正しく施工され、かつ適切な防水処理が施工された場合のみ
*2 詳しくは243 ページ を参照してください。
*3 外部マイク、外部スピーカー、テレビに接続する場合は、映像／音声コードが必要です。
*4 以下の場合などに画像更新速度（フレームレート）が遅くなることがあります。

- 内部メモリーまたはSDメモリーカードへ録画している場合
- カラーナイトビューモードを選択している場合
- アナログビデオ出力を［有効］に設定している場合
- 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照している場合

*5 1280 × 960ドットを除きます。
*6 POP before SMTP認証、SMTP認証（PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5）に対応しています。
SSL暗号化はSMTP over SSLに対応しています。STARTTLSには対応していません。

14.15 別売品

品名	品番	希望小売価格
イーサネット送電アダプター	BB-HPE2	24,800円（税別）
ネットワークカメラ専用ACアダプター	BB-HCA7	8,000円（税別）
H.264ユーザーライセンス	BB-HCA8	1,500円（税別）
MPEG-4 ユーザーライセンス	BB-HCA5	1,500円（税別）
SDメモリーカード	BB-HCC02 (2 GB)	オープン価格[*1]
SDHCメモリーカード	BB-HCC04 (4 GB)	オープン価格[*1]
SDHCメモリーカード	BB-HCC08 (8 GB)	オープン価格[*1]
		(2009年6月現在)

[*1] この製品には、希望小売価格は設定されておりません。

パナソニック システムネットワークス株式会社
〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

PNQX1835YA KK0609HK3129